L-03C

ISSUE DATE: '10.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

docomo

ドコモ　W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式

このたびは、「docomo PRO series L-03C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
L-03C は、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

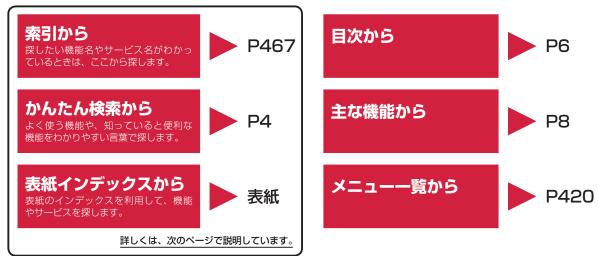
- FOMA 端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 大切なデータは microSD カードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイ datalink を利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様は SSL/TLS をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様による SSL/TLS のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL/TLS の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMO グローバルサイン株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- この FOMA 端末は、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA 端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書のご使用にあたって

本FOMA 端末は、メニュータイプ（P115）が変更できます。メニュータイプを変更した場合、メニューの種類によっては、メインメニューからの操作手順が変わるものがあります。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
■「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、知りたい機能やサービスがすぐ探せるように、次の検索方法を用意しています。

- この『L-03C 取扱説明書』の本文中においては、「L-03C」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では microSD カードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途 microSD カードが必要となります。microSD カード→ P316
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「日付／時刻設定」の検索方法を例にして説明します。

索引から ▶P467

機能名やサービス名などを次の例のように探します。

P55の「日付／時刻設定」の説明ページへ進む

かんたん検索から ▶P4

よく使う機能や知っていると便利な機能を次の例のように探します。

こんなこともできます

P55の「日付／時刻設定」の説明ページへ進む

表紙インデックスから ▶ 表紙

次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

P55の「日付／時刻設定」の説明ページへ進む

※上記のページはサンプルです。

- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書では、主にお買い上げ時の状態（メニュータイプの「ラインスクロール」設定時）で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

安心して電話を使いたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

こんなこともできます

その他の操作の引きかたについては、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→ P1

目　次

L-03C の主な機能

使いかたガイド→ P44

使いたい機能の操作方法を FOMA 端末で確認できる便利な機能です。
手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。
キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を呼び出すこともできます。

カメラ機能→ P234

有効画素数約 1210 万画素のカメラ（記録画素数約 1200 万画素）を使って、静止画（オートフォーカス対応）を光学 3 倍ズームで撮影したり、HD 動画などの動画を撮影したりすることもできます。

ｉモード→ P190

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash® Video や Windows Media® Video にも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。

国際ローミング→ P402

日本国内でお使いの FOMA 端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSM エリアに対応）。
音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

多彩な機能

■クイックダイヤル→ P101

待受画面で （待受） を押して、メモリ番号（2 桁以内）を入力するだけの少ない操作で、電話帳に登録されている電話番号を呼び出すことができます。

■ダイヤル音 3 か国語対応→ P108

電話をかけるときなどに押したダイヤルキーの数字を音声で読み上げます。
日本語、英語、韓国語の 3 種類の中から、読み上げる言語を選択できます。

■Dual clock 表示→ P112

基本待受画面に日本ともう 1 つの国（または地域、都市）の時刻を同時に表示することができます。
例えば滞在先の都市を設定しておくことで、滞在先との時差を確認できます。

■画面の言語変更→ P117

画面の言語を日本語、英語、韓国語から選択し、切り替えることができます。

■SMS の韓国語対応→ P140

韓国語に対応している端末どうしで、韓国語が入力された SMS の送受信ができます。

■ｉチャネル→ P219

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（P291）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

■フルブラウザ→ P224

ｉモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じように FOMA 端末で表示することができます。
マルチウィンドウを使用して、複数のインターネットホームページを同時に開くこともできます。

■ Muvee Studio → P330
あらかじめ用意されているムービースタイル（表示切替効果）や音楽を利用して、お好みの静止画や動画から手軽にスライドショーを作成できます。

■ Google → P332
Google を使ってサイトを検索したり、YouTube、Picasa などを利用したりできます。

■ マルチアクセス／マルチタスク→ P338、P339
音声電話中にｉモードまたはメールなどが使えるマルチアクセス機能に対応しています。
また、複数の機能を同時に使えるマルチタスクにも対応しています。

■ アラーム機能→ P341、P343、P348
指定した時刻を知らせてくれる目覚まし時計としてのアラームはもちろん、会議や約束などの開始日時や登録した To Do の期限も知らせてくれます。

■ 世界時計→ P353
世界の各国、各都市や標準時などの日時を確認することができます。画面には世界地図が表示され、日時と共に都市や地域の位置も確認できます。
旅行中に次の目的地の日時と位置を確認するなどの使いかたができます。

■ 単位変換ツール→ P354
通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を、別の単位に変換して数値を表示することができます。
海外で買い物をするときに、商品の値段を円に換算して確認するなどの使いかたができます。

■ Bluetooth 通信→ P361
Bluetooth 対応の機器と電話帳データの送受信をしたり、Bluetooth 対応のハンドセットなどを使用したりできます。

- テレビ電話→ P60
- 着もじ→ P69
- あんしん設定→ P119
- デコメール®／デコメ絵文字®／デコメアニメ®→ P145、P148
- Music&Video チャネル／着うたフル®→ P258、P265
- ミュージックプレーヤー→ P267
- ｉアプリ／ｉアプリ DX → P278
- 各種ネットワークサービス→ P385
- 高速通信対応→ P415

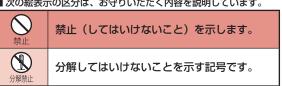
安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子やmicroUSB接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

ライトの発行部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカードの差し込み口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず FOMA 端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを FOMA 端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した FOMA 端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

ストラップなどを持って FOMA 端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションコントロールのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（プラスチックパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P19「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

指定の変換アダプタを取り付けて充電してください。
指定の変換アダプタ以外を使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
変換アダプタ：
FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	アルミニウム／ SANDBLAST ＋ ANODIZING
	ディスプレイ面（取っ手部）	PC ／ EUREKA LAC ＋ EUREKA THANE ＋ EUREKA RUBBER
	左側面	ポリカーボネート＋グラスファイバー／ UV コーティング
	右側面	ポリカーボネート＋グラスファイバー／ UV コーティング
	カメラ面	アルミニウム／ SANDBLAST ＋ ANODIZING
	カメラ部（飾り枠）	PC ／ UV コーティング
	カメラ部（ベース）	アルミニウム／ ANODIZING
	カメラ部（レンズ飾り枠）	アルミニウム／ SANDBLAST ＋ ANODIZING
	カメラ面（取っ手部）	PC ／ EUREKA LAC ＋ EUREKA THANE ＋ EUREKA RUBBER
操作キー		PC ／ UV コーティング
音量キー		PC ／ UV コーティング
ロックキー／モード切替キー		PC ／ UV コーティング
ズームホイール		PC ／ UV コーティング
シャッターキー		PC ／ UV コーティング
USB 接続端子部	USB 接続端子	ステンレス鋼
	USB 接続端子カバー	PC ／ UV コーティング

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／BOTTOM PRINTING
キャップ（バッテリーカバー部）		SILICONE
カメラランプ（ディスプレイ面）		PC
カメラ部（保護シャッター）		ポリカーボネート＋グラスファイバー
フラッシュ		アクリル
カメラランプ（カメラ面）		PC
バッテリーカバーレバー		POM
電池カバー（表面）		PC／UV コーティング
電池カバー（裏面）		Mg／UV コーティング
電池収納面		Mg／UV コーティング
ネジ		カーボン・スチール／亜鉛メッキ
ネジキャップ		PC／BOTTOM PRINTING
フレーム		Mg ＋（PPA ＋ GF50%）／UV コーティング
電池パック	電池パック本体	PC Injection
	シール部	PE
	端子部	リン青銅＋ Ni メッキ＋ Au メッキ
microSD カード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼
	固定部	LCP 6040GM-MD
	金属端子部	Corson Alloy
FOMA カード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼
	固定部	LCP resin
	金属端子部	Corson Alloy

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA 端末、電池パック、アダプタ、FOMA カードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水漏れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA 端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を microUSB 接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

■タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は 5℃～ 35℃、湿度は 45% ～ 85% の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本 FOMA 端末は精密な光学機器を使用しています。FOMA 端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■microUSB 接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■カメラを使用しない場合は必ずケータイモードに切り替えてレンズを収納してください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■カメラのレンズカバーを触らないでください。
レンズの汚れ、故障の原因となります。

■通常は microUSB 接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■電池パックカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障、破損、誤動作の原因となります。

■microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、FOMA 端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどを FOMA 端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA 端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が 2 本、または残量が 40 パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMA カードについてのお願い

■FOMA カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ※1、シリアルポート※2を利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
※1 オブジェクトプッシュでは、電話帳データのみ送受信が利用できます。
※2 シリアルポートでは、LG On-Screen Phone（OSP）のみが利用できます。

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2. 4FH1
■■■

2.4： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH： 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 ： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
■■■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3.その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊂」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

本体付属品および主なオプション品

本体付属品

L-03C 本体
（保証書を含む）

取扱説明書

電池パック L09

L-03C 用 CD-ROM
PDF 版「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」を収録しています。

イヤホンジャック変換アダプタ L01

FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01※1
（保証書を含む）

データ通信用 USB ケーブル（試供品）

microSD カード（2GB）（試供品）※2

ストラップ（試供品）

※ 1 FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 は充電専用です。データ通信を行う場合はデータ通信用 USB ケーブル（試供品）をご使用ください。また、充電を行う場合は FOMA AC アダプタ 01 ／ 02 などが必要です。

※ 2 お買い上げ時、microSD カードはあらかじめ携帯電話に取り付けられています。

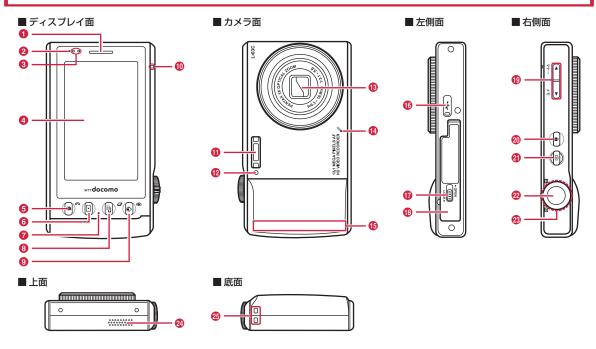
主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（保証書、取扱説明書付き）

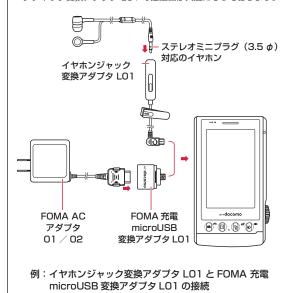
その他オプション品→ P434

ご使用前の確認

各部の名称と機能

■ ディスプレイ面
■ カメラ面
■ 左側面
■ 右側面
■ 上面
■ 底面
NTT docomo
L-03C
PENTAX 3X OPTICAL ZOOM
12.1 MEGA PIXELS AF
HD VIDEO RECORDER
OPEN
LOCK
マナー
メモ

イヤホンのご利用について

イヤホンジャック変換アダプタ L01 を接続※してください。
FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01（充電）およびイヤホンジャック変換アダプタ L01 の差込口が共通になっております。

例：イヤホンジャック変換アダプタ L01 と FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 の接続

※ イヤホンで音声を聞く場合はステレオミニプラグ（3.5 φ）対応のイヤホンが必要です。

❶ **受話口**
- 相手からの声がここから聞こえます。

❷ **充電ランプ**
- 充電中に赤く点灯／点滅します。
- 着信やメールの受信、アラームのときに点灯／点滅します。

❸ **近接センサー**

❹ **ディスプレイ（タッチパネル）→ P31**

❺ **開始キー**
- 音声電話をかけます。
- 音声電話／テレビ電話を受けます。
- 待受画面で押すと電話番号入力画面（P60）が表示されます。
- アルバム表示画面で押すとファイルが削除されます。

❻ **アルバム表示キー**
- 撮影した静止画／動画を表示します。

❼ **送話口**
- 通話中は自分の声をここから相手に伝えます。

❽ **マルチタスクキー／静止画／動画切替キー**
- 待受画面で押すとマルチタスク画面（P340）が表示されます。
- カメラモードで押すとフォトモードとビデオモードを切り替えます。

❾ **電源／終了キー**
- 電源を入れる／切るときに 2 秒以上押します。→ P53
- 通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。

❿ **撮影ランプ（ディスプレイ面）**
- 静止画や動画撮影時に点灯／点滅します。

⓫ **フラッシュ**
- 静止画撮影時にフラッシュを焚きます。

⓬ **撮影ランプ（カメラ面）**
- 静止画や動画撮影時に点灯／点滅します。

⑬ カメラ

- カメラで景色などの静止画や動画を撮影します。→P239、P244

⑭ マイク

- カメラモードで音声付画像を撮影するときや、動画を撮影するとき、ここから音声を集めます。

⑮ FOMA アンテナ

- FOMA アンテナは本体に内蔵されています。

⑯ microUSB 接続端子

- イヤホン接続や充電時などに使用する統合端子です。FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 やイヤホンジャック変換アダプタ L01 を経由して使用します。
- FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（別売）※、FOMA DC アダプタ 01 ／ 02（別売）※、データ通信用 USB ケーブル（試供品）などを接続します。

※ L-03C に接続するには、付属の FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 が必要です。

⑰ 電池パックカバーレバー

⑱ 電池パックカバー

- FOMA カードや電池パック、microSD カードを取り付ける／取り外すときに開きます。→P45、P48、P317

⑲ ◀（マナー）▶（メモ）音量キー

- 音量の調節などに使います。
- ◀（マナー）を 1 秒以上押すと、マナーモード設定／解除の確認メッセージが表示されます。
- ▶（メモ）を 1 秒以上押すと、伝言メモ一覧画面（P83）が表示されます。
- フルブラウザのページを拡大／縮小します。

⑳ 🔒 ロックキー

- ロック状態に設定／解除します。

㉑ 📷 モード切替キー

- ケータイモードとカメラモードを切り替えます。

㉒ シャッターキー

- 静止画や動画を撮影するときに押します。
- アルバム表示画面で押すとケータイモードに切り替わります。

㉓ ズームホイール

- 静止画や動画を撮影するとき、倍率を変更できます。

㉔ スピーカー

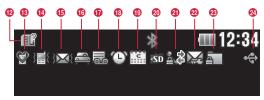
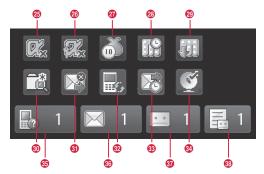
- 着信音やアラーム音、メロディの再生音などが聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声が聞こえます。

㉕ ストラップ取り付け穴

ケータイモードとカメラモードとは

ケータイモードとは、一般的なケータイの機能を使用するときのモードです。
カメラモードとは、静止画／動画を撮影したり、撮影した静止画／動画のアルバムをプレビューしたりするときのモードです。

ディスプレイの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

❶ 強←→弱
電波の受信レベル→P54
Self　セルフモードを設定中→P126
圏外　サービスエリア外または電波が届かない状態→P54

❷ 音声電話中→P61
テレビ電話中→P61
全着信拒否を設定中→P132

❸ （点滅）　ｉモード接続中→P191
（点滅）　ｉモード通信中／ｉチャネルメッセージ取得中→P191
（点滅）　フルブラウザ接続中
（点滅）　フルブラウザ通信中
FB　フルブラウザ接続中（一定時間通信がない状態）
（点滅）　パソコンなどと接続してパケット接続中／終了中
パソコンなどと接続してパケット通信中
パソコンなどと接続してパケット受信中
パソコンなどと接続してパケット送信中
パソコンなどと接続してパケット送受信中

❹ （白） iモードセンターにiモードメールあり→P156
（ピンク） iモードセンターのiモードメールが満杯
（白） iモードセンターにメッセージRあり→P156
（ピンク） iモードセンターのメッセージRが満杯
（白） iモードセンターにメッセージFあり→P156
（ピンク） iモードセンターのメッセージFが満杯
（白） iモードセンターにiモードメールとメッセージR/Fあり
（ピンク） iモードセンターのiモードメールとメッセージR/Fが満杯

❺ （白） 未読のiモードメールあり→P153
（白） 未読のSMSあり→P185
（白） 未読のiモードメールとSMSあり
（ピンク） FOMA端末内の受信メールが未読メール・保護メールで満杯
FOMAカードのSMSが満杯
FOMA端末内の受信メールが未読メール・保護メールで満杯。また、FOMAカード内のSMSが満杯

❻ （グレー） 未読のメッセージRあり→P181
（赤） FOMA端末内のメッセージRが満杯
（グレー） 未読のメッセージFあり→P181
（赤） FOMA端末内のメッセージFが満杯

❼ SSL/TLS対応ページを表示または取得中→P194
Bluetooth機能起動中→P361

❽ iアプリを起動中→P279
iアプリDXを起動中→P279
（グレー） iアプリ待受画面を表示中→P286
（グレー） iアプリDX待受画面を表示中→P286

❾ 1つの機能（タスク）を実行中→P339
複数の機能（タスク）を実行中
1つの機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
複数の機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
（点滅） 他の機能（タスク）を実行中のために音が鳴らないときにアラームが起動

❿ ～ 電池残量表示→P52

⓫ ALL オールロック設定中→P123

⓬ FOMAカード未装着／FOMAカードにエラーが発生→P45
FOMAカード以外が挿入されている場合に表示（ターミナルリンク中）

⓭ （ピンク） マナーモードを設定中→P109
（青） オリジナルマナーモードを設定中→P110

⓮ 音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P105、P106
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P105、P106
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P105、P106

⓯ メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P105、P106
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P105、P106
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P105、P106

⓰ 公共モード（ドライブモード）を設定中→P79

⑰ 伝言メモ設定中→ P81

⑱ 設定中のアラームあり→ P341

⑲ 当日のスケジュール／To Do あり→ P343、P347

アラームが設定された当日のスケジュール／To Do あり P343、P347

⑳ microSD カード装着中→ P317

㉑ 音声電話／テレビ電話の発信制限を設定中→ P125

音声電話／テレビ電話の着信制限を設定中→ P125

音声電話／テレビ電話の発着信制限を設定中→ P125

㉒ メールの送信制限を設定中→ P125

メールの受信表示制限を設定中→ P125

メールの送信制限／メールの受信表示制限を設定中→ P125

㉓
- 「プライバシーモード設定」を I に設定中→ P129
- 「シークレットモード」を「シークレットモード」に設定中→ P129
- 「プライバシーモード設定」を I、「シークレットモード」を「シークレットモード」に設定中→ P126、P129
- 「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中→ P129
- 「プライバシーモード設定」を I、「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中→ P126、P129

㉔ 通信モード設定中で、USB ケーブル接続中

㉕ i アプリ自動起動失敗→ P287

㉖ セキュリティエラーが発生して i アプリ待受画面設定が解除→ P287

㉗ 通話料金が上限を超過→ P353

㉘ Music&Videoチャネル番組ダウンロード予約中→P258

㉙ Music&Videoチャネル番組ダウンロード完了→P258

Music&Videoチャネル番組ダウンロード失敗→P258

Music&Video チャネル番組ダウンロード中→ P258

㉚ パターンデータ更新推奨

パターンデータ更新完了→ P453

パターンデータ更新失敗

㉛ メールの送信失敗

㉜ 書換え予告アイコン→ P449

更新お知らせアイコン→ P450

更新結果アイコン

㉝ メールの自動送信を予約中→ P143

㉞ ケータイデータお預かりサービス更新失敗→ P134

㉟ 1 不在着信あり（数字は件数）

㊱ 1 未読メールあり（数字は件数）

㊲ 1 留守番電話の伝言メッセージあり（数字は件数）→P386

㊳ 1 伝言メモあり（数字は件数）

アイコンから情報を確認するには

㉕～㊳のアイコンを選択すると、お知らせの内容を確認することができます。
アイコンを選択するには、基本待受画面でアイコンをタッチします。

お知らせ

- ディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- ディスプレイに表示されるマークは、お買い上げ時の設定をもとにしています。お買い上げ後の設定変更により、FOMA 端末の表示が取扱説明書と異なる場合があります。
- FOMA 端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ディスプレイの特性により、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

タッチパネルの使いかた

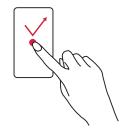
本 FOMA 端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

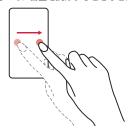
タッチパネル利用上のご注意

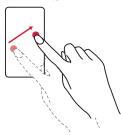
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- Flash コンテンツやサイト、インターネットホームページなどでは、一部タッチによる操作ができない場合があります。［キー表示］をタッチして、画面上に表示されたキーをタッチすることで操作を行うことができます。

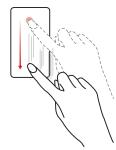
タッチパネルでの操作

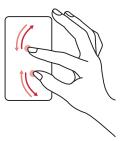
タッチ

タッチパネルに軽く 1 回触れて離す操作を「タッチ」と呼びます。
表示されているアイコンやメニュー項目を選択したり、選択した項目を実行したりするときに行います。
また、アイコンに長く触れることで起動する機能の場合、タッチ（1秒以上）と表記しています。

スライド

タッチパネルに触れたまま、なぞって動かす操作を「スライド」と呼びます。
音量バーをなぞって、音量を調節するときなどに行います。

ドラッグ

タッチパネルに触れたまま、なぞって動かして離す操作を「ドラッグ」と呼びます。
アイコンを移動させるときに行います。

フリック

タッチパネルに軽く触れて、上下または左右にはらう操作を「フリック」と呼びます。
画面の上下に表示しきれない項目などがあるときに高速スクロールを行います。

ピンチ

タッチパネルに触れたまま、つまんだり離したりする操作を「ピンチ」と呼びます。
ドキュメントビューアで、ドキュメントを拡大・縮小させるときに行います。

タッチパネルでの操作例

画面の切り替え

カレンダーなど ‹ › ※がある場合は、‹ › をタッチして前後のデータや画面に表示を切り替えられます。
※アイコンの形状は画面によって異なります。

プルダウンメニュー

項目にプルダウンメニューがある場合は、▼ をタッチするとメニューが表示されます。

モーションコントロールの使いかた

FOMA 端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA 端末を左右に傾けたり振ったりして、画面を切り替えたりゲームで遊んだりすることができます。

縦／横画面表示を切り替える

FOMA 端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

- FOMA 端末の上部を左側に傾けた場合のみ、画面の表示が切り替わります。
- FOMA 端末の縦／横画面表示は、以下の機能で対応しています。
  - メインメニュー画面
  - フルブラウザ
  - データ BOX のピクチャ表示画面プレビュー（マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、ミュージック）
  - ミュージックプレーヤー

お知らせ

- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA 端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。

自動表示回転

自動的に画面を回転させる

FOMA 端末の傾きに応じて、自動的に画面が回転します。

1 MENU ▶「表示」▶「自動表示回転」の［I・O］

メニューの選択方法

FOMA 端末では、メインメニューやサブメニューなどのメニューから、機能の実行や設定、登録などの操作をします。

- メニューは機能ごとに分類されています。→ P420

メインメニューから機能を選択する

本 FOMA 端末では、メニューアイコンをタッチして機能を選択できます。また、本 FOMA 端末では、次の 3 通りのメニュータイプが選択できます。
待受画面からメインメニューを呼び出し、「メニュータイプ」の設定画面を表示するまでの操作を例に、それぞれの場合の操作方法を説明します。

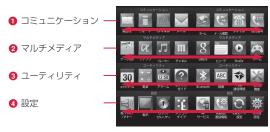
- デフォルトの設定は「ラインスクロール」となるため、本書では、「ラインスクロール」のメニュースタイルで機能を選択する操作で説明しています。

メインメニュー（ラインスクロール）

メインメニュー（エリアスクロール）

メインメニュー（ベーシック）

ラインスクロールのメインメニュー一覧

ラインスクロールのメニューは、「コミュニケーション」「マルチメディア」「ユーティリティ」「設定」のインデックスごとにメニューをスクロールして表示できます。
本書では機能名称は、記載例（P44）のように記載しています。

❶ コミュニケーション	電話帳	i モード	i チャネル	メール	フルブラウザホーム	通話／メール履歴	ダイヤル	自局番号
❷ マルチメディア	データ BOX	i アプリ	ミュージックプレーヤー	Music&Videoチャネル	Google	ドキュメントビューア	Muvee Studio	ゲーム
❸ ユーティリティ	スケジュール	電卓	アラーム	使いかたガイド	Bluetooth	辞典	FOMA通信環境	その他機能
❹ 設定	音／バイブ／マナー	表示	ロック／セキュリティ	メニュータイプ	NWサービス	発着信／通話機能	USB モード設定	その他設定

ラインスクロールを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2 「メニュータイプ」をタッチする

メインメニュー
（ラインスクロール）

エリアスクロールを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2 メインメニューを左に 2 回スライドし、「メニュータイプ」を表示する

3 「メニュータイプ」をタッチする

メインメニュー
（エリアスクロール）

ベーシックを利用する場合

1 待受画面で MENU をタッチし、メインメニューを表示する

2「設定」をタッチし、設定画面を表示する

メインメニュー（ベーシック）

3「表示」をタッチし、表示画面を表示する

4「メニュータイプ」をタッチする

サブメニューから機能を選択する

≡ が表示された場合は、サブメニューを呼び出して各種操作ができます。

- サブメニューの表示は、機能や FOMA 端末の設定状況／登録状況などによって異なります。

電話番号入力画面　　サブメニュー

■一覧画面でのサブメニューについて

一覧画面のサブメニューには、「削除」→「1 件」のようにカーソルがあたっている項目が対象となる項目や、「削除」→「全件」のようにすべての項目が対象となる項目があります。1 件の項目が対象となる操作を行う場合は、あらかじめ該当する項目をタッチしてから ≡ をタッチしてください。

お知らせ

- サブメニュー表示中は項目をタッチして選択できます。
- 2 階層目がある項目は項目をタッチすると 2 階層目を表示できます。
- サブメニューを閉じるには、x をタッチします。

使用者待受画面から機能を選択する

使用者待受画面は３ページあり、ショートカット、ウィジェットのアイコンが配置されています。また、以下の３種類のアイコンが追加／削除／移動できます。

- ショートカット：各メニューに短いルートでアクセスできます。
- ウィジェット　：時計やカレンダーなどのツールが利用できます。
- コンタクト　　：個別の電話帳にアクセスし、発信、メールが簡単にできます。

使用者待受画面を表示する

1 基本待受画面（P53）で左にスライド

- 使用者待受画面が表示されます。
- 他の使用者待受画面を表示するときは、スライドします。

使用者待受画面

使用者待受画面のアイコンを操作する

1 アイコンをタッチ

ショートカット、ウィジェット、コンタクトが動作します。

アイコンを追加するには

① 使用者待受画面で ⚙
② ［追加］
③「ショートカット」／「ウィジェット」／「コンタクト」
④ グレーの★マークをタッチ
★マークがグレーからオレンジに変わります。

アイコンを削除するには

① 使用者待受画面で ⚙
② アイコンの「×」をタッチ

アイコンを移動するには

① 使用者待受画面で ⚙
② アイコンを任意の箇所にドラッグ
他のアイコンの位置にドラッグすると、アイコンの位置が入れ替わります。

パワーランチャーから機能を選択する

待受画面のパワーランチャーに４個のアイコンが配置されています。

1 アイコンをタッチ

操作	説　明
(アイコン)	通話／メール履歴の「通話最新履歴」が表示されます。「着信履歴」／「リダイヤル」／「メール受信履歴」／「メール送信履歴」／「メール最新履歴」に切り替えられます。
(アイコン)（1 秒以上）	公共モード（ドライブモード）に設定します。
(アイコン)	電話帳の「全件検索」が表示されます。「グループ検索」／「フリガナ検索」／「メモリ検索」／「電話番号検索」／「ドメイン検索」に切り替えられます。また、電話帳の新規作成ができます。
(アイコン)（1 秒以上）	電話帳の登録画面が表示されます。
(アイコン)	メールメニュー画面が表示されます。
(アイコン)（1 秒以上）	ｉモード問い合わせが行われます。
MENU	メインメニュー画面が表示されます。

インディケータリストから機能を選択する

使用者待受画面の上部をタッチするとインディケータリストが表示されます。
インディケータリストには 7 つの項目があります。項目をタッチすると機能が設定できます。

インディケータリスト画面

1 ❶をタッチ

- インディケータリスト画面が表示されます。

2 次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機能の I ／ O を設定します。

[アラーム]
アラームを起動します。

[スケジュール]
スケジュールを起動します。

[To Do リスト]
To Do リストを起動します。

[ミュージックプレーヤー]
ミュージックプレーヤーを起動します。

[マナーモード]
マナーモードの I ／ O を設定します。

[公共モード]
公共モードの I ／ O を設定します。

各種画面の基本操作

1 つ前の画面／基本待受画面に戻るには

メニュー項目の選択を間違えて 1 つ前の画面に戻るときや、操作を中断／終了して基本待受画面に戻るときは、次のように操作します。

- ⮌：1 つ前の画面に戻ります。
- ⌂：基本待受画面に戻ります。終了の確認画面が表示された場合は、「はい」をタッチすると操作を中断します。

お知らせ

- FOMA 端末の操作状況によっては、⌂ ／ ⮌ をタッチしても基本待受画面／前の画面に戻らない場合があります。

設定項目の操作について

設定画面の各設定欄には、現在の設定内容が表示されています。設定を変更するには、次のいずれかの操作を行ってください。

変更する設定欄をタッチし、表示される一覧から項目をタッチする	変更する設定欄のスライドバーをスライドまたはタッチして設定を変更する	変更する設定欄の［I・O］をタッチして設定を切り替える
着信音選択 音声電話着信音 種類を選択 ミュージック モーション/ムー.. メロディ キャンセル	音量設定 音声/テレビ電話着信音 メール/メッセージ着.. アラーム/スケジュー..	日付/時刻設定 自動時刻時差補正 タイムゾーン設定 日本 サマータイム設定 OFF 日付/時刻設定 2010/10/19 15:02
項目をタッチ ▶ 項目をタッチ	スライドバーをスライド	［I・O］をタッチ

認証操作について

利用する機能やサービスによっては、認証のために各種暗証番号(P120)の入力画面が表示されます。入力画面が表示された場合は、ダイヤルアイコンで暗証番号を入力して［OK］をタッチします。正しく入力されると、操作を完了させたり、操作を次に進めたりできます。

- 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。

暗証番号入力画面
（例：端末暗証番号入力画面）

お知らせ

- 暗証番号の入力を中止して入力画面を閉じるには、⮌ をタッチします。

メニュー操作の表記について

本書では、主に待受画面からの操作で説明しています。待受画面には基本待受画面と使用者待受画面の 2 種類があり、共通の操作の場合には待受画面と記載しています。また、原則として操作手順を次のように簡略化しています。

操作の記載例

1 MENU ▶「表示」▶「着信画面設定」
❶ ❷ ❸

❶ 操作のためにタッチするアイコンのイラストです。
❷ メインメニューの機能名称(P38)です。アイコンをタッチします。
❸ メニュー項目の名称です。「次の操作を行う」や「●●●をタッチ」のように表現している場合もあります。項目をタッチまたは 2 回タッチして選択します。

サブメニューの記載例

サブメニューに表示される項目は、FOMA 端末の設定状況や登録状況などの条件により異なる場合があります。

[ソート] ―― ❶
条件を設定してファイルを並べ替えます。―― ❷

[メモリ情報]
データ BOX：「データ BOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSD カードの保存領域の状態などを表示します。
―― ❸

❶ 項目の名称です。項目をタッチして選択します。
❷ 項目の機能説明です。
❸ 項目の選択後に表示される項目の名称、機能説明、操作説明です。

お知らせ

- リダイヤル一覧画面とリダイヤル詳細画面など複数のサブメニューをまとめて説明している場合は、設定内容や画面によって表示されないサブメニューが含まれている場合があります。

表記ルール

■待受画面以外から開始する操作文の表記について
操作文の最初に「着信中」や「一覧画面」など、FOMA 端末の状態や表示される画面を記載しています。

■「選択」操作における［選択］の省略について
「操作の記載例」(P44)❷❸のようにアイコンや一覧から目的の機能を選択するときは［選択］などの確定操作を省略して記載しています。
同様に暗証番号の入力や文字の確定などの操作説明でも、[OK] などの確定操作を省略しています。

■☐を☑にする操作におけるタッチの省略について
☐の付いた項目を選択し、タッチして☑にする操作を、タッチの操作を省略して「チェックを付ける」と記載しています。

使いかたガイド

使いかたガイドを利用する

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては、内容を確認後その機能を実行することができます。

- 使いかたガイドは日本語のみ対応です。
- デフォルトの設定は「ラインスクロール」となるため、使いかたガイドでは、「ラインスクロール」のメニュースタイルで機能を選択する操作で説明しています。

1 MENU ▶「使いかたガイド」▶ 次の操作を行う

[メニュー検索]
メニュー項目名やキーワードを入力して検索します。
- Mode をタッチすると、入力モードの切り替えができます。
- 入力途中に画面下部に表示された項目をタッチすると選択できます。

[機能ガイド]
目的の機能を一覧から選択して確認します。

[イントロアニメーション]
イントロアニメーションを表示します。
- ［戻る］、［次へ］をタッチすると、アニメーションの切り替えができます。
- ［×］をタッチするとアニメーションを終了します。

[困ったとき]
- お問い合わせ先、または目的の症状を一覧から選択して確認します。

お知らせ
- 検索結果画面で［機能実行］が表示された場合は、［機能実行］をタッチしてその機能を実行することができます。

FOMA カードを使う

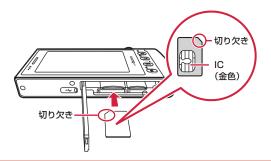
FOMA カードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されている IC カードです。FOMA 端末に取り付けることで、電話やメール、ｉモードなどの通信機能を利用できます。FOMA カードを他の FOMA 端末に取り付けることで、用途に合わせて FOMA 端末を使い分けることもできます。
取り扱いの詳細については、FOMA カードの取扱説明書をご覧ください。

取り付けかた／取り外しかた

「電源を切る」(P54)の操作を行った後、正面を上にして電池パックカバーを開けてから、FOMA カードの取り付け、または取り外しを行ってください。→ P46

取り付けかた

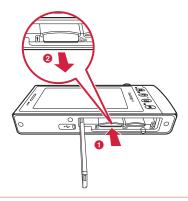
FOMA カードを取り付けるときは、FOMA 端末を手に持って行ってください。

1 FOMA カードの金色の IC 面を下にして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込む

お知らせ
- 無理に取り付けようとすると、FOMA カードが壊れることがあります。

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を手に持って行ってください。

1 FOMAカードを矢印❶の方向に軽く押し込む

2 FOMAカードを矢印❷の方向にまっすぐ抜き取る

お知らせ

- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。→P121

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカードセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカードセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作できます。
- 制限の対象となるデータ／ファイルは次のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR/F
  - 画面メモ
  - デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ｉモーション
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - 着うた®・着うたフル®
  - メロディ
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

- ここでは、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お知らせ

- 本機能で制限されているデータ／ファイルを基本待受画面などに設定すると、他の人のFOMAカードが取り付けられた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合は、設定がお買い上げ時の状態になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは本機能の制限の対象になりません。ただし、一度削除するなどしてサイトからダウンロードした場合は制限の対象になります。
- 次のデータ／ファイルは、本機能の制限の対象になりません。
  - Bluetooth通信、microSDカード、データ通信を利用して入手したデータ／ファイル
  - 本FOMA端末で撮影／編集した画像
- データ／ファイルの入手時とは異なるFOMAカードが取り付けられている場合でも、本機能で制限されているデータ／ファイルの削除はできます。
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - 電話番号表示
  - PIN1コード、PIN2コード
  - SMS有効期間設定※
  - SMSセンター設定※
  - Select language※

  ※ 設定リセットを行った場合は、FOMA端末を再起動すると、FOMAカードに保存されている設定になります。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、テロップが表示されなくなります。待受画面でMENU▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」をタッチすると、最新の情報を受信してテロップが表示されるようになります。

FOMAカードの種類

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁まで	最大26桁まで	P91
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P402
サービスダイヤルの利用	利用不可	利用可	P394

WORLD WING について

WORLD WING とは、FOMA カード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモの FOMA 国際ローミングサービスです。

- 2005 年 9 月 1 日以降に FOMA サービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMA サービスご契約時に不要である旨をお申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005 年 8 月 31 日以前に FOMA サービスをご契約で WORLD WING をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 万が一、FOMA カード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- FOMA 端末の電源を切り、手に持って行ってください。

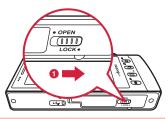
取り付けかた

1 電池パックカバーの電池パックカバーレバーを ❶ の方向にスライドさせる

- 電池パックカバーが開きます。

2 電池パックの端子を右奥にして、電池パックをまっすぐ押し込む

- 電池パックロックが上がるまで押し込んでください。

3 電池パックカバーを閉じて、電池パックカバーレバーを ❶ の方向にスライドさせる

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、電池パックロックが壊れることがあります。

取り外しかた

1 電池パックカバーの電池パックカバーレバーを ❶ の方向にスライドさせる

- 電池パックカバーが開きます。

2 電池パックロックを ❶ の方向に下げて、電池パックを引き抜く

充電する

FOMA 端末は、専用の AC アダプタ（別売）または DC アダプタ（別売）で充電してください。また、FOMA 端末専用の電池パック L09 をご利用ください。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1 回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら i アプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックは NTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ 充電について

- 詳しくは FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（別売）、FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01（別売）、FOMA DC アダプタ 01 ／ 02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA AC アダプタ 01 は AC100V のみに対応しています。また、FOMA AC アダプタ 02 ／ FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01 は、AC100V から 240V まで対応しています。
- AC アダプタのプラグ形状は AC100V 用（国内仕様）です。AC100V から 240V 対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- AC アダプタまたは DC アダプタで充電するには、電池パックを FOMA 端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間 FOMA 端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中に電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA 端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA 端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。
- 使用状況によっては、電池残量が 100% になる前に充電が停止する場合があります。この場合、一旦電池パックを取り外してから再度取り付けてください。充電を継続させることができます。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時に FOMA 端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA 端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐにバッテリー警告音が鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA 端末を一度 AC アダプタ、DC アダプタから外して再度接続し直してください。

■ 電池パックの使用時間の目安

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

連続待受時間	FOMA ／ 3G	**3G ／ GSM 切替：3G**	移動時：約 330 時間
		3G ／ GSM 切替：自動	静止時：約 420 時間 移動時：約 250 時間
	GSM	**3G ／ GSM 切替：自動**	静止時：約 310 時間
連続通話時間	FOMA ／ 3G		音声電話時：約 300 分 テレビ電話時：約 130 分
	GSM		音声電話時：約 250 分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）により、待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくてもiモードメールを作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／iモーションの再生、音楽再生などを行うと、通話（通信）･待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては記載値より短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。

■ 電池パックの充電時間の目安

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02	約 220 分
FOMA DC アダプタ 01 ／ 02	約 220 分

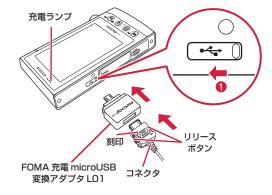
- 充電時間の目安は、FOMA 端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。
FOMA 端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

AC アダプタで充電する

FOMA 端末の microUSB 接続端子カバーを開きます（❶）。AC アダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 へ水平に差し込み、FOMA 端末の microUSB 接続端子へ水平に差し込みます。

AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 充電ランプが点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

充電が終わったら、FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 を水平に引き抜き、AC アダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。

- AC アダプタのコネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると、故障の原因となります。

■ DC アダプタ（別売）

DC アダプタは、FOMA 端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライターソケット（12V ／ 24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

詳しくは FOMA DC アダプタ 01 ／ 02 の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 電源が入っている場合に、充電開始音や充電完了音が鳴るようにできます。「ポップアップ表示音」の設定に従います。→ P106
- 充電中にディスプレイの照明をつけたままにするように設定できます。→ P114
- 充電中は電池残量表示のアイコンが → → → の順にアニメーション表示され、充電が完了すると が点灯します。

<DC アダプタ >

- ヒューズ（2A）は消耗品です。ヒューズが切れて交換する場合は、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

画面上部に電池残量（目安）を示すアイコンが表示されます。

：電池残量は十分です。

：電池残量が少なくなっています。

：電池残量がほとんどありません。充電してください。

：電池残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

お知らせ

- 電池残量を示すアイコンが 、 のときは、カメラ機能とBluetooth 機能の検索／登録などの一部の機能、Muvee Studioが使えなくなります。
- 電池残量を示すアイコンが 以外のときは、ミュージックプレーヤーを起動するときに、電池残量が少ない旨をお知らせする画面が表示されます（ のときは、表示されない場合があります）。

電池残量を音と表示で確認する

電池残量（目安）を音と表示で確認できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約３秒経つと電池残量の表示画面が消えます。

「ピッピッピッ」：電池残量は十分です。
「ピッピッ」　：電池残量が少なくなっています。
「ピッ」　　　：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池が切れそうになると

「電池の残量がありません。充電してください」のメッセージが表示されバッテリー警告音が鳴ります（設定によっては、鳴らない場合があります）。画面上部の が点滅し、しばらくすると自動的に電源が切れます。

お知らせ

- 「音量設定」の「ダイヤル音」を （ミュート）に設定している場合や「マナーモード」設定中は音が鳴りません。

電源 ON ／ OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れている状態で （2 秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、基本待受画面が表示されます。

基本待受画面

「PIN1 コードリクエスト」を「ON」に設定しているときは

PIN1 コード入力画面が表示されます。
PIN1 コード（P121）を入力すると、ウェイクアップ画面が表示された後、基本待受画面が表示されます。

「オールロック」を設定しているときは

端末暗証番号の入力が必要になります。

画面上部に「圏外」が表示されるときは

サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。電波の受信レベルを示すアイコンが表示される場所まで移動してください。アイコンは次のように4段階で表示されます。

強 ⟷ 弱

Welcome メールを確認する

お買い上げ時は、「♪ Welcome Mail ♪」「Welcome E ★エブリスタ」のメールが保存されています。
基本待受画面で未読メールありアイコンをタッチすると、メールが表示されます。または、「受信メールを表示する」（P160）の操作を行ってメールを表示することができます。

お知らせ

- FOMA カードが取り付けられていない場合は、「FOMA カード（UIM）を挿入してください」と表示されます。
- FOMA カードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると基本待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし再度電源を入れることは可能です）。

電源を切る

1 電源が入っている状態で待受画面表示中に ⌂（2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う

初めて電源を入れた後は、初期設定として「日付／時刻設定」「タッチ設定」を行います。

1 電源を入れる

2 日付・時刻の設定を行う（P55）▶［次］

3 タッチ設定を行う ▶［次］

4 イントロアニメーションを再生する ▶「はい」／「いいえ」

5 ［ガイド終了］

6 ［OK］

お知らせ

- オールロック設定中などは、初期設定は起動されません。
- 初期設定を中止するときは［×］をタッチします。次回電源を入れたときに続きから再開されます。

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するように設定できます。また、タイムゾーンやサマータイム、日付／時刻の設定ができます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「日付／時刻」▶「日付／時刻設定」

日付／時刻設定画面

2 次の操作を行う

［自動時刻時差補正］
ネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA 端末の時刻を補正するかどうかを設定します。

- Ｉ：日付・時刻を自動で補正します。
- ○：自動時刻時差補正をしません。

［タイムゾーン設定］※
日付時刻のタイムゾーンを設定します。
画面をフリックすると、リストが切り替わります。

［サマータイム設定］※
サマータイムを設定します。

［日付／時刻設定］※
手動で日付、時刻を設定します。
- 1980/01/01 ～ 2099/12/31 の範囲で設定できます。

※「自動時刻時差補正」を［○］にすると設定できます。

お知らせ

＜自動時刻時差補正＞
- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況などによっては時刻を補正できない場合があります。
- 海外で FOMA 端末を使用する場合、利用するネットワークによっては時刻やタイムゾーンを補正できない場合があります。また、正しく時刻を表示できない場合があります。世界時計で滞在先の時刻に設定してご利用ください。→ P351
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。

- お客様の発信者番号（電話番号）は大切な情報です。通知する際は十分にご注意ください。
- 「圏外」が表示されているときは、発信者番号通知を設定できません。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「発信者番号通知」▶ 次の操作を行う

[発信者番号通知設定]
発信者番号を通知／非通知に設定します。

[発信者番号通知設定確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 発信者番号は、相手の電話機が表示できる場合にのみ有効です。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか 186 を付けてからおかけ直しください。
- 電話をかけるごとに発信者番号通知を設定できます。→ P70

自局番号

自分の電話番号を確認する

FOMA カードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

1 MENU ▶「自局番号」

自局番号画面

2 次の操作を行う

[詳細]
自局番号詳細表示画面を表示します。

[編集]
自局番号以外の情報を登録・編集します。→ P350
▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 項目を編集 ▶ ［保存］

登録されている詳細情報を操作する

1 自局番号画面（P56）▶［詳細］▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［メール／URL接続］
登録されている宛先情報によるメールの作成、サイトへの接続などをします。

メール添付：自局番号の登録内容を添付したｉモードメールを作成します。

URL接続：登録されているURLのサイトへ接続します。

［コピー］
自局番号画面の登録内容をコピーします。

項目コピー：自局番号の登録内容から項目を選択してコピーします。

microSDへ1件コピー：自局番号の登録内容をmicroSDカードへコピーします。

［カスタマイズ発信］
登録した電話番号を変更して電話をかけます。

［初期化］
変更した自局番号の情報を初期化します。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

本 FOMA 端末は内側カメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像は静止画となります。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の 3GPP※1 で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  ※ 1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  第 3 世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ※ 2 3G-324M
  第 3 世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話の通信速度には 64K（64kbps）と 32K（32kbps）の 2 種類がありますが、本 FOMA 端末では 32K によるテレビ電話は利用できません。
- 本 FOMA 端末は遠隔監視機能には対応しておりません。
- 充電しながらテレビ電話を長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。また、電池残量が少ないときに、充電アダプタを接続した状態でテレビ電話をしていても、テレビ電話中に電源が OFF になる場合があります。

テレビ電話中画面の見かた

❶ **設定状態アイコン**
1～7：受話音量→ P78
／：ハンズフリー ON ／ OFF 状態表示→ P61
／：ミュート ON ／ OFF 状態表示→ P61

❷ **親画面**
お買い上げ時は、相手の画像が表示されます。

❸ **子画面**
お買い上げ時は、代替画像が表示されます。

❹ **通話時間**
分：秒の形式で表示されます。

電話／テレビ電話をかける

1 **(電源)▶ 電話番号を入力**

- 80 桁まで入力、表示できます。
- 「0」～「99」を入力すると、該当するメモリ番号の電話帳を呼び出せます。→ P101
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。
- ［保存］：入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。→ P92
- ［メール］：入力した電話番号が宛先に入力された i モードメールを作成します。→ P142

電話番号入力画面

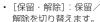
2 音声電話をかける場合

[通話]（または ⌨）

テレビ電話をかける場合

[テレビ電話]

設定状態がアイコンで表示されます。

- ［スピーカー ON・スピーカー OFF］：ハンズフリー通話の ON ／ OFF を切り替えます。
- ［ミュート・ミュート解除］：ミュート／ミュート解除を切り替えます。
- ［保留・解除］：保留／解除を切り替えます。

音声電話中画面

テレビ電話中画面

- 通話中に［DTMF 送信］をタッチすると、プッシュ信号が送信できます。

■ **音声電話中の場合**

音声電話中画面には、設定状態がアイコンで表示されます。

- ［メモ］：テキストメモを作成します。

カテゴリー：仕事、買い物、誕生日など予定の種類を登録します。

内容：全角で 50 文字、半角で 100 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、絵文字、記号などが入力できます。

▶［保存］

3 通話が終了したら ⌂

入力した電話番号を修正するには

入力した電話番号をタッチ（1 秒以上）すると、電話番号上部に拡大画面が表示されます。拡大画面でスライドして修正する数字の位置にカーソルを移動します。

発信中の表示について

電話帳に登録されている相手に電話をかけると、登録した名前が表示されます。

テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示されます（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります）。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります）。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、電源が切れています。
発信者番号通知を ON にしてください	発信者番号が非通知になっています（ビジュアルネットなどへの発信時）。
転送致しますのでお待ちください	転送中です。
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスが設定されていて転送先がテレビ電話非対応端末です。

次のページへ続く

メッセージ	説　明
上限額を超過しているため接続出来ません	ご利用金額がリミット機能付プランの上限額を超過しています。
接続できませんでした	「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。
- 本FOMA端末では、通話中に音声電話／テレビ電話の切り替えはできません。
- 通話中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると通話が切断され、自動的に電源が切れます。
- 本FOMA端末は、USB接続によるハンズフリー機器には対応しておりません。

＜テレビ電話＞

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、「音声自動再発信」をⅠにしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2010年12月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならない場合があります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- テレビ電話中に送信されてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 相手に代替画像を送信している場合でも、デジタル通話料がかかります。

電話番号入力画面のサブメニュー

1 電話番号入力画面（P60）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［電話帳登録］
電話帳に登録します。→P92

［着もじ］
着もじを送信します。→P70

［電話帳検索］
電話帳を検索します。→P95

［番号通知設定］
1回の通話のたびに発信者番号を通知するかどうかを設定して電話します。→P70

［国際ダイヤルアシスト］
通話先の国番号をタッチすると、「009130010」（WORLD CALL）と国番号が電話番号の先頭に挿入されます。→P72

［プレフィックス選択］
入力した電話番号の先頭にプレフィックス番号を追加します。追加は1回のみ可能です。→P73

［マルチナンバー］
マルチナンバーを契約されている場合は、発信番号をタッチして電話をかけます。→P396

音声電話中画面のサブメニュー

1 音声電話中画面（P61）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機器を使用して通話します。

[新規発信] ※
通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかけます。

[メール]
メールメニュー画面を表示します。

[電話帳検索]
電話帳を検索します。→ P95

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→ P142

[通話最新履歴]
通話最新履歴一覧画面を表示します。

[スケジュール]
スケジュール画面を表示します。

[終話]
電話を切ります。

※ キャッチホンを契約されていない場合は使用できません。

テレビ電話中画面のサブメニュー

1 テレビ電話中画面（P61）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機器を使用して通話します。

[電話帳検索]
電話帳を検索します。→ P129

[画面サイズ設定]
親画面の表示サイズを設定します。

[テレビ電話設定]
テレビ電話の表示方法とディスプレイの照明について設定します。設定後は ⮌ をタッチしてテレビ電話中画面に戻ります。

テレビ電話画面設定

両方（相手画像）：親画面に相手画像、子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）：親画面に自画像、子画面に相手画像を表示します。
相手のみ：相手画像のみを表示します。
自分のみ：自画像のみを表示します。

照明設定

常時点灯：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う：「照明設定」の設定に従います。→ P114

[受信画質設定]
相手から受信する画像の画質を設定します。

画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

[自局番号]
自分の電話番号（自局番号）を表示します。

[終話]
電話を切ります。

スピーカー ON ／スピーカー OFF

ハンズフリーに切り替える

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話します。

1 通話中に［スピーカー ON］をタッチ

■ ハンズフリー通話を OFF にする場合
［スピーカー OFF］をタッチします。

お知らせ

- ハンズフリー通話が ON になっているときは音声が大きくなります。FOMA 端末を耳にあてないでください。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本 FOMA 端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110 番、119 番、118 番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA 端末から 110 番、119 番、118 番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10 分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- FOMA 端末から 110 番、119 番、118 番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

リダイヤル／着信履歴を利用する

リダイヤルや着信履歴を利用して電話をかけられます。また、通話最新履歴（発信／着信とも）からも電話をかけられます。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

リダイヤルには、音声電話やテレビ電話をかけた履歴が 30 件まで記録されます。

- 30 件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。
- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、最新の 1 件のみが記録されます。

1 ▶ ▶「リダイヤル」

❶ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。
❷ **発信方法**
音声電話で発信
テレビ電話で発信
❸ **発信日時**
❹ **国際電話発信**
海外へ国際電話で発信
海外で国際ローミング中に発信
海外で国際ローミング中に国際電話で発信

リダイヤル一覧画面

2 **電話をかけるリダイヤルを 2 回タッチ**

❶ **発信方法**
❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」が表示されます。
❸ **相手の電話番号**
❹ **発信時の番号通知設定**
番号通知設定（P71）を設定して発信した場合に表示されます。
❺ **発信したマルチナンバー**※
発信したマルチナンバーが「電話番号設定」（P396）の登録名で表示されます。
※ サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合に表示されます。
❻ **発信日時**
❼ **通話時間**

表示（1/30）
テレビ電話発信
ドコモ太郎
080XXXXXXXX
通知
付加番号1
日付:2011/03/01(火)
時間:15:51
通話時間:00:00:35
通話　テレビ電話

リダイヤル詳細画面

3 **［通話］（または ）**

■ **テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- リダイヤル一覧画面でリダイヤルを選択して［通話］（または ）をタッチすると音声電話、［テレビ電話］をタッチするとテレビ電話をかけられます。
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- 「186」「184」を入力して電話をかけた場合は、別のリダイヤルとして記録されます。

次のページへ続く

リダイヤル一覧画面／リダイヤル詳細画面のサブメニュー

1 リダイヤル一覧画面（P65）／リダイヤル詳細画面（P65）▶ ▶ 次の操作を行う

［発信］

音声通話　：音声電話をかけます。

テレビ電話発信　：テレビ電話をかけます。

カスタマイズ発信：リダイヤルの電話番号を変更して電話をかけます。

［メール］

メール作成　：リダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P142
- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、登録されたメールアドレスを宛先にします。

新規SMS作成：リダイヤルの電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

［電話帳登録］

リダイヤルの電話番号を電話帳に登録します。→P92

［履歴切替］※

表示する履歴を切り替えます。

通話最新履歴　：通話最新履歴一覧画面が表示されます。→P68

メール最新履歴：メール最新履歴一覧画面が表示されます。→P173

着信履歴　：着信履歴一覧画面が表示されます。→P67

メール受信履歴：メール受信履歴一覧画面が表示されます。→P173

メール送信履歴：メール送信履歴一覧画面が表示されます。→P173

［居場所を確認］

「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

［削除］

選択中のリダイヤルを削除します。

1件※：選択中のリダイヤルを削除します。

選択※：複数の履歴をタッチして削除します。
▶削除したい履歴にチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件※：すべてのリダイヤルを削除します。

※ 詳細画面では表示されません。

着信履歴を利用する

着信履歴には、かかってきた音声電話やテレビ電話の履歴が30件まで記録されます。

- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 ▶ ▶「着信履歴」

❶ **電話帳に登録されている相手の名前**
登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。
❷ **着信方法**
音声電話で着信
音声電話でサブメニューから着信拒否
音声電話で不在着信（その他の着信拒否含む）
テレビ電話で着信
テレビ電話でサブメニューから着信拒否
テレビ電話で不在着信（その他の着信拒否含む）
❸ **着信日時**
❹ **国際電話着信**
海外から国際電話で着信
海外で国際ローミング中に着信
海外で国際ローミング中に国際電話から着信
❺ **着もじの受信**

着信履歴
ドコモ太郎 03/01 10:37
ドコモ三郎 03/01 10:35
ドコモ太郎 03/01 10:35
ドコモ三郎 03/01 10:33
通話 テレビ電話

着信履歴一覧画面

2 **電話をかける履歴を2回タッチ**

❶ **着信方法**
❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」が表示されます。
❸ **相手の電話番号**
❹ **着信したマルチナンバー**※
着信したマルチナンバーが「電話番号設定」(P396)の登録名で表示されます。
※ マルチナンバーを契約されている場合に表示されます。
❺ **着信日時**
❻ **通話時間／呼出時間（不在着信または着信拒否の場合）**
❼ **着もじで受信したメッセージ**

表示（1/30）
音声着信
ドコモ三郎
080XXXXXXXX
付加番号1
こんにちは！
日付:2011/03/01(火)
時間:10:33
通話時間:00:00:01
通話 テレビ電話

着信履歴詳細画面

3 **［通話］（または ）**

■ **テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- 着信履歴一覧画面で履歴を選択して［通話］（または ）をタッチすると音声電話、［テレビ電話］をタッチするとテレビ電話をかけられます。
- 発信者番号の通知がない着信の履歴には、発信者番号非通知理由が表示されます。→P132
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- ダイヤルインを利用した着信の履歴は、実際の番号とは異なる番号が表示される場合があります。

着信履歴一覧画面／着信履歴詳細画面のサブメニュー

1 着信履歴一覧画面（P67）／着信履歴詳細画面（P67）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［発信］

音声通話：音声電話をかけます。
テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：着信履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

［メール］

メール作成：着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P142
- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、登録されたメールアドレスを宛先にします。

新規 SMS 作成：着信履歴の電話番号を宛先にした SMS を作成します。

［電話帳登録］

着信履歴の電話番号を電話帳に登録します。→P92

［履歴切替］※

表示する履歴を切り替えます。

通話最新履歴：通話最新履歴一覧画面が表示されます。→P68
メール最新履歴：メール最新履歴一覧画面が表示されます。→P173
メール受信履歴：メール受信履歴一覧画面が表示されます。→P173
リダイヤル：リダイヤル一覧画面が表示されます。→P65
メール送信履歴：メール送信履歴一覧画面が表示されます。→P173

［居場所を確認］

「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

［削除］

選択中の着信履歴を削除します。

1 件※：選択中の着信履歴を削除します。
選択※：複数の履歴をタッチして削除します。
▶削除したい履歴にチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件※：すべての着信履歴を削除します。

※ 詳細画面では表示されません。

通話最新履歴

通話最新履歴を利用する

「通話最新履歴」には、発信／着信の履歴が合わせて 60 件まで記録されます。

- 60 件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1

以降の操作、および画面の説明については、リダイヤル（P65）、着信履歴（P67）を参照してください。

お知らせ

- 通話最新履歴一覧画面／詳細画面からのサブメニュー操作は、リダイヤルと着信履歴の一覧画面／詳細画面と同じです。→P66、P68

着もじ

着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージを送信して、呼び出し中に用件を伝えることができます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず 10 文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

- オールロック設定中やプライバシーモード設定でデータ BOX 機能をロック中は、着もじを受信しても表示されません。ロックを解除すると、着信履歴詳細画面でメッセージを確認できます。

メッセージの編集や設定をする

メッセージを登録する

- 10 件まで登録できます。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「着もじ」▶「メッセージ作成」

2 登録・編集する行をタッチ ▶［編集］▶ メッセージを入力・編集

- 登録した着もじを削除するには、削除したい着もじをタッチ ▶ ▤ ▶「1 件削除」／「全削除」▶「はい」をタッチします。

着もじを受信したときに表示するかどうかを設定する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「着もじ」▶「メッセージ表示設定」▶ 表示方法をタッチ

すべて表示：すべての相手からの着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ：電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ：発信者番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない：着もじを表示しません。

メッセージをつけてダイヤルする

1 （㎡）▶ 電話番号を入力する ▶ ≡ ▶ ［着もじ］▶ 次の操作を行う

［メッセージ作成］
メッセージを入力します。

［メッセージ選択］
登録済みのメッセージから選択します。

［送信メッセージ履歴］
過去に送信したメッセージから選択します。最新の 10 件までが記録されています。

2 ［通話］（または（㎡））

■ **テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- 着もじが相手に届くと「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 着信側が次のような場合などは「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない
  - メッセージ表示設定で許容していない送信のとき
  - 海外にいる※
  - 公共モード（ドライブモード）設定中※
  - 伝言メモの応答時間を 0 秒に設定している※
  - 圏外または電源が入っていない※

  ※ 送信結果は表示されません
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いても送信結果が表示されない場合があります。このとき送信料金はかかります。
- 海外での利用時には、着もじを送受信できません。
- クイックダイヤル（P101）でメモリ番号を入力 ▶ ≡ ▶「着もじ」で電話帳の相手に着もじを送れます。

186 ／ 184

1 回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話番号の先頭に「186」／「184」を付ける方法と、電話番号入力画面でサブメニューを利用する方法があります。

186／184を付けて通知／非通知にする

1 ［⏻］▶「186」（通知）／「184」（非通知）を入力▶電話番号を入力

2 ［通話］（または［⏻］）

■ テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

サブメニューを利用して通知／非通知にする

例：電話番号入力画面のサブメニューを利用した場合

1 ［⏻］▶電話番号を入力▶［≡］▶「番号通知設定」▶「通知しない」／「通知する」／「指定なし」

2 ［通話］（または［⏻］）

■ テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- 通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。→P56
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

ポーズ機能

プッシュ信号を送る

電話番号の後ろに「P」と番号を入力して音声電話をかけると、「P」の後ろの番号をプッシュ信号（DTMF）として送信できます。チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスにご利用できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- ［＊］を3回タッチすると「P」が入力されます。

1 ［⏻］▶電話番号を入力▶［＊］を素早く3回タッチし「P」を入力▶送信する番号を入力▶［通話］（または［⏻］）

電話がつながると「P」以降の番号が画面に表示され、［⏻］を押すと表示された番号が送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

- WORLD CALL の詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定 3G 通信事業者をご利用のお客様、または FOMA 端末をご利用のお客様と国際テレビ電話がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号を入力して国際電話をかける

次の順番で電話番号を入力してください。

1 (㎡)▶「010 －国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 009130 － 010 －国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号でもかけられます。

2 [通話]（または (㎡)）

■ **国際テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

「＋」を利用して国際電話をかける

電話番号の先頭に「＋」を入力して電話をかけると、「＋」の代わりに国際電話アクセス番号が自動的に付加され、国際電話をかけられます。

- お買い上げ時は、WORLD CALL（009130010）が自動的に付加されるように設定されています。→ P73
- ［0］を 1 秒以上タッチすると「＋」が入力されます。

1 (㎡)▶ [0]（1 秒以上）をタッチして「+」を入力 ▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- ［＊］を 2 回タッチしても「＋」を入力できます。
- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 [通話]（または (㎡)）▶ 発信方法を選択

発信：「＋」を国際電話アクセス番号に変換して発信され、国際電話がかかります。

元の番号で発信：端末に入力した番号のままで発信され、国際電話がかかります。

キャンセル：発信をキャンセルします。

発信確認画面

■ **国際テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチして発信方法を選択します。

お知らせ
- FOMA ネットワークのサービスエリア内でのみ利用できます。
- 電話番号の先頭に「＋ 81」が入力されている場合、「＋」は国際電話アクセス番号に変換されません。

国際電話アクセス番号を付けて国際電話をかける

サブメニューから、国際電話アクセス番号を選択して入力した電話番号に付加できます。

1 （fn）▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 ≡ ▶「プレフィックス選択」▶ 国際電話アクセス番号を選択

入力した電話番号の先頭に、選択した国際電話アクセス番号が挿入されます。

3 ［通話］（または（fn））

■ **国際テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ
- お買い上げ時には、「プレフィックス 1」に WORLD CALL（009130010）が登録されています。→ P75

簡単な操作で国際電話をかけられるようにする

国際電話をかけるときの設定を変更できます。

国際電話アクセス番号の自動付加を設定する<自動変換機能設定>

電話番号の先頭に「＋」を入力して電話をかけたとき、「＋」の代わりに国際電話アクセス番号を自動的に付加するかどうかを設定できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「自動変換機能設定」▶「自動」／「なし」

自動 ：自動的に国際プレフィックスで設定した番号に変換します。
なし ：変換しません。

国際電話アクセス番号を設定する<国際プレフィックス>

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際電話アクセス番号を 1 件登録できます。
- 「自動変換機能設定」を「自動」に設定した場合に、自動的に付加する番号となります。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国際プレフィックス」▶ 次の操作を行う

［名称］
自動変換機能設定で使用する国際電話アクセス番号の名称を入力します。

［番号］
自動変換機能設定で使用する国際電話アクセス番号を入力します。

国番号の自動付加を設定する＜国番号設定＞

国際ローミング中に「0」から始まる電話番号に電話をかけたとき、「0」の代わりに「＋国番号」を自動的に付加するかどうかを設定します。また、自動で付加する国番号を指定できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号設定」▶ 次の操作を行う

国番号画面

[自動国番号変換設定]
国番号を自動的に付加するかどうかを設定します。

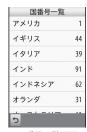
[国設定]
付加する国番号を設定します。

お知らせ

- 電話番号の先頭に「＋」がある場合は、国番号は自動付加されません。

国番号を登録する＜国番号一覧＞

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大50件登録できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号一覧」

国番号一覧画面

2 空いている項目を選択 ▶ 次の操作を行う

[国名]
国番号の名前を登録します。全角で7文字、半角で14文字まで入力できます。

[国番号]
5桁まで入力できます。

3 [完了]

国番号を修正するには

国番号一覧画面で編集したい国番号をタッチ▶「編集」▶国名／国番号を編集▶［完了］をタッチします。

国番号を削除するには

国番号一覧画面で削除したい国番号をタッチ▶「削除」▶「はい」をタッチします。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されている国番号も編集できます。
- 「国番号」（P74）で「自動国番号変換設定」を設定した場合に、「国設定」で指定した国番号は削除できません。
- 国番号は、ひらがな（五十音順）、カタカナ（五十音順）、漢字の順に並びます。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付与する番号（プレフィックス）をあらかじめ3件まで登録しておくことができます。

1 MENU▶「発着信／通話機能」▶「プレフィックス設定」

2 設定するプレフィックス入力欄を選択▶番号を入力▶［設定］

- 番号は10桁まで入力できます。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号に「＊」を入力したとき、「＊」以降をサブアドレスとして識別させるかどうかを設定できます。サブアドレスは、ISDN回線に接続されている特定の機器を呼び出すときに利用します。

1 MENU▶「発着信／通話機能」▶「サブアドレス設定」の［I・O］

I：「＊」以降をサブアドレスとして識別させます。
O：「＊」以降をサブアドレスとして識別させません。

お知らせ

- 次の場合は、「＊」はサブアドレスの区切りとして識別されません。
  - 電話番号の先頭に「＊」が入力されている
  - 電話番号の先頭に「186」「184」など特定の番号が入力され、その直後に「＊」が入力されている

再接続アラーム

再接続されるまでのアラームを設定する

電波の状態が悪くなり音声電話やテレビ電話が途切れたときに、再接続するまで鳴るアラームを設定します。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「再接続アラーム」▶ アラームを選択

アラームなし：アラームが鳴らないようにします。
アラーム低音：低音のアラームに設定します。
アラーム高音：高音のアラームに設定します。

お知らせ

- ご利用の状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 再接続されるまでの間も通話料がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、相手に音声電話やテレビ電話の通話を聞きやすくできます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「ノイズキャンセラ」の［I・O］

I：ノイズキャンセラを有効にします。
O：ノイズキャンセラを無効にします。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- （⌂）：応答を保留します。→P78
- ［応答］：電話に出ます。
- ［拒否］：着信を拒否して電話を切ります。
- ［留守番電話］※1：着信中の電話を留守番サービスセンターに接続します。
- ［転送でんわ］※2：着信中の電話を指定した電話番号に送信します。
- ［ミュート］：着信音や振動を停止します。

音声電話
着信中画面

テレビ電話
着信中画面

［応答］（または（🗑））をタッチして、電話に出られます。

※１留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※２転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

2 [終話キー]

電話に出ます。設定状態がアイコンで表示されます。
- ［スピーカー ON・スピーカー OFF］：ハンズフリー通話の ON ／ OFF を切り替えます。
- ［ミュート・ミュート解除］：ミュート／ミュート解除を切り替えます。
- ［保留・解除］：保留／解除を切り替えます。
- 通話中に［DTMF 送信］をタッチすると、プッシュ信号が送信できます。

■ **音声電話中の場合**

音声電話中画面には、設定状態がアイコンで表示されます。
- ［メモ］：テキストメモを作成します。

カテゴリー：仕事、買い物、誕生日など予定の種類を登録します。
内容：全角で 50 文字、半角で 100 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、絵文字、記号などが入力できます。

▶［保存］

3 **通話が終了したら** [ホームキー]

相手が発信者番号を通知した場合

電話帳に相手が登録されている場合は、相手の電話番号と登録名が表示されます。

相手が発信者番号を通知しない場合

電話番号の代わりに発信者番号非通知理由が表示されます。→P132

お知らせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、または転送でんわサービスをご契約いただいていて、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定している場合は、通話中に電話がかかってくると、「プププ・・・プププ・・・」という通話中着信音が聞こえます。通話中着信音が聞こえた場合は、各ネットワークサービスを利用できます。→P395
ただし、応答保留中や伝言メモ録音中（P82）は、電話がかかってきても着信できないため、通話中着信音は鳴りません。
- マルチナンバーを契約されている場合は、着信した電話番号に応じて「電話番号設定」（P396）の登録名が表示されます。
- 本 FOMA 端末では、通話中に音声電話／テレビ電話の切り替えはできません。
- 通信速度が 32K（32kbps）によるテレビ電話の着信はできません。

受話音量

相手の声の音量を調節する

受話音量は、1～7の7段階で調節できます。

1 通話中に［◀］（マナー）／［▶］（メモ）

- ［◀］（マナー）：音量を上げます。
- ［▶］（メモ）　：音量を下げます。

お知らせ

- 調節した受話音量は、通話が終了しても保持されます。
- 「音量設定」の「受話音量」（P106）も合わせて変更されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

1 着信中画面（P76）▶［⌂］

相手に「応答保留音」(P79)で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合は「応答保留画像」(P84)で設定した画像が表示されます。

音声電話応答保留中画面

テレビ電話応答保留中画面

2 電話に出られるようになったら［🗑］

- テレビ電話を保留にしている場合は［応答］、音声電話を保留にしている場合は［保留］▶［解除］でも保留を解除できます。

■ **音声電話／テレビ電話を切る場合**

［⌂］を押します。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手には通話料金がかかります。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続したり、指定した電話番号に転送したりできます。→P85

応答保留音

応答保留音を設定する

着信中に応答保留したときに相手に流す応答保留音（ガイダンス）を、3 つの中から選択して設定できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「応答保留音」▶「保留音 1」／「保留音 2」／「保留音 3」▶［設定］

- ▶：保留音を再生できます。
- ■：再生中の保留音を停止できます。

通話中保留音

通話保留音を設定する

通話中に保留したときに相手に流す通話保留音を、3 つの中から選択して設定できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話中保留音」▶「保留音 1」／「保留音 2」／「保留音 3」▶［設定］

- ▶：保留音を再生できます。
- ■：再生中の保留音を停止できます。

公共モードを利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードには次の 2 種類があります。
  - ドライブモード
  - 電源 OFF
- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2 は、公共モードに優先して動作します。
  ※ 1 呼出時間が「0 秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
  ※ 2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を利用する

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 （1 秒以上）

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

次のページへ続く

公共モード（ドライブモード）を設定すると
お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。
基本待受画面には［アイコン］が表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（ドライブモード）を解除するには
［アイコン］（1秒以上）をタッチします。

お知らせ
- 待受画面▶［メニュー］で［＊］を1秒以上タッチしても､公共モード（ドライブモード）を設定／解除できます。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されると、画面上部に［アイコン］が表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モード（ドライブモード）の設定が優先されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、お客様が操作したとき以外の音（着信音やアラーム音など）は鳴りません。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信は通知されません（着信音も鳴りません）。また、ディスプレイの表示が消えているときに着信しても、ディスプレイの照明は点灯しません。
- 公共モード（ドライブモード）設定中にメールを受信しても、着信音の鳴動、FOMA端末の振動などの着信動作は行われません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 **［メニュー］▶「＊25251」を入力▶［通話］（または［メニュー］）**

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）を設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると
「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も､公共モード(電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を解除するには
「＊25250」を入力して［通話］（または［メニュー］）をタッチします。

公共モード（電源OFF）の設定を確認するには
「＊25259」を入力して［通話］（または［メニュー］）をタッチします。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、基本待受画面に不在着信があったことをお知らせするアイコンが表示されます。アイコンから着信履歴一覧画面を表示させ、電話をかけてきた相手を確認できます。

1 かかってきた電話が切れる

基本待受画面に不在着信アイコンが表示されます。

不在着信アイコン（数字は件数）

2 基本待受画面で [アイコン] を２回タッチ

通話最新履歴一覧画面（P68）が表示されます。

お知らせ

- 通話最新履歴一覧画面を表示させると、[アイコン] は消えます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、音声電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- 伝言メモは５件まで、１件あたり約 15 秒まで録音できます。
- テレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモが起動しません。通常の着信動作を行います。

伝言メモを設定する

1 [MENU] ▶「その他機能」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ設定」▶次の操作を行う

［設定］
伝言メモを設定する場合に [チェック] にします。

［応答時間］ ※
電話を着信してから、伝言メモを起動するまでの時間を０～ 120 秒の間で入力します。

［応答メッセージ言語選択］ ※
応答メッセージを選択します。
- [▶]：応答メッセージを確認できます。

※「設定」を [チェック] にすると設定できます。

2 ［OK］

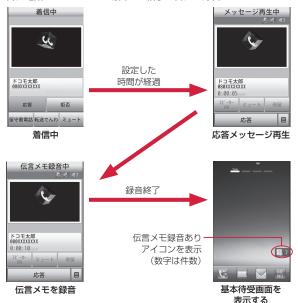
お知らせ

- 伝言メモを設定すると、画面上に [アイコン] が表示されます。

＜応答時間＞

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、各ネットワークサービスが優先して動作します。
- 「呼出動作開始時間設定」（P133）で設定した時間よりも短く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

伝言メモを設定したときには

音声電話がかかってきた場合は、相手の音声が録音されます。

■ 応答メッセージ再生／伝言メモ録音中に相手と話す場合

［応答］（または ）をタッチします。

■ 伝言メモを再生する場合

基本待受画面で を 2 回タッチ、または （メモ）を 1 秒以上押すと、伝言メモ一覧画面（P83）が表示されます。

- 伝言メモを 2 回タッチして伝言を再生します。
- 録音されている伝言メモを再生／削除すると、 は消えます。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときや電源が切れているとき、公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモを録音できません。
- 応答メッセージの再生中や伝言メモの録音中に電話がかかってきた場合、着信は拒否されます。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモが設定されていないときにかかってきた電話を、簡単な操作で伝言メモに録音できます。

1 着信中画面（P76）▶ （メモ）（1 秒以上）

応答メッセージが再生された後、伝言メモに録音されます。

お知らせ

- 既に伝言メモが 5 件録音されている場合は、伝言メモが起動できないため録音できません。

伝言メモの再生／削除

伝言メモを再生／削除する

1 MENU ▶「その他機能」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ一覧」

伝言メモ一覧画面

2 伝言メモを2回タッチ

伝言メモが再生されます。

- ⏸：再生を一時停止します。
- ↩：伝言メモ一覧画面に戻ります。
- ［削除］：再生中の伝言メモを削除します。
- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

伝言メモ一覧画面のサブメニュー

1 伝言メモ一覧画面 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［1件削除］
選択中の伝言メモを削除します。

［選択削除］
伝言メモを選択して削除します。

▶ 削除したい伝言メモにチェックを付ける ▶［削除］▶「はい」

- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

［全削除］
伝言メモをすべて削除します。

送信する映像について設定する

代替画像

代替画像を設定する

テレビ電話中に、カメラ画像の代わりにFOMA端末に保存してある画像を相手に送信することができます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「代替画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P290

応答保留画像

応答保留画像を設定する

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「応答保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P290

通話中保留画像

通話中保留画像を設定する

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「通話中保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」

- 「画像選択」を選択した場合は「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P290

テレビ電話設定

テレビ電話の設定を変更する

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」▶ 次の操作を行う

[テレビ電話画面設定]
テレビ電話の親画面と子画面にどの画像を表示するかを設定します。

両方(相手画像)：親画面に相手画像、子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）：親画面に自画像、子画面に相手画像を表示します。
相手のみ：相手画像のみを表示します。
自分のみ：自画像のみを表示します。

[画面サイズ設定]
親画面の表示サイズを設定します。

等倍：子画面と同じ大きさで表示します。
拡大：拡大して表示します。

[受信画質設定]
相手に送信する画像の画質を設定します。

画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

[照明設定]
通話中画面の照明の点灯方法を設定します。

常時点灯：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う：「照明設定」の設定に従います。→ P114

[音声自動再発信]
相手がテレビ電話を受けられない場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけ直すかどうかを設定します。

[ハンズフリー設定]
テレビ電話時にハンズフリー通話にするかどうかを設定します。

[パケット通信中着信設定]
ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。
→P85

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

ｉモード通信中やメールの送受信中にテレビ電話がかかってきた場合、本機能の設定に従って動作します。

1 **MENU▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」▶「パケット通信中着信設定」▶応答方法を選択**

テレビ電話優先：テレビ電話の着信画面が表示されます。テレビ電話に応答すると、ｉモード通信が切断されます。
パケット通信優先：テレビ電話の着信を拒否します。
留守番電話：自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ：自動的に転送でんわサービスに接続します。

お知らせ
- 留守番電話サービスや転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定しても「パケット通信優先」設定時の動作となります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

電話帳には、FOMA端末に保存するFOMA端末電話帳と、FOMAカードに保存するFOMAカード電話帳の2種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

項 目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
登録件数		最大1000件	最大50件
登録内容	名前（フリガナ）	1件	1件
	電話番号	5件	1件
	メールアドレス	3件	1件
	グループ	31グループ	11グループ
	画像	1件	登録不可
	その他の設定項目	シークレットコード、電話着信音、メール着信音など	登録不可

お知らせ

- お客様のFOMAカードを他FOMAの端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

FOMA端末電話帳に登録する

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 📖（1秒以上）

電話帳登録画面（FOMA端末）

2 次の操作を行う

[登録先]

電話帳の登録先を選択します。ここでは、登録先に「本体」が選択されている場合について説明します。登録先に「FOMAカード（UIM）」を選択した場合は、FOMAカード電話帳の登録画面が表示されます。→P91

[(メモリ番号入力)]

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられますが、000～999の範囲でお好みの番号に変更もできます。

[名前]

全角で 16 文字、半角で 32 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[フリガナ]

必要な場合に入力／修正します。半角で 32 文字まで入力できます。カタカナ、英数字、記号が入力できます。

[電話番号]

26 桁まで入力できます。

▶ 電話番号を入力 ▶ 種別アイコンを選択

- 「＊」「＋」「P」「#」が登録できます。
- 電話番号の入力画面で をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。
- 電話番号未入力時は、［CLR］をタッチすると入力をキャンセルできます。電話番号入力後は［CLR］をタッチすると、カーソルの左側の数字を消去します。

[メールアドレス]

半角で 50 文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

▶ メールアドレスを入力 ▶ 種別アイコンを選択

[シークレットコード] ※1

シークレットコードを設定します。

▶ 端末暗証番号を入力 ▶ シークレットコードを入力 ▶［決定］▶［ ・ ］▶［設定］

- シークレットコード設定画面で をタッチすると、設定を解除します。

[グループ]

「グループなし」および「グループ 1」～「グループ 30」までの 31 種類が選択できます。グループ検索（P96）などに利用されます。

[画像] ※2

発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や i モーションなどを設定します。

マイピクチャ：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

i モーション／ムービー
：「データ BOX」の「i モーション／ムービー」内に保存されている動画／ i モーションから選択します。→P304

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→ P239

端末設定※3：「着信画面設定」の設定に従います。→ P112

[電話着信音] ※2

登録した相手から音声電話／テレビ電話を着信したときの着信音を設定します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル® から選択

メロディ：「データ BOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P267

i モーション／ムービー
：「データ BOX」の「i モーション／ムービー」内に保存されている動画／ i モーションから選択します。→P304

端末設定※3：「着信音選択」の設定に従います。→ P104

[メール画像] ※2

メール受信時に表示する画像や i モーションなどを設定します。

- 設定項目は「画像」と同じです。

[メール着信音] ※2

登録した相手からメールを受信したときの着信音を設定します。

- 設定項目は「電話着信音」と同じです。

次のページへ続く

[URL]
半角で 256 文字まで入力できます。

[郵便番号]
半角で 7 文字まで入力できます。

[自宅住所]
全角で 100 文字、半角で 200 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社名]
全角で 50 文字、半角で 100 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[役職名]
全角で 50 文字、半角で 100 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社郵便番号]
半角で 7 文字まで入力できます。

[会社住所]
全角で 100 文字、半角で 200 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[メモ機能]
全角で 100 文字、半角で 200 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[誕生日]
誕生日を入力できます。

[テレビ電話代替画像]
テレビ電話の代替画像を設定します。

マイピクチャ：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292
端末設定：「代替画像」の設定に従います。→ P68

[シークレット]
「シークレットモード」(P122)が「シークレットモード」に設定されている場合に表示されます。作成する電話帳をシークレットデータにする場合は「シークレットモード」をタッチします。

※ 1 シークレットコードについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA >編)』をご覧ください。
※ 2 画像と着信音のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。
※ 3 「着信音選択」(P104)「着信画面設定」(P112)に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに電話帳の「画像」または「電話着信音」、「メール画像」または「メール着信音」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「画像」または「着信音」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

3 [保存]

お知らせ

< シークレットコード >
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード @docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール送信や返信ができなくなります。「電話番号 @docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<シークレット>
- 「シークレットモード」(P129)を「シークレット専用モード」に設定して電話帳を登録した場合もシークレットデータになります。

- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」が「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- FOMAカード電話帳は、シークレットデータとして登録できません。
- シークレットデータの電話帳に登録されている名前は、「シークレットモード」を「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定中のみ、リダイヤルや履歴、およびメール一覧／詳細などの画面に表示されます。「シークレットモード」が「OFF」に設定されている場合は、電話番号やメールアドレスが表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、シークレットデータの電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、登録されている名前や画像は表示されず、設定されている着信音も鳴りません。

FOMAカード電話帳に登録する

1 電話帳登録画面（P88）▶「登録先」欄をタッチ▶「FOMAカード（UIM）」

電話帳登録画面
（FOMAカード）

2 次の操作を行う

［登録先］
電話帳の登録先を選択します。登録先に「本体」を選択した場合は、FOMA端末電話帳の登録画面が表示されます。→P88

［名前］
全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

［フリガナ］
必要な場合に入力／修正します。全角で12文字、半角で25文字まで入力できます。全角カタカナ、半角英数字、半角記号が入力できます。

［電話番号］
FOMAカード（緑色／白色）の場合は26桁、FOMAカード（青色）の場合は20桁まで入力できます。
- 「＊」「＋」「P」「#」が登録できます。
- 電話番号の入力画面で ▤ をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。
- 電話番号未入力時は、［CLR］をタッチすると入力をキャンセルできます。電話番号入力後は［CLR］をタッチすると、カーソルの左側の数字を消去します。

［メールアドレス］
半角で50文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

［グループ］
「グループなし」および「グループ1」～「グループ10」までの11種類が選択できます。グループ検索（P96）などに利用されます。

3 ［保存］

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

履歴やメール、メッセージの一覧画面や詳細画面など、電話番号やメールアドレスの情報が記録されている画面から電話帳登録ができます。また、電話番号入力画面やサイトなど、入力中／表示中の電話番号なども登録できます。

1 登録する内容が表示されている画面を表示

■ **リダイヤル一覧画面(P65)／リダイヤル詳細画面(P65)／着信履歴一覧画面（P67）／着信履歴詳細画面（P67）から登録する場合**

▶「電話帳登録」をタッチします。

- リダイヤル一覧画面／着信履歴一覧画面から登録する場合は、登録する履歴をタッチしてから操作してください。
- 電話番号が電話帳に登録済みの場合、「電話帳登録」は選択できません。

■ **電話番号入力画面（P60）から登録する場合**

［保存］をタッチします。

■ **メールの送信元や送信先のメールアドレスを登録する場合**

メール詳細画面で ▶「保存」▶「アドレス」をタッチします。

- メールアドレスが複数ある場合は登録するメールアドレスをタッチしてから操作します。
- SMS の場合は、メール詳細画面で ▶「電話番号保存」をタッチします。

■ **ｉモードメール本文中の電話番号を登録する場合**

電話帳に登録したい電話番号を 2 回タッチ ▶「電話帳登録」をタッチします。

■ **サイト／画面メモに表示されたアドレス／電話番号を登録する場合**

電話帳に登録したいアドレス／電話番号をタッチ ▶ ▶「電話帳登録」▶「はい」をタッチします。

2 次の操作を行う

［新規登録］

新しく電話帳を登録します。操作 3 へ進みます。

- 登録内容が入力された電話帳登録画面が表示されます。

［追加登録］

登録済みの電話帳の項目に追加登録します。電話帳の選択画面でリストボックスからタッチすると、電話帳の検索方法を変更できます。→ P95

▶ **追加登録する電話帳を 2 回タッチ**

- 登録内容が追加された電話帳登録画面が表示されます。
- FOMA カード電話帳に追加登録する場合は、上記操作を行うと登録内容が上書きされた電話帳登録画面が表示されます。

3 電話帳を登録／修正 ▶［保存］

- 登録の操作については、「FOMA 端末電話帳に登録する」の操作 2（P88）を参照してください。
- 追加登録した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」をタッチします。

お知らせ

- 登録可能文字数を超える内容を登録しようとすると、一部登録できない旨をお知らせする画面が表示され、超えた分の内容が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

グループ名を変更する

FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳をグループに分けることができます。FOMA 端末電話帳には 31 件まで、FOMA カード電話帳には 11 件までグループを登録できます(件数は「グループなし」を含む)。

- 「グループなし」は変更できません。
- FOMA カード電話帳の場合は、名前の変更のみできます。

1 **MENU ▶「電話帳」▶「グループ設定」**

- ［追加］：グループを新規作成します。
- ［本体・FOMA カード（UIM)］：FOMA 端末と FOMA カードのグループ設定一覧画面を切り替えます。

グループ設定一覧画面

2 **変更するグループを 2 回タッチ**

グループ設定画面

3 **次の操作を行う**

[グループ]
全角で 10 文字、半角で 21 文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、カタカナなどが入力できます。

[画像] ※1
グループに画像を設定します。発着信時や電話帳データを確認するときに表示されます。

マイピクチャ：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

ｉモーション／ムービー：「データ BOX」の「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P304

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→ P239

端末設定※2：「着信画面設定」の設定に従います。→ P112

[電話着信音] ※1

電話の着信音を設定します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→ P273
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

メロディ：「データ BOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P267

i モーション／ムービー
：「データ BOX」の「i モーション／ムービー」内に保存されている動画／i モーションから選択します。→P304

端末設定※2：「着信音選択」の設定に従います。→ P104

[メール画像] ※1

メール受信時に表示する画像や i モーションなどを設定します。

- 設定項目は「画像」と同じです。

[メール着信音] ※1

メール受信時の着信音を設定します。

- 設定項目は「電話着信音」と同じです。

[着信許可／拒否]

グループごとに着信を許可するかどうかを設定できます。「電話帳のグループごとに着信を許可／拒否する」の操作 2（P131）へ進みます。

※ 1 画像と着信音のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ i モーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ i モーションが設定されます。

※ 2 「着信音選択」（P104）「着信画面設定」（P112）に映像／音声が含まれる動画／ i モーションが設定されているときにグループ設定の「画像」または「電話着信音」、「メール画像」または「メール着信音」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「画像」または「着信音」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

4 **[保存]**

お知らせ

- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、シークレットデータの電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、設定されている画像や着信音は表示・再生されません。

グループ設定一覧画面のサブメニュー

1 **グループ設定一覧画面（P93）▶ [メニュー] ▶ 次の操作を行う**

[編集]

選択中のグループの設定内容を変更します。→ P93

[移動]

選択中のグループの表示位置を変更します。

▶ **移動させたいグループにタッチ ▶ 移動させたい位置までスライド ▶ [戻る]**

[削除]

1 件：選択中のグループを削除します。

全削除：グループをすべて削除します。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

- シークレットに設定されている電話帳を検索する場合は、あらかじめ「シークレットモード」を「シークレットモード」に設定してください。→P129

電話帳を呼び出して電話をかける

電話帳を呼び出して簡単に電話をかけることができます。

1 📖

「通常検索モード設定」で設定した検索モードの電話帳一覧画面が表示されます。→P100

電話帳一覧画面（例：全件検索の場合）

2 電話する相手をタッチ▶［発信］（または（電話キー））

■ **テレビ電話をかける場合**

［テレビ電話］をタッチします。

電話帳詳細画面での操作

1 📖▶電話する相手を2回タッチ

電話帳詳細画面が表示されます。

2 電話番号をタッチ▶（電話キー）

■ **テレビ電話をかける場合**

［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- 複数の電話番号が登録されている場合は、［発信］タッチすると、登録されている電話番号が一覧表示されます。タッチして電話番号を選択してください。
- 「シークレットモード」を「シークレット専用モード」（P129）に設定している場合は、シークレットデータの電話帳（P90）以外は検索／表示できません。

電話帳の検索方法

電話帳をいろいろな方法で検索できます。

1 MENU▶「電話帳」▶「電話帳検索」

- ［通常設定］：選択されている検索方法を、待受画面で 📖 をタッチしたときなどに表示される電話帳一覧画面の検索方法に設定します。

電話帳検索画面

2 次の操作を行う

[全件検索]
カナ（ア～ン）、英字（A ～ Z）、数字（0 ～ 9）、記号、空白の順に、すべての電話帳が表示されます。

▶「フリガナ」欄をタッチ ▶ 文字アイコンで入力 ▶ 検索リスト一覧を表示

[グループ検索]
電話帳がグループ別に検索／表示されます（グループ一覧画面）。グループを 2 回タッチすると、グループに登録されている電話帳が表示されます。
- ［FOMA カード (UIM)・本体］で FOMA 端末電話帳／ FOMA カード電話帳を切り替えます。

[フリガナ検索]
「フリガナ」に含まれる文字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。フリガナは 32 文字まで入力できます。
- フリガナ未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- フリガナは、先頭以外の文字でも検索できます。
- 入力モードを切り替えるときは Mode をタッチします。

[メモリ検索]
メモリ番号順に FOMA 端末に登録されている電話帳が表示されます。
- FOMA カード電話帳は表示できません。
- ダイヤルアイコンでメモリ番号を入力しても、電話帳を表示できます。

[電話番号検索]
登録されている電話番号に含まれる数字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。電話番号は 26 桁まで入力できます。
- 電話番号未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- 電話番号は、先頭以外の数字でも検索できます。

[ドメイン検索]
メールアドレスが登録されている電話帳をドメイン別に表示します。
- ◀、▶ でドメインを切り替えます。
- 検索するドメインは、あらかじめ登録しておきます。→ P100

電話帳の登録内容を確認する

1

❶ **電話帳の保存先**
- FOMA カード電話帳に保存されている場合、 が表示されます。

電話帳一覧画面

2 電話帳を2回タッチ

- 電話帳に画像が設定されている場合は、設定されている画像が表示されます。
- 各項目に表示されるアイコンの意味は、電話帳登録画面と同様です。→P88
- ［発信］：音声電話をかけます。
- ［編集］：電話帳を編集します。

電話帳詳細画面

電話帳一覧画面での操作

電話番号が登録されている電話帳をタッチして［ ］を押すと電話の発信、［テレビ電話］をタッチするとテレビ電話の発信をします。また、［ ］▶「メール／URL接続」▶「メール作成」でメールを作成します。このとき、複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、電話番号またはメールアドレスの選択画面が表示されます。

電話帳詳細画面での操作

電話番号をタッチして［ ］を押すと電話の発信、［テレビ電話］をタッチするとテレビ電話の発信をします。また、［メール］でｉモードメールを作成します。

お知らせ

- バックグラウンド再生中は、電話帳に登録されている動画／ｉモーションは再生されません。

電話帳一覧画面のサブメニュー

1 電話帳一覧画面（P96）▶［ ］▶次の操作を行う

［メール／URL接続］

メール作成やURL接続をします。

メール作成：選択中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P142

メール添付：選択中の電話帳を添付してｉモードメールを作成します。→P140

SMS作成：選択中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。→P140

URL接続：選択中の電話帳に登録されているURLのサイトに接続します。

［発信］

発信方法を選択します。複数の電話番号が登録されている場合は、発信方法を選択後、発信電話番号選択画面で発信先を選択します。

音声通話：音声電話をかけます。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。

カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。

国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。

- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

［新規作成］

電話帳を新規作成します。

［編集］

選択中の電話帳を編集します。→P99

[コピー]

選択中の電話帳をコピーまたはバックアップします。

FOMA カードへ 1 件コピー※1
: 選択中の電話帳を FOMA カードへコピーします。

本体へ 1 件コピー※2
: 選択中の電話帳を FOMA 端末にコピーします。

microSD へ 1 件コピー
: 選択中の電話帳を microSD カードにコピーします。

複数選択 : 本体または FOMA カードから電話帳を複数選択し、他の場所（本体／ FOMA カード／ microSD）へコピーします。
▶ コピー元をタッチ ▶ コピーしたい電話帳にチェックを付ける ▶ ［コピー］ ▶ コピー先をタッチ

microSD へ全件コピー
: FOMA 端末に登録されている電話帳の全データを microSD カードにバックアップします。
- 電話帳に登録されている画像は含まれません。

お預かりセンターに接続
: FOMA 端末に登録されている電話帳をお預かりセンターに保存します。→ P135

[Bluetooth 送信]

Bluetooth 機能を利用して電話帳を外部機器に転送します。→ P365

1 件 : 選択中の電話帳を送信します。

本体全件 : FOMA 端末に登録されている電話帳の全データを送信します。

FOMA カード全件
: FOMA カードに登録されている電話帳の全データを送信します。

[居場所を確認]

「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

[待受画面へ登録] ※3

使用者待受画面に電話帳を表示します。

▶ ★ を タッチ

[削除]

電話帳に登録されているデータを削除します。→ P100

[ドメインリスト作成] ※4

ドメイン検索で検索するドメインを作成します。→ P100

※ 1 FOMA 端末電話帳で表示されます。
※ 2 FOMA カード電話帳で表示されます。
※ 3 FOMA 端末電話帳のみ登録できます。
※ 4 ドメイン検索の場合のみ、表示されます。

電話帳詳細画面のサブメニュー

1 電話帳詳細画面（P97）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[メール／ URL 接続]

メール作成や URL 接続をします。

メール作成 : 表示中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にした i モードメールを作成します。→ P142

メール添付 : 表示中の電話帳を添付して i モードメールを作成します。→ P142

SMS 作成 : 表示中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にした SMS を作成します。→ P183

URL 接続 : 表示中の電話帳に登録されている URL のサイトに接続します。

[発信]
発信方法を選択します。

音声通話：音声電話をかけます。
テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。
国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。
- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

[コピー]
表示中の電話帳をコピーします。

項目コピー：表示中の電話帳の登録内容から項目を選択してコピーします。
FOMAカードへ1件コピー※1
：表示中の電話帳をFOMAカードにコピーします。
本体へ1件コピー※2
：表示中の電話帳をFOMA端末にコピーします。
microSDへ1件コピー
：表示中の電話帳をmicroSDカードにコピーします。

[Bluetooth送信]
Bluetooth機能を利用して、表示中の電話帳を外部機器に転送します。
→P365

[電話帳指定着信許可／拒否]
FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに着信許可／拒否を設定します。「電話番号ごとに着信許可／拒否を設定する」の操作3（P130）へ進みます。
- あらかじめ電話番号をタッチしている場合に選択できます。

[居場所を確認]
「イマドコかんたんサーチ」のサイトに接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

[待受画面へ登録] ※3
使用者待受画面に電話帳を表示します。

[削除]
表示中の電話帳を削除します。

※1 FOMA端末電話帳で表示されます。
※2 FOMAカード電話帳で表示されます。
※3 FOMA端末電話帳のみ登録できます。

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面（P97）▶［編集］▶ それぞれの項目を修正

「FOMA端末電話帳に登録する」（P88）または「FOMAカード電話帳に登録する」（P91）と同じ操作で、必要な項目を修正します。

■ **メモリ番号を変更して登録する場合**
メモリ番号を変更して登録すると、修正前の内容は元のメモリ番号にそのまま残り、修正した電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。
No（メモリ番号入力）▶ 電話帳が登録されていないメモリ番号（000～999）を入力します。

2 修正が終わったら［保存］▶「はい」

電話帳を削除する

例：電話帳一覧画面から削除する場合

1 電話帳一覧画面（P96）で削除する電話帳をタッチ ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[削除]

1 件　：選択中の電話帳を削除します。

選択　：本体または FOMA カードから電話帳を複数選択し、削除します。
▶「本体」／「FOMA カード（UIM）」▶ 削除したい電話帳にチェックを付ける ▶ ［削除］

本体全件　：FOMA 端末に登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

FOMA カード全件
：FOMA カードに登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

2「はい」

選択中／表示中の電話帳が削除されます。

お知らせ

- 電話帳詳細画面からは 1 件ずつのみ削除できます。電話帳詳細画面で ▤ ▶「削除」▶「はい」をタッチします。

電話帳登録件数

電話帳の登録状況を確認する

FOMA 端末と FOMA カードの電話帳の登録状況を確認できます。

1 MENU ▶「電話帳」▶「電話帳登録件数」

- 「シークレットモード」が「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定されている場合は、「シークレット登録件数」が表示されます。

電話帳を設定する

待受画面から呼び出せる電話帳などを設定できます。

1 MENU ▶「電話帳」▶「電話帳設定」▶ 次の操作を行う

[通常検索モード設定]

待受画面で 📖 をタッチしたときなどに表示される、電話帳一覧画面の検索方法を設定します。

[ドメインリスト作成]

ドメイン検索で検索するドメインを作成します。

▶ 空いている項目をタッチ ▶ ［追加］▶ ドメイン名を入力

[着信許可／拒否リスト]

「電話帳指定着信許可／拒否」で着信許可／拒否リストに登録されている電話番号の一覧が表示できます。

▶ 端末暗証番号を入力 ▶「着信許可リスト」／「着信拒否リスト」

- ［追加］：リストに電話番号を追加します。
- ［削除］：リストの電話番号を削除します。電話帳が登録されている場合に表示されます。
- サブメニューアイコンをタッチして「全削除」を行えます。

[画像表示設定]
電話帳に画像を表示する、表示しないから選択します。

設定したドメイン名を修正するには
ドメインリスト上から修正するドメインにタッチ▶［編集］▶ドメイン名を修正します。
ドメインリスト上の「@docomo.ne.jp」は修正できません。

設定したドメイン名を削除するには
ドメインリスト上から削除するドメインにタッチ▶［削除］▶「はい」をタッチします。

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

待受画面で（発信キー）を押して、電話番号入力画面でダイヤルアイコンをタッチして1桁から2桁の数字を入力するだけで、FOMA端末電話帳のメモリ番号「0」～「99」の電話番号に簡単に電話をかけることができます。
また、メールアドレスが登録されている場合は、簡単にメールを送信することもできます。

1 （発信キー）▶1桁から2桁の数字を入力

- ◀、▶でクイックダイヤルの番号を順次表示します。FOMA端末電話帳に登録されているメモリ番号のみで繰り返します。

入力した数字に該当するメモリ番号の電話帳の内容が表示されます。

2 ［通話］（または（発信キー））

■ **テレビ電話をかける場合**
［テレビ電話］をタッチします。

■ **メールを作成する場合**
［メール］をタッチします。

お知らせ
- 「クイックダイヤル」が「OFF」に設定されている場合は、本機能は動作しません。→P113
- 「001」や「011」など、1桁目や2桁目が「0」の3桁のメモリ番号の場合は、「0」を入力する必要はありません。
- FOMAカード電話帳には、本機能は動作しません。

通話やメールの履歴を表示する

1 MENU▶「通話／メール履歴」▶表示する履歴をタッチ

着信履歴　：着信履歴一覧画面が表示されます。→P67
リダイヤル：リダイヤル一覧画面が表示されます。→P65
通話最新履歴
：通話最新履歴一覧画面が表示されます。→P68
メール受信履歴
：メール受信履歴一覧画面が表示されます。→P173
メール送信履歴
：メール送信履歴一覧画面が表示されます。→P173
メール最新履歴
：メール最新履歴一覧画面が表示されます。→P173

お知らせ
- 通話最新履歴は待受画面で（アイコン）をタッチしても表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音選択

着信音を変える

音声電話やテレビ電話、メールなどの着信音を設定します。

- お買い上げ時に登録されている着信音やメロディ以外にも、ｉモードのサイトやインターネットのホームページから取得したｉモーションやメロディ、着うた®、着うたフル®を着信音に設定できます。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音選択」▶ 次の操作を行う

[音声電話着信音]
音声電話の着信音を選択します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→ P273

ｉモーション／ムービー
：「データ BOX」の「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P304

メロディ：「データ BOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P313

▶ 着信音を 2 回タッチして再生 ▶ [選択]

[テレビ電話着信音]
テレビ電話の着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メール着信音]
ｉモードメールの着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メッセージ R 着信音]
メッセージ R の着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[メッセージ F 着信音]
メッセージ F の着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。

[SMS 着信音]
SMS の着信音を選択します。
- 設定項目は「音声電話着信音」と同じです。
- 待受ｉアプリ設定時は、SMS の受信結果画面は表示されず、SMS 着信音およびバイブレータは動作しません。

お買い上げ時に登録されている着信音一覧

ｉモーション		
Alarm 01-04	Message 01-08	Ring_Canon
Ring_Carnaval	Ring_Cube EP	Ring_Cute Weather
Ring_Evening Glory	Ring_Fairy Palaces	Ring_Happy Call
Ring_Heart of Sky	Ring_Illusion	Ring_Jumping Jack
Ring_MooDy Vinyl	Ring_Mr. Right	Ring_Single Tone 01-05
Ring_Sweet Pie	Ring_Twilight	Ring_Whistling Wizard

メロディ		
Alarm 05	Message 09-10	Power off 01-02
Power on 01-02	Ring 01-05	

お知らせ

- 着信音に設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）
- 映像が含まれる動画／iモーションを着信音に設定（着モーション）すると、「着信画面設定」（P112）も同様に変更されます。
- 「メール着信音」「メッセージR着信音」「メッセージF着信音」に、映像が含まれる動画／iモーションを設定する場合は、これらすべての項目が同じ動画／iモーションに設定されます。個別には設定できません。
- 映像が含まれる動画／iモーションが着信音に設定されている場合、着信音をミュージックやメロディ、映像が含まれない動画／iモーションに変更すると自動的に着信画面はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 映像のみの動画／iモーションは、着信音に設定できません。
- 着信音の優先順位は以下のとおりです。
①マルチナンバーの着信音
②電話帳の着信音
③電話帳のグループ設定の着信音
④着信音選択

音量設定

着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「音量設定」

2 次の操作を行う

- − ／ + ：各項目の音量を調節します。音量を最小にすると、（ミュート）が表示され、音が鳴らなくなります。音量を調節するたびに、変更した音量で調節した項目の音が鳴ります（「受話音量」／「iアプリ音量」を除く）。
- 「音声／テレビ電話着信音」では「音声電話着信音」、「メール／メッセージ着信音」では「メール着信音」、「電源ON／OFF」では「電源ON」で設定した着信音／効果音でそれぞれ再生されます。
※「アラーム／スケジュール音」では、お買い上げ時の音が鳴ります。

［音声／テレビ電話着信音］※
音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

［メール／メッセージ着信音］※
メール／メッセージR/Fの着信音量を調節します。

［アラーム／スケジュール音］※
アラーム／スケジュール／To Doリストのアラーム音を調節します。

［ダイヤル音］
ダイヤル音の音量を調節します。

［電源ON／OFF］
FOMA端末の電源をONまたはOFFにしたときの音量を調節します。

次のページへ続く

［ポップアップ表示音］
ポップアップ画面が表示されたときの音量を調節します。

［受話音量］
受話音量を調節します。音を消すことはできません。

［ｉアプリ音量］
ｉアプリ利用時の音量を調節します。

※ 音量を最大にすると、（ステップ）が表示され、次第に音量を大きくすることができます。

お知らせ
- 受話音量は、通話中に（マナー）／（メモ）を押しても調節できます。→P78

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラームの起動時などに、振動で知らせるように設定できます。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「バイブレータ設定」

2 次の操作を行う

［音声／テレビ電話］※
音声電話／テレビ電話着信時に振動させるかどうかを設定します。
バイブレータはパターン１～パターン３から選択することができます。
▶［設定］

［メール／メッセージ着信］※
メール／メッセージR/F受信時に振動させるかどうかを設定します。
バイブレータはメッセージ１～メッセージ４から選択することができます。
▶［設定］

［アラーム／スケジュール］※
アラーム／スケジュール／To Doリストのアラームで振動させるかどうかを設定します。
バイブレータはアラーム１～アラーム４から選択することができます。
▶［設定］

［ポップアップ表示］
ポップアップ画面が表示されたときに振動させるかどうかを設定します。

［電源ON／OFF］※
FOMA端末の電源をONまたはOFFにしたときに振動させるかどうかを設定します。
バイブレータは電源バイブ１～電源バイブ３から選択することができます。
▶［設定］

※ バイブレータの種類をタッチすると振動を確認できます。

メロディコール設定

呼出音を変える

音声電話をかけてきた相手に、「プルル…」という呼出音の代わりにメロディを流すことができるサービスです。

- テレビ電話から発信された場合、メロディコールは流れません。
- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
- メロディコールの詳細については『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「メロディコール設定」▶「はい」

サイトへ接続するかどうかの確認画面で「はい」を選択すると、ｉモードサイトに接続されます。

- 設定サイトはパケット通信料無料ですが、IP サイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

タッチ設定

タッチしたときの音や振動を設定する

アイコンやメニューなどをタッチしたときの効果音やバイブレーションを設定します。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「タッチ設定」

2 次の操作を行う

［タッチ種類］

OFF	：効果音とバイブレータが動作しません。
サウンド	：「タッチ音」で設定した効果音が鳴ります。
バイブレータ	：「タッチ振動」で設定したバイブレータが振動します。
音＋バイブ	：「タッチ音」で設定した効果音が鳴ると同時に、「タッチ振動」で設定したバイブレータが振動します。

［タッチ音］ ※1

アイコンやメニューをタッチしたときに鳴る効果音をサウンド１～サウンド３から選択します。

▶［設定］

- ▶ をタッチすると、効果音を選択するたびに音を鳴らして確認できます。ただし、「タッチ音レベル」を「ミュート」に設定している場合は、効果音を確認できません。

［タッチ振動］ ※2

アイコンやメニューをタッチしたときに振動するバイブレータをバイブ１～バイブ３から選択します。

▶［設定］

［タッチ音レベル］ ※1

－、＋ でタッチ音の大きさを調節します。

［タッチ振動レベル］ ※2

－、＋ でタッチ振動の強さを調節します。

※１「タッチ種類」で「サウンド」または「音＋バイブ」を選択すると設定できます。
※２「タッチ種類」で「バイブレータ」または「音＋バイブ」を選択すると設定できます。

効果音選択

操作したときに鳴る音を設定する

各種操作を行ったときの効果音を設定します。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「効果音選択」

2 次の操作を行う

[ダイヤル音]
電話番号入力画面（P60）でダイヤルアイコン、[*]、[#] をタッチしたときの効果音を選択します。「日本語」「英語」「韓国語」に設定すると、ダイヤルアイコンで入力した数字を読み上げます。

▶［設定］
- 設定項目の選択画面で ▶ をタッチすると、効果音を選択するたびに音を鳴らして確認できます。

[電源 ON]
電源を ON にしたときの効果音を選択します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→ P273
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作 3（P270）へ進みます。

メロディ：「データ BOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P313

▶ 効果音を 2 回タッチして再生 ▶［選択］

[電源 OFF]
電源を OFF にしたときの効果音を選択します。
- 設定項目は「電源 ON」と同じです。

[バッテリー警告音]
電池残量が少なくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

[充電確認音]
充電を終了したときの確認音を鳴らすかどうか設定します。

通話品質アラーム

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

通話状態が悪くなり途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。
- 急に通話状態が悪くなると、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話品質アラーム」▶「アラームなし」／「アラーム低音」／「アラーム高音」

メール鳴動設定

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

メール受信時の着信音の鳴動回数や鳴動時間を設定します。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「メール鳴動設定」▶ 次の操作を行う

［鳴動設定］

OFF：着信音が鳴らないようにします。

1回のみ：ミュージックやメロディなど設定した着信音の長さに応じて最大約30秒まで、着信音を1回鳴らします。

時間設定：着信音の鳴動時間を設定します。
▶「時間設定（1～30）」▶ 鳴動時間を入力 ▶［設定］

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、着信音やアラームなどをイヤホンからだけ鳴るように設定できます。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「イヤホン切替設定」

2「イヤホンのみ」／「イヤホン＋スピーカー」

お知らせ

- マナーモード設定中は、イヤホンからのみ着信音などが鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンを接続していないときは、スピーカーから音が鳴ります。
- 本設定に関わらず、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音は、スピーカーから鳴ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

FOMA端末から聞こえる音を鳴らさないようにして、周囲の迷惑にならないようにします。

1 ◀（マナー）（1秒以上）

マナーモードを解除するには

待受画面を表示中に ◀（マナー）（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 待受画面 ▶ 🗑 で［#］を1秒以上タッチしても、マナーモードを設定／解除できます。
- マナーモードには、「マナーモード」「オリジナルマナーモード」の2種類のモードがあります。→P110
- マナーモードが設定されると、画面上部に（マナーモード設定中はピンク、オリジナルマナーモード設定中は青）が表示されます。
- マナーモードを設定中にメロディや動画／iモーションなどを再生しようとすると、再生の確認画面が表示されます。
- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音は鳴ります。

マナーモード設定

マナーモードを変更する

マナーモードの動作を「マナーモード」「オリジナルマナーモード」から選択します。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「マナーモード設定」▶「マナーモード」／「オリジナルマナーモード」▶「設定」

オリジナルマナーモードの設定内容を変更する

オリジナルマナーモードではマナーモード設定時の設定内容を変更できます。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「マナーモード設定」▶「オリジナルマナーモード」

2 次の操作を行う

- ［−］／［＋］：選択されている項目の振動パターンや音量を設定します。音量を最小にすると、（ミュート）が表示され、音が鳴らなくなります。

［バイブレータ］
［ I ・ O ］で設定します。

I ：音声やテレビ電話着信、メールやメッセージの受信などの着信を振動で知らせます。

O ：振動しません。

［電話着信音量］※
音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

［メール着信音量］※
メール／メッセージ R/F の着信音量を調節します。

［アラーム音量］※
アラーム／スケジュール／ To Do リストのアラーム音を調節します。

［効果音］
効果音やポップアップが表示されたときの音量を調節します。

［バッテリー警告音］
電池残量が少なくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

［充電確認音］
充電を開始したときの確認音を鳴らすかどうか設定します。

［マイク感度アップ］
小さな声でも相手に聞こえやすくするかどうか設定します。

※ 音量を最大にすると、（ステップ）が表示され、次第に音量を大きくすることができます。

待受画面の表示を変える

待受画面に表示する内容（壁紙、時計）を設定します。待受画面には基本待受画面と使用者待受画面の2種類があります。

基本待受画面を設定する

基本待受画面に表示する画像を設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「待受画面設定」

待受画面設定画面

2 「基本待受画面設定」

3 次の操作を行う

- ［プレビュー］：選択された内容のプレビュー画面が表示されます。画面をタッチすると待受画面設定画面に戻ります。

［壁紙］

壁紙を設定します。

画像　：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P292
- マイピクチャから作成したスライドショーは、本操作では選択できません。スライドショー一覧画面（P301）から待受画面設定を行ってください。

▶ファイルを2回タッチして表示／再生▶［選択］

iモーション／ムービー
：「データBOX」の「iモーション／ムービー」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P304

▶ファイルを2回タッチして表示／再生▶［選択］

iアプリ　：FOMA端末に保存されている待受iアプリから選択します。→P287

［画面表示］

基本待受画面の時計の表示を設定します。

時計表示　：基本待受画面に時計を設定するかどうかを設定します。

時計表示設定　：表示する時計を選択します。
- 「時計表示」がONになっている場合のみ選択できます。
- 「Dual clock」を設定すると、基本待受画面に日本ともう1つの国（または地域、都市）の時刻を同時に表示することができます。

使用者待受画面を設定する

使用者待受画面表示する画像を設定します。

1 待受画面設定画面（P111）▶「使用者待受画面設定」

2 ◀／▶で壁紙を選択▶［設定］

次のページへ続く

「Dual clock」を設定する

「時計表示設定」で「Dual clock」を選択すると、基本待受画面に日本ともう 1 つの国（または地域、都市）の日付と時刻を表示します。
Dual clock の下側に表示される時計の国や地域、および都市を選択します。

▶スライドして地域を選択▶地域をタッチ▶詳細の地域をタッチ▶「選択」または都市名をタッチ

- 🔍 をタッチすると、都市名のリストを表示して選択できます。文字アイコンで都市名を入力して検索することもできます。

お知らせ

- データによっては基本待受画面に設定できない場合があります。
- 基本待受画面に設定した動画／ｉモーションや Flash 画像は、🏠 を押すと再生／停止できます。
- 基本待受画面に設定した動画／ｉモーションから Web To 機能は利用できません。
- 基本待受画面を表示すると、時計などの Flash 画像や GIF アニメーションは、一定時間再生した後に停止します。

＜「時計表示」設定時＞

- 「自動時刻時差補正」（P55）や「タイムゾーン設定」（P55）でタイムゾーンが日本と異なる時間帯（GMT+9 以外）に設定された場合は、自動的に「Dual clock」に変更されます。
- 設定後、基本待受画面で時計表示をタッチすると、次の画面を表示できます。
  - 「Dual clock」
    上下どちらの時計をタッチしても世界時計画面を表示できます。
  - その他の時計
    アラーム一覧画面（P341）を表示できます（日付を選択した場合は、スケジュールのカレンダー画面（P345）を表示できます）。

ロック画面設定

キーロック中の画像を設定する

キーロック中に表示される画像を設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「ロック画面設定」

2 ◀ ／ ▶ で画像を選択 ▶［設定］

着信画面設定

着信時の画像を設定する

電話の着信時などに表示される画像を設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「着信画面設定」

2 次の操作を行う

- ［プレビュー］：選択された画像のプレビュー画面が表示されます。画面をタッチすると設定画面に戻ります。

［音声着信］

音声着信時に表示する画像を設定します。

画像　：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

ｉモーション／ムービー
：「データ BOX」の「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→ P304

▶ファイルを 2 回タッチして表示▶［選択］

［テレビ電話着信］

テレビ電話着信時に表示する画像を設定します。

- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[メール送信]

メール送信時に表示する画像を、「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

▶ 画像を 2 回タッチして表示 ▶ [選択]

[メール受信]

メール/メッセージ R/F 受信時に表示する画像を、「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

▶ 画像を 2 回タッチして表示 ▶ [選択]

[メール受信完了]

メール/メッセージ R/F 受信完了時に表示する画像を設定します。

- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[ｉモード問い合わせ]

ｉモード問い合わせ完了時に表示する画像を、「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292

▶ 画像を 2 回タッチして表示 ▶ [選択]

[SMS 受信完了]

SMS 受信完了時に表示する画像を設定します。

- 設定項目は「音声着信」と同じです。

お知らせ

- 音声のみ、または映像のみの動画/ｉモーションは着信画面に設定できません。
- 音声が含まれる動画/ｉモーションを着信画面に設定すると、「着信音選択」(P104) も同様に変更されます。
- 音声が含まれる動画/ｉモーションが着信画像に設定されている場合、着信画像を静止画や音声が含まれない動画/ｉモーションに変更すると自動的に着信音はお買い上げ時の状態に戻ります。

電話帳画像表示

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合に、電話帳に設定されている画像を表示します。

1 MENU ▶「発着信/通話機能」▶「着信機能」▶「電話帳画像表示」の [I ・ O]

お知らせ

- 電話がかかってきたときの画像表示の優先順位は以下のとおりです。
  ① 電話帳の設定画像
  ② 電話帳のグループ設定の画像
  ③ 着信画面設定の設定画像

クイックダイヤル

電話番号入力画面の表示を設定する

待受画面で (⊡) を押して、電話番号入力画面でダイヤルアイコンをタッチして 1 桁から 2 桁の数字を入力したときに、該当するメモリ番号の電話帳を検索して表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「クイックダイヤル」の [I ・ O]

ウェイクアップ設定

起動時の画像を設定する

起動時に表示される画像を設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「ウェイクアップ設定」

2 [一覧] ▶ 画像を 2 回タッチ

- 他のフォルダを選択する場合は、↩をタッチしてから選択してください。

3 [選択]

- 画像をタッチ ▶［選択］でも画像を設定できます。

お知らせ

- Flash 画像はウェイクアップ画面に設定できません。

照明設定

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明時間や明るさを設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「照明設定」▶ 次の操作を行う

[照明時間]
ディスプレイの照明時間を 10 秒〜 10 分の間、または時間無制限点灯から設定します。

- 最後の操作から設定した時間が経過すると「照明明るさ」の「40%」の状態になり、さらに約 5 秒経過すると完全に消灯します。

[照明明るさ]
ディスプレイの照明の明るさを設定します。

[充電器接続時]
充電器接続時の照明を設定します。

端末設定に従う：「照明時間」「照明明るさ」の設定に従います。
常時点灯：常時点灯します。

お知らせ

- 音声電話中は、設定した時間が経過すると完全に消灯します。

eco モード

eco モードを設定する

ディスプレイの照明の明るさを最小レベルに設定し、最後の操作から約 10 秒経過すると消灯するように設定します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「eco モード」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 待受画面 ▶ (🗑) で［5］を 1 秒以上タッチしても、eco モードを設定／解除できます。
- eco モードを設定中は、「タッチ設定」「照明設定」は行えません。また、「タッチ設定」でバイブレータを有効にしている場合でも、バイブレータは機能しません。

メニュータイプ設定

メニュータイプを変更する

メインメニューには次の３種類があり、切り替えて使用することができます。

- ラインスクロール：インデックスごとにアイコンが分類されています。
- エリアスクロール：３画面にわたってアイコンが表示されています。
- ベーシック：１画面に 12 個のアイコンが表示されています。

1 MENU ▶「メニュータイプ」▶「ラインスクロール」／「エリアスクロール」／「ベーシック」

アイコンを並び替える

メインメニューのアイコンを並び替えることができます。

- 「ラインスクロール」では、インデックス内でアイコンを並び替えることができます。
- 「エリアスクロール」では、アイコンを並び替えることができます。

1 アイコンをタッチ（1 秒以上）▶ 移動させたい場所にドラッグ

アイコンの配置を初期設定に戻すには

設定リセットで、アイコンの配置がお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、各機能で変更した設定もお買い上げ時の状態に戻りますのでご注意ください。→ P136

イルミネーション設定

着信時などのイルミネーションを設定する

着信やアラームをお知らせするイルミネーションを設定します。

1 MENU ▶「表示」▶「イルミネーション設定」▶ 次の操作を行う

［イルミネーション設定］
イルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

［音声着信］ ※
音声電話着信時のイルミネーションパターンを設定します。

OFF	：イルミネーションを無効にします。
1 color	：単色のイルミネーションパターンを設定します。
2 colors	：２色で構成されるイルミネーションパターンを設定します。
More colors	：３色以上で構成されるイルミネーションパターンを設定します。

- ［プレビュー］：選択中の項目に設定されているイルミネーションが表示されます（不在着信や未読メール／メッセージがあり、イルミネーションが点灯、点滅している場合は、表示されません）。

［テレビ電話着信］ ※
テレビ電話着信時のイルミネーションパターンを設定します。

- 設定項目は「音声着信」と同じです。

［メール受信］ ※
メール／メッセージ R/F 受信時のイルミネーションパターンを設定します。

- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[伝言メモ] ※
新しい伝言メモが録音されたときのイルミネーションパターンを設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[留守番電話] ※
留守番電話に新しい伝言メッセージが録音されたときのイルミネーションパターンを設定します。
- 「件数増加時鳴動設定」が「はい」になっている場合のみ有効になります。→P387
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[メール送信] ※
メール送信時のイルミネーションパターンを設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[音楽再生時] ※
音楽再生時のイルミネーションパターンを設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[アラーム] ※
アラーム鳴動時のイルミネーションパターンを設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[スケジュール/To Do リスト] ※
スケジュール/To Do リストのアラーム鳴動時のイルミネーションパターンを設定します。
- 設定項目は「音声着信」と同じです。

[不在着信] ※
不在着信時にイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

[未読メール/メッセージ] ※
未読のメールや SMS、メッセージがある場合にイルミネーションを点灯、点滅させるかどうかを設定します。

[ロック解除] ※
ロック解除の時、イルミネーションを点滅させるかどうかを設定します。

※「イルミネーション設定」を ■ にすると設定できます。

お知らせ
- 「不在着信」のイルミネーションは、約 5 秒間隔で約 6 時間 Aqua 色に点灯、点滅します。
- 「未読メール/メッセージ」のイルミネーションは、約 5 秒間隔で約 6 時間 Green 色に点灯、点滅します。

日付／時刻表示設定

時計の表示を設定する

日付や時刻の表示形式を設定できます。

- スケジュールや電話、メールの履歴画面などの日付や時刻の表示形式を設定できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「日付／時刻」▶「日付／時刻表示設定」▶ 次の操作を行う

[日付表示形式]
日付の表示形式を設定します。

[時刻表示形式]
時刻の表示形式を設定します。

お知らせ

- YYYY は年、MM は月、DD は日付を表しています。

Select language

画面を英語や韓国語表示に切り替える

FOMA 端末の表示言語を日本語、英語または韓国語に切り替えることができます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「Select language」▶「日本語」／「English」／「한국어」（韓国語）

お知らせ

- 英語や韓国語表示に切り替えている場合は、「Select language」は「マルチリンガル」と表示されます。
- ケータイモードで韓国語表示に切り替えている場合は、カメラモードでは日本語表示となります。
- 本設定内容は FOMA 端末と挿入されている FOMA カードに記憶されます。別の FOMA カードを挿入した場合は、挿入した FOMA カードの設定が優先されます。また、韓国語に設定した FOMA カードを韓国語非対応の FOMA 端末に挿入した場合は、日本語または英語になります。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」

FOMA 端末で利用する暗証番号

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA 端末を活用してください。

・入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「＊」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

・設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
・暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
・各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や FOMA 端末、FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
・PIN ロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）と FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→ P122

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、4 〜 8 桁の端末暗証番号を入力し、［OK］をタッチします。

端末暗証番号
入力画面

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や、各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字 4 桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、「ｉ Menu・検索」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」から変更できます。

・「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には４桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは､ご契約時は｢0000｣に設定されていますが､お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから変更される場合は、「ｉ Menu・検索」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

PIN1 コード／ PIN2 コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという２つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
→ P122
PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードを FOMA 端末に差し込むたびに、または FOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN1 コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2 コードは、積算通話料金のリセットなどに使用する４～８桁の番号です。

PIN1 コード／ PIN2 コード入力画面が表示された場合は、４～８桁の PIN1 コード／ PIN2 コードを入力し、［OK］をタッチします。

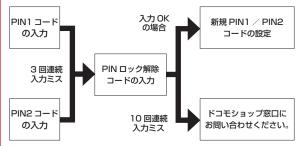
- 新しく FOMA 端末を購入されて、現在ご利用中の FOMA カードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定された PIN1 コード、PIN2 コードをご利用ください。
- ３回連続して誤った PIN1 コード／ PIN2 コードを入力した場合は、PIN1 コード／ PIN2 コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数は画面に表示されます）。
  正しい PIN1 コード／ PIN2 コードを入力すると、入力可能な残りの回数が３回に戻ります。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
あと3回

PIN コード
入力画面
（例：PIN1
コードの場合）

PIN ロック解除コード

PIN ロック解除コードは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続で失敗すると、FOMA カードがロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号を変更できます。

1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」

2 現在の端末暗証番号を入力

端末暗証番号変更画面が表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力

新しい端末暗証番号の再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力した端末暗証番号を再入力

PINコード

PINコードを設定する

PIN1コードリクエスト

電源を入れたときにPIN1コードを入力させる

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コード入力画面を表示させ、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コードリクエスト」の[I ・ O]▶PIN1コードを入力

お知らせ

- 「PIN1コードリクエスト」の設定は、FOMAカードに保存されます。

PIN1／PIN2コード変更

PIN1コード／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コードリクエスト」を I に設定してください。

1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力

2 「PIN1コード変更」／「PIN2コード変更」▶現在のPIN1コード／PIN2コードを入力

新規PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力

新規PIN1コード／PIN2コード再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力

お知らせ

- PIN1／PIN2コードは、FOMAカードに保存されます。

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力を3回連続で間違えてPINロック解除コード入力画面が表示された場合は、PINロック解除コードを入力してロックを解除します。

- PINコードのロックを解除した場合は、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード入力画面▶PINロック解除コード（8桁）を入力

新規PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード（4～8桁）を入力

新規PIN1コード／PIN2コード再入力画面が表示されます。

3 操作2で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末をロックし、使用できないようにします。

- オールロック設定中は、電源ON／OFF、緊急通報、音声電話／テレビ電話着信、オールロック解除、キーロックの設定／解除以外の操作はできません。

1 MENU▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「オールロック」▶端末暗証番号を入力▶「はい」

オールロック設定中に緊急通報（110番、119番、118番）するには

オールロック設定中でも緊急通報（110番、119番、118番）ができます。ただし、FOMAカードが取り付けられていない場合は、基本待受画面に［緊急呼］が表示されません。

▶［緊急呼］▶緊急通報の番号をタッチ▶［はい］

オールロックを解除するには

▶［ロック解除］▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

お知らせ

- オールロックが設定されると、基本待受画面に ALL が表示されます。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- 「メモリ登録外着信拒否」を I に設定中にオールロックを設定すると、電話帳に登録されている相手からの着信も拒否します。
- オールロック設定中は、「電話帳指定着信許可／拒否」の設定に関わらず着信します。
- オールロック設定中は、メールやメッセージR/Fを受信しても受信結果画面やアイコンは表示されません。
- オールロック設定中は、iチャネルのテロップは表示されません。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約･利用休止･電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります）。

おまかせロックの設定／解除
0120－524－360※　　受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
- パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

おまかせロックを設定すると「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのキー操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、iモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。ただし、オールロックまたは公共モード（ドライブモード）を設定中におまかせロックを設定した場合、音声／テレビ電話の着信もできなくなります。
- 「メモリ登録外着信拒否」を Ⅰ に設定中におまかせロックを設定すると、電話帳に登録されている相手からの着信も拒否します。
- おまかせロック中は、「電話帳指定着信許可／拒否」の設定に関わらず着信します。
- FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

発信や着信ができないようにする

発着信／メールロック設定

機能を選んで発信や着信などができないようにする

ダイヤルアイコン操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示などができないようにします。

1 **MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「発着信／メールロック設定」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 次の操作を行う**

［発着信／メールロック設定］
発着信／メールロック設定を有効にするかどうかを設定します。

［ダイヤル発信制限］ ※
次の操作をできないようにします。
- ダイヤルアイコン入力による発信
- メール受信履歴やメール送信履歴、メール最新履歴からの発信
- 着信履歴やリダイヤル、通話最新履歴からの発信（電話帳に登録されている場合や 110 番、119 番、118 番の緊急通報は発信可能）
- 電話帳の登録､編集､削除（Bluetooth 機能による送受信､microSD カードとのコピー／移動、FOMA カードとのコピー含む）

［メール送信制限］ ※
次の操作をできないようにします。
- ダイヤルアイコンによるメールの宛先入力
- メール送信履歴、メール最新履歴の表示
- 着信履歴やリダイヤル、通話最新履歴、メール受信履歴からのメール送信（電話帳に登録されている場合は送信可能）
- パソコンなどとの接続によるデータ通信
- 電話帳の登録、編集、削除（Bluetooth 機能による送受信、microSD カードとのコピー／移動、FOMA カードとのコピー含む）

［ダイヤル着信制限］ ※
電話の着信をできないようにします。設定中は不在着信を示すアイコンが表示されません。
- 電話をかけてきた相手には「プー･･･」という話中音が流れます。

［メール受信表示制限］ ※
送受信したメール／メッセージ R/F を表示できないようにします。設定中はメールの受信を示すアイコンは表示されず、FOMA 端末内のメールやメール受信履歴、メール最新履歴も表示できなくなります。

※「発着信／メールロック設定」を ■ にすると設定できます。

2 **［完了］**

セルフモード

すべての発信や着信ができないようにする

電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、Bluetooth 機能によるデータ送受信も利用できません。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「セルフモード」の［ I ・ O ］▶「はい」

お知らせ

- セルフモードが設定されると、待受画面に Self が表示されます。
- セルフモード設定中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード設定中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード設定中でも留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード設定中に送られてきたメールやメッセージ R/F は、ｉモードセンターで、SMS は SMS センターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問い合わせ／ SMS 問い合わせをしてください。
- セルフモード設定中に電話がかかってきた場合、セルフモード解除後に基本待受画面に不在着信アイコンは表示されません。

プライバシーモード設定

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

指定した機能をロックし、端末暗証番号を入力しないと利用できないようにしたり、利用を制限したりできます。

1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「プライバシーモード設定」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 次の操作を行う

［プライバシーモード設定］
プライバシーモード設定を有効にするかどうかを設定します。

［メール］ ※
端末暗証番号を入力しないと、メールメニューが使用できなくなります。
- 基本待受画面から未読メールを開くときも、端末暗証番号の入力が必要になります。
- ｉモードメールの自動送信は行えます。

［電話帳］ ※
端末暗証番号を入力しないと、電話帳が使用できなくなります。
- リダイヤルや履歴には電話帳の登録名が表示されず、相手から通知された電話番号やアドレスが表示されます。
- Bluetooth 機能などを利用した電話帳の受信ができなくなります。

［データ BOX］ ※
端末暗証番号を入力しないと、データ BOX のデータが使用できなくなります。
- Bluetooth 機能などを利用した画像やメロディなどデータ BOX に保存されるデータの受信ができなくなります。

［伝言メモ］※
端末暗証番号を入力しないと、伝言メモが使用できなくなります。
- 伝言メモを「On」に設定してロックした場合、伝言メモが録音されても基本待受画面に は表示されません。

［スケジュール］※
端末暗証番号を入力しないと、スケジュール機能が使用できなくなります。
- スケジュールに設定されたアラームは、通知されなくなります。

［ｉモード］※
端末暗証番号を入力しないと、ｉモード機能が使用できなくなります。
- Web To などｉモードメニュー画面以外からのｉモード接続ができなくなります。
- ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。
- スキャン機能のパターンデータ更新およびパターンデータ自動更新ができなくなります。
- ｉアプリからの通信は行えます。
- ｉアプリのメニューからｉアプリのバージョンアップは行えます。

［ｉアプリ］※
端末暗証番号を入力しないと、ｉアプリが使用できなくなります。
- ｉアプリを基本待受画面に設定している場合は、基本待受画面に表示されなくなります。

［テキストメモ］※
端末暗証番号を入力しないと、テキストメモが使用できなくなります。
- 音声電話中画面からメモの作成・保存は行えます。

［ドキュメントビューア］※
端末暗証番号を入力しないと、ドキュメントビューアが使用できなくなります。

※「プライバシーモード設定」を にすると設定できます。

2 ［完了］

お知らせ

- プライバシーモード設定を にした場合に、基本待受画面に表示されるアイコンについて→ P33
- 次の場合に端末暗証番号を入力して機能を呼び出すことができます。
  - メインメニューなどから機能を呼び出す場合
  - 待受画面表示時に機能呼び出しに割り当てられているキーを押した場合
  - マルチタスク画面（P340）から機能を呼び出す場合
- プライバシーモード設定を に設定して「データ BOX」にチェックを付けている場合でも、カメラモードのアルバム表示では、microSD カードの「データ BOX」内「マイピクチャ」の「カメラ（microSD）」フォルダに保存された静止画と「データ BOX」内「ｉモーション／ムービー」の「カメラ（microSD）」フォルダに保存された動画は表示されます。撮影した静止画／動画をアルバム表示させないようにするには、「カメラ（microSD）」フォルダの静止画／動画を本体に移動してください。→ P320

キーロック

タッチパネルやキーの誤操作を防止する

タッチパネルとキーをロックして使用できなくします。
「照明設定」(P114)で設定した照明時間+5秒でもキーロック状態になります。

手動でキーロックを設定する

1 🔒

キーロックを解除する

1 🔒（1 秒以上）

- ［キーロック解除］を 1 秒以上タッチ ▶［解除します］で指を離しても、キーロックの解除ができます。ディスプレイ消灯時は、🔒 ／ 🏠 を押してディスプレイを点灯して［キーロック解除］を表示させます。

お知らせ

- キーロックが設定されると、ロック画面に［キーロック解除］が表示されます。
- キーロック中に電話の着信があった場合は、ディスプレイに着信中画面などが表示され、一時的に操作できます。
- 通話中、発信中や通信中などキーロックを設定できない場合があります。
- カメラモードでキーロックを設定した場合の動作は異なります。→ P235

履歴表示設定

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴を表示しないように設定できます。

1 MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶ 端末暗証番号を入力

2 設定する項目の［ I ・ O ］

リダイヤル：リダイヤルを表示させるかどうかを設定します。
着信履歴：着信履歴を表示させるかどうかを設定します。
メール送信履歴
：メール送信履歴を表示させるかどうかを設定します。
メール受信履歴
：メール受信履歴を表示させるかどうかを設定します。

お知らせ

- 「着信履歴」を O に設定した場合は、伝言メモ一覧は表示されません。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

電話帳とスケジュールのシークレットデータを表示するかどうかを設定できます。

1 **MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「OFF」／「シークレットモード」／「シークレット専用モード」**

OFF ：シークレットデータ以外の一般データのみ表示されます。

シークレットモード

：シークレットデータと一般データをすべて表示します。

シークレット専用モード

：シークレットデータのみ表示します。

お知らせ

- シークレットモードを「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定した場合に、待受画面に表示されるアイコンについて→ P33

指定した電話番号からの電話を受けない

- 以下の機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービス（P392）および非通知着信（P132）を同時に設定することをおすすめします。
- ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信されます。

リスト指定着信拒否

リストに登録した相手からの電話を受けない

リストに登録した特定の相手からの電話を拒否するように設定できます。

着信拒否する電話番号を登録する

着信拒否する電話番号を 20 件まで登録、編集します。

1 **MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶ 端末暗証暗号を入力 ▶「着信拒否リスト編集」**

- 着信拒否リストをタッチ ▶［検索］：電話帳から着信拒否する電話番号を呼び出します。

着信拒否リスト編集画面

次のページへ続く

2 空いている着信拒否リストを２回タッチ ▶ 拒否する電話番号を入力 ▶［設定］▶「ミュート」／「非接続」

ミュート ： 着信音を消音して着信します。
非接続 ： 着信動作を行いません。

登録した電話番号を削除するには
着信拒否リスト編集画面で削除する電話番号を２回タッチ ▶「削除」をタッチします。

登録した電話番号を編集するには
着信拒否リスト編集画面で編集する電話番号を２回タッチ ▶「編集」をタッチします。

リスト指定着信拒否を設定する

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「着信許可／拒否設定」▶「リスト指定着信拒否」

■ 解除する場合
「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」をタッチします。

お知らせ

- リスト指定着信拒否の設定中に、「非接続」に登録されている相手から着信した場合は、着信は通知されず、基本待受画面に 1 が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー･･･」という話中音が流れます。
- 電話帳で「着信許可」に登録されている電話番号（P130）は、着信拒否リストに登録できません。

電話帳指定着信許可／拒否

電話帳に登録した電話番号ごとに着信を許可／拒否する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号ごとに着信許可／拒否を設定します。

- FOMA カード電話帳には設定できません。

電話番号ごとに着信許可／拒否を設定する

- 着信許可／拒否はそれぞれ 20 件まで登録できます。

1 ▶ 電話帳を２回タッチ

電話帳詳細画面が表示されます。

2 電話番号をタッチ ▶ ▶「電話帳指定着信許可／拒否」

3 端末暗証番号を入力 ▶「設定なし」／「電話帳指定着信拒否」／「着信許可」

設定なし ： 設定を解除します。
電話帳指定着信拒否
： 選択した電話番号からの着信を拒否します。
着信許可 ： 選択した電話番号からの着信のみを許可します。「着信許可」に設定されていない他の電話番号からの着信は拒否します。

お知らせ

- 「電話帳指定着信拒否」に設定した電話番号から着信した場合や、「着信許可」に設定した電話番号以外から着信した場合は、着信は通知されず、基本待受画面に が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー・・・」という話中音が流れます。
- 「リスト指定着信拒否」(P129)に登録されている電話番号は、「着信許可」に設定できません。
- 着信許可／拒否を設定した電話番号を変更したり削除したりすると、設定が解除されます。変更または再登録後の電話番号に対して、再度着信許可／拒否を設定してください。
- 着信許可／拒否を設定した電話番号は、「着信許可／着信拒否リスト」で確認・追加・削除できます。→P100
- 電話帳に表示される電話番号のアイコンは、着信拒否に設定した場合は 、着信許可に設定した場合は となります。
- オールロック設定中は、本設定に関わらず着信します。

電話帳のグループごとに着信を許可／拒否する

1 ▶「電話帳」▶「グループ設定」▶グループを2回タッチ▶「着信許可／拒否」欄をタッチ

2 端末暗証番号を入力▶「設定なし」／「電話帳指定着信拒否」／「着信許可」

設定なし：設定を解除します。

電話帳指定着信拒否

：選択したグループからの着信を拒否します。

着信許可：選択したグループからの着信のみを許可します。「着信許可」に設定されていない他のグループからの着信は拒否します。

お知らせ

- 「電話帳指定着信拒否」に設定したグループから着信した場合や、「着信許可」に設定したグループ以外から着信した場合は、着信は通知されず、基本待受画面に が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー・・・」という話中音が流れます。
- 電話番号ごとの着信許可／拒否設定の方が優先されます。
- 「リスト指定着信拒否」（P129）に登録された電話番号を含むグループを本設定で「着信許可」に設定した場合は、「リスト指定着信拒否」が優先されます。
- オールロック設定中は、本設定に関わらず着信します。

全着信拒否

すべての着信を拒否する

かかってきたすべての電話の着信音を消音したり、着信動作を行わずに切断したりできます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「着信許可／拒否設定」▶「全着信拒否」▶「ミュート」／「非接続」

ミュート：かかってきたすべての電話の着信音を消音して着信します。

非接続：かかってきたすべての電話の着信動作を行いません。

■ **解除する場合**

「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」をタッチします。

お知らせ

- 「非接続」に設定中に着信した場合は、着信は通知されず、基本待受画面に （1）が表示され、不在着信として着信履歴が記録されます。相手には「プー・・・」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知着信

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない電話の着信を、非通知理由ごとに拒否できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「非通知着信」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 次の操作を行う

[非通知設定]

発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信された電話について設定します。

応答：非通知着信時の応答方法を設定します。

- 設定解除：設定を解除します。
- 着信拒否：着信を拒否します。
- 着信音なし：着信音を消音して着信します。着信画像を「非通知設定」の「着信画像」で設定します。
- 端末設定に従う：着信時の着信画像と着信音を「非通知設定」の「着信画像」「着信音」で設定します。

着信画像：非通知着信時の画像を設定します。

▶「端末設定に従う」／「画像」／「ｉモーション」▶ 画像を選択

「端末設定に従う」を選択した場合は、「着信画面設定」の設定に従います。→P112

着信音：非通知着信時の着信音を設定します。

▶「端末設定に従う」／「ミュージック」／「ｉモーション」／「メロディ」▶ 着信音を選択

「端末設定に従う」を選択した場合は、「着信音選択」の設定に従います。→P104

「ミュージック」内に保存されている着うたフル®を選択した場合は、「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

[公衆電話]
公衆電話などから発信された電話について設定します。
- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

[通知不可能]
海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信された電話について設定します（経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知されることがあります）。
- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

お知らせ
- 「応答」の「着信拒否」を設定中に、非通知着信があった場合は、着信は通知されず、基本待受画面に が表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。また、留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定している場合も着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定しているときや、サービスエリア外、FOMA端末の電源を切っているときは各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「着信音選択」（P104）「着信画面設定」（P112）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに、どちらか一方を変更すると、応答方法を「端末設定に従う」に設定していても、変更しなかった「着信音」または「着信画像」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。
- 「着信画像」または「着信音」のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。

＜非通知設定＞
- 番号通知お願いサービスを開始に設定している場合は、「非通知着信」の設定より優先して動作します。相手には番号通知お願いガイダンスが流れます。

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手から電話がかかってきたとき、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。呼出時間が短い「ワン切り」などの迷惑電話対策として有効です。

1 MENU ▶「音／バイブ／マナー」▶「呼出動作開始時間設定」▶ 次の操作を行う

[呼出動作開始時間設定]
呼出動作開始時間設定を有効にするかどうかを設定します。

[呼出開始時間] ※
着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1秒～99秒の間で設定します。

[着信履歴] ※
「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話の着信履歴を表示するかどうかを設定します。

※「呼出動作開始時間設定」を にすると設定できます。

お知らせ

- 「メモリ登録外着信拒否」が ▮ に設定されている場合は、「呼出動作開始時間設定」は設定できません。
- 本機能を設定中に該当する相手から電話がかかってきた場合、設定した時間内は着信音などの呼出動作は行われませんが、着信中画面は表示されます。
- 「シークレットモード」を「OFF」に設定しているとき、電話帳をシークレットに設定している相手から電話がかかった場合でも本機能が動作します。

＜呼出開始時間＞

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、呼出動作を行う前に各ネットワークサービスが起動します。
- 「伝言メモ」の「応答時間」よりも長く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

メモリ登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手からかかってきた電話を拒否するように設定できます。

- 番号通知お願いサービスを同時に設定することをおすすめします。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「着信許可／拒否」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「メモリ登録外着信拒否」の［▮・○］

お知らせ

- 拒否設定に該当する相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否します。ただし、呼出時間を 0 秒に設定している場合は各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「呼出動作開始時間設定」を ▮ に設定している場合、または「プライバシーモード設定」を ▮ に設定して「電話帳」にチェックを付けている場合は、「メモリ登録外着信拒否」は設定できません。
- 「メモリ登録外着信拒否」を ▮ に設定中にオールロックを設定すると、電話帳に登録されている相手からの着信も拒否します。

ケータイデータお預かりサービス

ケータイデータお預かりサービスを利用する

FOMA 端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳は自動更新機能により定期的に自動でバックアップできます。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- WORLD WING ご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中における FOMA パケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- データの更新ができなかった場合、基本待受画面に が表示されます。

- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード< FOMA >編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

FOMA 端末電話帳をお預かりセンターにバックアップする

1 MENU ▶「その他機能」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「お預かりセンターに接続」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

お知らせ

- FOMA カード電話帳はバックアップできません。
- 既に電話帳をバックアップしているときは、最新の内容に更新されます。
- FOMA 端末電話帳を削除した後に本機能を利用すると、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されますのでご注意ください。
- 電話帳の復元や自動更新設定などは、iモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。MENU ▶「iモード」▶「i Menu・検索」▶「マイページ」▶「ケータイデータお預かり」を選択します。

通信履歴を表示する

お預かりセンターとの通信履歴を表示します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「通信履歴表示」▶ 通信履歴をタッチ

- ▤ をタッチすると、「全削除」を選択できます。また、通信履歴をタッチして［削除］をタッチすると、選択した通信履歴を削除することができます。

電話帳の画像をバックアップするかどうかを設定する

電話帳に登録されている画像をお預かりセンターにバックアップするかどうかを設定します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「電話帳内画像送信設定」の［I・O］

画像・メールをお預かりセンターにバックアップする

例：「マイピクチャ」内の画像をバックアップする場合

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」▶ フォルダを 2 回タッチ

2 ▤ ▶「お預かりセンターに保存」▶ 保存する画像にチェックを付ける ▶［完了］▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

お知らせ

- FOMA 端末内に保存されている画像・メールのみバックアップできます。
- SMS 送達通知はバックアップできません。
- 1 件あたりのファイルサイズが 100K バイトを超える画像はバックアップできません。
- iモードメールに添付されているファイルはバックアップされません。
- 韓国語が含まれた SMS はバックアップされません。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の設定に戻る機能については、「メニュー一覧」(P420)を参照してください。

1 **MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「設定リセット」▶「設定リセット」▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力**

お知らせ

- 電池残量が十分な状態で「設定リセット」を実行してください。
- 「設定リセット」中は、各種機能／通信を利用できません。

メモリ削除

登録データを一括して削除する

登録してあるデータを削除します。

1 **MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「メモリ削除」**

2 **削除したい項目をタッチ ▶ 削除したい項目をタッチ ▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力**

■ 削除されるデータ

項　目	データ
プリインストールデータ	「データ BOX」のお買い上げ時のデータ
ユーザデータ	お買い上げ時のデータ以外の「データ BOX」内のすべてのデータ
PIM データ	「電話帳」※1／「スケジュール」／「テキストメモ」／「To Do リスト」に登録されているデータ、受信／送信／未送信メール内のデータ※2、Bookmark 内のデータ、画面メモ、URL 履歴、ネットワークサービスの追加サービスと応答メッセージの設定

※ 1　積算通話料金は削除されません。
※ 2　受信／送信 BOX フォルダ、メッセージ R/F フォルダ、メール連動型ｉアプリ用フォルダは削除されません。

microSD カード内に保存されているデータを削除するには

microSD カード内に保存されているすべてのデータを削除できます。

MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「microSD 削除」▶「microSD 削除」▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

お知らせ

- FOMA カードに保存されている各種データは削除されません。
- 「♪ Welcome Mail ♪」「Welcome E ★エブリスタ」のメールは削除されます。

<プリインストールデータ>

- お買い上げ時、初期設定などに使用されている一部のファイルは削除されません。
- WOW LG の利用方法
  お買い上げ時に登録されているｉアプリやデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®、デコメアニメ®、壁紙（待受画面）、フレーム、スタンプ、メロディ、ｉモーションを削除した場合、元に戻したいときはｉ Menu 内のサイト「WOW LG」からダウンロードできます。※
  MENU ▶「ｉモード」▶「ｉ Menu･検索」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  ※ ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

データ一括削除

各種機能の設定を初期状態に戻して登録データを削除する

「設定リセット」と「メモリ削除」を同時に行う機能です。

・「メモリ削除」の「ユーザデータ」と「PIM データ」が削除されます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「リセット／削除」▶「データ一括削除」▶「データ一括削除」▶「はい」▶端末暗証番号を入力

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、下記のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

機能名／サービス名称	目　的	参照先
迷惑電話ストップ	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P392
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P392
ソフトウェア更新	必要な場合に FOMA 端末のソフトウェアを更新したい	P447
スキャン機能	障害を引き起こすデータから FOMA 端末を守りたい	P453
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P155
「i モード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（i モード < FOMA >編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 (URL 付きメール拒否設定) (受信／拒否設定) (かんたん設定) (i モード／ sp モードメール大量送信者からのメール受信制限) (SMS 拒否設定) (未承諾広告※メール拒否) (メール設定確認)		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

お知らせ

・迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
①「迷惑電話ストップ」
②「リスト指定着信拒否」
③「メモリ登録外着信拒否」
④「電話帳指定着信許可／拒否」
⑤「非通知着信」

メール

iモードメール／デコメール®を作成する

iモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの履歴を利用する

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

SMSを使う

FOMA 端末のメール機能について

FOMA 端末では、ｉモードメール、SMS の 2 種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMS は、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。
- 一部の記号（㌢、℡など）や絵文字を入力したｉモードメール、SMS を、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されない場合があります。
- 韓国語のメール機能は、SMS のみ対応しております。韓国語が入力された E メールをｉモードメールで受信した場合は、文字が正しく表示されません。

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由して e-mail のやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計 2M バイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を 10 個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入した Flash 画像のデコメアニメ®にも対応しております。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMS について

ｉモードを契約しなくても、携帯電話番号のみで文字メッセージを送受信できます。
送信方法→ P183　受信方法→ P185　問い合わせ方法→ P185

SMS の宛先

SMS の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

送受信できる文字数

SMS で送受信できる文字数は次のとおりです。

宛先	21 文字（「+」を含む）
SMS 本文	日本語（70 文字）、韓国語（70 文字）
	英語（160 文字）

韓国語での SMS 送受信

韓国語に対応している端末どうしで、本文に韓国語が入力された SMS の送受信ができます。

- L-03C を利用して、韓国をはじめとした海外通信事業者の韓国語対応端末と、韓国語で国際 SMS の送受信が可能です。国際 SMS を利用可能な海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。また、送信できる文字数は通信先事業者の状況により異なります。詳細は各送信先通信事業者へお問い合わせください。
- 韓国語を入力した SMS を、韓国語に対応していない端末に送信した場合は、相手に文字が正しく表示されません。
- SMS 本文の入力モードを韓国語に切り替える→ P186
- 韓国語の入力方法→ P377

SMSを受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。「SMS有効期間」で保管期間を指定することもできます。→P186
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」により受信できます。→P185
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

メールメニュー

メールメニューを表示する

1

メール
受信メール
送信メール
未送信メール
新規メール作成
新規デコメアニメ作成
新規SMS作成

メールメニュー画面

2 **次の操作を行う**

[受信メール]
受信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P160

[送信メール]
送信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P161

[未送信メール]
未送信メール一覧画面を表示します。→P162

[新規メール作成]
iモードメールを新規に作成します。→P142

[新規デコメアニメ作成]
デコメアニメ®を新規に作成します。→P148

[新規SMS作成]
SMSを新規に作成します。→P183

[テンプレート]
保存されているテンプレートの一覧を表示します。→P150

[iモード問い合わせ]
iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信します。→P156

[SMS問い合わせ]
SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSメールを受信します。→P185

[メール選択受信]
iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除したりできます。→P155

［メール設定］
メール機能を設定します。→P175

i モードメール作成／送信

i モードメールを作成して送信する

1 メールメニュー画面（P141）▶「新規メール作成」

i モードメール作成画面

2 To 欄をタッチ ▶「直接入力」▶ 宛先を入力

- 半角で 50 文字まで入力できます。
- メール送信履歴やメール受信履歴、電話帳、メールグループから宛先を選択できます。→P143

3 Sub 欄を 2 回タッチ ▶ 件名を入力

- 全角で 100 文字、半角で 200 文字まで入力できます。

4 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ 本文を入力

- 全角で最大 5000 文字、半角で最大 10000 文字まで入力できます。

メール本文入力画面

5 ［送信］

お知らせ

- 本文をデコレーションしたい場合→P146
- ファイルを添付して送信したい場合→P152
- 本文編集中に改行ができます。改行は全角 1 文字分としてカウントされます。
- ➡ をタッチしてスペースを挿入した場合、半角 1 文字分としてカウントされます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- i モード端末どうしのメールのやりとり以外では、半角カタカナ、絵文字を使用すると、正しく表示されない場合があります。
- シークレットコードが設定されている宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先には追加されたシークレットコードは表示されません。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- i モードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては送信できなかった旨のエラーメッセージが表示される場合があります。

- デコメ絵文字®（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 受信側の端末によっては、題名がすべて表示されない場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、iモードメールは送信メールBOXに保存されます。最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。

iモードメール作成画面のサブメニュー

1 iモードメール作成画面(P142)▶ ▶次の操作を行う

[自動送信]
圏外で作成したiモードメールを、電波の届く場所に移動した時点で自動的に送信できます。

[保存]
作成中、編集中のメールを未送信メールに保存します。

[アドレス]

宛先追加：複数の宛先に送信（同報送信）します。宛先は5件まで追加できます。
- メール送信履歴：メール送信履歴一覧画面から宛先をタッチします。
- メール受信履歴：メール受信履歴一覧画面から宛先をタッチします。
- 電話帳：電話帳から宛先をタッチします。
- メールグループ：メールグループから宛先をタッチします。
- 直接入力：宛先を直接入力します。

宛先削除：選択中の宛先を削除します。

宛先操作：選択中の宛先の種類を変更します。
- Toに変更：選択中の宛先をToに変更します。通常の宛先で、入力したメールアドレスは送信相手に表示されます。
  - 受信側の端末や機器、メールソフトによっては、メールアドレスが表示されない場合があります。
- Ccに変更：選択中の宛先をCcに変更します。直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。Ccに入力したメールアドレスは、他の送信相手に表示されます。
  - 受信側の端末や機器、メールソフトによっては、メールアドレスが表示されない場合があります。
- Bccに変更：選択中の宛先をBccに変更します。他の送信相手に知られたくないときに指定します。Bccに入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

[添付ファイル操作]
添付ファイルを追加したり再生／表示、削除したりします。→P152

[テンプレート]

読み込み：テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。→P150
保存：作成中のデコメール®をテンプレートとして保存します。

[冒頭文／署名]

冒頭文添付：設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名添付：設定されている署名を貼り付けます。

[本文削除]
本文を削除します。

お知らせ

＜宛先追加＞
- 複数のメールアドレスが登録されている電話帳を選択した場合は、どのメールアドレスを宛先に追加するかを、さらに選択します。

メール本文入力画面のサブメニュー

1 メール本文入力画面(P142)▶ ▶次の操作を行う

[デコレーション]
デコメール®の装飾(デコレーション)を選択するパレットを表示します。
→P146

[デコメピクチャ]
「デコメピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。
- をタッチすると、他のフォルダからも画像を選択できます。
- [切替]をタッチすると、リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。

[定型文]
定型文を入力、編集します。→P375

[文字編集]
本文中の文字やデコレーションをタッチしてコピー、切り取り、貼り付けします。また、文字の入力や貼り付けを1つ前の状態に戻します。→P380

[ユーザ辞書編集]
FOMA端末の辞書を編集します。→P378

[引用]
電話帳や自局番号の登録内容などを引用します。→P375

[入力設定]
文字入力の設定を行います。→P375

[特殊入力]
スペースや改行を入力したり、区点コードで文字を入力します。→P375

[冒頭文/署名]
冒頭文:設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名:設定されている署名を貼り付けます。

[ジャンプ]
文頭:表示中のメール本文の文頭へ移動します。
文末:表示中のメール本文の文末へ移動します。

[画像情報表示]
カーソルの後ろにある画像の情報を表示します。

[プレビュー]
本文のプレビューを表示します。

デコメール®

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行ったりして、オリジナルメールを作成できます。

- 送信できるデコメール®のサイズは 100K バイト以内です。
- 送信先のｉモード端末によっては、10000 バイトを超えるデコメール®を送信した場合は、受信側では閲覧用 URL が記載されたメールを受信します。

カーソルがあたっている箇所に設定されている文字デコレーションが表示されます。

本文入力画面

1 メールメニュー画面（P141）▶「新規メール作成」

2 宛先、件名を入力

- 宛先、件名の入力方法→ P142

3 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ ▤ ▶「デコレーション」

パレット表示画面

4 パレットを操作して本文をデコレーション

- デコレーションの操作→ P146

■ デコレーションを指定してから文字を入力する場合

操作方法については「デコレーションを指定してから文字を入力する」（P147）を参照してください。

■ 文字を入力してからデコレーションを指定する場合

操作方法については「文字を入力してからデコレーションを指定する」（P148）を参照してください。

5 パレットが開いている場合は ⮌

■ デコメール®の内容を確認する場合

▤ ▶「プレビュー」をタッチします。

6 ［確定］▶［送信］

お知らせ

- パソコンなど、デコメール® 対応 i モード端末以外とデコメール® を送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- デコレーションを設定した文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。[CLR] を 1 秒以上タッチして文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除される場合があります。

デコレーションの操作

1 メール本文入力画面（P142）▶ ▤ ▶「デコレーション」

- ↩：パレットの操作から本文入力の操作に切り替えます。

2 次の操作を行う

[（画像挿入）]

データ BOX：「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。
▶ フォルダを 2 回タッチ ▶ 画像 2 回タッチ ▶ ［選択］

静止画撮影：静止画を撮影して挿入します。
▶ 静止画を撮影 ▶ ［OK］

[（背景色）]

メール本文の背景色を設定します。

[（ライン挿入）]

メール本文にラインを挿入します。

- 文字色で設定されている色になります。

[（デコレーション変更）]

デコレーションを設定する範囲をタッチします。→ P148

- 本文に何も入力されていない場合は選択できません。

[（文字デコレーション）]

文字に設定するデコレーションをタッチします。→ P147

[（デコレーションなし）]

カーソルがある行のデコレーションを解除します。

[（マイデコレーション）]

マイデコレーション適用：事前に設定を保存した文字デコレーションを適用します。

マイデコレーション編集：お好みの文字デコレーション設定を保存します。→ P147

[（元に戻す）]

設定したデコレーションなどを 1 つ前の設定に戻します。

[(全解除)]
設定したデコレーションをすべて解除します。

お知らせ

- 「テロップ」「スウィング」が設定されている文字を選択してコピー／切り取りをしても、「テロップ」「スウィング」の設定は反映されません。

＜画像挿入＞

- 挿入できる画像は最大20個で90Kバイト以内です。ただし、Flash画像は最大2個です。ファイルのサイズによっては添付可能な種類が少なくなることがあります。挿入できる画像の数やサイズを超えたときは、メッセージが表示されます。
- 同じ画像を複数挿入した場合は、挿入件数を1件として扱います。

デコレーションを指定してから文字を入力する

1 メール本文入力画面(P142)▶ ▶「デコレーション」▶ （文字デコレーション）をタッチ ▶ 次の操作を行う

[(文字色)]
文字の色を設定します。
[パレット]をタッチしてパレットからも色を選択できます。

[(文字サイズ)]
文字のサイズを設定します。

[(点滅)]
文字を点滅表示します。
- 点滅を解除するには、[解除]をタッチします。

[(動き・位置)]
文字の表示方法を設定します。
- 設定を解除するには （動き・位置（指定なし））をタッチします。

(テロップ)：文字を右から左へテロップ表示します。
- と間に入力した文字がテロップ表示されます。

(スウィング)：文字を左右にスウィング表示します。
- と間に入力した文字がスウィング表示されます。

(左寄せ)：入力する文字、挿入する画像を左寄せ表示します。

(センタリング)：入力する文字、挿入する画像をセンタリング表示します。

(右寄せ)：入力する文字、挿入する画像を右寄せ表示します。

2 [確定] ▶ 文字を入力

お知らせ

＜文字サイズ＞

- デコメ絵文字®のサイズは設定できません。

＜文字色＞

- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したい場合は、文字色設定で （文字色（指定なし））を設定してください。

＜点滅＞

- 設定した点滅を、プレビュー画面やｉモードメール作成画面などで表示した場合、一定の時間が経過すると点滅表示は終了します。

次のページへ続く

文字を入力してからデコレーションを指定する

1 メール本文入力画面(P142)▶ ▤ ▶「デコレーション」▶ (デコレーション変更)をタッチ

2 始点をタッチ▶［選択］

- ［全選択］：全文を選択します。
- ［文頭］　：メール本文の文頭へ移動します。
- ［文末］　：メール本文の文末へ移動します。

3 終点をタッチ▶［選択］▶デコレーションを指定する

デコメアニメ®

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP（情報提供者）サイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

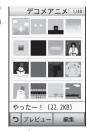
1 メールメニュー画面(P141)▶「新規デコメアニメ作成」

2 To 欄をタッチ▶入力方法をタッチ▶宛先を入力

3 Sub 欄を2回タッチ▶件名を入力

4 「編集」欄を2回タッチ▶テンプレートをタッチ▶［編集］

- ［プレビュー］：選択中のデコメアニメ®テンプレートの内容を確認できます。→P149

デコメアニメ一覧画面

5 「文字入力画面」を2回タッチ▶本文を入力▶［完了］

デコメアニメ編集画面

■ 画像を挿入する場合

 ▶「テンプレート選択」▶「はい」▶テンプレートをタッチ ▶［編集］

6 ［送信］

デコメアニメ編集画面のサブメニュー

1 **デコメアニメ編集画面（P148）▶項目をタッチ ▶ ▶ 次の操作を行う**

［テンプレート選択］
編集した内容を破棄してテンプレートを選択します。

［画像削除］
挿入した画像を削除します。

［編集リセット］
編集中の項目をデフォルトの状態に戻します。

お知らせ

- デコメアニメ® 作成では、次の操作はできません。
  - デコメ絵文字® の挿入
  - 文字サイズの変更
  - 文字や画像の挿入位置の変更
  - フォントの変更
  - 署名の貼り付け
- 送信に失敗したデコメアニメ® は再編集できません。また、作成中に保存した場合も、再編集できません。

テンプレートを確認する

1 **デコメアニメ一覧画面（P148）▶テンプレートを2回タッチ**

- テンプレートをタッチ ▶［プレビュー］でも確認できます。
- プレビュー画面で［編集］をタッチするとデコメアニメ® を編集できます。→P150

デコメアニメ
プレビュー画面

デコメアニメプレビュー画面のサブメニュー

［リトライ］
プレビューを最初から再生します。

［ストップ］
プレビューを停止します。

テンプレート

テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションが既に指定されているデコメール®／デコメアニメ®用のひな形データです。お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたテンプレートなども設定できます。

1 メールメニュー画面（P141）▶「テンプレート」▶「デコメール」／「デコメアニメ」

2 テンプレートを２回タッチ▶［メール］

デコメール®テンプレートを新規に作成する

オリジナルのデコメール®テンプレートを作成します。作成したデコメール®テンプレートは「テンプレート」の「デコメール」に保存されます。

1 メールメニュー画面（P141）▶「テンプレート」▶「デコメール」▶ ▤ ▶「新規テンプレート作成」

2 デコメール用のテンプレートを作成する

3 ［確定］▶タイトルを編集▶［確定］▶「はい」

お知らせ

・ 本文がデコレーションされていない場合は、テンプレートとして保存できません。

デコメール®テンプレートを編集する

オリジナルのデコメール®テンプレートや作成したデコメール®テンプレートを編集します。

1 メールメニュー画面（P141）▶「テンプレート」▶「デコメール」

テンプレート一覧画面

2 テンプレートを２回タッチ▶ ▤ ▶「テンプレート編集」▶テンプレートを編集する

・ デコレーションの操作→P146

3 ［確定］▶「上書き保存」／「新規保存」

上書き保存　：編集元のテンプレートに上書き保存します。
新規保存　　：編集したテンプレートを新規に保存します。

4 タイトルを編集▶［確定］

5 「はい」

デコメール® テンプレート／デコメアニメ® テンプレート一覧画面のサブメニュー

1 テンプレート一覧画面(P150)▶テンプレートをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[新規テンプレート作成] ※
テンプレートを新規に作成します。→P150

[削除]
1件　：選択中のテンプレートを削除します。
選択　：テンプレートを選択して削除します。
▶削除したいテンプレートにチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
・ ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。
全件　：テンプレートをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[タイトル編集]
選択中のテンプレートのタイトルを編集します。

[情報表示]
選択中のテンプレートの情報を表示します。

※ デコメアニメ® テンプレートのテンプレート一覧画面では表示されません。

デコメール® テンプレート／デコメアニメ® テンプレート表示画面のサブメニュー

1 テンプレート一覧画面(P150)▶テンプレートを2回タッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[メール作成] ※1
表示中のテンプレートを利用してメールを作成します。→P150

[テンプレート編集] ※1
表示中のテンプレートを編集します。→P150

[削除]
表示中のテンプレートを削除します。

[タイトル編集]
表示中のテンプレートのタイトルを編集します。

[情報表示]
表示中のテンプレートの情報を表示します。

[リトライ] ※2
表示中のテンプレートのプレビューを最初から再生します。

[ストップ] ※2
表示中のテンプレートのプレビューを停止します。

※1 デコメール® テンプレートの場合のみ表示されます。
※2 デコメアニメ® テンプレートの場合のみ表示されます。

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

- 最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。ただし、ファイルのサイズによっては、添付可能な件数が少なくなることがあります。
- 添付可能なファイルは次のとおりです。
  - 画像（JPEG、GIF）
  - 動画／ｉモーション
  - メロディ
  - 電話帳
  - スケジュール
  - To Do
  - Bookmark
  - microSDカード内のその他ファイル
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。

1 ｉモードメール作成画面(P142)▶ [メニュー] ▶次の操作を行う

[画像]

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像を選択します。→P292

カメラ起動：静止画を撮影して添付します。
▶静止画を撮影▶［OK］

[ムービー]

ｉモーション／ムービー：「データBOX」の「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションを選択します。→P304

カメラ起動：動画を撮影して添付します。
▶動画を撮影▶［OK］

[メロディ]

「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディを選択します。→P313

[電話帳]

本体：「本体」の「電話帳」から電話帳を添付します。

microSD：「microSD」の「電話帳」から電話帳を添付します。

[カレンダー]

本体：「本体」の「スケジュール」からスケジュールを添付します。

microSD：「microSD」の「スケジュール」からスケジュールを添付します。

[To Do]

本体：「本体」の「To Doリスト」からTo Doを添付します。

microSD：「microSD」の「To Doリスト」からTo Doを添付します。

[Bookmark]

本体：「本体」の「Bookmark」フォルダからBookmarkを添付します。

microSD：「microSD」の「Bookmark」フォルダからBookmarkを添付します。

[その他]

microSDカードの「OTHER」フォルダに保存しているファイルを添付します。

お知らせ

- 受信側の端末が対応していないファイルは、受信できなかったり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 本FOMA端末で撮影した動画は、受信側の端末で再生できない場合があります。
- 画像サイズが2M（1600×1200）を超えるJPEG画像の場合は、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると縮小して添付します。
- 2Mバイトを超える動画／iモーションは添付できません。「トリミング」でメールに添付できるサイズに変更してから添付してください。→P308
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。2Mバイト対応機種以外のiモード端末に送信する場合は、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
  サイズ選択：QCIF（176×144）、画質設定：スーパーファイン
- iモーションによっては、添付できない場合があります。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信済みメールが複数件削除される場合があります。

添付ファイルを再生／表示／削除する

1 iモードメール作成画面(P142)▶操作したい添付済み添付ファイル欄をタッチ▶ ▤ ▶「添付ファイル操作」▶次の操作を行う

添付ファイル削除：選択中の添付ファイルを削除します。
再生／表示：選択中の添付ファイルを再生／表示します。

お知らせ

- 添付ファイルを追加するには、「ファイルを添付する」(P152)と同じ操作を行います。

メール自動受信

iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。

1 iモードメールを受信すると画面上部に ✉ が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

- 何も操作しないで約7秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 「メール」をタッチすると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信したiモードメールの詳細画面を表示するまで、画面上部には ✉ 、基本待受画面には ✉ 1（数字は件数）が表示されます。

受信結果画面

お知らせ

- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールを受信した場合、自分のアドレスがTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。→P164
- iモードメールではメロディや動画、静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除される場合があります。添付ファイルが削除された場合は、件名の下に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- FOMA端末が対応していない添付ファイルは、FOMA端末に保存できませんが、microSDカードに保存したり、転送することはできます（microSDカードに保存した場合、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます）。→P157

- ｉモードメール 1 件につき、添付ファイルも含めて最大 100K バイトまで自動受信できます。100K バイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→ P158
- FOMA 端末に保存されている受信メール（ｉモードメールと SMS の合計）が最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 添付ファイルのサイズによっては、受信メールが複数件削除される場合があります。
- 次のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源 OFF のとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - 圏外のとき
  - おまかせロック設定中
  - 「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているとき
  - 受信メールが保護や未読メールで満杯のとき
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や が表示されます。ただし、電源 OFF や圏外のときなど、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。
- 複数のｉモードメール、メッセージ R/F を同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージ R/F に設定されている着信音が鳴ります。

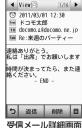
新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面（P153）▶「メール」▶ フォルダを 2 回タッチ

2 表示したいメールを 2 回タッチ

- 添付ファイルの表示／再生／保存／削除方法→ P159

受信メール詳細画面

お知らせ

- 基本待受画面で を 2 回タッチしてもメールを表示できます。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信を利用するためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

メール選択受信を設定する

ｉモードメールを選択受信するために、「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

1 メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「メール選択受信設定」▶「ON」

設定後、ｉモードメールは自動的に受信できなくなります。

お知らせ

- 「メール選択受信」を「OFF」に設定する場合は、「メール選択受信設定」(P175)で行います。

メールが届いたときは

1 受信通知画面が表示される

［OK］をタッチ、または を押すと、通知画面が消えます。

受信通知画面

お知らせ

- ｉモードメールの受信をお知らせする や は表示されず、メール着信音も鳴りません。
- 受信通知画面表示中はｉチャネルのテロップは表示されません。

メールを選択受信する

「メール選択受信設定」を「ON」に設定後は、次の操作でｉモードメールを選択受信します。

1 メールメニュー画面（P141）▶「メール選択受信」

以降、『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』の手順に従って操作してください。

■ 添付ファイルがある場合にメール選択受信の画面に表示されるアイコン

アイコン	ファイルの種類
📷	画像が添付されています。
🎥	ｉモーションが添付されています。
♪	メロディが添付されています。
📄	その他のファイルが添付されています。

お知らせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合でも、「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信します。受信したくない場合は、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。→ P175
- メール選択受信は「ｉ Menu」からも行えます。 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉ Menu･検索」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」をタッチします。
- FOMA 端末に保存されている受信メール（ｉモードメールとSMS の合計）が最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 添付ファイルのサイズによっては、受信メールが複数件削除される場合があります。

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

FOMA 端末が圏外のときなど、受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信できます。

- ｉモードセンターにメールが保管されている場合は、画面に 📩 が表示されます。
- 問い合わせる項目（メール、メッセージ R/F）は、「ｉモード問い合わせ設定」（P175）で選択できます。
- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 メールメニュー画面（P141）▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせが完了すると、問い合わせ結果画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA 端末の電源が入っていないときなどにセンターに届いた場合は、画面に 📩 が表示されない場合があります。

iモードメール返信

iモードメールに返信する

iモードメールの送信元に返信します。返信には新たに本文を入力する方法と受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール詳細画面(P161)▶ ▤ ▶「返信／転送」▶「返信」／「引用付き返信」

- 受信メール詳細画面では、［返信］をタッチしても返信できます。
- 「返信」を選択した場合、「iモードメール」または「デコメアニメ」を選択します。
- 自分のアドレス以外に同報先がある場合は、「送信者」（送信元のみに返信）または「全員」（送信元と同報先全員に返信）を選択できます。

■ SMSの場合
受信メール詳細画面（P161）▶［返信］をタッチします。

2 件名、本文を入力

- 件名には、「Re:」が追加されます。
- 引用付き返信の場合は、引用した本文の頭に「>」が付きます。
- 件名、本文の編集方法→P142

3 ［送信］

お知らせ

- 受信したデコメール®を引用付き返信した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。
- SMSでは、引用付き返信はできません。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールを他の人に転送します。

1 受信メール詳細画面(P161)▶ ▤ ▶「返信／転送」▶「転送」

■ SMSの場合
受信メール詳細画面（P161）▶ ▤ ▶「転送」をタッチします。

2 宛先を入力

- 件名には「Fw:」が追加されます。
- 宛先、本文の編集方法→P142

3 ［送信］

お知らせ

- 転送するiモードメールにメールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 受信したデコメール®を転送した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。
- 未取得、取得途中の選択受信添付ファイルは転送されません。

メールアドレス／電話番号を電話帳に登録する

受信したメールに含まれるアドレスや電話番号を登録します。

本文中のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面(P161)▶ ▤ ▶「保存」▶「選択項目」

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作 2（P92）へ進みます。

■ SMS の場合

登録したい電話番号を 2 回タッチ ▶「電話帳登録」をタッチします。

- アドレスは直接電話帳に登録できません。本文からコピーして、電話帳のメールアドレス欄に貼り付けるなどしてください。

宛先／送信元のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面（P161）／送信メール詳細画面（P161）▶ ▤ ▶「保存」▶「アドレス」

宛先／送信元が複数ある場合は、さらに登録するアドレス／電話番号をタッチします。

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作 2（P92）へ進みます。

■ SMS の場合

受信メール詳細画面(P161)▶ ▤ ▶「電話番号保存」をタッチします。

ｉモードメールから添付ファイルを再生／保存する

ｉモードメールに添付または貼り付けられている画像やメロディ、動画／ｉモーションなどを再生、保存します。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したメールのサイズが添付ファイルを含めて 100K バイトを超える場合、ｉモードセンターから添付ファイルを手動で取得する必要があります。

- 「メール設定」の「添付ファイル」にて、チェックを外しているファイルも選択受信添付ファイルとして受信します。
- 保存期限を過ぎたファイルは取得できません。

1 受信メール詳細画面(P161)▶ファイル名を２回タッチ ▶「はい」

お知らせ

- 添付ファイルのサイズによっては、保存容量を確保するために、保護されていない既読の受信メールが古いものから順に複数件削除される場合があります。
  このとき、確保できた保存容量が添付ファイルのサイズより少ない場合は取得できません。

添付ファイルを表示／再生／保存／削除する

1 **受信メール詳細画面(P161)▶添付ファイルをタッチ**

- 2回タッチ：選択中の添付ファイルを表示／再生します。

2 **▶「添付ファイル操作」▶次の操作を行う**

[保存]
選択中の添付ファイルを保存します。
- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。

[削除]
選択中の添付ファイルを削除します。

■ 保存できるファイルの種類と保存先

ファイルの種類	保存先
画像※1	「データBOX」内「マイピクチャ」の「iモード」フォルダ
フレーム／スタンプ	「データBOX」内「マイピクチャ」の「フレーム」フォルダ
デコメ絵文字®として利用できる画像	「データBOX」内「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダ
動画／iモーション	「データBOX」内「iモーション／ムービー」の「iモード」フォルダ
メロディ	「データBOX」内「メロディ」の「iモード」フォルダ
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール
To Do	To Doリスト
Bookmark	「iモード」「フルブラウザ」それぞれの「Bookmark」
上記以外のファイル※2	microSDカード内の「OTHER」フォルダ※3

※1 フレーム／スタンプ、デコメ絵文字®として利用できる画像およびFlash画像を除く画像
※2 Flash画像を含む
※3 添付ファイルによっては、保存できない場合があります。

お知らせ
- 画像、デコメ絵文字®、動画／iモーション（映像付き）をFOMA端末に保存した場合は、基本待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」をタッチします。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像、動画／iモーションによっては表示・再生できない場合があります。
- 「メロディ自動再生」設定を「ON」に設定している場合は、iモードメール表示時に自動的にメロディが再生します。
- iモーションメールをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。

貼り付けられた画像を保存する

1 **受信メール詳細画面（P161）▶ ▤ ▶「保存」▶「画像」**

2 **画像をタッチ ▶「保存」▶「はい」**

- microSD カードを取り付けている場合は、保存先を選択します。

お知らせ

- 画像を FOMA 端末に保存した場合は、基本待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」をタッチします。

受信メール BOX ／送信メール BOX ／未送信メール

受信／送信メール BOX のメールや未送信メールを表示する

- セキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

受信メールを表示する

- 受信メールは、 i モードメールと SMS を合わせて最大 1000 件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。
- お買い上げ時は、「♪ Welcome Mail ♪」「Welcome E ★エブリスタ」のメールが保存されています。このメールに通信料はかかっておりません。また、返信することはできません。

1 **メールメニュー画面（P141）▶「受信メール」**

- ［送信メール］：送信メールフォルダ一覧画面を表示します。→ P161
- ［全件表示］：すべての受信メールを一覧表示します。

受信メール
フォルダ一覧画面

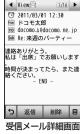
2 **フォルダを 2 回タッチ**

- ［検索］：スケジュール、電話帳、メール送信履歴、メール受信履歴、宛先入力、題名
- ［削除］：選択中のメールを削除します。

受信メール一覧画面

3 メールを２回タッチ

- ◀／▶：前後のメールを表示します。
- ［返信］：送信元、同報先に返信します。
→P157
- ［削除］：表示中のメールを削除します。

受信メール詳細画面

送信メールを表示する

- 送信メールは、ｉモードメールとSMS、未送信メールを合わせて最大500件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 メールメニュー画面（P141）▶「送信メール」

- ［受信メール］：受信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P162
- ［全件表示］：すべての送信メールを一覧表示します。

送信メール
フォルダ一覧画面

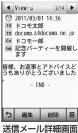
2 フォルダを２回タッチ

- ［検索］：スケジュール、電話帳、メール送信履歴、メール受信履歴、宛先入力、題名
- ［削除］：選択中のメールを削除します。

送信メール
一覧画面

3 メールを２回タッチ

- ◀／▶：前後のメールを表示します。
- ［編集］：ｉモードメール作成画面、SMS作成画面を表示します。→P142、P184
- ［削除］：表示中のメールを削除します。

送信メール詳細画面

未送信メールを表示する

- 未送信メールの件数は、送信メールの最大保存件数に含まれます。

1 メールメニュー画面（P141）▶「未送信メール」

- ［送信］：選択中のメールを送信します。
- ［削除］：選択中のメールを削除します。

未送信メール一覧画面

2 メールを２回タッチ

選択したメールの種類に応じてｉモードメール／SMS作成画面が表示され、未送信メールが編集できます。

受信／送信／未送信メール画面の見かた

受信／送信メールフォルダ一覧画面

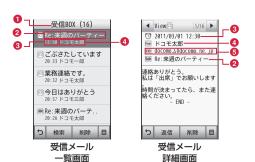
例：受信メールフォルダ一覧画面

❶ フォルダ名
❷ 未読メール数／フォルダ内全件数
受信メールフォルダ一覧画面に表示されます。送信メールフォルダではフォルダ内全件数のみ表示されます。

■ 受信／送信メールフォルダ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／	受信メールフォルダ（未読メールあり／未読メールなし／メールなし）
／	送信メールフォルダ（メールあり／メールなし）
	セキュリティ設定中
	メール連動型ｉアプリ用フォルダ

受信メール一覧画面／受信メール詳細画面

受信メール
一覧画面

受信メール
詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **件名**
SMS では「SMS」と表示されます。

❸ **受信した日時**
受信メール一覧画面では、前日までに受信したメールは日付が表示され、当日受信したメールは時刻が表示されます。

❹ **送信元の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❺ **宛先の種類と同報先のアドレス**
メールが複数の宛先に同報送信された場合、宛先の種類（To、Cc）とアドレスが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

■ 受信メール一覧画面／受信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／	未読の i モードメール／ SMS ／ SMS 送達通知
／／	既読の i モードメール／ SMS ／ SMS 送達通知
	返信済みの i モードメール
	転送済みの i モードメール
	保護されているメール
	FOMA カードに保存されている SMS
	メール連動型 i アプリで利用されるメール
	i モードメール／ SMS の受信日時
	i モードメール／ SMS の受信日時が日本標準時以外の場合、メッセージ R/F の受信日時
（）	貼り付けられたメロディ
	メールの本文から i アプリを起動可能
（／／／／／／）	メロディ／静止画／動画／電話帳／スケジュールまたは To Do ／ Bookmark ／その他の添付ファイル
	複数の添付ファイル
	破損した添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（グレー）	削除された添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
	未取得の添付ファイル
	未取得のまま削除された添付ファイル
	取得途中で中断された添付ファイル
	取得に失敗した添付ファイル

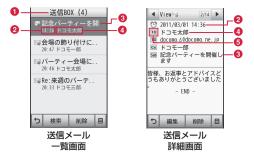
次のページへ続く

アイコン	説　明
(icon)	FOMA カードセキュリティ機能が設定されている添付ファイルあり
Sub	件名
From／From Cc／From Bcc	送信元が To ／ Cc ／ Bcc で送信
TO／Cc	自分以外の同報先の宛先の種類（To ／ Cc）
From／From Cc／From Bcc	返信できない送信元のメールアドレス
TO／Cc	返信できない同報先のアドレス

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

送信メール一覧画面／送信メール詳細画面

送信メール一覧画面　送信メール詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **送信した日時**
送信メール一覧画面では、前日までに送信したメールは日付が表示され、当日送信したメールは時刻が表示されます。

❸ **件名**
SMS では「SMS」と表示されます。

❹ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❺ **宛先の種類**
送信した宛先の種類（To、Cc、Bcc）を表示します。

■ 送信メール一覧画面／送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
(icon)／(icon)	送信済みの i モードメール／ SMS
(icon)	複数の宛先に送信済みの i モードメール
(icon)	送信失敗
(icon)	保護されているメール
(icon)	FOMA カードに保存されている SMS
(icon)	メール連動型 i アプリで利用されるメール
(icon)	送信日時
(icon)	送信日時が日本標準時以外の場合
(icon)	メールの本文から i アプリを起動可能
(icon)（(icon)／(icon)／(icon)／(icon)／(icon)／(icon)／(icon)）	メロディ／静止画／動画／電話帳／スケジュールまたは To Do ／ Bookmark ／その他の添付ファイル
(icon)	複数の添付ファイル
(icon)	FOMA カードセキュリティ機能が設定されている添付ファイルあり
Sub	件名
TO／Cc／Bcc	To ／ Cc ／ Bcc で送信
TO／Cc／Bcc	To ／ Cc ／ Bcc で送信失敗

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

未送信メール一覧画面

未送信メール
一覧画面

❶ **保存した日時**
前日までに保存したメールは日付が表示され、当日保存したメールは時刻が表示されます。

❷ **件名**
SMS では「SMS」と表示されます。

❸ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

■ 未送信メール一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	未送信の i モードメール／ SMS
	自動送信を予約している i モードメール
	自動送信失敗

※ 上記以外は、送信メールと同様です。

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ一覧画面のサブメニュー

1 受信メールフォルダ一覧画面(P162)／送信メールフォルダ一覧画面（P161）▶ ▶ 次の操作を行う

[フォルダ管理]

新規作成　：フォルダを追加します。
削除※1　：選択中のフォルダを削除します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
名称変更※1　：選択中のフォルダの名前を変更します。
並び替え　：選択中のフォルダをドラッグして並べ替えます。
フォルダセキュリティ※1：フォルダにセキュリティを設定／解除します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶［ ・ ］をタッチ ▶

[削除] ※2

既読全削除　：選択中のフォルダ内の既読メールをすべて削除します（保護メールを含まない）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
全削除（保護以外）：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含まない）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
全削除（保護含む）：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含む）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[フォルダ内全件削除] ※3

選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します。

▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

次のページへ続く

[自動振り分け設定] ※1
メールを自動的にフォルダに振り分けるように設定します。

[microSD 全件コピー] ※1
すべての受信メール／送信メールを microSD カードにコピーします。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[件数確認]
選択中のフォルダ内のメール件数を表示します。

[受信メールクリア] ※1※2
すべてのフォルダと「受信 BOX」内のメールを削除します（保護メールと保護メールのあるフォルダは含まない）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

※1 「メッセージ R」「メッセージ F」フォルダでは表示されません。
※2 送信メールフォルダ一覧画面では表示されません。
※3 受信メールフォルダ一覧画面では表示されません。

お知らせ

<削除／名称変更>
- お買い上げ時に登録されている「受信 BOX」「送信 BOX」フォルダでは利用できません。

<並び替え>
- お買い上げ時に登録されている「受信 BOX」「送信 BOX」フォルダでは利用できません。

<削除>
- お買い上げ時に登録されている「メッセージ R」「メッセージ F」フォルダでは利用できません。

<フォルダ内全件削除>
- フォルダ内に保護されたメールが含まれている場合は、それ以外のメールのみ削除します。フォルダは削除されません。

<microSD 全体コピー>
- 1 件あたり 100K バイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

受信メール一覧画面のサブメニュー

1 受信メール一覧画面(P160)▶メールをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[返信／転送]

返信：選択中のメールに返信します。→P157
引用付き返信：選択中のメールに、本文を引用して返信します。→P157
転送：受信したメールを他の人に転送します。→P157

[削除]

1 件：選択中のメールを削除します。
選択：メールを選択して削除します。
▶ 削除したいメールにチェックを付ける ▶［完了］▶「はい」
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

既読全削除：フォルダ内の既読メールをすべて削除します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
全削除（保護以外）：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含まない）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
全削除（保護含む）：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含む）。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[移動／コピー]

フォルダ移動 ：
1 件 ：選択中のメールを他のフォルダに移動します。
選択 ：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶ 移動したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］ ▶ 移動先のフォルダを 2 回タッチ
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。

microSD へコピー
：選択中のメールまたはフォルダ内のメールを microSD カードへコピーします。フォルダ内のメールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

FOMA カード（UIM）
：選択中の SMS を FOMA 端末や FOMA カードへコピー、または移動します。

[自動振り分け設定]

メールを自動的にフォルダに振り分けるように設定します。

[保護／保護解除]

保護 ：
1 件 ：選択中のメールを保護します。
選択 ：メールを選択して保護します。
▶ 保護したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて保護します。

保護解除 ：
1 件 ：選択中のメールを保護解除します。
選択 ：メールを選択して保護解除します。
▶ 保護解除したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターにメールを保存します。

1 件保存 ：選択中のメールを保存します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

選択保存 ：メールを選択して保存します。
▶ 保存したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］ ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
- 保存件数が 10 件以下の場合は、▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

[ソート]

条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメールのみを表示します。

未読のみ ：未読メールのみ表示します。
既読のみ ：ファイルが添付されているメールのみ表示します。
保護のみ ：保護されているメールのみ表示します。
添付ファイルのあるメール
：ファイルが添付されているメールのみ表示します。
メール ：ｉモードメールのみ表示します。
SMS ：SMS、SMS 送達通知のみ表示します。
全て ：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[検索]

スケジュール　：カレンダーから日付を選択することで、選択した日に受信したメールを検索します。
電話帳　：FOMA 端末電話帳のグループ検索で電話帳を選択し、メールを検索します。
- 選択した電話帳に登録されているメールアドレス 1（登録されていないときは電話番号 1）から受信したメールのみ検索します。

メール送信履歴　：メール送信履歴で選択した電話番号／メールアドレスから受信したメールを検索します。
メール受信履歴　：メール受信履歴で選択した電話番号／メールアドレスから受信したメールを検索します。
宛先入力　：送信元の電話番号／メールアドレスを直接入力してメールを検索します。
題名　：題名を入力してメールを検索します。
- 前方一致で検索します。

お知らせ

＜削除＞
- 未読メールがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。
- 保護されているメールは削除できません。

＜移動／コピー＞
- 1 件あたり 100K バイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

＜保護／保護解除＞
- 最大 1000 件まで保護できます。

＜お預かりセンターに保存＞
- 韓国語を含む SMS はお預かりセンターに保存できません。

受信メール詳細画面で削除する

1 受信メール詳細画面（P161）▶［削除］

お知らせ

＜削除＞
- 保護されているメールは削除できません。

受信メール詳細画面のサブメニュー

1 受信メール詳細画面（P161）▶ [メニュー] ▶ 次の操作を行う

[返信／転送] ※1
表示中のメールを返信したり、他の人に転送したりします。→ P157

[移動／コピー]
表示中のメールの内容を移動、またはコピーします。

本文コピー　：本文の内容を選択してコピーします。
表題コピー※2　：件名をコピーします。
アドレスコピー※3　：送信元のメールアドレスをコピーします。同報先のアドレスがある場合は、メールアドレス一覧画面からコピーするメールアドレスをタッチします。
- コピー操作について→ P380

フォルダ移動　：表示中のメールを他のフォルダに移動します。
microSD へコピー
　：表示中のメールを microSD カードへコピーします。
FOMA カード（UIM）
　：表示中の SMS を FOMA 端末や FOMA カードへコピー、または移動します。

[保護［解除］]
表示中のメールを保護または保護を解除します。

［保存］※4

アドレス：送信元や同報先のメールアドレスを電話帳に登録します。→P158

選択項目：表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。→P158

画像：表示中のメールに含まれている画像を保存できます。→P160

テンプレート：デコメール®をテンプレートとして保存します。
▶タイトルを編集▶「はい」

［添付ファイル操作］※3

表示中のｉモードメールに添付されているファイルを保存、削除します。→P159

［お預かりセンターに保存］

お預かりセンターに表示中のメールを保存します。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

［文字サイズ］

メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

※1 SMSでは「転送」となります。
※2 SMSでは「送信者番号コピー」となります。
※3 SMSでは表示されません。
※4 SMSでは「電話番号保存」となり、送信元の電話番号を電話帳に登録します。

お知らせ

<移動／コピー>
- 1件あたり100Kバイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

<保護［解除］>
- 最大1000件まで保護できます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含むSMSはお預かりセンターに保存できません。

送信メール一覧画面のサブメニュー

1 送信メール一覧画面(P160)▶ ▤ ▶次の操作を行う

［編集］

送信したメールを編集して送信します。→P142、P183

［削除］

1件：選択中のメールを削除します。

選択：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶「はい」
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全削除（保護以外）
：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含まない）。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

全削除（保護含む）
：選択中のフォルダ内のメールをすべて削除します（保護メールを含む）。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[移動／コピー]

フォルダ移動 ：

1 件 ：選択中のメールを他のフォルダに移動します。

選択 ：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶ 移動したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］
▶ 移動先のフォルダを 2 回タッチ
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。

microSD へコピー

：選択中のメールまたはフォルダ内のメールを microSD カードへコピーします。フォルダ内のメールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

FOMA カード（UIM）

：選択中の SMS を FOMA 端末や FOMA カードへコピー、または移動します。

[自動振り分け設定]

メールを自動的にフォルダに振り分けるように設定します。

[保護／保護解除]

保護 ：

1 件 ：選択中のメールを保護します。

選択 ：メールを選択して保護します。
▶ 保護したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて保護します。

保護解除 ：

1 件 ：選択中のメールを保護解除します。

選択 ：メールを選択して保護解除します。
▶ 保護解除したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 ：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターにメールを保存します。

1 件保存 ：選択中のメールを保存します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

選択保存 ：メールを選択して保存します。
▶ 保存したいメールにチェックを付ける ▶ ［完了］▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
• 保存件数が 10 件以下の場合は、 をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

[ソート]

条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメールのみを表示します。

保護のみ ：保護されているメールのみ表示します。

添付ファイルのあるメール

：ファイルが添付されているメールのみ表示します。

メール ：ｉモードメールのみ表示します。

SMS ：SMS、SMS 送達通知のみ表示します。

全て ：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[検索]

スケジュール	：カレンダーから日付を選択することで、選択した日に受信したメールを検索します。
電話帳	：FOMA 端末電話帳のグループ検索で電話帳を選択し、メールを検索します。 ・ 選択した電話帳に登録されているメールアドレス 1（登録されていないときは電話番号 1）から受信したメールのみ検索します。
メール送信履歴	：メール送信履歴で選択した電話番号／メールアドレスから受信したメールを検索します。
メール受信履歴	：メール受信履歴で選択した電話番号／メールアドレスから受信したメールを検索します。
宛先入力	：送信先の電話番号／メールアドレスを直接入力してメールを検索します。
題名	：題名を入力してメールを検索します。 ・ 前方一致で検索します。

お知らせ

<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

<移動／コピー>
- 1 件あたり 100K バイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

<保護／保護解除>
- 最大 500 件まで保護できます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含む SMS はお預かりセンターに保存できません。

送信メール詳細画面で編集する

1 送信メール詳細画面（P161）▶［編集］

送信メール詳細画面から削除する

1 送信メール詳細画面（P161）▶［削除］

お知らせ

<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

送信メール詳細画面のサブメニュー

1 送信メール詳細画面(P161)▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[編集] ※1

SMS 作成画面を表示します。

[移動／コピー]

表示中のメールの内容を移動、またはコピーします。

本文コピー	：本文の内容を選択してコピーします。
表題コピー※2	：件名をコピーします。
アドレスコピー※3	：送信元のメールアドレスをコピーします。同報先のアドレスがある場合は、メールアドレス一覧画面からコピーするメールアドレスをタッチします。 ・ コピー操作について→ P380
フォルダ移動	：表示中のメールを他のフォルダに移動します。
microSD へコピー	：表示中のメールを microSD カードへコピーします。
FOMA カード（UIM）	：表示中の SMS を FOMA 端末や FOMA カードへコピー、または移動します。

[保護［解除］]

表示中のメールを保護または保護を解除します。

次のページへ続く

[保存] ※4

アドレス
: 送信元や同報先のメールアドレスを電話帳に登録します。→P158

選択項目
: 表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。→ P158

画像 : 表示中のメールに含まれている画像を保存できます。→ P160

テンプレート
: デコメール®をテンプレートとして保存します。
▶ タイトルを編集 ▶「はい」

[添付ファイル操作] ※3

表示中の i モードメールに添付されているファイルを保存、削除します。→ P159

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターに表示中のメールを保存します。

▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[文字サイズ]

メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

※ 1 i モードメールでは表示されません。
※ 2 SMS では「送信者番号コピー」となります。
※ 3 SMS では表示されません。
※ 4 SMS では「電話番号保存」となり、宛先の電話番号を電話帳に登録します。

お知らせ

<移動/コピー>
- 1 件あたり 100K バイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

<保護［解除］>
- 最大 500 件まで保護できます。

<お預かりセンターに保存>
- 韓国語を含む SMS はお預かりセンターに保存できません。

未送信メール一覧画面のサブメニュー

1 未送信メール一覧画面(P162)▶メールをタッチ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[削除]

1 件 : 選択中のメールを削除します。

選択 : メールを選択して削除します。
▶ 削除したいメールにチェックを付ける ▶［完了］▶「はい」
- ▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

全件 : 未送信メールをすべて削除します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[お預かりセンターに保存]

お預かりセンターにメールを保存します。

1 件保存 : 選択中のメールを保存します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

選択保存 : メールを選択して保存します。
▶ 保存したいメールにチェックを付ける ▶［完了］▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
- 保存件数が 10 件以下の場合は、▤ をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。

[ソート]
条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]
条件に合うメールのみを表示します。
メール： i モードメールのみ表示します。
SMS　： SMS のみ表示します。
全て　： 未送信メールをすべて表示します。

[microSD へコピー]
選択中のメール、またはすべての未送信メールを microSD カードへコピーします。すべての未送信メールを全件コピーするには端末暗証番号の入力が必要になります。

[自動送信キャンセル]
自動送信をキャンセルします。

[自動送信失敗理由]
自動送信に失敗した理由を表示します。

お知らせ

＜お預かりセンターに保存＞
- 韓国語を含む SMS はお預かりセンターに保存できません。

＜ microSD へコピー＞
- 1 件あたり 100K バイトを超えるメールでは、添付ファイルや貼り付けられた画像が削除されます。

メール受信履歴／メール送信履歴／メール最新履歴

メールの履歴を利用する

メール受信履歴／メール送信履歴には、メールを受信／送信した履歴がそれぞれ 30 件まで記録されます。また、メール最新履歴には受信／送信した履歴が合わせて 60 件まで記録されます。これらの履歴を利用してメールを作成したり、履歴に含まれている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録したりできます。

- 記録可能件数を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 ▶

2 履歴を表示

■ **メール受信履歴を表示させる場合**
「メール受信履歴」
■ **メール送信履歴を表示させる場合**
「メール送信履歴」
■ **メール最新履歴を表示させる場合**
「メール最新履歴」
- ［発信］：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。
- ［メール］：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。

例：メール受信履歴一覧画面

3 履歴をタッチ

- ［発信］：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。
- ［メール］：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。

❶ **電話帳に登録されている名前**
❷ **相手の電話番号／メールアドレス**
❸ **受信／送信日時**

例：メール受信履歴詳細画面

■ メール受信履歴／メール送信履歴／メール最新履歴に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	受信したｉモードメール
	送信したｉモードメール
	受信した SMS
	送信した SMS
R	ローミング地域で受信／送信したメール／ SMS※

※ 受信／送信日時は現地時間で表示されます。

メール受信履歴／メール送信履歴／メール最新履歴のサブメニュー

例：メール受信履歴一覧画面の場合

1 メール受信履歴一覧画面(P173)▶ ▤ ▶次の操作を行う

［発信］

音声通話　：選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。
テレビ電話　：選択中の履歴の電話番号へテレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：選択中の履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

［メール］※

メール作成　：選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作３(P142)へ進みます。
新規 SMS 作成：選択中の履歴の宛先／送信元に SMS を作成します。「SMSを作成して送信する」の操作３(P184)へ進みます。

［電話帳登録］

選択中の履歴の電話番号／メールアドレスを電話帳に登録します。「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作２(P92)へ進みます。

- 未登録の電話番号／メールアドレスのみ登録できます。

［履歴切替］※

通話最新履歴　：通話最新履歴を表示します。
メール最新履歴：メール最新履歴を表示します。
着信履歴　：電話の着信履歴を表示します。
リダイヤル　：電話のリダイヤルを表示します。
メール送信履歴：メール送信履歴を表示します。

- 表示中の履歴にあたる項目は表示されません。

[削除]
選択中の履歴を削除します。

1件※：選択中の履歴を削除します。
選択※：履歴を選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件※：すべての履歴を削除します。

※ 詳細画面では表示されません。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

1 メールメニュー画面（P141）▶「メール設定」▶次の操作を行う

[メール選択受信設定]
メール選択受信（P155）を有効／無効にするために、iモードメールの自動受信をするかどうかを設定します。

ON ：メールを自動受信しません。
OFF：メールを自動受信します。

[添付ファイル]
iモードメールを受信する際に、取得する添付ファイルを設定します。
▶取得したい項目にチェックを付ける

[iモード問い合わせ設定]
「iモード問い合わせ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。
▶問い合わせたい項目にチェックを付ける

[文字サイズ]
メール詳細画面の本文の文字サイズを設定します。
・受信メール詳細画面▶ ▶「文字サイズ」をタッチしても変更できます。

[フォルダセキュリティ]
メールメニューの受信／送信メールBOX、および未送信メールにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したメールを表示するには、端末暗証番号の入力が必要になります。
▶端末暗証番号を入力▶設定したい項目の［ ・ ］をタッチ

[メロディ自動再生]
メール表示画面で、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

[受信表示]
FOMA端末操作中（待受画面以外を表示中）にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときに、着信音や受信結果画面を表示してお知らせするかどうかを設定します。

通知優先：着信音や受信結果画面を表示してお知らせします。
- 通話中やカメラ起動中など、操作中の機能によっては受信結果画面は表示されません。

操作優先：FOMA端末の操作を優先し、着信音や受信結果画面などでお知らせしません。
- ディスプレイ消灯時にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときは、ディスプレイも点灯しません。

[メッセージ自動表示設定]
メッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。→P180

[メールグループ]
メールアドレスをグループに登録して、決まった複数の宛先の選択を簡単にします。→P177

[自動振り分け設定]
メールを自動的にフォルダに振り分ける条件を設定します。→P178

[SMS設定]
SMSの設定を行います。→P186

[端末情報利用設定]
メール表示中にFlash画像を表示する場合、FOMA端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

[編集]
冒頭文や署名、引用符の編集を行います。→P179

[メール設定確認]
「メール設定」で設定した内容を確認します。

[メール設定リセット]
「メール設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

お知らせ

<メール選択受信設定>
- 「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、受信通知画面（P155）が表示されます。

<添付ファイル>
- 受信しないように設定されている添付ファイルが送信された場合は、本文中にファイル名が表示され、選択して受信できます。→P158

<端末情報利用設定>
- 「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、Select language、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

メールグループ

メールグループを登録する

メールアドレスをグループに登録して、決まった複数の宛先の選択を簡単にします。
メールグループは 20 件まで登録できます。1 つのメールグループに宛先を 5 件まで登録できます。

1 メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「メールグループ」

メールグループ一覧画面

2 [追加] ▶ メールグループ名を入力

3 登録したメールグループを 2 回タッチ ▶ 宛先欄を 2 回タッチ ▶ 登録方法をタッチ

メール送信履歴 ：メール送信履歴一覧画面から宛先をタッチします。
メール受信履歴 ：メール受信履歴一覧画面から宛先をタッチします。
電話帳 ：電話帳から宛先をタッチします。
直接入力 ：宛先を直接入力します。

メールグループ一覧画面のサブメニュー

1 メールグループ一覧画面(P177)▶ ▤ ▶次の操作を行う

[グループ削除]
選択中のメールグループを削除します。

[グループ追加]
メールグループを新規作成します。

[グループ名編集]
選択中のメールグループの名前を編集します。

[メール作成]
選択中のメールグループを宛先にしてｉモードメールを作成します。
→ P142

自動振り分け設定

メールを自動的にフォルダに振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

自動振り分けルールを設定する

メールを自動的にフォルダに振り分ける条件を設定します。

- あらかじめメールを振り分けるためのフォルダを「受信メール」「送信メール」内に作成しておいてください。
- 振り分け条件は 30 件まで登録できます。

1 メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「自動振り分け設定」

自動振り分け設定
受信メール自動振り分け
送信メール自動振り分け
再ソート

自動振り分け設定画面

2 「受信メール自動振り分け」/「送信メール自動振り分け」

3 自動振り分けルール設定欄を 2 回タッチ

4 振り分け条件欄を 2 回タッチ ▶ 次の操作を行う

[アドレス]
メールアドレスや電話番号を条件に設定して振り分けます。

▶「直接入力」▶ メールアドレス/電話番号を入力
- メール最新履歴や通話最新履歴、電話帳からアドレスを選択できます。→P143

[電話帳グループ]
電話帳グループを条件に設定して振り分けます。

[題名]
メールの件名を条件に設定して振り分けます。

5 振り分け対象欄をタッチ ▶ メールを振り分けるフォルダを 2 回タッチ ▶ [保存]

お知らせ
- 振り分け条件を編集するには、編集したい条件をタッチし、再度ルールを設定します。
- 他のフォルダに設定されている振り分け条件と同じ条件は設定できません。
- メールアドレスを振り分け条件にする場合は、ドメイン名 (@ 以降) も含めて設定してください。
- SMS に振り分け条件を設定する場合は、「アドレス」で電話番号を指定します。「電話帳グループ」/「題名」では振り分けできません。

メールを再振り分けする

保存されているメールを、振り分け条件に従って再振り分けします。

1 自動振り分け設定画面(P178)▶「再ソート」▶「受信メール」/「送信メール」

2 再振り分けするフォルダにチェックを付ける ▶ [開始] ▶「はい」

自動振り分けルールを削除する

1 自動振り分け設定画面（P178）▶「受信メール自動振り分け」／「送信メール自動振り分け」▶自動振り分けルール設定欄をタッチ▶ ▶次の操作を行う

［削除］

1件：選択中のルールを削除します。
選択：ルールを選択して削除します。
▶削除したいルールにチェックを付ける▶［完了］▶「はい」
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件：すべてのルールを削除します。

自動振り分けルールを並べ替える

自動振り分けルールの実行優先順位は画面の表示順です。自動振り分けルールを並べ替えることで、優先順位を変更することができます。

1 自動振り分け設定画面（P178）▶「受信メール自動振り分け」／「送信メール自動振り分け」

2 並べ替えたい自動振り分けルール設定欄をタッチ▶［並べ替え］▶自動振り分けルールをドラッグして移動▶

編集

冒頭文／署名／引用符を編集する

1 メールメニュー画面（P141）▶「編集」▶「メール設定」▶次の操作を行う

［冒頭文編集］
iモードメール本文に挿入する冒頭文を設定します。
▶冒頭文を入力

［署名編集］
iモードメール本文に挿入する署名を設定します。
▶署名を入力

［引用符編集］
iモードメールを引用付き返信するときに、受信メールから引用したことを表す記号を設定します。
▶引用符編集欄をタッチ▶引用符を入力▶［完了］

［自動貼付］
iモードメール作成時に冒頭文、署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。
▶貼り付けたい項目にチェックを付ける

メッセージ受信

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR/FがiモードセンターからRe自動的に送られてきます。メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータなどでお知らせします。

- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。ただし、保存可能件数はデータ量により異なります。
- FOMA端末に保存されているメッセージR/Fが最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読のメッセージR/Fから順に削除されます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。

新着メッセージを表示する

メッセージR/Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。

- メッセージR/Fを受信した後に、詳細画面を自動表示するかどうかなどを「メッセージ自動表示設定」で変更できます。→P180

1 メッセージR/Fを受信すると画面上部にRFが表示される

- 受信完了後、メッセージR/Fの受信結果が表示されます。
- 何も操作しないで約7秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 受信結果の表示後にメッセージが約15秒間表示されます。

メッセージ自動表示設定

メッセージを自動的に表示する

メッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「メッセージ自動表示設定」▶自動表示方法をタッチ

メッセージR優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージRのみ：メッセージRのみ自動表示します。
メッセージF優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージFのみ：メッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし：自動表示しません。

メロディ自動再生

メッセージ表示時のメロディの自動再生を設定する

メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「メロディ自動再生」▶「ON」／「OFF」

ｉモード問い合わせ

メッセージがあるかどうか問い合わせる

FOMA 端末が圏外のときなど、受信できなかったメッセージ R/F はｉモードセンターに保管され、画面上部に、、が表示されます。

ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージ R/F を受信できます。

- FOMA 端末が圏外のときは、問い合わせできません。
- ｉモードセンターに問い合わせる項目（ｉモードメール、メッセージ R/F）は、「ｉモード問い合わせ設定」（P175）で設定できます。

1 メールメニュー画面（P141）▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせが完了すると、問い合わせ結果画面が表示されます。

2 「メッセージ R」／「メッセージ F」

お知らせ

- 次のような場合にメッセージ R/F を受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源 OFF のとき
  - セルフモード設定中
  - おまかせロック設定中
  - FOMA 端末のメッセージ R/F が満杯のとき
  - テレビ電話中
  - 圏外のとき

メッセージ R ／メッセージ F

メッセージを表示する

メッセージ R/F が届くと、画面の上部に が表示されます。

1 メールメニュー画面▶「受信メール」▶「メッセージ R」／「メッセージ F」

- ［削除］：選択中のメッセージ R/F を削除します。

❶ 件名
❷ 受信した日時
メッセージ R/F 一覧画面では、前日までに受信したメッセージは日付が表示され、当日受信したメッセージは時刻が表示されます。

例：メッセージ R 一覧画面

2 メッセージ R/F を 2 回タッチ

❶ 受信した日時
❷ 件名

例：メッセージ R 詳細画面

次のページへ続く

■ メッセージ R/F 一覧画面／詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説 明
／	未読のメッセージ R/F
／	既読のメッセージ R/F

※ 上記以外は、受信メールと同様です。→ P163

メッセージ R/F 一覧画面のサブメニュー

1 **メッセージR/F一覧画面(P181)▶メッセージをタッチ▶ ▶次の操作を行う**

[削除]

1 件 ：選択中のメッセージ R/F を削除します。
選択 ：メッセージ R/F を選択して削除します。
▶削除したいメッセージ R/F にチェックを付ける▶[完了]
▶「はい」
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。
既読全削除：既読のメッセージ R/F をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」
全削除（保護以外）
：メッセージ R/F をすべて削除します（保護メッセージ R/F を含まない）。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」
全削除（保護含む）
：メッセージ R/F をすべて削除します（保護メッセージ R/F を含む）。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[保護／保護解除]

保護 ：
1 件 ：選択中のメッセージ R/F を保護します。
選択 ：メッセージ R/F を選択して保護します。
▶保護したいメッセージ R/F にチェックを付ける
▶［完了］
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。
全件 ：メッセージ R/F をすべて保護します。
保護解除：
1 件 ：選択中のメッセージ R/F を保護解除します。
選択 ：メッセージ R/F を選択して保護解除します。
▶保護解除したいメッセージ R/F にチェックを付ける
▶［完了］
• をタッチして、「すべて選択」「すべて選択解除」を選択できます。
全件 ：メッセージ R/F をすべて保護解除します。

[ソート]

条件を設定してメッセージ R/F を並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメッセージ R/F のみを表示します。

未読のみ：未読のメッセージ R/F のみ表示します。
既読のみ：既読のメッセージ R/F のみ表示します。
保護のみ：保護されているメッセージ R/F のみ表示します。
全て ：メッセージ R/F をすべて表示します。

お知らせ

＜削除＞
- 未読のメッセージR/Fがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。
- 保護されているメールは削除できません。

＜保護／保護解除＞
- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保護できます。

メッセージR/F詳細画面で削除する

1 メッセージR/F詳細画面（P181）▶［削除］

お知らせ

＜削除＞
- 保護されているメールは削除できません。

メッセージR/F詳細画面で保護／保護解除する

1 メッセージR/F詳細画面(P181)▶[保護／保護解除]

お知らせ

＜保護／保護解除＞
- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保護できます。

メッセージR/F詳細画面のサブメニュー

1 メッセージR/F詳細画面(P181)▶ ▤ ▶次の操作を行う

[保存]

選択項目：表示中のメッセージR/Fに記載されているメールアドレス、電話番号を電話帳に登録します。→P158

画像：表示中のメッセージR/Fに挿入されている画像を保存したり、情報を確認することができます。

背景画像：表示中のメッセージR/Fの背景画像を保存します。

[添付ファイル操作]

保存：表示中のメッセージR/Fの添付ファイルを保存します

削除：表示中のメッセージR/Fの添付ファイルを削除します。

SMS作成／送信

SMSを作成して送信する

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 韓国語に対応している端末どうしで、韓国語が入力されたSMSの送受信ができます。
- L-03Cを利用して、韓国をはじめとした海外通信事業者の韓国語対応端末と、韓国語で国際SMSの送受信が可能です。国際SMSを利用可能な海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。また、送信できる文字数は通信先事業者の状況により異なります。詳細は各送信先通信事業者へお問い合わせください。
- SMS本文の入力モードを韓国語に切り替える→P186

次のページへ続く

1 メールメニュー画面（P141）▶「新規 SMS 作成」

SMS 作成画面

2 To 欄をタッチ ▶「直接入力」▶ 電話番号を入力

- 21 桁（「+」含む）まで入力できます。
- 電話番号の入力画面で ▤ をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。
- メール送信履歴やメール受信履歴、電話帳から宛先を選択できます。→ P143

3 ［本文］欄を 2 回タッチ ▶ 本文を入力

- 入力できる文字数は、「SMS 本文入力」の設定により異なります。→ P186

4 ［送信］

お知らせ

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」（［0］を 1 秒以上タッチする）、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる番号は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からの SMS に返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく送信されない場合があります。
- 海外通信事業者を利用している相手に SMS を送信したとき、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。
- 送信元が公衆電話、通知不可能の SMS には返信できません。
- SMS 送信時の♥、☎以外の「絵文字」「絵文字熟語」は、受信側では半角スペースに置き換わって表示されます。
- 韓国語を入力した SMS を、韓国語に対応していない端末に送信した場合は、相手に文字が正しく表示されません。
- 送信が正常に終了したときは、SMS は送信メール BOX に保存されます。最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。

SMS 作成画面のサブメニュー

1 SMS 作成画面（P184）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［保存］
作成中や編集中の SMS を未送信メールとして保存します。

［SMS 送達通知］
SMS を送信したときに SMS 送達通知を要求するかどうかを設定します。→ P186

［SMS 有効期間］
送信した SMS が SMS センターに保管される期間を設定します。→P186

SMS 受信

SMS を受信したときは

FOMA 端末が圏内にあるときは、自動的に SMS が送られてきます。

- 受信した SMS は、ｉモードメールと合わせて最大 1000 件保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。
- FOMA 端末に保存されている受信メールが最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。

1 SMS を受信すると、画面上部に ✉ が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

- 何も操作しないで約 7 秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 受信結果画面を 2 回タッチすると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信した SMS の詳細画面を表示するまで、画面上部には ✉ 、基本待受画面には ✉ 1（数字は件数）が表示されます。

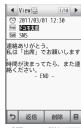
受信結果画面

お知らせ

- 待受ｉアプリ設定時は、SMS の受信結果画面は表示されず、SMS 着信音およびバイブレータは動作しません。

新着 SMS を表示する

1 受信結果画面（P185）を２回タッチ▶フォルダを２回タッチ

2 表示したい SMS を 2 回タッチ

受信メール詳細画面

SMS 問い合わせ

SMS があるかどうかを問い合わせる

FOMA 端末が圏外のときなど、受信できなかった SMS は SMS センターに保管されます。SMS センターに問い合わせると、保管されている SMS を受信できます。

- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 メールメニュー画面（P141）▶「SMS 問い合わせ」

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

SMS設定

SMSを設定する

SMS送達通知

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、SMSが相手に届いたことをお知らせするSMS送達通知が届きます。

1 **メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「SMS設定」▶「SMS送達通知」▶「ON」/「OFF」**

お知らせ
- SMS送達通知には、送信時間と送信相手の番号が表示されます。

SMS有効期間

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管される期間を設定します。
- 「0日」を設定すると一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。

1 **メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「SMS設定」▶「SMS有効期間」▶有効期間をタッチ**

お知らせ
- 「SMS有効期間」の設定は、FOMAカードに保存されます。

SMS本文入力

SMS本文の入力モードを設定します。

1 **メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「SMS設定」▶「SMS本文入力」▶設定したい項目をタッチ**

日本語(70文字):日本語を入力できます。最大文字数は70文字です。
日・韓(70文字):日本語と韓国語を入力できます。最大文字数は70文字です。
英語(160文字):英語を入力できます。最大文字数は160文字です。

SMSセンター

※通常は設定を変える必要はありません。

SMSセンターの設定をします。

1 **メールメニュー画面(P141)▶「メール設定」▶「SMS設定」▶「SMSセンター」▶次の操作を行う**

[SMSセンター]
ドコモ:SMSセンターをドコモに設定します。
その他:SMSセンターをドコモ以外に設定します。

[アドレス]
「SMSセンター」に「その他」を選択した場合、SMSセンターのアドレスを入力します。

[Type of number]

「SMS センター」に「その他」を選択した場合に設定します。

Unknown	：SMS センターの電話番号が国際番号かどうか不明な場合に設定します。
International	：SMS センターの電話番号が国際番号の場合に設定します。

お知らせ

- 「SMS センター」の設定は、FOMA カードに保存されます。

i モード／i モーション／i チャネル

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下、ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布できません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど)、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを基本待受画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードメニュー

ｉモードメニューを表示する

ｉモードメニューからｉモードの各機能を利用できます。

1 [MENU]▶「ｉモード」

ｉモードメニュー画面

2 次の操作を行う

[ｉ Menu・検索]
ｉ Menuに接続します。→P191

[Bookmark]
Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。→P203

[画面メモ]
画面メモ一覧画面を表示します。→P206

[ラストURL]
以前に表示したｉモードのサイトやインターネットホームページを表示します。→P195

[URL 入力]

URL 直接入力： URL を入力してサイトを表示します。「インターネットホームページを表示する」の操作 2（P201）へ進みます。

URL 入力履歴： URL 履歴を選択してサイトを表示します。「URL 履歴を使って表示する」の操作 2（P201）へ進みます。

[ｉモード設定]

ｉモードに関する FOMA 端末の機能を設定します。→ P212

[インターネット検索]

入力した内容をインターネットで検索します。→ P194

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。

- IP（情報サービス提供者）により、サービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要な場合があります。

1 ｉモードメニュー画面（P190）▶「ｉ Menu･検索」

ｉモード通信中は画面上部に が点滅します。

ｉ Menu 画面

2 「メニューリスト」▶項目（リンク先）を 2 回タッチ

- ▶「再読み込み」：表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。
- ［キー表示］▶ ：1 つ上の項目に移動／画面単位で上にスクロールします。
- ［キー表示］▶ ：1 つ下の項目に移動／画面単位で下にスクロールします。
- ／ ： ｉモードを終了します。「はい」を選択します。

次のページへ続く

お知らせ

- リンク先を示す項目の前に番号が表示されている場合は、その番号と同じ数字キーをタッチして直接リンク先に接続できます。ただし、サイトによっては接続できない場合があります。
- 接続先のサイトによっては、ご利用になるために「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。送信される「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を認識し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために用いられます。送信される「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりお客様の住所や年齢、性別が IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 表示できる画像ファイルは、JPEG・GIF・SWF 形式のものです。

サイト表示画面のサブメニュー

1 サイト表示中 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[Bookmark]

一覧 ：Bookmark フォルダ一覧画面を表示します。→ P203
登録 ：表示中のサイトの URL を Bookmark に登録します。「Bookmark に登録する」の操作 2（P202）へ進みます。

[画面メモ]

一覧 ：画面メモ一覧画面を表示します。→ P206
登録 ：表示中のサイトを画面メモに保存します。→ P205

[ラスト URL]

以前に表示した i モードのサイトやインターネットホームページを表示します。→ P195

[i Menu・検索]

i Menu に接続します。→ P191

[フルブラウザ]

フルブラウザホーム：フルブラウザのホームページに接続します。→ P224
フルブラウザ切替 ：フルブラウザに切り替えます。→ P229

[再読み込み]

表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。

[URL 入力・情報]

URL 入力 ：URL を入力してサイトを表示します。「インターネットホームページを表示する」の操作 2（P201）へ進みます。
URL 入力履歴：URL 履歴をタッチしてサイトを表示します。「URL 履歴を使って表示する」の操作 2（P201）へ進みます。
URL 表示 ：表示中のサイトの URL を表示します。
- URL をコピーするには、▤ ▶「コピー」をタッチします。

リンク先 URL 表示
：選択中のリンク先の URL を表示します。
- URL をコピーするには、▤ ▶「コピー」をタッチします。

タイトル表示 ：表示中のサイトのタイトルを表示します。

[ウィンドウ操作]

新ウィンドウで開く
：リンク／Bookmark／ラストURL／ｉ Menu・検索／URL入力／URL入力履歴／インターネット検索から呼び出した別のサイトを新しいウィンドウで表示します。→P198

リンクを新ウィンドウで開く
：選択中のリンクを新しいウィンドウで表示します。
- リンク先が動画ファイル（保存可能な標準タイプ）の場合、新しいウィンドウを開いて動画アプリケーションが起動します。
- リンク先が動画ファイル（保存不可能な標準タイプ／ストリーミングタイプ）の場合、現在のページを新しいウィンドウで表示します。

ウィンドウを閉じる
：表示中のサイトを閉じます。

ウィンドウ切替
：マルチウィンドウを表示中に、開いているサイトを一覧から選択します。

[画像保存]

画像1件保存：画像を1件保存します。→P209

画像複数保存：画像を選択して保存します。
▶取得したい画像にチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
- ▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。

画像一括保存：表示しているサイトのすべての画像を一括して保存します。

選択中画像：選択している画像を保存します。

背景画像保存：背景画像を保存します。背景1件保存／背景複数保存／背景一括保存から保存方法を選択できます。

[テキスト操作]

範囲選択：始点と終点をタッチして範囲を指定します。
▶始点をタッチ▶終点をタッチ
- 「コピー」をタッチすると選択した範囲をコピーします。また「インターネット検索」をタッチすると、指定した範囲をインターネットで検索できます。→P194

掴み選択（ドラッグ）
：掴み選択を表示します。

コピー：指定した範囲をコピーします。
▶コピーしたい文字が含まれる範囲の始点をタッチ▶終点をタッチ▶始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］▶「コピー」
- 範囲選択時に「全選択」をタッチするとすべての範囲を選択します。
- 動作選択時に「ユーザ辞書登録」をタッチすると、ユーザ辞書に登録されます。

貼付：コピーした文字を選択中のテキストボックスに貼り付けます。

[電話帳登録]

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P200

[メール作成]

表示中のサイトのURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P142）へ進みます。
項目（リンク先）選択中は次の項目のいずれかをタッチしてください。

このページ：表示中のサイトのURLを貼り付けます。
リンク先ページ：選択中の項目（リンク先）のURLを貼り付けます。

[表示／設定]

表示　：サイトの表示に関する設定を行います。
設定　：ｉモードの設定を行います。
証明書参照　：表示中のサイトが SSL/TLS に対応している場合は、SSL/TLS 証明書を表示します。
文字コード変換：表示中のサイトの文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。
リトライ　：情報を再読み込みします。

[検索]

ページ内検索：表示中のサイト内の文字を検索します。検索した文字があるときは、一致した文字が強調表示されます。
▶検索文字列欄をタッチ▶検索文字を入力▶［検索］
大文字と小文字を区別して検索するときには、「大文字小文字区別」にチェックを付けます。
検索結果を順に表示するには［前検索］／［次検索］をタッチします。

インターネット検索
：入力した内容をインターネットで検索します。
▶検索文字欄をタッチ▶検索文字を入力▶［完了］
検索エンジン欄に、検索エンジン名が表示されます。
ブラウザ種別欄で「フルブラウザ」をタッチすると、フルブラウザで検索できます。

[表示履歴]

そのときの通信で表示したｉモードのサイトやインターネットホームページの履歴をサムネイルで表示します。

[ｉチャネル]

ｉチャネル一覧画面を表示します。→P220

SSL/TLS ページを取得するときは

SSL/TLS に対応したサイトを取得すると右の画面が表示されます。取得が完了すると SSL/TLS ページが表示され、画面上部に🔒が表示されます。

通常のサイトに戻るには

SSL/TLS に対応していないサイトに戻る場合、右の画面が表示されます。「はい」を選択すると通常のサイトが表示され、🔒が消えます。

お知らせ

- SSL/TLS 証明書が期限切れになっている場合、サポートしていない場合など、接続先の安全性を確認できないことを知らせるメッセージが表示される場合があります。接続するときは「はい」を選択してください。ただし、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

<画像保存>

- 保存できる画像ファイルは、JPEG・GIF・SWF 形式で、500K バイトまでのものです。
- BMP 形式と PNG 形式の場合は、自動的に microSD カードの「OTHRE」フォルダに保存されます。FOMA 端末には保存できません。
- サイトやインターネットページによっては、画像を保存できない場合があります。

<テキスト操作>

- ページによっては、テキストコピーができない場合があります。

<文字コード変換>

- 正しく表示されない場合は、操作を繰り返してください。ただし、4 回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されない場合があります。
- 変換した文字コードは、表示中のサイトに対してのみ有効です。

<画像表示設定>

- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は ✕ が表示されます。

ラスト URL

最近表示したページに再接続する

ｉモードを終了すると、最近表示していたページの URL が「ラスト URL」に記憶されます。ラスト URL を使って最近表示したページに再接続します。

1 ｉモードメニュー画面（P190）▶「ラスト URL」▶表示したいページをタッチ▶［選択］

お知らせ

- 「ラスト URL」には、最近表示したページが 50 件保存されています。
- ｉモードの URL には i 、フルブラウザの URL には FB が表示されます。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。
ｉモードの操作には、タッチパネルを用いたものとキーアイコンを用いたものがあります。

タッチパネルでサイトを操作する

タッチパネルを用いてサイトを操作することができます。

操　作	説　明
タッチ	リンクの選択／ポインタの移動※
2 回タッチ	リンク先の表示
スライド	画面のスクロール／ポインタの移動※

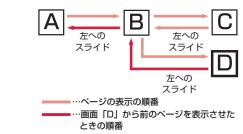
※「ポインタ表示設定」で「表示する」に設定していると、ポインタを操作できます。

前のページに戻る／進む

FOMA 端末は、表示したサイトなどの画面データをキャッシュという端末内の場所に記憶しています。
キャッシュに記憶された画面は、左右へのスライドで通信を行わずに表示できます。

- キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュは削除されます。

例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

下図のように「A」→「B」→「C」の順にページを表示させてから「B」に戻り、次に「D」のページを表示させた場合は、「C」はキャッシュから削除されます。左右へスライドすると「B」⇔「D」のページが表示されます。

お知らせ

- Flash 画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

キーを表示する

画面上にキーを表示します。キーをタッチすることでページ操作を行うことができます。

1 サイト表示中 ▶［キー表示］

- ［キー非表示］をタッチするとキーを非表示にすることができます。

アイコン	操作例
◀ ▲ ▶ ▼	ページをスクロールしたり、カーソルを移動したりします。
OK	リンクなどを選択します。

アクション

ページを操作する

閲覧しているサイトに対して操作を行うことができます。

1 サイト表示中 ▶［アクション］▶ 次の操作を行う

［戻る］ ※1
一つ前のページを表示します。

［進む］ ※1
一つ先のページを表示します。

［全キー表示］／［数字キー表示］／［数字キー非表示］
キーを表示していない場合はすべてのキーを表示します。キーを表示している場合は数字キーを表示します。すべてのキーを表示している場合は数字キーを非表示にします。

［リンクを新ウィンドウで開く］
現在選択しているリンク先のサイトを新しいウィンドウで開きます。→P198

［リンク先 URL 表示］
現在選択しているリンク先のサイトの URL を表示します。

［ページの先頭に移動］
表示中のサイトの先頭へ移動します。

［ページの末尾に移動］
表示中のサイトの末尾へ移動します。

［掴み選択（ドラッグ）］ ※2
掴み選択を表示します。

［テキスト範囲選択］ ※2
始点と終点をタッチして範囲を指定します。

▶ 始点をタッチ ▶ 終点をタッチ

- 「コピー」をタッチすると選択した範囲をコピーします。また「インターネット検索」をタッチすると、指定した範囲をインターネットで検索できます。→P194

［テキストコピー］ ※2
指定した範囲をコピーします。

▶ コピーしたい文字が含まれる範囲の始点をタッチ ▶ 終点をタッチ ▶ コピーしたい文字の始点をタッチ ▶［選択］▶ 終点をタッチ ▶［選択］▶「コピー」

- 範囲選択時に「全選択」をタッチするとすべての範囲を選択します。
- 動作選択時に「切り取り」をタッチすると、指定した範囲を切り取ります。
- 動作選択時に「ユーザ辞書登録」をタッチすると、ユーザ辞書に登録されます。

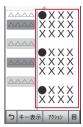
※1 サムネイルが表示されているときに左右の画像をタッチすると、それまで表示してきたサイトを選択できるようになります。画像を 2 回タッチすると、サイトを表示できます。
※2「ポインタ表示設定」で「表示する」にすると設定できます。

お知らせ

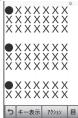
- 操作の状況によって表示されない項目があります。

フレーム対応のホームページを表示する

複数のフレームで構成されたサイトを表示できます。

1 フレームで構成されたサイトを表示

フレーム
全体表示画面

2 拡大表示したいフレームを 2 回タッチ

- フレーム全体表示画面に戻るときは、 を タッチします。

フレーム
拡大表示画面

お知らせ

- フレームでの分割数が多いサイトの場合、すべてのフレームを表示できない場合があります。

複数のホームページを表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。複数のウィンドウを同時に開いていることを「マルチウィンドウ」と呼びます。

- ウィンドウは最大 5 つまで表示できます。フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。

1 サイト表示中 ▶ ▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶ 次の操作を行う

[リンク]
リンク先のサイトを表示します。

[Bookmark]
Bookmark フォルダの一覧画面を表示します。

[ラスト URL]
最近表示したページの一覧画面を表示します。

[ｉ Menu・検索]
ｉ Menu を表示します。

[URL 入力]
URL を入力して新しいウィンドウで開きます。

[URL 入力履歴]
URL 履歴を選択してサイトを表示します。「URL 履歴を使って表示する」の操作 2（P201）へ進みます。

［インターネット検索］
入力した内容をインターネットで検索します。

お知らせ

- ウィンドウを切り替えるには、▶「ウィンドウ操作」▶「ウィンドウ切替」▶表示したいウィンドウ名をタッチします。

リンク先や項目先を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては次の操作が必要となる場合があります。詳しくは『ご利用ガイドブック(ｉモード< FOMA >編)』をご覧ください。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	(非選択状態) (選択状態)	選択肢の中から１つだけ選択できます。
チェックボックス	(非選択状態) (選択状態)	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス		文字を入力します。テキストボックスをタッチすると文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	選択して下さい 選択して下さい ﾌﾟﾗﾝ1 ﾌﾟﾗﾝ2 ﾌﾟﾗﾝ3 ﾌﾟﾗﾝ4 ﾌﾟﾗﾝ5	選択肢の一覧から項目をタッチします。プルダウンメニューをタッチすると選択肢一覧が表示されます。

Flash 画像の表示について

FOMA 端末では、絵や音を利用したアニメーション技術を用いたFlash 画像の表示に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash 画像をダウンロードし、基本待受画面に設定することもできます。

お知らせ

- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash 画像によっては、お客様の FOMA 端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報利用設定」を「有効」に設定してください。
- Flash 画像に音声が含まれている場合は、「音声／テレビ電話着信音」で設定された音量で鳴ります。効果音を鳴らさない場合は「サウンド設定」を「OFF」に設定してください。→ P212
- バイブレータが設定されている Flash 画像を再生した場合、FOMA端末の「バイブレータ設定」(P106)などの設定に関わらず振動します。
- 「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」(P213)を「表示しない」に設定すると、Flash 画像は表示されません。
- Flash 画像をデータ BOX や microSD カード、画面メモに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 基本待受画面や着信画面などに設定された Flash 画像の効果音やバイブレータは動作しません。

＜ Flash 画像のリトライ＞
Flash 画像は端末の縦表示／横表示の切り替えによりリトライします。コンテンツによっては入力した文字などが消える場合があります。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

1 サイト表示中▶電話番号／メールアドレスをタッチ▶ 目 ▶「電話帳登録」▶「はい」

「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P92）へ進みます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。

1 登録したいサイトを表示▶「マイメニュー登録」

- サイトにより項目名が若干異なる場合があります。

2 iモードパスワードのテキストボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」

- 入力したiモードパスワードは「＊」で表示されます。
- iモードパスワード→P200

お知らせ

- 「メニューリスト」内の有料サイトに申し込まれると、自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 iモードメニュー画面（P190）▶「i Menu・検索」▶「マイページ」▶接続したいサイトを選択

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／解除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは、「iモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

1 iモードメニュー画面（P190）▶「i Menu・検索」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のテキストボックスをタッチ▶iモードパスワード（4桁）を入力

3 「新パスワード」のテキストボックスをタッチ▶新しいiモードパスワード（4桁）を入力

4 「新パスワード確認」のテキストボックスをタッチ▶新しいiモードパスワード（4桁）を入力

5 「決定」

お知らせ

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

Internet 接続

インターネットホームページを表示する

URL を入力して、インターネットホームページを表示します。URL は半角の英数字や記号で入力します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「URL入力」▶「URL直接入力」

2 URL 入力欄をタッチ ▶URL を入力

- 半角で 2033 文字まで入力できます。
- 2 回目からは、前回入力し接続した URL が表示されます。

3 「ｉモードブラウザ」／「フルブラウザ」

4 「OK」

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は、正しく表示されない場合があります。
- 履歴に記録されている URL と同じ URL を入力して接続した場合は、上書き保存され、最新の URL 履歴として一番上に表示されます。ただし、ブラウザ種別が異なる場合は、上書き保存されません。

URL 履歴を使って表示する

入力した URL は、URL 入力履歴として 50 件まで記録されます。URL 入力履歴を利用してインターネットホームページを表示します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「URL入力」▶「URL入力履歴」

URL 入力履歴一覧画面

2 表示したい URL をタッチ ▶ ［選択］

3 「ｉモードブラウザ」／「フルブラウザ」

4 「OK」

- URL 欄をタッチすると URL を編集できます。
- ｉモードの URL 入力履歴には ｉ 、フルブラウザの URL 入力履歴には FB が表示されます。

お知らせ

- 履歴が 50 件を超えた場合、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 利用した履歴は、最新の URL 入力履歴として一番上に表示されます。

URL 履歴一覧画面のサブメニュー

1 URL入力履歴一覧画面(P201)▶URL履歴をタッチ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[接続]
選択中の URL 履歴のサイトに接続します。

[URL 表示]
選択中の履歴の URL を表示します。

[削除]

1 件削除：選択中の URL 履歴を削除します。
選択削除：URL 履歴を選択して削除します。
▶削除したいURL履歴にチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
- ▤ ▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。

全削除：URL 履歴をすべて削除します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

[メール作成]
選択中の履歴の URL を本文に貼り付けて、i モードメールを作成します。「i モードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

Bookmark

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページを Bookmark に登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

Bookmark に登録する

- Bookmark はフォルダ全体で最大 200 件登録できます。

1 サイト表示中 ▶ ▤ ▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトル欄をタッチ ▶ タイトルを編集 ▶ ［OK］▶ 登録したいフォルダを 2 回タッチ

- 既に登録済みの URL を登録しようとした場合は、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」をタッチします。
- URL を編集する場合は、URL 欄をタッチ ▶URL を編集します。

お知らせ

- Bookmark に登録できる URL の文字数は、半角で 256 文字までです。
- Bookmark のタイトルは全角 12 文字まで、半角 24 文字まで登録できます。
- タイトルがないとき、Bookmark 一覧には URL が表示されます。
- Bookmark が最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は「はい」▶ フォルダを選択 ▶ 削除する Bookmark を選択 ▶ 登録したいフォルダを選択します。
- Bookmark は、i モードの Bookmark とフルブラウザの Bookmark で共用しています。例えば i モードの Bookmark を 120 件登録し、フルブラウザの Bookmark を 80 件登録することができます。

Bookmarkからホームページやサイトを表示する

1 iモードメニュー画面（P190）▶「Bookmark」

Bookmark
フォルダ一覧画面

■ Bookmarkフォルダ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
（緑）	「Bookmark」（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
（青）	ユーザ作成フォルダ

2 フォルダを2回タッチ

Bookmark
一覧画面

3 表示したいBookmarkを2回タッチ

次のページへ続く

Bookmark フォルダ一覧画面のサブメニュー

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面(P203)▶フォルダをタッチ▶ ▶次の操作を行う**

[フォルダ管理]

フォルダ追加：フォルダを追加します。フォルダ名は全角で16文字、半角で32文字までで入力します。

フォルダ名編集：選択中のフォルダの名前を編集します。

フォルダ並べ替え：選択中のフォルダを並べ替えます。

フォルダセキュリティ：フォルダのセキュリティを設定／解除します。▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[削除]

フォルダ1件削除：選択中のフォルダを削除します。▶端末暗証番号を入力▶「はい」

全削除：Bookmarkをすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[外部メモリ全件コピー]

Bookmarkをすべて microSD カードにコピーします。

▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[件数確認]

Bookmark全体の保存件数を表示します。

[Bookmark表示切替]

Bookmarkの表示方法をリスト表示とサムネイル表示で切り替えます。

お知らせ

<フォルダ並べ替え／フォルダ1件削除>

- お買い上げ時に登録されている「Bookmark」フォルダは、移動や削除はできません。

Bookmark 一覧画面のサブメニュー

1 **Bookmark一覧画面(P203)▶Bookmarkをタッチ▶ ▶次の操作を行う**

[接続]

選択中のBookmarkのサイトに接続します。

[編集]

選択中のBookmarkのタイトルとURLを編集します。

▶タイトルとURLを編集▶［OK］

[URL表示]

選択中のBookmarkのURLを表示します。

[フォルダ移動]

1件移動：選択中のBookmarkを他のフォルダに移動します。

選択移動：Bookmarkを選択して移動します。▶移動したいBookmarkにチェックを付ける▶［完了］▶移動先のフォルダを2回タッチ
- ▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。

全件移動：フォルダ内のBookmarkをすべて他のフォルダに移動します。

[削除]

1 件削除 ：選択中の Bookmark を削除します。
選択削除 ：Bookmark を選択して削除します。
▶削除したい Bookmark にチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
・ ▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。
全削除 ：Bookmark をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[メール作成]

選択中の Bookmark を添付して、ｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

[外部メモリへコピー]

microSD へ 1 件コピー
：選択中の Bookmark を microSD カードへコピーします。
microSD へ選択コピー
：Bookmark を選択して microSD カードへコピーします。
▶コピーしたい Bookmark にチェックを付ける▶［完了］▶端末暗証番号を入力▶「はい」
・ ▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。
microSD へ全件コピー
：フォルダ内の Bookmark をすべて microSD カードへコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[件数確認]

フォルダ内の Bookmark の保存件数を表示します。

[Bookmark 表示切替]

Bookmark の表示方法をリスト表示とサムネイル表示で切り替えます。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

画面メモを保存する

- 画面メモは最大 50 件保存できます。ただし、データ量により実際に保存できる件数が少なくなることがあります。
- 1 件あたりｉモードでは約 500K バイトまで、フルブラウザでは約 1M バイトまでのページを保存できます。
- サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。

1 サイト表示中▶ ▶「画面メモ」▶「登録」▶「はい」

- 「表示のみ保存」をタッチすると、イメージのみを保存することができます。

お知らせ

- 画面メモが最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は「はい」▶削除する画面メモをタッチします。

画面メモを表示する

1 iモードメニュー画面（P190）▶「画面メモ」

画面メモ一覧画面

2 表示したい画面メモを2回タッチ

画面メモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 画面メモに保存されているページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。
- iモードの画面メモには i が、フルブラウザの画面メモには FB が表示されます。

画面メモ一覧画面のサブメニュー

1 画面メモ一覧画面 ▶ 画面メモをタッチ ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[表示]
選択中の画面メモを表示します。

[タイトル編集]
選択中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

[URL表示]
選択中の画面メモのURLを表示します。

[削除]

1件削除：選択中の画面メモを削除します。
選択削除：画面メモを選択して削除します。
▶削除したい画面メモにチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
・▤▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。
全削除：画面メモをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[保護／保護解除]

1件保護／保護解除
：選択中の画面メモを保護または保護を解除します。
選択保護／保護解除
：画面メモを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したい画面メモにチェックを付ける▶[完了]
・▤▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。
全件保護：画面メモをすべて保護します。
全件保護解除：画面メモをすべて保護解除します。

【件数確認】
画面メモの保存件数を表示します。

画面メモ詳細画面のサブメニュー

1 画面メモ詳細画面 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

【タイトル編集】
表示中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

【削除】
表示中の画面メモを削除します。

【保護／保護解除】
表示中の画面メモを保護または保護を解除します。

【画面メモ表示】／【キャプチャ表示】※1
ページ全体を保存した画面メモ表示と、イメージのみを保存したキャプチャ表示を切り替えることができます。

【画像保存】※1

画像1件保存：画像を1件保存します。→P209

画像複数保存：画像を選択して保存します。
▶取得したい画像にチェックを付ける▶[完了]▶「はい」
・▤▶「全件選択」／「全件選択解除」をタッチして全選択／全解除できます。

画像一括保存：表示しているサイトのすべての画像を一括して保存します。

選択中画像：選択している画像を保存します。

背景画像保存：背景画像を保存します。背景1件保存／背景複数保存／背景一括保存から保存方法を選択できます。

【取得元URL接続】※2
画面メモを取得したURLに再接続します。

【表示】

画面倍率指定※3：画面メモの表示倍率を設定します。

文字サイズ変更：画面メモの文字サイズを設定します。

表示モード設定※3：画面メモの表示方法を設定します。

PagePilot：表示中の画面メモの全体を縮小表示し、表示したい部分を選択することができます。
▶表示したい部分を2回タッチ

フレーム全体表示：フレーム拡大表示画面を表示中に、フレーム全体表示画面を表示します。

【掴み選択（ドラッグ）】※1※3
掴み選択を表示します。

【テキスト範囲選択】※1※3
始点と終点をタッチして範囲を指定します。

▶始点をタッチ▶終点をタッチ
・「コピー」をタッチすると選択した範囲をコピーします。また「インターネット検索」をタッチすると、指定した範囲をインターネットで検索できます。→P194

【テキストコピー】※1※3
指定した範囲をコピーします。

▶コピーしたい文字が含まれる範囲の始点をタッチ▶終点をタッチ▶始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］▶「コピー」
・範囲選択時に「全選択」をタッチするとすべての範囲を選択します。
・動作選択時に「ユーザ辞書登録」をタッチすると、ユーザ辞書に登録されます。

【テキスト貼付】※1
コピーした文字を選択中のテキストボックスに貼り付けます。

[ページ内検索] ※1

表示中の画面メモ内の文字を検索します。検索した文字があるときは、一致した文字が強調表示されます。

▶ 検索文字列欄をタッチ ▶ 検索文字を入力 ▶［検索］

- 大文字と小文字を区別して検索するときには、「大文字小文字区別」にチェックを付けます。
- 検索結果を順に表示するには［前検索］／［次検索］をタッチします。

[メール作成]

表示中のサイトの URL を本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。

「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

項目（リンク先）選択中は次の項目のいずれかをタッチしてください。

このページ：表示中のサイトの URL を貼り付けます。

リンク先ページ：選択中の項目（リンク先）の URL を貼り付けます。

[文字コード変換] ※1

文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

[リトライ] ※1

表示中の画面メモに含まれている Flash 画像やアニメーションを最初から再生します。

[URL 表示]

表示中のサイトの URL を表示します。

- URL をコピーするには、▤ ▶「コピー」をタッチします。

[リンク先 URL 表示] ※1

選択しているリンク先の URL を表示します。

- URL をコピーするには、▤ ▶「コピー」をタッチします。

[証明書参照] ※1

表示中のサイトが SSL/TLS に対応している場合は、SSL/TLS 証明書を表示します。

[設定]

Cookie 設定

：表示中のサイトの Cookie を有効にするかどうかを設定します。→ P215

Referer 設定

：表示中のサイトのリンクを選択してサイトを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。→ P215

画像表示設定

：表示中のサイトの画像を表示するかどうかを設定します。

PagePilot 表示設定

：ポインタを表示した状態でキーアイコンをタッチしてスクロールし続けると、表示中のサイトの全体を縮小表示し、表示したい部分を選択することができます。

ポインタ表示設定

：表示中のサイトのポインタを表示するかどうか設定できます。

ポインタ移動距離設定

：表示中のサイトのポインタ移動距離を設定できます。

ポインタ加速度設定

：表示中のサイトのポインタ加速度を設定できます。

Bookmark 表示設定

：登録した Bookmark フォルダの表示方法を設定できます。

ウィンドウ自動起動設定

：Script などからウィンドウを自動起動するか設定します。

Script 動作設定

：表示中のサイトの JavaScript を有効にするかどうかを設定します。

サウンド設定

：サイトや画面メモに含まれている Flash 画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

端末情報利用設定

：サイトや画面メモ表示中に Flash 画像を表示する場合、FOMA 端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

動画自動再生設定
：表示中のサイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。
自動通信サイズ設定※3
：ページサイズを超える自動通信を制限するか設定できます。
検索エンジン選択※3
：インターネット検索で使用する検索エンジンを選択します。

［ページの先頭に移動］※1
表示中のサイトやインターネットホームページの先頭へ移動します。

［ページの末尾に移動］※1
表示中のサイトやインターネットホームページの末尾へ移動します。

［電話帳登録］
サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P200

※1 画面メモを保存するときに「はい」をタッチしていると選択できます。
※2 画面メモを保存するときに「表示のみ保存」をタッチしていると選択できます。
※3 フルブラウザの画面メモを表示していると選択できます。

お知らせ

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大50件です。保護できる件数は画面メモのデータ量によって異なります。

サイトからデータを取得する

サイトから画像やメロディなどのファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末やmicroSDカードに保存できます。

- 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存最大サイズは次のとおりです。
  - 画像ファイル（JPEG・GIF・SWF形式）：500Kバイト
  - メロディ、テンプレート：100Kバイト
  - 辞書：32Kバイト

画像保存
サイトや画面メモから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモに含まれている画像をFOMA端末やmicroSDカードに保存します。

- 取得した画像は、「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。ただし、フレーム／スタンプやデコメ絵文字®は、FOMA端末内の対応するフォルダに自動的に保存されます。

例：サイトに表示されている画像をFOMA端末に1件保存する場合

1 サイト表示中▶ ▤ ▶「画像保存」

2 「画像1件保存」▶取得する画像を2回タッチ

3 「はい」▶「本体へ」

取得できる画像はタッチすると実線で囲まれます。

サムネイルリスト
・Photo1

4 フォルダをタッチ ▶［選択］

- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。ただし、SWF 形式の画像は自動的に FOMA 端末に保存されます。
- FOMA 端末に保存した場合は、保存した画像を基本待受画面などに設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」を選択後、設定先を選択します。

お知らせ

- 「i モードブラウザ設定」の画像表示設定（P213）を「表示しない」に設定している場合は、保存できません。
- サイト上では表示されていても、FOMA 端末に保存すると表示されない場合があります。
- 取得した画像は正しく表示されない場合があります。
- JPEG 形式、GIF 形式、プログレッシブ JPEG 形式※の画像ファイルが以下の表示サイズ（総画素数）を超える場合は、保存すると FOMA 端末では表示できません。ただし、メール添付などによって FOMA 端末外に出力することはできます。
  - 総画素数が 2592 × 1944 ドットを超える JPEG 形式、プログレッシブ JPEG 形式の画像ファイル
  - 総画素数が 800 × 600 ドットを超える GIF 形式の画像ファイル

  ※ プログレッシブ JPEG 形式は、インターネットなどで利用されており、最初は画像全体が粗く表示され、ダウンロードが進むにつれて徐々に鮮明に表示される画像形式です。

サイトからデータをダウンロードする

ダウンロードできるデータと保存先は次のとおりです。

データ（ファイル）の種類	保存先
メロディ	「データ BOX」内「メロディ」の「i モード」フォルダまたは microSD カード
テンプレート	メールメニューの「テンプレート」（P150）
辞書	「ダウンロード辞書」（P384）

1 サイト表示中 ▶ データをタッチ

ダウンロードが完了すると確認画面が表示されます。

2 「保存」

- 保存を中止する場合は、「戻る」／「キャンセル」をタッチします。
- データの種類によっては、「表示」、「再生」、「プレビュー」を選択してデータを確認できます。

■ メロディを保存する場合

microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

■ テンプレートを保存する場合

ファイル名を変更 ▶「はい」をタッチします。

■ 辞書を保存する場合

保存先を選択します。

お知らせ

<メロディ>
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生できない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディは、再生するときはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。
- メロディをFOMA端末に保存した場合は、保存したメロディを音声電話着信音などに設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」を選択後、設定先を選択します。

<テンプレート>
- テンプレートでは「新規メール作成」を選択し、ダウンロードしたテンプレートを利用してデコメール®を作成できます。

<辞書>
- ダウンロード辞書の使いかた→P384

Phone To／Mail To／Web To／iアプリTo機能

Phone To／Mail To／Web To／iアプリTo機能を使う

サイトのページやメールなどに、電話番号、メールアドレス、URLが反転表示されている場合、これらを利用して簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールの送信、サイトを表示したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できない場合があります。

Phone To／AV Phone To機能

サイトやメールに反転表示されている電話番号へ音声電話（Phone To）／テレビ電話（AV Phone To）をかけます。

1 電話番号を2回タッチ ▶ 操作内容をタッチ

電話発信：音声電話をかけます。
テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
SMS※：選択中の電話番号を宛先にしたSMSを作成します。
電話帳登録※：選択中の電話番号を電話帳に登録します。「リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P92）へ進みます。
コピー：選択中の電話番号をコピーします。

※ メールに表示された電話番号をタッチしたときに表示されます。

Mail To 機能

サイトやメールに反転表示されているメールアドレスへｉモードメールを送ります。

1 メールアドレスを２回タッチ

「ｉモードメールを作成して送信する」の操作３(P142)へ進みます。

Web To 機能

サイトやメールに反転表示されているURLのサイトに接続します。

1 URLをタッチ

- メールの場合は、さらに［接続］をタッチしてください。

お知らせ

- URLの表示はサイトによって異なります。
- URL以外の反転された情報を使ってWeb To機能を利用できる場合があります。

ｉアプリ To 機能

サイトやｉモードメールに反転表示されているURLからｉアプリを起動します。

- 「ｉアプリTo設定」(P286)で、「サイトからｉアプリTo」「メールからｉアプリTo」にチェックを付けていない場合は、ｉアプリは起動しません。

1 ｉアプリの情報を選択▶「はい」

お知らせ

- ｉアプリTo機能でサイトからすぐに起動するソフトには、保存できないものがあります。

ｉモード設定

ｉモードの設定を行う

ｉモード機能を設定します。

ｉモードブラウザ設定

ｉモードブラウザの設定を行う

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモードブラウザ設定」▶次の操作を行う

［画像表示設定］
サイトや画面メモなどに含まれている画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。

［サウンド設定］
サイトや画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

▶「ON」▶音量を設定▶［完了］

- 「OFF」にすると、再生されません。

［動画自動再生設定］
サイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。→P219

［Script 動作設定］
JavaScript を有効にするかどうかを設定します。

- JavaScript とは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、サイト全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのは JavaScript によるものです。JavaScript を有効化することによって、お客様がサイトに入力した情報やサイトの訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますが、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ページによっては、「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

［端末情報利用設定］
サイトや画面メモ表示中に Flash 画像を表示する場合、FOMA 端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

［文字サイズ設定］
サイト、画面メモの文字サイズを設定します。

［Cookie 設定］
Cookie を有効にするかどうかを設定します。→ P215

［Cookie 削除］
Cookie を削除します。→ P215

［Referer 設定］
リンクを選択してサイトを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。
→ P215

［ウィンドウ自動起動設定］
Script などからウィンドウを自動起動するか設定します。→ P208

［ポインタ表示設定］
ポインタを表示するかどうか設定できます。

お知らせ

<画像表示設定>
- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は✕が表示されます。

<サウンド設定>
- 「ON」に設定しても、Flash 画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<端末情報利用設定>
- 「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、Select language、機種情報がインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

共通設定

ｉモードブラウザ・フルブラウザ共通の設定を行う

1　ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「共通設定」▶次の操作を行う

［証明書設定］
表示中のサイトが SSL/TLS に対応している場合は、SSL/TLS 証明書を表示します。→ P217

[接続先設定]
ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードやｉモードメールは利用できなくなります。→P215

[ｉモードボタン設定]

ｉ Menu・検索接続
：ｉ Menu（P191）に接続します。

ｉモードメニュー表示
：ｉモードメニュー画面（P190）を表示します。

[接続待ち時間設定]
サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。→P214

[スクロール設定]
サイト、画面メモでキーアイコンをタッチしたときにスクロールする行数を設定します。

[PagePilot 表示設定]
サイト、画面メモで一定サイズ以上のコンテンツをポインタで移動したときに、自動的に PagePilot を表示するかどうかを設定します。

[ポインタ移動距離設定]
ポインタ移動距離を設定できます。

[ポインタ加速度設定]
ポインタ加速度を設定できます。

[Bookmark 表示設定]
登録した Bookmark フォルダの表示方法を設定できます。

ｉモード設定確認

ｉモード設定の確認を行う

「ｉモード設定」で設定した内容を確認します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモード設定確認」

ｉモード設定リセット

ｉモード設定をリセットする

「ｉモード設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモード設定リセット」

2 端末暗証番号を入力▶「はい」

接続待ち時間設定

接続待ち時間設定を設定する

サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「共通設定」▶「接続待ち時間設定」▶「60 秒間」／「90 秒間」／「無制限（設定なし）」▶［完了］

- 「無制限（設定なし）」に設定すると自動的には中止しません。

お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状況などにより切断される場合があります。

Cookie 設定

Cookie を設定する

Cookie を有効にするかどうかを設定します。Cookie とは、サイトに接続したときに、FOMA 端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモードブラウザ設定」▶「Cookie 設定」

2「有効」／「毎回確認」／「無効」▶［完了］

- Cookie を有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「毎回確認」を選択すると、「送信時のみ」／「受信時のみ」／「送受信時」がタッチできます。

Cookie 削除

Cookie を削除する

Cookie を削除します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモードブラウザ設定」▶「Cookie 削除」

2 端末暗証番号を入力▶「はい」

Referer 設定

Referer を設定する

リンクを選択してサイトを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモードブラウザ設定」▶「Referer 設定」

2「有効」／「無効」▶［完了］

- Referer を送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

接続先設定

ｉモードから接続先を変更する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードやｉモードメールは利用できなくなります。

次のページへ続く

接続先を追加する

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「接続先選択」

接続先選択画面

2 [追加] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 次の操作を行う

[接続先名称]
接続先の名称を、全角 15 文字、半角 30 文字以内で入力します。

[接続先番号]
接続先の番号を、半角英数字 99 文字以内で入力します。

[接続先アドレス]
接続先のアドレスを、半角英数字 30 文字以内で入力します。

[接続先アドレス 2]
ｉチャネルの接続先アドレスを、半角英数字 30 文字以内で入力します。

3 [完了]

接続先を編集する

1 接続先選択画面(P216)▶変更したい接続先をタッチ▶[編集]

2 端末暗証番号を入力 ▶ 接続先の設定を編集する

3 [完了]

接続先を変更する

1 接続先選択画面(P216)▶変更したい接続先を2回タッチ

接続先選択画面のサブメニュー

1 接続先選択画面(P216)▶接続先をタッチ▶ ▶次の操作を行う

・「ｉモード」選択中は操作できません。

[新規追加]
接続先を追加します。→ P216

[削除]
選択中の接続先を削除します。
▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力

[表示]
選択中の接続先の設定を表示します。
・[編集]：接続先の設定を編集します。

お知らせ

- 接続先を変更した場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面で MENU ▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」をタッチして最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 設定中の接続先を削除すると、「ｉモード」が接続先に設定されます。

SSL/TLS 証明書操作

SSL/TLS 証明書を操作する

SSL/TLS 証明書の内容を確認したり、有効／無効を設定します。

SSL/TLS 証明書を確認する

1 ｉモードメニュー画面（P190）▶「ｉモード設定」▶「共通設定」▶「証明書設定」

SSL/TLS 証明書一覧画面

2 証明書をタッチ ▶［選択］

SSL/TLS 証明書一覧画面のサブメニュー

1 SSL/TLS 証明書一覧画面（P217）▶ 証明書をタッチ ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［証明書参照］

SSL/TLS 証明書を確認します。→ P217

［有効／無効］

SSL/TLS 証明書の有効／無効を設定します。

アイコン	説　明
(SSL)	有効な証明書
(SSL)	無効な証明書

SSL/TLS 通信で使用する証明書について

認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の FOMA 端末内に保存されています。

ｉモーションとは

ｉモーションとは映像と音が含まれる動画データです。ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存して基本待受画面や着信音などに設定できます。

ｉモーションのタイプ

ｉモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。

■標準タイプ

標準タイプには次の2つの形式があります。

①取得後に再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

②取得しながら再生可能な形式（最大10Mバイトまで）

- ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

■ストリーミングタイプ

データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大10Mバイトのｉモーションを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。

ｉモーション取り込み

サイトからｉモーションを取得する

ｉモーションは最大2000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

- 取得したｉモーションは､「データBOX」の「ｉモーション／ムービー」内またはmicroSDカードに保存されます。

1 サイト表示中▶ｉモーションを選択

- 「動画自動再生設定」を「ON」に設定している場合は､取得した後に自動的にｉモーションが再生します。
  再生中の操作→P305

■ストリーミングタイプのｉモーションの場合

- 再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取得しながら再生します。

2 再生／取得完了後に「保存」

再生：取得したｉモーションを再生します。

情報表示：取得したｉモーションの情報を表示します。

戻る：ｉモーションを保存せずにサイト表示画面に戻ります。

- 再生を中止してすぐに保存したいときは、[ホーム]を押してください。

3 「本体へ」／「microSDへ」

- 本体を選択した場合､保存したいフォルダをタッチ▶[選択]をタッチします。
- microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

お知らせ

- ｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができない場合があります。
- データを取得しながら再生する場合、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数が制限されているｉモーションには 、再生期間または再生期限のあるｉモーションには が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていても、表示できません。

自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

サイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。

1 **ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「ｉモードブラウザ設定」▶「動画自動再生設定」▶「有効」／「無効」**

2 **[完了]**

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が基本待受画面にテロップとして流れます。また、テロップを2回タッチすることで最新情報がチャネル一覧に表示されます(チャネル一覧の表示方法は→P220)。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。

国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで基本待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- テロップを自動的に表示するには「テロップ表示」を「ON」に設定してください。→P221
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 MENU▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」

テロップ　チャネル一覧画面

2 チャネル項目を選択

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

お知らせ

- チャネル一覧画面では、タッチによる操作で項目を選択できません。［キー表示］をタッチして、表示されたキーをタッチすることでページ操作を行うことができます。
- 情報受信中はが点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータは鳴動しません。
- 端末の電源が OFF、もしくは圏外であった場合や、電波状況が良くないとき、お買い上げ時の状態のままでは、情報を受信できない場合があります。待受画面で MENU▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」をタッチして情報を受信すると、基本待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 「接続先選択」で接続先を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます（通常は設定を変更する必要はありません）。
- ｉチャネル解約後などは、自動的に表示されなくなります。
- 基本待受画面にｉモーションを設定している場合、ｉモーション再生中はテロップが表示されません。
- 次の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - ｉチャネルの接続先を変更した場合
  - FOMA カードを差し替えた場合

チャネル一覧画面のサブメニュー

1 チャネル一覧画面（P220）▶ ▤ ▶次の操作を行う

［リトライ］
情報を再読み込みします。

［サウンド設定］
サイトや画面メモに含まれている Flash 画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

[ウィンドウ操作]
サイト表示画面のサブメニューと同様です。→P192

[ポインタ表示設定]
ポインタを表示するかどうかを設定します。
- コンテンツによってはポインタで操作できない場合があります。その場合は「表示しない」に設定してください。

iチャネル設定

iチャネルの設定を変更する

基本待受画面にテロップを表示するかどうかや、テロップの流れる速度を設定します。また、FOMA 端末に記録されたiチャネルの情報をすべて削除できます。

1 MENU ▶「iチャネル」▶ 次の操作を行う

[iチャネル一覧]
チャネル一覧画面を表示します。→P220

[iチャネル設定]

テロップ表示	：基本待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
テロップ速度	：テロップの流れる速度を設定します。
テロップ文字サイズ	：テロップの文字サイズを設定します。
テロップ文字色	：テロップの文字色を設定します。

[iチャネル初期化]
FOMA 端末にダウンロードされたiチャネルデータを削除し、テロップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

<テロップ表示>
- iチャネル解約前にiモードサービス解約を行った場合、「テロップ表示」の設定はそのままになります。

フルブラウザ

フルブラウザ

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 1ページあたり約1Mバイトまで表示できます。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

フルブラウザホームを表示する

1 MENU ▶「フルブラウザホーム」

- インターネットホームページを閉じるときは、↩／⌂▶「はい」をタッチします。

お知らせ

- フルブラウザでは、SSL/TLS対応のページを表示できます。
- SSL/TLSとは、認証／暗号技術を使用してより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。
- 表示できる画像ファイルは、JPEG・GIF・SWF・BMP・PNG形式のものです。
- 次の機能には対応しておりません。
  - プラグイン　- 音の再生
- SSL/TLS通信にFOMA端末に保存されているユーザ証明書が必要な場合、証明書の選択画面が表示されます。

フルブラウザ表示画面のサブメニュー

1 インターネットホームページ表示中▶ ▤ ▶次の操作を行う

[フルブラウザホーム]
「フルブラウザホーム設定」（P231）で設定したURLのインターネットホームページを表示します。

[iモードブラウザ]

iMenu・検索：iモードブラウザでiMenu（P191）に接続します。→P190

iモードブラウザ切替：現在表示しているページをiモードブラウザで表示します。

[表示／設定]

表示：インターネットホームページの表示に関する設定を行います。

設定：フルブラウザの設定を行います。

証明書参照：表示中のインターネットホームページがSSL/TLSに対応している場合は、SSL/TLS証明書を表示します。

文字コード変換：表示中のインターネットホームページの文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

リトライ：表示中のインターネットホームページに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

[ホーム登録]
表示中のインターネットホームページを「ホーム」に登録します。

[操作ガイド]
数字キーに割り当てた操作を一覧で確認できます。

[Bookmark]
[画面メモ]
[ラスト URL]
[再読込み]
[URL 入力・情報]
[ウィンドウ操作]
[画像保存]
[テキスト操作]
[電話帳登録]
[メール作成]
[検索]
[表示履歴]
「サイト表示画面のサブメニュー」と同様です。→P192

お知らせ

インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページ画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、「表示／設定」(P224)の「文字コード変換」を行うと正しく表示できる場合があります。
インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に ☒ が表示されることがあります。この場合はインターネットホームページの再読み込み（P192）を行うことで、正しく表示される場合があります。

URL を入力して表示する

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「URL入力」▶「URL直接入力」

2 URL 入力欄をタッチ ▶URL を入力

- 「フルブラウザ利用設定」(P230)が、「利用しない」に設定されている場合、フルブラウザ起動時にフルブラウザを利用するかどうかを確認するアクセス設定画面が表示されます。「利用する」を選択すると、アクセス設定が「利用する」に設定され、インターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。ページによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 半角で 2033 文字まで入力できます。
- 入力した URL は、インターネットホームページ表示中に ▶「URL 入力・情報」▶「URL 入力履歴」をタッチすると、URL履歴を利用してインターネットホームページを表示できます。操作方法は、ｉモードの「URL 履歴を使って表示する」(P201)を参照してください。

3 「フルブラウザ」

4 「OK」

- フルブラウザ通信中は画面上部に が点滅します。

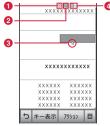
お知らせ

- ページによっては、自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
  確認画面で通信方法を選択します。

  はい：今回のみ通信します。

  はい（以後非表示）：以後は自動的に通信し、確認画面は表示されません。

  いいえ：通信しません。

フルブラウザの表示について

ホームページ表示中画面

1. **スクロールできる方向**
   ：スクロールができる時のみ表示
2. **表示モード**
   PC：PC レイアウトモード時のみ表示→ P228
3. **ポインタ**
   ：項目選択時　：リンク先選択時
4. **表示中のウィンドウ番号／全ウィンドウ数→** P229
   ：複数のホームページを開いているときのみ表示

■ **インターネットホームページ表示中の操作**

操　作	説　明
タッチ	ポインタの移動／リンクの選択
2 回タッチ	リンク先の表示
スライド	ポインタの移動／画面のスクロール • ケータイモード※では、上下へのみスクロールできます。
（マナー）	画面の拡大
（メモ）	画面の縮小

※ フルブラウザでの表示方法を示しています。モード切替キーで切り替える「ケータイモード」とは異なります。

ショートカット操作について

インターネットホームページ表示中に、数字キーをタッチして操作することができます。お買い上げ時には、あらかじめ以下の操作が割り当てられています。割り当てられた操作は、変更することもできます。

■ ショートカット操作

操　作	説　明
1（ズームアウト）	表示を縮小
2（上ページスクロール）	画面を上にスクロール
3（ズームイン）	表示を拡大
4（左ページスクロール）	画面を左にスクロール※
5（PagePilot）	ページ全体を表示→ P224
6（右ページスクロール）	画面を右にスクロール※
7（前のページに戻る）	前のページを表示
8（下ページスクロール）	画面を下にスクロール
9（次のページに進む）	次のページを表示
0（Bookmark 一覧）	Bookmark のフォルダ一覧を表示
*（左ウィンドウに切替）	マルチウィンドウで表示中に左のウィンドウを表示する
#（右ウィンドウに切替）	マルチウィンドウで表示中に右のウィンドウを表示する

※ PC レイアウトモードでのみ操作できます。

ショートカットに割り当てられた操作を変更するには

①MENU ▶「ｉモード」▶「ｉモード設定」▶「フルブラウザ設定」▶「ショートカット」
- ショートカット一覧画面が表示されます。
- ［リセット］：お買い上げ時の状態に戻します。

②割り当てを変更したいショートカットをタッチ

③割り当てたい操作をタッチ ▶ ［完了］

フルブラウザ表示中の操作について

フルブラウザ表示中の操作は、ｉモードのURL入力メニューからのサイト表示操作(P196)と基本的な部分は共通です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

ページを操作する

閲覧しているインターネットホームページにたいして操作を行うことができます。

1 インターネットホームページ表示中 ▶［アクション］▶ 次の操作を行う

［ズームイン（サイドキー↑）］
画面を拡大します。◀（マナー）でも同じ操作が可能です。

［ズームアウト（サイドキー↓）］
画面を縮小します。▶（メモ）でも同じ操作が可能です。

［ポインタ位置でズーム］
ポインタの位置に向かって画面を拡大します。もう一度実行すると元に戻ります。

［表示モード設定］
インターネットホームページの表示方法を設定します。

PCレイアウトモード：パソコンで表示したときのように、インターネットホームページが表示されます。上下左右にスクロールして閲覧できます。

ケータイモード※：FOMA端末の画面幅に合わせてインターネットホームページが表示されます。上下にスクロールして閲覧できます。

［戻る］
［進む］
［全キー表示］／［数字キー表示］／［数字キー非表示］
［リンクを新ウィンドウで開く］
［リンク先URL表示］
［ページの先頭に移動］
［ページの末尾に移動］
［掴み選択（ドラッグ）］
［テキスト範囲選択］
［テキストコピー］
「ページを操作する」と同様です。→P197

※ フルブラウザでの表示方法を示しています。モード切替キーで切り替える「ケータイモード」とは異なります。

お知らせ
- 操作の状況によって表示されない項目があります。

複数のホームページを表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つまで表示できます。フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。

1 インターネットホームページ表示中▶︎ ▶︎「ウィンドウ操作」▶︎「新ウィンドウで開く」▶︎次の操作を行う

[Bookmark 一覧]
Bookmark フォルダの一覧画面を表示します。

[フルブラウザホーム]
「ホーム」として設定している URL のインターネットホームページを表示します。

[リンク]
[ラスト URL]
[URL 入力]
[URL 入力履歴]
[インターネット検索]
「複数のホームページを表示する」と同様です。→P198

お知らせ

- ウィンドウを切り替えるには、 ▶︎「ウィンドウ操作」▶︎「ウィンドウ切替」▶︎表示したいウィンドウ名をタッチします。

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードでサイトを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。

- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なり、画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

1 ｉモードでサイト表示中▶︎ ▶︎「フルブラウザ」▶︎「フルブラウザ切替」▶︎「はい」／「はい（以後非表示）」

- 「はい（以後非表示）」をタッチすると、以後確認画面が表示されることなくフルブラウザに切り替わります。

Bookmark

Bookmark に登録する

1 インターネットホームページ表示中▶︎ ▶︎「Bookmark」▶︎「登録」

2 タイトル欄をタッチ▶︎タイトルを編集▶︎［OK］▶︎登録したいフォルダを2回タッチ▶︎「はい」

- URL を編集する場合は、URL 欄をタッチ▶︎URL を編集します。

お知らせ

- Bookmark のフォルダ一覧や Bookmark 一覧から行える操作は、ｉモードと同じです。→P204

画面メモ

画面メモに登録する

1 インターネットホームページ表示中 ▶ ▤ ▶「画面メモ」▶「登録」▶「はい」

お知らせ

- 画面メモのフォルダ一覧や画面メモ一覧から行える操作は、ｉモードと同じです。→ P206

画像をアップロードする

FOMA 端末に保存している JPEG 形式、GIF 形式の画像をインターネットホームページにアップロードできます。

- 画像をアップロードする方法は、インターネットホームページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

お知らせ

- アップロードできる画像のサイズは、最大 500K バイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大 2000K バイトです。
- インターネットホームページによっては、アップロードできない場合があります。
- FOMA 端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。

フルブラウザ設定

フルブラウザの設定をする

ブラウザの機能を設定します。

- ｉモード･フルブラウザ共通の設定については「共通設定」(P213) で設定します。

フルブラウザ設定

フルブラウザの設定を行う

1 ｉモードメニュー画面(P190)▶「ｉモード設定」▶「フルブラウザ設定」▶ 次の操作を行う

[画像表示設定]

インターネットホームページや画面メモなどに含まれている画像や Flash 画像を表示するかどうかを設定します。

[サウンド設定]

インターネットホームページや画面メモに含まれている Flash 画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

▶「ON」▶ 音量を設定 ▶［完了］

- 「OFF」にすると、再生されません。

[動画自動再生設定]

インターネットホームページやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。→ P219

[Script 動作設定]

JavaScript を有効にするかどうかを設定します。

- JavaScript とは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、インターネットホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、インターネットホームページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのは JavaScript によるものです。JavaScript を有効化することによって、お客様がインターネットホームページに入力した情報やインターネットホームページの訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますが、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ページによっては、「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

[端末情報利用設定]

インターネットホームページや画面メモ表示中に Flash 画像を表示する場合、FOMA 端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

[文字サイズ設定]

インターネットホームページ、画面メモの文字サイズを設定します。

[Cookie 設定]

Cookie を有効にするかどうかを設定します。→ P215

[Cookie 削除]

Cookie を削除します。→ P215

[Referer 設定]

リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。→ P215

[ウィンドウ自動起動設定]

Script などからウィンドウを自動起動するか設定します。→ P208

[ポインタ表示設定]

ポインタを表示するかどうか設定できます。

[フルブラウザホーム設定]

「フルブラウザホーム」から表示できるインターネットホームページの URL を表示します。

[表示モード設定]

インターネットホームページの表示方法を設定します。

ケータイモード※ ：FOMA 端末の画面幅に合わせてインターネットホームページが表示されます。上下にスクロールして閲覧できます。

PC レイアウトモード：パソコンで表示したときのように、インターネットホームページが表示されます。上下左右にスクロールして閲覧できます。

[フルブラウザ確認表示]

ｉモードからフルブラウザに切り替えるとき、確認表示をするかどうか設定します。

[自動通信サイズ設定]

ページサイズを超える自動通信を制限するか設定できます。

[フルブラウザ利用設定]

フルブラウザを利用するかどうかを設定します。

- 「利用しない」を選択すると、フルブラウザの起動時に注意事項を表示します。注意事項を確認し、「利用する」を選択すると「利用する」に設定が変更され、フルブラウザを利用できます。

[画面倍率設定]

インターネットホームページの表示倍率を設定します。

[ショートカット]

ショートカット一覧を設定します。→ P227

[インターネット検索設定]

検索エンジン選択：インターネット検索で使用する検索エンジンを選択します。

※ フルブラウザでの表示方法を示しています。モード切替キーで切り替える「ケータイモード」とは異なります。

お知らせ

<画像表示設定>

- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は ☒ が表示されます。

<サウンド設定>

- 「ON」に設定しても、Flash 画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<端末情報利用設定>

- 「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、Select language、機種情報がインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

< Cookie 設定>

- FOMA カードを別の FOMA カードに差し替えると、Cookie は「無効」になります。
- 「無効」から「有効」／「毎回確認」に変更した場合、FOMA カード情報が一致しないときは、端末暗証番号の入力が必要になります。また、以前の Cookie を削除するかどうかを確認する画面が表示された場合は、「OK」を選択して Cookie を削除してください。

<フルブラウザ利用設定>

- FOMA カードを別の FOMA カードに差し替えると、「利用しない」に設定が変更されます。

カメラ

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラをご利用になる前に

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA 端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、カメラを起動できない、または自動的にカメラを終了する場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- microSD カードが挿入されていないときは、静止画／動画が撮影できません。microSD カードを挿入してから撮影してください。
- 電話帳の画像や基本待受画面などにカメラで撮影した静止画／動画を設定している場合、microSD カードを取り外すと表示されなくなります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。また、FOMA 端末に付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 を取り付けている場合でも、スピーカーからシャッター音が鳴ります。
- カメラの起動時／終了時は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。けがなどの事故の原因となります。

カメラモード起動中の動作

カメラモード起動中の着信の動作

1 電話がかかってくる

- ［応答］：カメラモードが終了して、電話にでます。通話を終了するとカメラモードに戻ります。
- ［操作継続］：カメラモードを継続して操作します。発信者が通話を切断すると、電話が切れます。▶［OK］
- ［拒否］：着信を拒否して電話を切ります。▶「OK」

お知らせ

- ［応答］をタッチすると、カメラモードからケータイモードに切り替わります。切り替わった後、通話が開始できます。
  カメラモードからケータイモードへの切り替えに数秒かかるため、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間が短い場合、転送が開始するため通話できない場合があります。通話ができなかった場合は、自動的にカメラモードに切り替わります。

カメラモード起動中のメール受信の動作

1 ｉモードメールを受信

- メール受信の確認メッセージが表示されます。

2 ［OK］

カメラモード起動中のキーロックの動作

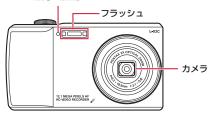
1 (🔒)

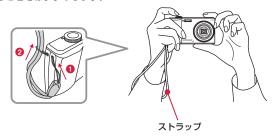
- キーロックが設定されます。

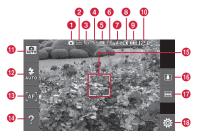
お知らせ

- (🔒) で解除できます。
- タッチパネルの操作が制限されますが、以下のキーは操作できます。
  - (🔒)
  - シャッターキー
  - ズームホイール

カメラの使いかた

カメラを使って静止画や動画を撮影します。

撮影のしかた

ストラップ（試供品）を FOMA 端末に取り付けて、撮影時には FOMA 端末を落とさないようにストラップを手首に通してご使用することをおすすめします。

撮影画面の見かた

静止画／動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

静止画撮影画面

動画撮影画面

❶ **フォトモード／ビデオモード→ P239、P244**
- フォトモード
- ビデオモード

❷ **サイズ選択→ P248、P249**
- 12M（4000x3000）
- 8M（3264x2448）
- 5M（2560x1920）
- Wide 4M（2560x1440）
- Full HD（1920x1080）
- 2M（1600x1200）
- 1M（1280x960）
- HD（1280x720）
- 待受画面（800x480）
- VGA（640x480）
- QVGA（320x240）
- QCIF（176x144）

❸ **画質→ P249、P250**
- スーパーファイン
- ファイン
- 標準

❹ **セルフタイマー→ P246**
- 3 秒
- 5 秒
- 10 秒

❺ **撮影モード**
- 標準
- スマイルショット
- ビューティーショット
- 連続撮影
- ハイスピードショット
- パノラマ撮影
- フレーム撮影
- 音声付画像
- アート撮影

❻ **ISO**
- ISO 64
- ISO 100
- ISO 200
- ISO 400
- ISO 800
- ISO 1600
- ISO 3200

❼ **手ブレ補正**
- ON

❽ **保存先メモリ**
- microSD カード
- microSD カード未挿入

❾ **電池残量表示**

❿ **撮影可能枚数→ P457**

⓫ **シーン**
- 自動
- インテリジェントモード
- ポートレート
- スポーツ
- 風景
- 夜間
- 夜景ポートレート
- ランプ
- 花火
- 料理

⓬ **フラッシュ**
- 自動
- 赤目軽減
- OFF
- ON

次のページへ続く

⑬ **フォーカス**
自動
マクロ
パンフォーカス
顔認識
マニュアル
⑭ **ヘルプ**
⑮ **フォーカス枠**→ P239
オートフォーカス機能の動作時に色が変わって状態を示します。
⑯ **ズームイン**
⑰ **ズームアウト**
⑱ **設定メニュー**
⑲ **音声録音**
ミュート
⑳ **明るさ**
㉑ **撮影経過時間**
㉒ **合計撮影可能時間**

お知らせ
- カメラモードでは、電池残量表示を除き、FOMA 端末の状態を表すアイコン（ステータスアイコン）は表示されません。

静止画／動画の保存形式について

	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG	MP4（Mobile MP4）
解像度	12M（4000 × 3000） 8M（3264 × 2448） 5M（2560 × 1920） Wide 4M（2560 × 1440） Full HD（1920 × 1080） 2M（1600 × 1200） 1M（1280 × 960） HD（1280 × 720） 待受画面（800 × 480） VGA（640 × 480） QVGA（320 × 240） QCIF（176 × 144）	HD（1280 × 720） VGA（640 × 480） QVGA（320 × 240） QCIF（176 × 144）
符号化方式	－	映像：H.264 音声：AAC
拡張子	.jpg	.3gp
ファイルの表示名	撮影した年月日時分が自動的に付けられます。 例：2011 年 3 月 1 日 10 時 10 分 10 秒に撮影した場合	
	「20110301101010」	
最大ファイルサイズ	約 5.8M バイト	HD：約 2,592M バイト

フォトモード

静止画撮影

- 撮影した静止画はmicroSDカードの「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ（microSD）」フォルダに保存されます。

1 待受画面▶[カメラキー]

最後に起動した撮影画面が表示されます。

■ 動画撮影画面が表示された場合
[カメラ切替キー]を押します。

静止画撮影画面

■ 静止画撮影画面のキー操作

操　作	説　明
シャッターキー	シャッター
ズームホイール	ズーム
[ロックキー]	キーやタッチパネルのロック
[カメラキー]／[ホームキー]	フォトモード終了
[カメラ切替キー]	フォトモードとビデオモードを切り替え
[再生キー]	「データBOX」の「マイピクチャ」フォルダ内にある撮影画像などを表示

2 カメラを被写体に向ける▶シャッターキー

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
撮影確認画面が表示され、撮影した画像を各種画面に設定したり、メールに添付したりできます。撮影した静止画は自動で保存されます。

- 「撮影後画像表示」を「ホールド」にしていない場合は、静止画撮影確認画面は表示されません。

静止画撮影確認画面

オートフォーカス機能について

カメラで撮影するときは、自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が動作します。ピントが合うとフォーカス枠は緑色に、合わないとフォーカス枠は赤色になります。
静止画撮影画面でシャッターキーを半押しすると「フォーカス領域」で設定した動作でオートフォーカスします。「フォーカス領域」の初期設定はマルチAFです。暗いところでは、ピントが合わない場合があります。

- マルチAFでは、異なる領域から自動で選択してオートフォーカスします。
- センターAFでは、画面の中央にある被写体でオートフォーカスします。
- AFトラッキングでは、被写体が移動してもフォーカスを合わせます。

静止画撮影画面でディスプレイをタッチ（1秒以上）するとタッチした場所にオートフォーカスします。
タッチした指を離すとシャッターが切られます。

「連続撮影」／「ハイスピードショット」で撮影した画像の場合

- 画面下部に撮影した画像が表示され、選択した画像が画面上部に表示されます。
- 画像を選択してメール送信する場合は、送信する画像にタッチして［メール］をタッチします。
- 画像を選択して削除する場合は、削除する画像にタッチして[削除アイコン]をタッチします。
- 撮影した画像をすべて削除する場合は、[全削除アイコン]をタッチします。

次のページへ続く

「音声付画像」で撮影した画像の場合

- 撮影後に約 10 秒間録音が行われます。
- ▶ をタッチすると録音した音声を再生できます。マナーモード設定中は、音声を再生するかどうかの画面が表示されます。「はい」をタッチすると音声を再生できます。

撮影後画像の表示イメージについて

撮影した静止画は、横長で保存されます。アルバム表示の場合は横画面のため、撮影時と同じイメージで表示されますが、データ BOX から表示したときや基本待受画面に設定したときは縦画面のため、撮影時と異なるイメージで表示されます。

例：待受画面（800 × 480）で撮影した場合

撮影時の画面

縦画面で表示時の画面

顔認識撮影の確認画面について

フォーカス設定を「顔認識」にした場合、顔を認識すると確認画面の下部にサムネイルが表示されます。→ P248

サムネイルをタッチすると、拡大して表示されます。

- 撮影後に確認画面を表示するには、「撮影後画像表示」を「ホールド」にしてください。→ P249

お知らせ

- 撮影時にはマナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。

タッチフォーカスで静止画を撮影する

ディスプレイをタッチするとタッチした場所に自動でピントを合わせ、撮影できます。

1 **待受画面 ▶ (カメラ)**

2 **カメラを被写体に向ける ▶ ディスプレイをタッチ（1 秒以上）**

3 **タッチした指を離す**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

スマイルショット撮影

笑顔を感知して自動で撮影します。

1 **静止画撮影画面（P239）▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「スマイルショット」▶［X］**

2 **カメラを被写体に向ける**

笑顔を感知すると自動的に撮影されます。

お知らせ

- 「自動」、「ポートレート」、「夜景ポートレート」、「ランプ」以外のシーンは選択できません。
- 「フォーカス」は設定できません。
- 「セルフタイマー」は設定できません。
- 「AF トラッキング」は選択できません。

ビューティーショット撮影

表情を明るく鮮明に撮影できるように自動で調整します。

1 **静止画撮影画面(P239)▶⚙▶「撮影モード」▶「ビューティーショット」▶[X]**

2 **シャッターキー**

お知らせ

- 「自動」、「ポートレート」、「夜景ポートレート」、「ランプ」以外のシーンは選択できません。
- 「フォーカス」は設定できません。
- 「12M」、「8M」、「5M」の撮影サイズは選択できません。
- 「AF トラッキング」のフォーカス領域は選択できません。

連続撮影

シャッターキーを押している間、連続で撮影します。連続で撮影する撮影モードは、「連続撮影」と「ハイスピードショット」があります。

- 連続撮影：連続で撮影します。
- ハイスピードショット：高速で連続撮影します。

1 **静止画撮影画面(P239)▶⚙▶「撮影モード」▶「連続撮影」／「ハイスピードショット」▶[X]**

2 **シャッターキーを長押し**

シャッターを押している間、静止画を撮影します。

■最大撮影可能枚数について

<table>
<tr><th>画像サイズ</th><th>連続撮影</th><th>ハイスピードショット</th></tr>
<tr><td>12M（4000x3000）</td><td rowspan="3">3 枚</td><td rowspan="5">－</td></tr>
<tr><td>8M（3264x2448）</td></tr>
<tr><td>5M（2560x1920）</td></tr>
<tr><td>Wide 4M（2560x1440）</td><td rowspan="9">10 枚</td></tr>
<tr><td>Full HD（1920x1080）</td></tr>
<tr><td>2M（1600x1200）</td><td>9 枚</td></tr>
<tr><td>1M（1280x960）</td><td rowspan="6">－</td></tr>
<tr><td>HD（1280x720）</td></tr>
<tr><td>待受画面（800x480）</td></tr>
<tr><td>VGA（640x480）</td></tr>
<tr><td>QVGA（320x240）</td></tr>
<tr><td>QCIF（176x144）</td></tr>
</table>

次のページへ続く

お知らせ

<連続撮影>
- 「自動」、「ポートレート」、「スポーツ」、「夜間」、「夜景ポートレート」、「ランプ」以外のシーンは選択できません。
- 「顔認識」は選択できません。
- 「セルフタイマー」は設定できません。
- 「AF トラッキング」は選択できません。
- 「まばたき検知」は設定できません。

<ハイスピードショット>
- 「撮影サイズ」は 2M（1600 × 1200）に固定されます。
- 「自動」、「スポーツ」以外のシーンは選択できません。
- 「顔認識」は選択できません。
- 「セルフタイマー」は設定できません。
- 「AF トラッキング」は選択できません。
- 「まばたき検知」は設定できません。

<連続撮影／ハイスピードショットの保存時間について>
- 連続撮影／ハイスピードショットでは、複数枚の静止画を撮影しているため、保存に時間がかかります。
  保存中は、撮影ランプ（ディスプレイ面）が点滅しています。撮影ランプ（ディスプレイ面）が消えると、次の撮影が行えます。

パノラマ撮影

FOMA 端末を上／下／左／右方向に動かして、最大 6 枚の静止画から 1 枚のパノラマ写真を作成します。

1 静止画撮影画面（P239）▶ ⚙ ▶「撮影モード」▶「パノラマ撮影」

何枚目の撮影かを表示

パノラマ撮影画面

2 シャッターキー

3 撮影方向に FOMA 端末を動かす ▶ ディスプレイ中央の白い円を赤い円に合わせる
- 赤い円に合わせると自動的に撮影されます。
- 撮影した静止画をつなげたパノラマ写真が表示されます。

お知らせ

- 撮影中に をタッチすると、途中まで撮影した静止画でパノラマ写真が表示されます。
- 撮影中に［CANCEL］をタッチすると、撮影を始めからやり直すことができます。
- 「画像サイズ」は「VGA（640x480）」に固定されます。
- 「自動」、「ポートレート」、「風景」、「夜間」以外のシーンは選択できません。
- 「顔認識」、「マニュアル」は選択できません。
- 「セルフタイマー」は設定できません。
- 「AF トラッキング」は選択できません。
- 「まばたき検知」は設定できません。
- 「ライブヒストグラム」は設定できません。
- 「タイムスタンプ」は設定できません。

フレーム撮影

選択したフレームを表示しながら撮影します。

1 静止画撮影画面（P239）▶ ▶「撮影モード」▶「フレーム撮影」

2 フレームを選択 ▶［OK］

3 シャッターキー

お知らせ

- 「画像サイズ」は「待受画面（800x480）」に固定されます。
- 「自動」、「ポートレート」、「スポーツ」、「風景」、「夜間」、「夜景ポートレート」、「花火」以外のシーンは選択できません。
- 「グリッド表示」は設定できません。
- 「ライブヒストグラム」は設定できません。
- ダウンロードしたフレームはご利用できません。

音声付画像撮影

静止画を撮影後、約 10 秒間の音声を録音することができます。

1 静止画撮影画面（P239）▶ ▶「撮影モード」▶「音声付画像」▶［X］

2 シャッターキー

撮影完了後に音声録音が開始されます。約 10 秒間録音されます。

アート撮影

効果を追加して撮影します。

1 静止画撮影画面（P239）▶ ▶「撮影モード」▶「アート撮影」▶ 撮影の種類をタッチ ▶［X］

2 シャッターキー

お知らせ

- 「自動」、「ポートレート」、「風景」、「ランプ」、「料理」以外のシーンは選択できません。
- 「12M」、「8M」、「5M」の撮影サイズは選択できません。

ビデオモード

動画撮影

- 撮影した動画は、microSD カードの「データ BOX」内「ｉモーション／ムービー」の「カメラ（microSD)」フォルダに保存されます。

1 待受画面 ▶ (カメラキー)

最後に起動した撮影画面が表示されます。

■ **静止画撮影画面が表示された場合**

(切替キー) を押します。

動画撮影画面

■ **動画撮影画面のキー操作**

操　作	説　明
シャッターキー	録画開始／録画終了
ズームホイール	ズーム
(ロックキー)	キーやタッチパネルのロック
(カメラキー) ／ (ホームキー)	ビデオモード終了
(切替キー)	フォトモードとビデオモードを切り替え
(再生キー)	「データ BOX」の「ｉモーション／ムービー」フォルダ内にある撮影動画などを表示

2 カメラを被写体に向ける ▶ シャッターキー

撮影開始音が鳴り、動画の撮影を開始します。

動画撮影中画面

3 シャッターキー

撮影終了音が鳴って動画の撮影を終了します。

撮影確認画面が表示され、撮影した動画を各種画面に設定したり、メールに添付したりできます。撮影した動画は自動で保存されます。

- 「録画動画再生」を「ホールド」にしていない場合は、動画撮影確認画面は表示されません。

動画撮影確認画面

お知らせ

- 動画撮影画面（P244）▶カメラを被写体に向ける▶ディスプレイをタッチ（1 秒以上）▶タッチした指を離すでも、動画の撮影を開始できます。
- 撮影開始時、終了時には、マナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 動画撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 動画撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了します。通話終了後は中断するまでの動画が保存され、動画撮影前の画面が表示されます。
- パソコンでの再生→ P434

撮影時の設定を変える

撮影状況に合わせてカメラを設定します。

ズームを使う

画像のズーム倍率を設定します。

1 **静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶ズームホイールを左右に回して倍率を変更**

／ をタッチしても、倍率を変更できます。

ズームバー

ズーム設定
（例：静止画撮影画面）

お知らせ

- ズームバーの赤い部分はデジタルズームです。設定した画像サイズとデジタルズームの倍率によっては画像が粗くなることがあります。

■ カメラの最大倍率※について

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	光学ズーム	デジタルズーム
フォトモード	12M（4000x3000）	37 段階	約 3.0 倍	約 4.0 倍
	8M（3264x2448）			
	5M（2560x1920）			
	Wide 4M（2560x1440）			
	Full HD（1920x1080）			
	2M（1600x1200）			
	1M（1280x960）			
	HD（1280x720）			
	待受画面（800x480）			
	VGA（640 × 480）			
	QVGA（320 × 240）			
	QCIF（176 × 144）			
ビデオモード	HD（1280x720）			
	VGA（640 × 480）			
	QVGA（320 × 240）			
	QCIF（176 × 144）			

※ 光学ズームとデジタルズームを合わせて、最大約 12.0 倍です。

明るさを調節する

画像の明るさ（露出）を調節します。明るさは 13 段階で調節できます。

例：静止画撮影画面から調節する場合

1 静止画撮影画面（P239）▶ ⚙ ▶「明るさ」▶ ＋ ／ － で明るさを調節 ▶［OK］

明るさ調節バーをタッチ、またはドラッグしても明るさを調節できます。

明るさ調整バー

明るさ設定
（例：静止画撮影画面）

お知らせ

- 動画撮影画面からも明るさを調節できます。動画撮影画面で ☀ ▶ ＋ ／ － で明るさを調節 ▶［OK］をタッチします（明るさ調節バーをタッチ、またはドラッグしても明るさを調節できます）。

セルフタイマーを使う

シャッターキーを押してから撮影されるまでの秒数を設定します。

1 静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶ ⚙ ▶「セルフタイマー」

2「オフ」／「3 秒」／「5 秒」／「10 秒」

画面上部に ⏱（数字は秒数）が表示されます。

- セルフタイマーを解除するには、「オフ」を設定します。

3［X］▶ シャッターキー

セルフタイマーが作動します。設定した秒数経過後、自動的に撮影します。

シャッターキーを押した後、撮影されるまでの間はタイマー音が鳴ります。

- セルフタイマー起動中に［X］（またはシャッターキーを半押し）をタッチするとセルフタイマーが停止します。

お知らせ

- 撮影が終了すると、セルフタイマーは自動的に「オフ」になります。

カメラの設定を変える

シーン設定をする

1 静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶ AUTO ▶ 次の操作を行う

[自動]
状況によって自動で調整します。

[インテリジェントモード] ※
状況によって最適なモードに自動で調整します。

[ポートレート] ※
人物を撮影します。顔認識が自動で作動します。

[スポーツ] ※
スポーツなどの素早い動きを撮影します。

[風景] ※
木、花、空といった自然な風景を撮影します。

[夜間]
夜景を美しく撮影します。

[夜景ポートレート] ※
夜間の背景と人物を自然なバランスで撮影します。

[ランプ] ※
感度を上げて、暗いところでも、フラッシュを使わずに速いシャッタースピードで撮影します。

[花火] ※
花火の撮影に適しています。

[料理] ※
新鮮で透明な色で料理を撮影します。

※ 動画撮影画面では表示されません。

フラッシュ設定をする

1 静止画撮影画面（P239）▶ AUTO ▶ 次の操作を行う

[自動]
暗くなると自動でフラッシュを光らせます。

[赤目軽減]
プリフラッシュで赤目を軽減します。

[OFF]
フラッシュを常時 OFF に設定します。

[ON]
フラッシュを常時 ON に設定します。

お知らせ
- 静止画撮影の設定によっては、フラッシュの全部または一部の機能が設定できない場合があります。

フォーカス設定をする

1 静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶ [AF] ▶ 次の操作を行う

[自動]
自動でフォーカスを調整します。

[マクロ]
近い距離を中心にフォーカスを調整します。

[パンフォーカス]
全体的にフォーカスが合うモードです。

[顔認識] ※
人の顔の領域を自動で判別します。

[マニュアル]
画面のフォーカスバーを操作して、手動でフォーカスを調整します。

※ 動画撮影画面では表示されません。

お知らせ

- 「マニュアル」設定時、＋／－でフォーカスを調節します（フォーカス調節バーをタッチ、またはドラッグしてもフォーカスを調節できます）。

ヘルプを表示する

1 静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶［？］

静止画撮影画面の設定メニュー

1 静止画撮影画面（P239）▶ ⚙ ▶ 次の操作を行う

[サイズ選択]
画像の解像度を選択します。

[撮影モード]
撮影モードを選択します。

標準：1 枚ずつ撮影します。
スマイルショット：笑顔を感知すると自動で撮影します。→ P240
ビューティーショット：表情を明るく鮮明に撮影できるように自動で調整します。→ P241
連続撮影：シャッターを押している間、連続撮影します。→ P241
ハイスピードショット：短い時間内で連続撮影して貴重な一瞬を撮影します。→P241
パノラマ撮影：連続撮影した写真を 1 枚のパノラマ写真にします。→P242
フレーム撮影：フレームを重ねて撮影します。→ P243
音声付画像：音声付で撮影します。→ P243
アート撮影：モノクロ等の画像効果を使って芸術的な作品に仕上げます。→ P243

[明るさ]
明るさを自動で調整します。→ P246

[ホワイトバランス]
色々な光に合わせて色調を調整します。

自動　：自動で色調を調整します。
太陽光　：直射日光での撮影に適しています。
曇り　：日陰／曇りでの撮影に適しています。
蛍光灯　：蛍光灯での撮影に適しています。
電球　：ソフトな照明での撮影に適しています。
カスタム　：手動で色調を調整します。

[色効果]
画像の色を変えて、様々な効果を与えます。

[セルフタイマー]
シャッターを押して、設定された時間が経過してから撮影します。→P246

[ISO]
光に対するカメラの感度を調整します。

[フォーカス領域]
フォーカスを合わせる領域を設定します。

マルチ AF　：異なる領域から、自動で選択してオートフォーカスします。
センター AF　：画面の中央にある被写体でオートフォーカスします。
AF トラッキング　：被写体が移動してもフォーカスを合わせます。

[まばたき検知]
撮影時に瞬きを検知します。

[計測モード]
カメラの露出モードを設定します。

マルチ　：画面を複数に分割し、総合的に露出を決定します。
センター　：画面の中央部に重点を置いて露出を決定します。
スポット　：画面中央付近の明るさのみから露出を決定します。

[その他]

画質　：画質を設定します（高画質なほど、メモリ使用量が大きくなります）。
手ブレ補正※　：手ブレ補正「ON」で撮影すると、撮影後にアルバム機能で［手ブレ補正］が可能になります。
撮影後画像表示
　：撮影後にその静止画を表示します。
グリッド表示：ガイドラインを表示します。
ライブヒストグラム
　：グラフで画像の明るさを表示します。
TV システム　：TV のフォーマットを選択します。
タイマー音　：セルフタイマーの音を設定します。
シャッター音：撮影時の音を設定します。
タイムスタンプ
　：撮影画像に日付と時間を追加します。
設定リセット：カメラ設定を初期値に戻します。

※ 手ブレ補正のデフォルトの設定は「OFF」です。

動画撮影画面の設定メニュー

1 動画撮影画面（P244）▶ ⚙ ▶ 次の操作を行う

[サイズ選択]
動画の解像度を選択します。

[ホワイトバランス]
色々な光に合わせて色調を調整します。

自動　：自動色調整。
太陽光　：直射日光での撮影に適しています。
曇り　：日陰／曇りでの撮影に適しています。
蛍光灯　：蛍光灯での撮影に適しています。
電球　：ソフトな照明での撮影に適しています。

[色効果]
画像の色を変えて、様々な効果を与えます。

[フォーカス領域]
フォーカスを合わせる領域を設定します。

マルチ AF：異なる領域から、自動で選択してオートフォーカスします。
センター AF：画面の中央にある被写体でオートフォーカスします。

[セルフタイマー]
シャッターを押して、設定された時間が経過してから録画を開始します。
→ P246

[その他]

ビデオ画質：動画画質を設定します（高画質なほど、メモリ使用量が大きくなります）。
手ブレ補正※：カメラの揺れによる、画像のブレを低減して撮影することができます。
録画動画再生：録画後にその動画を再生します。
音声録音：動画の音声を録音するかを決定します。
TV システム：TV のフォーマットを選択します。
タイマー音：セルフタイマーの音を設定します。
設定リセット：カメラ設定を初期値に戻します。

※ 手ブレ補正のデフォルトの設定は「OFF」です。

撮影した静止画／動画を設定する

1 静止画撮影確認画面※1**（P239）／動画撮影確認画面**※2**（P244）▶ 次の操作を行う**

※ 1「撮影後画像表示」を「ホールド」にしている場合に表示されます。
※ 2「録画動画再生」を「ホールド」にしている場合に表示されます。

[メール] ※1
撮影した静止画／動画を添付した i モードメールを作成します。

[設定]
撮影した静止画／動画を各種画面に設定します。

待受画面設定※2：基本待受画面に設定します。
電話帳新規登録※3：静止画を設定した電話帳を登録します。
電話帳編集※3：登録されている電話帳の静止画に設定します。
ウェイクアップ画面※3：電源を ON にしたときに表示する画面に設定します。
音声着信画面※4：音声着信画面に設定します。
テレビ電話着信画面※4：テレビ電話着信画面に設定します。
メール受信完了画面※4：メール受信完了画面に設定します。

- 表示されている向きと設定後の向きが異なることがあります。

[🗑]
撮影した静止画／動画を削除します。

[▶] ※4
撮影した動画を再生します。

※ 1 静止画撮影確認画面と、撮影サイズが「QVGA（320 × 240）」と「QCIF（176 × 144）」の動画撮影確認画面のときに表示されます。
※ 2 静止画撮影確認画面と、撮影サイズが「HD（1280 × 720）」以外の動画撮影確認画面のときに表示されます。
※ 3 静止画撮影確認画面でのみ表示されます。
※ 4 動画撮影確認画面でのみ表示されます。

お知らせ

<メール>
- 本 FOMA 端末で撮影した動画は、受信側の端末で再生できない場合があります。

アルバムを表示する

- microSDカードの「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ(microSD)」フォルダに保存された静止画と「データBOX」内「iモーション/ムービー」の「カメラ(microSD)」フォルダに保存された動画を表示します。

1 待受画面/静止画撮影画面(P239)/動画撮影画面(P244)▶(▶)

■ アルバム画面でのキー操作

操　作	説　明
シャッターキー	フォトモード/ビデオモード起動
ズームホイール	拡大/縮小/サムネイル表示
(🔒)	キーやタッチパネルのロック
(📷)/(⌂)/(▶)	アルバム表示終了
(🗑)	静止画/動画を削除
左右にスライド	前後の画像を表示

お知らせ

- 本FOMA端末以外で撮影した静止画/動画は、アルバムで再生できない場合があります。
- 編集した動画は、アルバムから再生できません。動画/iモーションプレーヤー(P304)で再生してください。

操作メニューを表示する

1 アルバム表示中▶画面をタッチ

静止画を拡大表示する

1 アルバムの静止画表示中▶ズームホイールを左右に回す

- 約2倍〜約10倍まで拡大されます。
- 拡大中には、右下にサムネイルが表示されます。サムネイルの緑枠は現在表示している位置を示しています。
- 拡大中に画面をドラッグすると、表示位置を移動できます。
- 拡大されていない画面では、ズームホイールを左に回すとサムネイル画面を表示します。→P252

アルバムの動画を再生する

1 アルバムの動画表示中▶▶

- [1X]:再生速度を[1/4X]/[1/2X]/[1X]/[2X]/[4X]から設定します。
- ⏸:動画を一時停止します。
- ▷:動画を再開します。
- ⏭:次の動画を表示します。
- ⏮:一つ前の動画を表示します。
- ⏭(長押し):タッチしている間早送りします。
- ⏮(長押し):タッチしている間巻戻します。
- 🗑:再生中の動画を削除します。
- シャッターキー:表示されている画面をキャプチャします。静止画は、microSDカードの「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ(microSD)」フォルダに保存されます。
- ズームホイール:右に回すと2段階まで拡大します。一時停止中に、拡大されていない画面で左に回すとサムネイル画面を表示します。
- (◀)(マナー)/(▶)(メモ):音量を調節します。

アルバムの静止画／動画を操作する

1 アルバム表示中 ▶ 次の操作を行う

[メール] ※1
静止画／動画を添付したｉモードメールを作成します。

[設定]
撮影した静止画／動画を各種画面に設定します。

待受画面設定※2：基本待受画面に設定します。
電話帳新規登録※3：静止画を設定した電話帳を登録します。
電話帳編集※3：登録されている電話帳の静止画に設定します。
ウェイクアップ画面※3：電源を ON にしたときに表示する画面に設定します。
音声着信画面※4：音声着信画面に設定します。
テレビ電話着信画面※4：テレビ電話着信画面に設定します。
メール受信完了画面※4：メール受信完了画面に設定します。

- 表示されている向きと設定後の向きが異なることがあります。

[スライドショー] ※3
静止画のスライドショーを表示します。→ P253

[手ブレ補正] ※3
静止画の手ブレを補正します。
- 手ブレ補正「ON」で撮影した静止画の場合のみ操作できます。

[ ]
日付ごとの３×５のサムネイル表示にします。

[ ] ※3
静止画に回転情報を付加します。
- アルバムでは回転した状態で表示されます。ただし、基本待受画面や他のビューアなど回転情報を利用できない場合には回転していない状態で表示されます。

[ ]
静止画／動画のファイル情報を表示します。

[ ]
静止画／動画を削除します。

※１ 静止画撮影確認画面と、撮影サイズが「QVGA（320 × 240）」と「QCIF（176 × 144）」の動画撮影確認画面のときに表示されます。
※２ 静止画撮影確認画面と、撮影サイズが「HD（1280 × 720）」以外の動画撮影確認画面のときに表示されます。
※３ 静止画撮影確認画面でのみ表示されます。
※４ 動画撮影確認画面でのみ表示されます。

アルバムの静止画／動画のサムネイルを表示する

1 アルバム表示中 ▶ ズームホイールを左に回す

- １回左に回すと、日付ごとに区分けされた３×５のサムネイルが表示されます。
- ２回左に回すと、４×６のサムネイルが表示されます。

アルバムのサムネイル画面で操作する

1 アルバムのサムネイル画面

- 静止画をタッチすると、タッチした静止画を表示します。
- 動画をタッチすると、タッチした動画を再生します。
- ( )▶［すべて選択・全件クリア］をタッチして全選択／全解除できます。
- ( )▶［削除］をタッチしてチェックしたサムネイルの静止画／動画を削除します。

スライドショー

スライドショーを表示する

1 静止画表示中 ▶ [スライドショー]

- ⏸：スライドショーを一時停止します。
- ▷：スライドショーを再開します。
- ⏭：次の静止画を表示します。
- ⏮：一つ前の静止画を表示します。
- [×]：スライドショーを終了します。
- ◀（マナー）／▶（メモ）：音量を調節します。

スライドショーを操作する

1 スライドショー表示中 ▶ ⏸ ▶ 次の操作を行う

[メール]
静止画を添付したｉモードメールを作成します。

[設定]
静止画を「待受画面設定」／「電話帳新規登録」／「電話帳編集」／「ウェイクアップ画面」に設定します。

[▦]
日付ごとの３×５のサムネイル表示にします。

[▣]
静止画のファイル情報を表示します。

[🗑]
静止画を削除します。

スライドショーを設定する

1 スライドショー表示中 ▶ ⚙ ▶ 次の操作を行う

[時間]
静止画を表示する時間を設定します。

[サウンド]
スライドショー表示中にサウンドを鳴らすかどうかを設定します。
サウンドは３種類から選択できます。

[スタイル]
画面を切り替えるスタイルを適用するかどうかを設定します。
スタイルは３種類から選択できます。

テレビに静止画や動画／ｉモーションを表示する

FOMA 端末とテレビ※1 を市販の AV ケーブル※2 で接続すると、カメラモードで画面をテレビに表示できます。

※1 プロジェクターなどの映像出力機器も含みます。
※2 microUSB 接続端子（FOMA 端末側）と RCA 端子（テレビ側）の AV ケーブルが必要です。

- テレビ出力中でもシャッターキー、[カメラキー] などのキー操作ができます。
- テレビ出力中に、FOMA 端末の画面をタッチすると、テレビ出力が一時中断され、メニューなどの操作が可能になります。タッチ操作の後、約 2 秒間何も操作しないとテレビ出力が再開されます。
  以下の場合などは、すぐにテレビ出力が再開されます。
  - アルバムで動画再生
  - スライドショー再生
  - 音声付画像の再生　など
- テレビ出力中に AV ケーブルを取り外すと、テレビ出力が中止されます。

お知らせ

- テレビ出力中は、FOMA 端末には黒い画面が表示されます。
- テレビ出力が一時中断された場合は、テレビには黒い画面が表示されます。
- FOMA 端末とテレビの画面の解像度および画面の縦横比が異なるため、小さな映像がぼやけて表示されたり縦横比が異なって表示されたりすることがあります。
- パノラマ撮影中に、AV ケーブルを接続するとパノラマ撮影を中止します。
- 次の場合はテレビ出力が一時中断されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMS を受信したとき
  - アラームが鳴ったとき

FOMA 端末とテレビを接続する

1 FOMA 端末の microUSB 接続端子カバーを開け、市販の AV ケーブルの microUSB コネクタをまっすぐ差し込む

2 市販の AV ケーブルのコネクタをテレビに接続する

テレビに AV ケーブルのコネクタを接続する方法については、ご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビ出力を開始する

ケータイモードから開始する

1 ケータイモードで FOMA 端末とテレビを接続

2 [カメラキー] ／ [再生キー]

テレビに FOMA 端末の画面が出力されます。

カメラモードから開始する

1 カメラモードで FOMA 端末とテレビを接続

テレビに FOMA 端末の画面が出力されます。

テレビ出力中に撮影する

1 テレビ出力中にシャッターキー

静止画をテレビに表示する

1 テレビ出力中にFOMA端末の画面をタッチ

2 アルバムの静止画を表示して［スライドショー］

静止画撮影画面(P239)／動画撮影画面(P244)の場合は、(▶)を押します。

動画／iモーションをテレビに表示する

1 テレビ出力中にFOMA端末の画面をタッチ

2 アルバムの動画を表示して ▶

静止画撮影画面(P239)／動画撮影画面(P244)の場合は、(▶)を押します。

TVシステムを変更する

テレビへ正常に出力されない場合に、設定を行います。

1 静止画撮影画面（P239）／動画撮影画面（P244）▶ ⚙ ▶「その他」▶「TVシステム」

「NTSC」と「PAL」が切り替わります。

MUSIC

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、着うたフル® とWMA(Windows Media® Audio)ファイル、MP3ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- 本FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイル、MP3ファイルまたは着うたフル® を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMA／MP3ファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMA／MP3ファイルは再生できなくなることがあります。
- 対応するWindows Media DRMのバージョンは10.05～10.08です。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMA／MP3ファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り扱いや使用時の注意事項→P316

Music&Video チャネル

ミュージックプレーヤー

Music&Video チャネル

Music&Video チャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大 1 時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大 30 分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

Music&Video チャネルのご利用にあたって

- Music&Video チャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスの契約が必要です）。
- Music&Video チャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Video チャネルにご契約いただいた後、Music&Video チャネル非対応の FOMA 端末に FOMA カードを差し替えた場合、Music&Video チャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Video チャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Video チャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。
- Music&Video チャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

番組を設定する

番組を設定すると、夜間に番組が自動的に取得されます。

- 番組は 2 つまで設定できます。
- 設定するには、Music&Video チャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合があります。→ P200

1 MENU ▶「Music&Video チャネル」

Music&Video
チャネル画面

2 「番組設定」▶「はい」

- お買い上げ時には番組が設定されていません。
  番組の設定が行われると、番組タイトルが表示されます。

3 画面の指示に従って番組を設定

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

お知らせ

- 異なるFOMAカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、「配信番組」フォルダから移動していない番組は削除される場合があります。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、設定しようとするとMusic&Videoチャネル未契約をお知らせする画面が表示されます。
- Music&Videoチャネル画面で「番組リスト」を選択すると、Music&Videoチャネルに提供されているすべての番組リストを表示します。
  「サービスのご案内」を選択すると、サービスの利用方法や注意事項などを表示します。また、サービスへのお申し込みもできます。

番組設定を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面（P258）▶「番組設定」

2 画面の指示に従って操作

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

- 番組配信の12時間前になると、基本待受画面に が表示されます。
- 番組配信時間になると自動的に取得を開始します。
- 番組の取得は夜間に自動的に行われ、取得に成功すると基本待受画面に が、失敗すると が表示されます。一度Music&Videoチャネル画面を表示するとアイコンは消えます。

お知らせ

- 取得の開始時間に圏外の場合や通信の切断などで取得が中断されたときは、3分後に自動的に取得を再開します。最大5回繰り返します。
- 番組配信時間になっても、FOMA端末の電源が入っていない、FOMA端末が圏外、電波状態が悪いなどの理由で取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再度取得を行います。
- 電池残量表示が 以外の場合は、番組を取得できません（取得時に、電池残量が少ないために取得を開始できない旨のメッセージが表示されます）。
- 番組の取得には時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあること、また電波状態が良いことを確認してください。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のFOMAカードに差し替えたとき
  - 番組を設定した後にFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末の「メモリ削除」を行ったとき
  - FOMA端末の「データ一括削除」を行ったとき
- 番組取得中に電波状況などにより取得を中断した場合は、次回配信日まで自動取得を行いません。手動で番組を取得してください。
- 取得された番組は、「データBOX」内「Music&Videoチャネル」の「配信番組」フォルダに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、「配信番組」フォルダの番組は削除され、再生できなくなります。削除されたくない番組は、他のフォルダに移動してください。→P263
  ただし、番組によっては移動できない場合があります。
- Music&Videoチャネル、iモードの解約を行った場合、「配信番組」フォルダから移動した番組以外は削除される場合があります。
- 番組の取得を開始、完了したときでも着信音、バイブレータは鳴動しません。

番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得してください。

1 Music&Videoチャネル画面（P258）▶番組を2回タッチ▶「はい」

・取得に失敗した番組には が表示されます。

お知らせ

・データBOXのMusic&Videoチャネル番組一覧から操作する場合は、取得に失敗した番組を2回タッチ▶「はい」を選択します。
・取得が中断されても、中断までに取得されたチャプターまでは部分的に再生できます。
・再生回数、再生期間、再生期限が切れている番組は取得を再開できません。
・時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

番組を再生する

1 Music&Videoチャネル画面（P258）▶番組を2回タッチ

Music&Video
チャネルプレーヤー画面

❶ **タイトル（曲名）**
❷ **アーティスト名**
❸ **タイトル（番組名）**
❹ **再生経過時間**
❺ **リピート設定**
OFF　ON
❻ **再生中のチャプター番号／全チャプター数**
❼ **音量**
❽ **再生操作**
❾ **チャプター画像／動画または番組画像**
❿ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
⓫ **全体の長さ**
⓬ **イコライザーのON／OFF**
イコライザーON　イコライザーOFF
⓭ **イコライザー**
標準 標準　ロック ロック
ポップス ポップス　クラシック クラシック
ジャズ ジャズ　カスタム カスタム
※ 動画番組では表示されません。
⓮ **チャプター一覧画面表示**

■ Music&Videoチャネルプレーヤー画面の操作

操　作	説　明
／	一時停止／再生
／（1秒以上）	番組の頭出しをして一時停止
（マナー）／（メモ）／	音量調節
／	頭出しまたは前のチャプターを再生／次のチャプターを再生
／（1秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り
	リピート設定を切り替え
標準	イコライザー設定を切り替え※
チャプター画像／番組画像をタッチ	チャプター画像と番組画像を切り替え※（番組画像がないときは、デフォルトの画像に切り替えます）

操　作	説　明
[一覧]	チャプター一覧を表示
[サイト接続]	サイトに接続
(ホーム)	Music&Video チャネルプレーヤーを終了

※ 動画番組では利用できません。

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMS を受信したとき(「受信表示」が「通知優先」に設定されている場合)
  - アラームが鳴ったとき
- 番組に再生制限が設定されている場合は、定められた再生回数や再生期限、再生期間を過ぎると番組を再生できなくなります。
- 再生回数や再生期限、再生期間は番組情報で確認できます。
- 番組によっては、決められた再生開始時間以外に再生できないものがあります。放送時間は、自動時刻補正された FOMA 端末の時間に従います。
- 部分的に取得した番組を再生しようとすると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードを開始します。「途中まで再生」を選択すると、ダウンロードされているチャプターまで再生します。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

番組情報を確認する

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組をタッチ▶［番組情報］

- 選択中の番組情報を表示します。

Music&Video チャネル画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組をタッチ▶ (メニュー) ▶次の操作を行う

[番組移動]
選択中の番組を「配信番組」フォルダから移動します。→ P263

[番組削除]
選択中の番組を削除します。

[チャプター一覧]
選択中の番組のチャプター一覧を表示します。→ P262

[サイト接続]
選択中の番組に URL 情報がある場合は、サイトに接続します。

お知らせ

<番組削除>

- 番組を削除しても番組設定は解除されません。Music&Video チャネルサイトに接続して解除するまで自動的に番組が更新されます。

Music&Video チャネルプレーヤー画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネルプレーヤー画面(P260)▶ (メニュー) ▶次の操作を行う

[BGM 再生] ※1
バックグラウンド再生します。→ P275

[拡大再生] ※2
動画を拡大表示します。

[Bluetooth]
Bluetooth 機器を使用して、番組を再生します。

[チャプター一覧]
チャプター一覧を表示します。

[チャプター情報]
再生中のチャプター情報を表示します。

[番組情報]
再生中の番組情報を表示します。

[リピート設定]
ON ： 再生中の番組をリピート再生します。
OFF ： リピート再生しません。

[DOLBY　プリセット] ※1
番組を再生するときの音質を設定します。
・ Bluetooth機器を使用して音楽を再生している場合は、設定できません。

[チャプター画像] ※1
チャプター／番組画像を表示します。→ P270

[サイト接続]
再生中の番組に URL 情報がある場合は、サイトに接続します。

※ 1　音楽番組でのみ表示されます。
※ 2　動画番組でのみ表示されます。

番組のチャプター一覧を表示する

チャプターを選択して再生したり、情報を表示したりします。

1 **Music&Videoチャネルプレーヤー画面（P260）▶［一覧］**

・ 再生中のチャプターには♫が表示されます。
・ ［再生］：選択中のチャプターを再生します。
・ ［情報］：選択中のチャプターの情報を表示します。

Music&Video チャネル画面の番組のアイコンについて

Music&Video チャネル画面や番組の一覧画面には、番組の取得状況や種類などを示す次のアイコンが表示されます。

アイコン	説　明
／（黄）	取得した番組／部分的に取得した番組 ・ 再生済みの番組には「✔」が付きます。 ・ 決められた再生開始時間以外に再生できない番組には「」が付きます。 ・ 再生回数／期限／期間が制限されている番組や再生のときに操作が制限されている番組には「」が付きます。
／	取得したチャプター／取得できなかったチャプター
	更新できなかった番組
	取得設定済み（未取得）の番組
（赤）	番組取得中

番組を保存する

取得した番組を上書きされないように「配信番組」フォルダから移動できます。移動した番組は「データ BOX」の「Music&Video チャネル」から再生できます。

- 番組によっては移動できない場合があります。

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組をタッチ▶ ▤ ▶「番組移動」

2 移動先を表示▶［移動］

お知らせ

- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 部分的に取得した番組は、移動できません。
- 移動先は FOMA 端末のみです。microSD カードには移動できません。

データ BOX から Music&Video チャネルを操作する

「データ BOX」の「Music&Video チャネル」から配信された番組の再生、移動や番組タイトルの変更などができます。

データ BOX から再生する

1 MENU ▶「データ BOX」▶「Music&Video チャネル」

- ［作成］：新規フォルダを作成します。
作成したフォルダの中にフォルダを作成することはできません。

フォルダ一覧画面

2 フォルダを 2 回タッチ

- ［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。
- ［ 🗑 ］：選択中の番組を削除します。

番組一覧画面

次のページへ続く

3 番組を２回タッチ

- 番組の取得が完了していない場合、「手動ダウンロード」／「取り消し」／「再生」（チャプターを１個以上取得した場合）をタッチします。

フォルダ一覧画面のサブメニュー

1 フォルダ一覧画面(P263)▶フォルダをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

［名称変更］
選択中のフォルダ名を編集します。

［削除］
1件：選択中のファイルを削除します。
選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶［削除］▶［はい］▶端末暗証番号を入力

［ソート］
条件を設定してフォルダを並べ替えます。

［メモリ情報］
本体：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

お知らせ
- 「配信番組」フォルダは名称変更、削除できません。

番組一覧画面のサブメニュー

1 番組一覧画面（P263）▶番組をタッチ

- ［削除］：選択中の番組を削除します。

2 ▤ ▶次の操作を行う

［移動］
選択中の番組を移動します。
- 「配信番組」フォルダ内には移動できません。

［名称変更］
選択中の番組の表示名を変更します。

［削除］
1件：選択中のファイルを削除します。
選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶［削除］▶［はい］▶端末暗証番号を入力

［番組情報］
選択中の番組情報を表示します。

［チャプター一覧］
チャプター一覧を表示します。→P262

［ソート］
条件を設定してフォルダを並べ替えます。

［メモリ情報］
本体：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

音楽の再生方法について

FOMA 端末で音楽を再生する方法は次の 2 種類です。

- ミュージックプレーヤーで再生
  サイトから取得した着うたフル® やパソコンなどを使って microSD カードに保存した WMA ／ MP3 ファイルを再生します。
- ｉモーションとして再生
  ｉモードで取得してデータ BOX に保存した音声のみのｉモーションを再生します。→ P304

音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。**→ P275**

ミュージックプレーヤーについて

- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ 再生可能な着うたフル® のファイル形式について

ファイル形式	MP4
ビットレート	8 ～ 128 kbps
保存可能容量（FOMA 端末）	約 137M バイト（お買い上げ時）
作成可能なプレイリスト件数	最大 11 件

■ 再生可能な WMA ファイル形式について

ファイル形式	WMA（Windows Media Audio 9 Standard、Windows Media Audio 10 Professional）
ビットレート	8 ～ 192 kbps
保存可能曲数	最大 1990 曲

ファイル形式	MP3（MPEG-1/2/2.5 Audio Layer-3）
ビットレート	8 ～ 192kbps
保存可能曲数	最大 1990 曲

音楽データを保存する

着うたフル® をダウンロードする

- 着うたフル® は約 137M バイト（お買い上げ時）、1 曲あたり最大 5M バイトまで保存できます。
- ダウンロードした着うたフル® は、「データ BOX」の「ミュージック」内または microSD カードに保存されます。

1 着うたフル® があるサイトを表示 ▶ ダウンロードする着うたフル® を選択

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」

再生　：ダウンロードした着うたフル® を再生します。
情報表示：ダウンロードした着うたフル® の情報を表示します。
戻る　：着うたフル® を保存せずにサイト画面に戻ります。

3 「本体へ」／「microSD へ」

- 本体を選択した場合、保存したいフォルダをタッチ ▶ [選択] をタッチします。
- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

お知らせ

- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。

microSDカードにWMA／MP3ファイルを保存する

WMA／MP3ファイルをFOMA端末で再生するには、次のものが必要です。

- L-03C本体
- データ通信用USBケーブル（試供品）
- パソコン（Windows Vista、Windows XP）
- Windows Media Player 11（Windows VistaまたはWindows XPの場合）
- microSDカード

1 FOMA端末にmicroSDカードを挿入

- microSDカードの挿入方法→P317

2 MENU▶「USBモード設定」▶「MTPモード」

3 パソコンと接続

- 詳しくは、「FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使う」の操作2～3をご覧ください。→P326

4 Windows Media Playerを起動して、音楽データをmicroSDカードに保存

- Windows Media Playerの操作方法については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。
- 保存完了後、FOMA端末とパソコンからデータ通信用USBケーブルを取り外してください。

お知らせ

- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存したWMA／MP3ファイルは、L-03Cで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMA／MP3ファイルを保存したmicroSDカードを使用すると、「MTPモード」に切り替えてもパソコンで認識されない場合があります。その場合は、パソコンなどでmicroSDカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDカードをL-03Cでフォーマット(P324)することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

ミュージックプレーヤー

音楽データを再生する

FOMA端末とmicroSDカードに保存した全曲、またはアーティスト名、ジャンル、アルバム名を指定して連続再生できます。

- 「自動表示回転」(P37)が ▮ のとき、FOMA端末の上部を左側に傾けると、横画面に切り替わります。

例：「全曲」から再生する場合

1 MENU ▶「ミュージックプレーヤー」

- ［ランダム再生］：表示中の音楽データをランダムに再生します。
- ：着うたフル®
- ：WMAファイル
- ：MP3ファイル
- ：microSDカードに保存されている音楽データ

音楽データ一覧画面（ソングリスト）

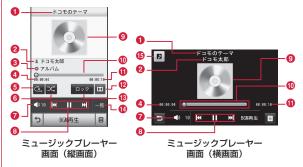
音楽データ一覧画面のリストボックスについて

音楽データ一覧画面から、アーティスト名、ジャンル、アルバム名を指定して連続再生できます。

プレイリスト：プレイリストを表示、作成、再生します。→P271
アーティスト：音楽データをアーティストごとに表示します。
ジャンル：音楽データをジャンルごとに表示します。
アルバム：音楽データをアルバムごとに表示します。

2 音楽データを2回タッチ

選択した音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

ミュージックプレーヤー画面（縦画面）　ミュージックプレーヤー画面（横画面）

❶ **タイトル（曲名）**
❷ **アーティスト名**
❸ **アルバム名**
❹ **再生経過時間**
❺ **リピート設定**
　無し　／　再生中楽曲のみリピート再生
　全曲リピート再生
❻ **シャッフル**
　シャッフルOFF　／　シャッフルON
❼ **音量**
❽ **再生操作**
❾ **ジャケット画像／歌詞**
❿ **再生経過バー**
　再生経過をバーで表示します。
⓫ **全体の長さ**
⓬ **イコライザーのON／OFF**
　イコライザーON　／　イコライザーOFF
⓭ **イコライザー**
　標準 標準　／　ロック ロック
　ポップス ポップス　／　クラシック クラシック
　ジャズ ジャズ　／　カスタム カスタム
⓮ **音楽データ一覧画面表示**
⓯ **ジャケット画像／歌詞切り替え**

次のページへ続く

■ ミュージックプレーヤー画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏸／▶（1 秒以上）	曲の頭出しをして一時停止
◀（マナー）／ ▶（メモ）／🔈	音量調節
⏮／⏭	頭出し※1 または前の曲を再生※2 ／次の曲を再生
⏮／⏭（1 秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り
🔀	シャッフル設定を切り替え
🔁	リピート設定を切り替え
EQ	イコライザーの ON ／ OFF を切り替え
標準	イコライザー設定を切り替え
画像をタッチ	前の画像／次の画像を表示
▤ ▶「ジャケット画像」	ジャケット画像の表示を切替／画像をデータ BOX に保存
▤ ▶「歌詞」	歌詞の表示／非表示を切り替え
［一覧］	音楽データ一覧画面を表示 一覧画面表示中は再生している曲のジャケットの右上に ♬ が表示されます。
［BGM 再生］	基本待受画面に戻り、BGM として再生
⌂	ミュージックプレーヤーを終了

※ 1　再生時間が 2 秒以上のときは、頭出しとなります。
※ 2　再生時間が 2 秒未満のときは、前の曲を再生します。

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMS を受信したとき（「受信表示」が「通知優先」に設定されている場合）
  - アラームが鳴ったとき
- 音楽データ再生中は、タッチ音などの効果音は出ません。
- アーティスト、ジャンル、アルバムの振り分けは、音楽データの詳細情報に従います。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 音楽データ一覧画面（P267）▶ 音楽データをタッチ

2 ▶ 次の操作を行う

[選択再生]
音楽データを複数選択し、一時的なプレイリストとして再生します。

▶ 再生したい音楽データにチェックを付ける ▶ ［再生］

- をタッチして、「ソート」「情報表示」「全解除」を選択できます。
- ［全選択・全解除］：音楽データを全選択／全解除できます。

[プレイリストに追加]
選択中の音楽データをプレイリストに追加します。→ P273

[検索] ※
「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」の項目から指定して音楽データを検索します。

▶ 項目をタッチ ▶ 項目を入力 ▶ ［検索］

- 指定されたすべての項目に一致する音楽データを表示します。
- 検索結果画面では をタッチして、「選択再生」「プレイリストに追加」「ソート」「情報表示」を選択できます。

[ソート]
条件を設定して音楽データを並べ替えます。

[情報表示]
選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶ 項目をタッチ ▶ ［編集］ ▶ 項目を編集

- 項目によっては編集できません。
- WMA ／ MP3 ファイルまたは再生中に microSD カード内の着うたフル®の情報を編集することはできません。

※「アーティスト」「ジャンル」「アルバム」内の音楽データ一覧画面では表示されません。

ミュージックプレーヤー画面のサブメニュー

1 ミュージックプレーヤー画面（P267）▶ ▶ 次の操作を行う

[MUSIC へ]
音楽データを再生したまま音楽データ一覧画面を表示します。→ P267

[Bluetooth]
Bluetooth 機器を使用して音楽を再生します。

[ジャケット画像]
ジャケット画像を表示したり、データ BOX に保存したりします。→ P270

[DOLBY プリセット]
楽曲を再生するときの音質を設定します。

- Bluetooth 機器を使用して音楽を再生している場合は、設定できません。

[歌詞] ※
歌詞を表示できます。→ P270

[音設定] ※
再生中の音楽データを着信音などに設定します。→ P270

[サイト接続] ※
再生中の音楽データに URL 情報がある場合は、サイトに接続します。

[情報表示]
再生中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶ 項目をタッチ ▶ ［編集］ ▶ 項目を編集

- 項目によっては編集できません。
- microSD カード内の着うたフル®、WMA ／ MP3 ファイルの情報は編集できません。

※ WMA ／ MP3 ファイルでは利用できません。

着うたフル®を着信音に設定する

1 ミュージックプレーヤー画面(P267)▶ ▤ ▶「音設定」

2 着信音の種類を選択

3 着信音に設定する範囲を選択

- 着うたフル®によっては、選択できない項目があります。

[まるごと設定]
再生中の着うたフル®をそのまま着信音に設定します。

[オススメ設定]
再生中の着うたフル®にあらかじめオススメの範囲が登録されている場合に、選択できます。

[おこのみ設定]
おこのみの範囲を指定して、着信音に設定します。

▶タッチまたはスライドで開始地点を探す▶［開始］▶タッチまたはスライドで完了地点を探す▶［終了］

お知らせ

- 「アラーム音」を選択した場合は、さらに設定するアラームを選択します。
- 着うたフル®によっては着信音に設定できません。
- microSDカード内の音楽データは着信音に設定できません。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

音楽データに含まれたジャケット画像や歌詞、Music&Videoチャネルのチャプター画像を表示します。また、ジャケット画像は保存することもできます。

1 ミュージックプレーヤー画面(P267)▶ ▤ ▶「ジャケット画像」／「歌詞」

■ **Music&Videoチャネルのチャプター画像を表示する場合**
Music&Videoチャネルプレーヤー画面（P260）▶ ▤ ▶「チャプター画像」をタッチします。

2 次の操作を行う

[次の画像]
次の画像／歌詞を表示します。

[前の画像]
前の画像／歌詞を表示します。

[全画面表示]
画像／歌詞を全画面で表示します。

[表示ON・表示OFF]
ジャケット画像／チャプター画像や歌詞の表示／非表示を切り替えます。

[データBOXに保存] ※
表示中の画像を「データBOX」内「マイピクチャ」の「iモード」フォルダに保存します。

- WMA／MP3ファイルでは利用できません。

※「歌詞」「チャプター画像」では表示されません。

プレイリストを利用する

プレイリストで音楽データの演奏順を指定できます。FOMA 端末とmicroSD カードに保存した全曲からお好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

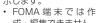
プレイリストを作成する

全曲プレイリストは 11 件（クイックプレイリストを含む）まで、1 件のプレイリストには 50 曲まで音楽データを登録できます。

1 MENU ▶「ミュージックプレーヤー」▶ ▼ ▶「プレイリスト」▶ プレイリストの種類をタッチ

最近再生した曲：最近、曲の最後まで再生した曲を表示します。
- プレイリストを作成することはできません。

全曲プレイリスト：FOMA 端末で作成したプレイリストを表示します。

PC から転送したプレイリスト：パソコンから転送したWMA ／ MP3 ファイルのプレイリストを表示します。
- FOMA 端末では作成・編集できません。

プレイリスト一覧画面

2 ［新規］▶ プレイリスト名を入力 ▶ フォルダをタッチ

- 全角／半角どちらも 30 文字まで入力できます。

3 プレイリストに登録したい音楽データにチェックを付ける ▶ ［追加］

- ▤ をタッチして、「ソート」「情報表示」「全選択」「全解除」を選択できます。
- ［全選択・全解除］：音楽データを全選択／全解除できます。

プレイリストを再生する

1 プレイリスト一覧画面（P271）で、再生したいプレイリストを 2 回タッチ

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面

2 音楽データを 2 回タッチ

タッチした音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

次のページへ続く

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面(P271)▶プレイリストをタッチ ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[コピー]

1 件 ： 選択中のプレイリストをコピーします。
選択 ： プレイリストを選択してコピーします。
▶ コピーしたいプレイリストにチェックを付ける ▶ ［コピー］
• ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件 ： プレイリストをすべてコピーします。

[削除]

1 件 ： 選択中のプレイリストを削除します。
選択 ： プレイリストを選択して削除します。
▶ 削除したいプレイリストにチェックを付ける ▶ ［削除］
• ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件 ： プレイリストをすべて削除します。

[名称変更]

プレイリスト名を変更します。

お知らせ

• PC から転送したプレイリスト一覧画面には、サブメニューはありません。

＜名称変更／プレイリスト削除＞

• 「クイックプレイリスト」では利用できません。

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面（P271）▶ 音楽データをタッチ ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

• ［楽曲追加］：表示中のプレイリストに音楽データを追加します。

[選択再生]

音楽データを複数選択し、一時的なプレイリストとして再生します。

▶ 再生したい音楽データにチェックを付ける ▶ ［再生］

• ▤ をタッチして、「ソート」「情報表示」「全解除」を選択できます。
• ［全選択・全解除］：音楽データを全選択／全解除できます。

[再生順変更]

選択中の音楽データの順番を移動します。

▶ 再生順を変更したい音楽データにタッチ（1 秒以上）▶ スライドで再生順を移動

[リストから削除] ※1

音楽データを複数選択し、プレイリストから削除します。

▶ 削除したい音楽データにチェックを付ける ▶ ［削除］ ▶ 「はい」

• ▤ をタッチして、「ソート」「情報表示」「全解除」を選択できます。
• ［全選択・全解除］：音楽データを全選択／全解除できます。

[検索]

「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」を指定して表示中のプレイリストから該当する音楽データを検索します。

▶ 項目をタッチ ▶ 項目を入力 ▶ ［検索］

• 指定されたすべての項目に一致する音楽データを表示します。
• 検索結果画面では ▤ をタッチして、「選択再生」「プレイリストに追加」※1「リストから削除」「保存」※2「ソート」「情報表示」を選択できます。「保存」を選択すると、検索結果以外の音楽データをプレイリストから削除して保存し直します。

[ソート]
音楽データの登録情報に基づいて並べ替えます。

[情報表示]
選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶ **項目をタッチ ▶［編集］▶ 項目を編集**
- 項目によっては編集できません。
- WMA ／ MP3 ファイルの情報は、編集できません。

※ 1 PC から転送したプレイリストでは利用できません。
※ 2 PC から転送したプレイリストでは表示されません。

プレイリストに音楽データを追加する

1 MENU ▶「ミュージックプレーヤー」

2 ▤ ▶「プレイリストに追加」▶ 追加したい音楽データにチェックを付ける ▶［追加］▶ プレイリストを 2 回タッチ
- 選択したプレイリストに音楽データが追加登録されます。
- ［全選択・全解除］：音楽データを全選択／全解除できます。

音楽データをクイックプレイリストに登録する

よく聴く音楽データは、簡単な操作で「クイックプレイリスト」に登録できます。
- 登録した音楽データを再生するときは、「全曲プレイリスト」のプレイリスト一覧画面で「クイックプレイリスト」をタッチします。

1 音楽データ一覧画面（P267）▶ 登録したい音楽データをタッチ（2 秒以上）
- 登録した音楽データをタッチ ▶ 🗑（1 秒以上）でもクイックプレイリストに登録できます。

音楽データの管理

音楽データは「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されます。着うたフル® の削除、移動などはデータ BOX から操作します。
- WMA ／ MP3 ファイルは FOMA 端末では編集できません。パソコンで操作してください。

1 MENU ▶「データ BOX」▶「ミュージック」

2 「i モード」／「移行可能コンテンツ」／作成したフォルダを 2 回タッチ ▶ 着うたフル® をタッチ
- ［切替］：リスト表示／ピクチャ表示を切り替えます。
- 🗑：選択中の着うたフル® を削除します。
- 「PC から転送した曲」フォルダを選択した場合は、音楽データ再生時の操作と同様です。→ P267
- 「i モードで探す」を選択すると、i モードサイトに接続して着うたフル® を探すことができます。

3 ▤ ▶ 次の操作を行う

[ファイル]

名称変更	：選択中の着うたフル® の表示名を変更します。
表示名初期化	：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている「タイトル」-「アーティスト」に戻します。

情報表示 ：選択中の着うたフル®の情報を表示、編集します。
▶項目をタッチ▶［編集］▶項目を編集
・項目によっては編集できません。
・編集した項目をタッチして［初期化］▶「はい」をタッチすると、編集前の内容に戻ります。

ジャケット画像 ：着うたフル®に含まれた画像を保存します。→P270

［削除］

1件 ：選択中の着うたフル®を削除します。

選択 ：着うたフル®を選択して削除します。
▶削除したい着うたフル®にチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件 ：フォルダ内のすべての着うたフル®を削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

［移動］

1件 ：選択中の着うたフル®を移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］

選択 ：着うたフル®を選択して移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶移動したい着うたフル®にチェックを付ける▶［移動］
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件 ：フォルダ内のすべての着うたフル®を移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶［移動］
▶端末暗証番号を入力
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

・microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

［コピー］

利用できない項目です。

［シャッフルON・OFF］

シャッフルのON／OFFを選択します。

［リピート設定］

リピート再生の設定をします。

無し ：リピート再生しません。
再生中楽曲 ：再生中の楽曲のみリピート再生します。
全曲再生 ：全曲リピート再生します。

［音設定］

選択中の着うたフル®を着信音に設定します。→P270

［ソート］

条件を設定して着うたフル®を並べ替えます。

［メモリ情報］

本体 ：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD ：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［新規フォルダ］

新規フォルダを作成します。

「データBOX」内の着うたフル®に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
／	再生回数が決められているファイル（再生可能）／再生回数を過ぎたファイル（再生不可能）
／	再生期限または再生期間内のファイル（再生可能）／再生期限を過ぎたまたは再生期間外のファイル（再生不可能）
	microSDカード内のファイル

お知らせ

- プレイリストに登録されている音楽データを削除したり、FOMA端末と microSD カード間で移動したりした場合、その音楽データはプレイリストから削除されます。
- フォルダ選択中のサブメニューについては、「マイピクチャ画面のサブメニュー」(P293)を参照してください。

＜新規フォルダ＞

- 作成したフォルダ内に、さらに新規フォルダを作成することはできません(「移行可能コンテンツ」フォルダ内のみ2階層まで作成できます)。

バックグラウンド再生

音楽を聴きながら他の機能を利用する

1 音楽再生中に[BGM 再生]

再生を続けながら、待受画面を表示します。
画面上部に または が表示され、基本待受画面には、曲名やアーティスト名などの情報も表示されます。

- 待受画面で ◀(マナー)／▶(メモ)を押すと、音量調節ができます。

お知らせ

- バックグラウンド再生中にミュージックプレーヤー画面に戻るときは、曲名やアーティスト名などの情報をタッチします。
- バックグラウンド再生を停止するときは、▶「はい」をタッチします。
- バックグラウンド再生中は、基本待受画面にｉモーションを設定していても再生されません。
- microSD カード内の音楽データをバックグラウンド再生中には、他の機能で microSD カードを利用できないことがあります。その場合は、バックグラウンド再生を停止してください。

ｉアプリ

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA 端末をより便利にご利用いただけます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→ P402
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA 端末に保存します。

- ダウンロードできるソフトは最大 1M バイトです。
- ダウンロードしたソフトは最大 100 件登録できます。ただし、ソフトのデータ量によって保存可能件数は少なくなる場合があります。

1 サイト表示中 ▶ ソフトを選択 ▶「はい」

- ⮌：ダウンロードを中止します。

■「ソフト情報表示設定」を「表示する」に設定している場合
ソフトの情報が表示されます。[OK] ▶「はい」でソフトがダウンロードされます。

2 ダウンロード完了 ▶「はい」

ダウンロードしたソフトが起動します。

- ソフトによってはダウンロード完了後に動作条件を設定する画面が表示されることがあります。設定は後で「ソフト設定」から変更できます。→ P281

お知らせ

- ダウンロード時に、端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号）を利用することを通知する画面が表示される場合があります。「はい」をタッチするとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合は［詳細］をタッチして確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 異なる FOMA カードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は「はい」をタッチします。
- ソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空き容量が不足している場合は、他のｉアプリを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  メモリの空き容量が不足している場合は、必要なメモリ容量を確認しながら削除するｉアプリを選択できます。
  削除する場合は「はい」▶ メモリ容量を確認しながら削除するソフトにチェックを付ける ▶［削除］▶「はい」をタッチすると、チェックを付けたソフトを削除してダウンロードを開始します。
- ダウンロード時に電波状況などの理由により、ダウンロードに失敗した場合は、部分保存されることがあります。再度ダウンロード操作した場合や、ソフト一覧で部分保存されたｉアプリを選択した場合は、残りのファイルを続けてダウンロードします。
- ダウンロード時に、FOMA 端末のメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除した後で、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、受信メール／送信メール内にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリは17件（他のｉアプリとあわせて最大100件）まで保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとしたとき、フォルダを利用できます。フォルダを利用しないときは、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しないときは、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信メール／送信メール内に作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除するとき、自動的に作成されたフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダを削除できません。

ソフト情報表示設定

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

ダウンロード時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」／「表示しない」

ｉアプリを起動する

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ソフト一覧」

- ［選択］：選択中のｉアプリを起動します。
- ［切替］：ソフト一覧画面の表示方法を切り替えます。

ソフト一覧画面

■ソフト一覧画面のアイコン

アイコン	説　明
[アイコン]	通常のｉアプリ
[アイコン]	ｉアプリDX
[アイコン]	自動起動が設定されているｉアプリ
[アイコン]	SSL/TLS通信でダウンロードしたｉアプリ
[アイコン]	基本待受画面に設定されているｉアプリ
[アイコン]	部分保存されたｉアプリ

次のページへ続く

2 ソフトを２回タッチ

- 「ソフト設定」の「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されている場合は、ソフト起動中に通信するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」／「いいえ」をタッチします。

■ｉアプリを終了する場合

(ホーム)▶「はい」をタッチします。

ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧画面に戻ることなくソフトを楽しめます。

- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていないときは、ダウンロードする必要があります。
- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択してください。

セキュリティエラーが起こったときは

ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとすると、セキュリティエラーが表示され、その内容が「セキュリティエラー履歴」に記録されます。→P287

ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合は、その内容をトレース情報で確認できます。→P287

ｉアプリ作成者の方へ

ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。

お知らせ

- ソフトによっては、起動中に通信を行う場合があります。自動的に通信を行わないようにするには「ソフト設定」の「通信設定」で設定できます。→P281
- ソフト起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。
- ソフト起動中でもメールやメッセージR/Fを受信できます。ソフトは継続され、画面上部に(メール)、(R)、(F)などが表示されます。受信したメールやメッセージR/Fを確認する場合はソフトを終了させてください。
- お客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
- 異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは起動できません。
- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したりした場合、携帯電話は通信を行い、(アイコン)が点滅します。この際、通信料はかかりません。

ソフト一覧画面のサブメニュー

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▶次の操作を行う

[ｉアプリ To 設定]
選択中のソフトの起動条件を設定します。→P286

[自動起動時刻設定]
選択中のソフトを自動的に起動させる場合の日時などを設定します。→P285

[ソフト設定]
選択中のソフトの設定を行います。→P281

[ソフト情報]
ｉアプリのソフト名やバージョンなど選択中のソフトの情報を表示します。表示される項目はソフトによって異なります。

[バージョンアップ]
選択中のソフトをバージョンアップします。

[削除]
ソフトを削除します。→P287

お知らせ

<バージョンアップ>
- バージョンアップ時に、端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用することを通知する画面が表示される場合があります。「はい」をタッチするとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合は［詳細］をタッチして確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

ｉアプリの動作条件を設定する

ソフトごとに動作条件を設定します。ソフト起動中に自動的に通信するように設定したり、アイコン情報や電話帳などの参照を許可するかどうかを設定したりします。

- ソフトによって変更できない項目があります。

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▶「ソフト設定」▶次の操作を行う

[待受画面設定]
選択中のソフトを基本待受画面に設定します。→P286

[通信設定]
ソフト起動中に通信するかどうかを設定します。

[待受画面通信]
ｉアプリ待受画面設定中に通信するかどうかを設定します。

[アイコン情報]
ソフトを起動したときにメール、メッセージR/F、圏内/圏外、電池残量、マナーモードのアイコン情報の利用を許可するかどうかを設定します。

[電話帳/履歴参照]
ソフトを起動したときに、電話帳、リダイヤル、着信履歴の参照を許可するかどうかを設定します。

[着信音/画像変更]
ソフトを起動したときに、着信音や基本待受画面などに設定されている画像やメロディを自動的に変更するかどうかを設定します。

お知らせ

<通信設定>
- 「通信しない」に設定すると、ソフトが起動しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- 「通信する」に設定すると、ソフトが自動的にネットワークに接続します。接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

<アイコン情報>
- 「利用する」に設定すると、未読のメール、メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内、圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定するとソフトが動作しない場合があります。

お買い上げ時に登録されているiアプリ

お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト「WOW LG」からダウンロードできます。→P136

E★エブリスタアプリ

「E★エブリスタアプリ」は、ケータイ総合雑誌「E★エブリスタプレミアム」掲載作品の更新情報をリアルタイムにチェックできるiアプリです。
「E★エブリスタプレミアム」では、有名作家や有名人が書き下ろしたコミックや小説、エッセイの新作を、有料にて読み放題でお楽しみいただけます。

- 本アプリは会員登録不要で無料にてお楽しみいただけますが、プレミアム作品本文を閲覧するには、iモードサイトの「E★エブリスタ」で有料会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」を必ずご確認の上、ご利用ください。
- 本アプリは最新情報を取得するため、ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 「E★エブリスタアプリ」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。

数字カフェ

空いているマスに1～9のいずれかの数字を入れてください。ただし、縦・横の各列および、太線で囲まれた3×3のブロックに同じ数字が複数入ってはいけません。

1 ソフト一覧画面(P279)▶「数字カフェ」

ゲームのタイトル画面が表示されます。

2 画面をタッチ▶キーアイコンをタッチ

メニュー画面が表示されます。

3 次の操作を行う

- ［選択］：次の操作を実行します。
- ［終了］：ｉアプリを終了します。

［チュートリアル］
練習しながらゲームのやり方を覚えます。

［レコードモード］
問題を解くまでの時間を競います。

［カスタムモード］
自分で新しい問題を作成し、ゲームすることができます。

［環境設定］
スキャン機能／ライン機能のどちらを使用するか選択したり、サウンドや振動のオン／オフを設定したり、セーブされた情報をリセットしたりします。

［ランキング確認］
ランキングを表示します。

［ヘルプ］
ゲームの内容や操作方法を表示します。

［ゲーム終了］
ｉアプリを終了します。

頭脳発展所

多様な方式で左脳と右脳を刺激する、気楽に脳開発ができるゲームです。

1 ソフト一覧画面（P279）▶「頭脳発展所」

ゲームのタイトル画面が表示されます。

2 画面をタッチ▶キーアイコンをタッチ

メニュー画面が表示されます。

3 次の操作を行う

- ［確認］：次の操作を実行します。
- ［終了］：ｉアプリを終了します。

［ゲームスタート］
左脳や右脳のトレーニングや試験を行います。

［環境設定］
音量を設定したり、セーブされた情報をリセットしたりします。

［ヘルプ］
ゲームの内容や操作方法を表示します。

［ゲーム成績］
ランキングを表示します。

［終了］
ｉアプリを終了します。

次のページへ続く

Battle Reversi

相手の駒を自分の駒で上下・左右・斜め方向で挟み、挟まれた相手の駒は自分のものになり、最終的にどちらの駒が多く残るかを競うゲームです。

1 ソフト一覧画面（P279）▶「Battle Reversi」

2 画面をタッチ ▶ キーアイコンをタッチ

メニュー画面が表示されます。

3 次の操作を行う

- ［確認］：次の操作を実行します。
- ［終了］：ｉアプリを終了します。

［シングルモード］
携帯電話の仮想キャラクターを相手に対戦します。

［バトルモード］
自分の携帯電話で友達と1対1で対戦します。

［データボックス］
記録されたゲームの成績（勝ち数、負け数、引き分け数など）を表示します。

［環境設定］
タイムリミットやサウンドを設定したり、設定をリセットしたりします。

［キーマップ］
ゲーム操作で使うボタンの説明を表示します。

［ヘルプ］
ゲームの内容や操作方法を表示します。

モバイル Google マップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザー作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

■ 地図画面のキー操作

操　作	説　明
［メニュー］	メニューの表示
［検索］	検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
ナビゲーションパネル	カーソルの移動
［画面］	コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
［1］	ズームアウト
［2］	地図／航空写真の切り替え
［3］	ズームイン
［0］	現在地の表示
［＊］	お気に入りに保存／表示

- 初めて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- 詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

ｉアプリを自動起動する

・ ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。→P28

自動起動設定

自動起動をする

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定します。

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「自動起動設定」▶「許可する」／「許可しない」

自動起動時刻設定

起動日時を設定する

ソフトを自動的に起動する日時などを設定します。最大3件のソフトに設定できます。

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▤ ▶「自動起動時刻設定」▶次の操作を行う

［時間間隔設定］
ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動します。

［起動時刻設定］
ｉアプリが自動起動する時刻を設定する場合にチェックを付けます。

［時間］※
自動起動する日付と時刻を設定します。

［繰り返し］※
自動起動の繰り返しパターンを選択します。

1回	：	指定した日付と時刻に1回だけ自動起動します。
毎日	：	毎日指定した時刻に自動起動します。
曜日指定	：	毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。 ▶自動起動させる曜日にチェックを付ける▶［完了］

※「起動時刻設定」にチェックを付けると設定できます。

2 ［完了］

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - FOMA端末の電源がOFFのとき
  - 通話中、通信中
  - 他の機能を起動しているとき
  - オールロックを設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - おまかせロック設定中
  - 「プライバシーモード設定」の「ｉアプリ」を「ON」に設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム・スケジュール・ToDoのアラーム時刻と同じ場合
  - 他のFOMAカードでダウンロードしたｉアプリの場合
  - 「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されているｉアプリの場合
  - 同じｉアプリが10分未満に自動起動されていた場合
- 自動起動時刻に他のソフトを起動していた場合、ソフトは起動しません。また、他の機能を使用していた場合も起動しないことがあります。
- 自動起動に失敗すると基本待受画面に が表示され、選択すると、自動起動情報(P287)が表示されます。自動起動情報を確認すると、 は表示されなくなります。

ｉアプリ To 設定

サイトやメールからｉアプリを実行する

サイトやメールからソフトを起動するかどうかをソフトごとに設定します。

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▶「ｉアプリ To 設定」▶ソフトの起動を許可する項目にチェックを付ける▶［完了］

ｉアプリ待受画面設定

ｉアプリ待受画面を設定する

選択したｉアプリのソフトを基本待受画面に設定します。

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▶「ソフト設定」▶「待受画面設定」▶「ON」

お知らせ

- 設定できるｉアプリは 1 件のみです。
- ｉアプリによっては、基本待受画面に設定できません。
- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に／が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を設定中に FOMA 端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック設定中やプライバシーモード設定でｉアプリの利用を制限したときは、ｉアプリ待受画面は表示されません。
- 待受ｉアプリ設定時は、SMS の受信結果画面は表示されず、SMS 着信音およびバイブレータは動作しません。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを通常のｉアプリとして操作する

1 ｉアプリ待受画面で、を 2 回タッチ

ｉアプリが起動して、操作できるようになります。

ｉアプリ待受画面解除

ｉアプリ待受画面を解除する

1 ｉアプリ起動中▶ ▶「解除する」▶「はい」

「終了する」を選択すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。

お知らせ

- ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面表示終了」▶「終了する」／「解除する」▶「はい」を選択しても、解除できます。

ｉアプリ情報

さまざまな情報を見る

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ情報」▶ 次の操作を行う

[セキュリティエラー履歴]
セキュリティエラーによって終了したソフトのエラー履歴を表示します。
- [削除]：選択中のエラー履歴を削除します。

[自動起動情報]
ソフトが自動起動できたかどうかを確認します。自動起動が設定された3件までのソフトの最新の起動日時と情報を確認できます。
起動○：正常に自動起動したソフト
起動×：自動起動に失敗したソフト
未起動：設定日時に達していない未起動のソフト

[トレース情報]
ソフトのトレース情報を表示します。
- [削除]：トレース情報を削除します。

[待受画面エラー情報]
ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、エラー情報を表示します。
- [削除]：エラー情報を削除します。

お知らせ
- 記録されていない履歴や情報は、表示されません。

ｉアプリを削除する

1 ソフト一覧画面(P279)▶ソフトをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[削除]
1件：選択中のソフトを削除します。
選択：ソフトを選択して削除します。
▶削除したいソフトにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：ソフトをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

お知らせ
- 自動起動や基本待受画面に設定している場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は「はい」を選択します。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

ｉアプリ起動中にサイトに接続したり、FOMA端末の機能を使ったりすることができます。

- 対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できなかったりする場合があります。

データ管理

データ BOX について

データ BOX には次のような項目とフォルダがあります。サイトやｉモードメールから取得したデータなどが、種類に合わせて各フォルダに保存されます。

- マイピクチャ、ミュージック、Music&Video チャネル、ｉモーション／ムービー、メロディには、それぞれ 17 個までフォルダを追加することができます。
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション／ムービー、メロディに保存されているデータ（「デコメ絵文字」フォルダのデータを除く）をその項目内の他のフォルダに移動できます。Music&Video チャネルに保存されているデータは「配信番組」フォルダから項目内の他のフォルダへ、または「配信番組」以外のフォルダ間でデータを移動できます。
- サイトやメールから取得したデコメ絵文字®は「デコメ絵文字」フォルダへ直接保存されます。
- 「デコメ絵文字」フォルダにはデコメ絵文字®のみ保存できます。

マイピクチャ	
ｉモード	サイトやメールから取得した静止画など
カメラ（microSD）	カメラで撮影した静止画およびサイトやメールから取得した静止画など
デコメピクチャ	お買い上げ時に登録されているデコメール®用画像など
デコメ絵文字	お買い上げ時に登録されているか、またはサイトやメールから取得したデコメ絵文字®
プリインストール	お買い上げ時に登録されている静止画
フレーム	お買い上げ時に登録されているフレーム静止画など
データ交換	microSD カードから FOMA 端末にコピーした静止画など
スライドショー	作成したスライドショーなど

マイピクチャ		
microSD	microSD カードに保存されている静止画など	
	カメラ画像	カメラで撮影した静止画
	その他画像	静止画など
	デコメ絵文字	FOMA 端末からコピーしたデコメ絵文字®
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
ミュージック		
プレイリスト	FOMA 端末で作成されたプレイリスト、または Windows Media Player で作成され、パソコンから転送されたプレイリスト	
ｉモード	サイトから取得した着うたフル®	
移行可能コンテンツ	microSD カードに保存されている着うたフル®	
続きから再生	最後に再生した曲／プレイリストを再生	
PC から転送した曲	microSD カードに保存されている WMA ／ MP3 ファイル	
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
Music&Video チャネル		
配信番組	Music&Video チャネルで配信された音楽番組	
ｉモーション／ムービー		
ｉモード	サイトやメールから取得した動画／ｉモーションなど	
カメラ（microSD）	カメラで撮影した動画およびサイトやメールから取得した動画など	
プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画	
プレイリスト	FOMA 端末で作成したプレイリスト	

ｉモーション／ムービー		
データ交換	microSD カードから FOMA 端末にコピーした動画など	
microSD	microSD カードに保存されている動画やｉモーションなど	
	移行可能コンテンツ	FOMA 端末から移動した著作権のある動画やｉモーション
	音	音声のみの動画、カメラで撮影した動画
	動画	音声＋映像の動画
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
メロディ		
ｉモード	サイトやメールから取得した着信音に設定可能なメロディなど	
プリインストール	お買い上げ時に登録されている着信音に設定可能なメロディ	
データ交換	microSD カードから FOMA 端末にコピーした着信音に設定可能なメロディなど	
microSD	メロディ	microSD カードに保存されている着信音に設定可能なメロディなど※1
ｉモードで探す	ｉモードに接続	
その他		
OUDXXX※2	PNG ／ BMP ファイルやメール（添付ファイル）から保存した非対応のファイルなど	

※ 1 着信音に設定する際は、FOMA 端末にコピー／移動してから行ってください。
※ 2 XXX：001 ～ 999 の 3 桁の数字

表示名／ファイル名／タイトルの違いについて

FOMA 端末の静止画、Flash 画像、動画／ｉモーション、メロディの各ファイルには、複数の名称があります。

表示名	データ BOX 内の一覧画面や表示／再生画面で表示される名称
ファイル名	パソコンや他の携帯電話などで表示される名称
タイトル※	L-03C の管理用の名称（変更できません）

※ 静止画、Flash 画像のファイルにはありません。

ファイル一覧画面に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
／	送信・microSD カードへの移動が可能なファイル／不可能なファイル
／	ファイル制限あり
	FOMA カードセキュリティ機能が設定されているファイル
	microSD カード内のファイル
	再配布が禁止されているファイル
※ ／ ／ ／ ／ ／ ／ ／	ファイルの種類（JPEG ／ GIF ／ Flash ／ IFM（フレーム／スタンプ）／音楽データ／ MP4 ／ SMF ／ MFi）

※ 一覧画面の種類によって、表示されるアイコンは異なります。

ピクチャビューア

画像を表示する

撮影した静止画、サイトやｉモードメールから取得した静止画などを表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	JPEG、GIF
画素数	JPEG、プログレッシブJPEG：4000 × 3000 ドット以下 GIF：800 × 600 ドット以下
ファイルサイズ	JPEG、プログレッシブJPEG：8M バイト以下 GIF：2M バイト以下
拡張子	jpg、gif

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 MENU ▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

- ［作成］：フォルダを作成します。

マイピクチャ画面

2 フォルダを2回タッチ

- ［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。
- ［削除］：選択中のファイルを削除します。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P291
- 「ｉモードで探す」をタッチすると、ｉモードサイトに接続して静止画を探すことができます。

❶ **選択中のファイルの表示名**
❷ **選択中のファイルの種類**

静止画ファイル一覧画面

3 ファイルを2回タッチ

- ［メール］：選択中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。
- 🗑：選択中のファイルを削除します。

❶ **通し番号／保存件数**
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。
❷ **ファイルの表示名**

静止画表示画面

■ 静止画表示画面の操作

操　作	説　明
画像を左右にフリック	前のファイル／次のファイルを表示
画像をタッチ	メニューパネルなどを消して画像全体を表示
[メール]	表示中の画像をメールで送信→P142
◀（マナー）／＋	画像を拡大表示
▶（メモ）／－	画像を 1 つ前の倍率に戻す
画像をスライド	画像拡大時に表示位置を移動 • 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。
🗑	選択中のファイルを削除する

お知らせ

- L-03C で撮影した静止画以外の画像では、静止画ファイル一覧画面に表示されない場合があります。
- 静止画ファイル一覧画面で、横画面表示にしている場合、縦画面表示（グリッド表示）と異なります。横画面表示では、画面をスライドして表示するファイルを選択します。

マイピクチャ画面のサブメニュー

1 マイピクチャ画面(P292)▶フォルダをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[名称変更]
選択中のフォルダの名前を変更します。全角／半角どちらも 30 文字まで入力できます。

[削除]

1 件：選択中のフォルダを削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

選択：フォルダを選択して削除します。
▶削除したいフォルダにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
• ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：ユーザ作成フォルダをすべて削除します。
▶［削除］▶「はい」▶端末暗証番号を入力
• ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

[ピクチャ表示]
利用できない項目です。

[ソート]
条件を設定してフォルダ内のファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体　：「データ BOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSD カードの保存領域の状態などを表示します。

[フォルダ情報]
選択中のフォルダのサイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

静止画ファイル一覧画面のサブメニュー

1 静止画ファイル一覧画面(P292)▶ファイルをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[ファイル]

編集※ ：選択中のファイルを編集します。→P297
名称変更：選択中のファイルの表示名を変更します。
情報表示：選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

[削除]

1件：選択中のファイルを削除します。
選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

[移動]

1件：選択中のファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］
選択：ファイルを選択して移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶移動したいファイルにチェックを付ける▶［移動］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶［移動］▶端末暗証番号を入力
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

[コピー]

1件：選択中のファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］
選択：ファイルを選択してコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］▶コピーしたいファイルにチェックを付ける▶［コピー］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］▶［コピー］▶端末暗証番号を入力
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSDカードを取り付けている場合のみ、microSDカードを選択できます。

[メール作成]※

選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P142）へ進みます。

[設定]

選択中のファイルを基本待受画面や着信画面などに設定します。

[ソート]

条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[お預かりセンターに保存]※

ファイルをお預かりセンターに保存します。→P135

※ Flashファイルでは利用できません。

静止画表示画面のサブメニュー

1 静止画表示画面（P292）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［画像編集］ ※
表示中のファイルを編集します。→ P297

［1 件削除］
表示中のファイルを削除します。

［タイトル編集］
表示中のファイルの表示名を編集します。

［情報表示］
表示中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

［メール作成］ ※
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作２（P142）へ進みます。

［ズーム］ ※
画像を拡大表示します。拡大表示中は、次の操作ができます。
- ＋：拡大します。
- −：１つ前の倍率に戻します。
- 画像のスライド：表示位置を移動します。
- ⮌：拡大表示を元の表示へ戻します。

［設定］
表示中のファイルを基本待受画面や着信画面などに設定します。
- 「表示設定」の「自動回転」が「 」の場合、表示されている向きと設定後の向きが異なることがあります。

［お預かりセンターに保存］ ※
表示中のファイルをお預かりセンターに保存します。
▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

［表示設定］
画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。
→ P297

※ Flash ファイルでは利用できません。

Flash 画像を表示する

サイトなどから取得した Flash 画像を表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	Flash
ファイルサイズ	100K バイト以下
拡張子	swf

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」

2 フォルダを 2 回タッチ

3 ファイルを 2 回タッチ

❶ **通し番号／保存件数**
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。

❷ **ファイルの表示名**

Flash 再生画面

■ Flash 再生画面の操作

操　作	説　明
画像を左右にフリック	前のファイル／次のファイルを表示
画像をタッチ	メニューパネルなどを消して画像全体を表示／元の表示サイズへ戻す
[リトライ]	Flash を最初から再生
🗑	表示中のファイルを削除する

Flash 再生画面のサブメニュー

1 Flash 再生画面（P296）▶ ▤

- Flash 再生画面のサブメニューについては、「静止画表示画面のサブメニュー」（P295）を参照してください。

静止画の表示方法を設定する

画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。

1 静止画表示画面(P292)／Flash 再生画面(P296)／スライドショー一覧画面(P301)▶ ▤ ▶「表示設定」▶ 次の操作を行う

[表示種類]

オリジナル表示	：実際のサイズで表示します。
拡大表示	：画面サイズより小さい画像を画面のサイズに拡大して表示します。

[ズーム種類]

オリジナル表示	：画面サイズより大きい画像を画面のサイズに縮小して表示した画像をズームします。
等倍表示	：実際のサイズで表示した画像をズームします。

[スライドショー間隔]

スライドショーの表示間隔を設定します。

[自動回転]

自動回転を［ I ・ O ］で設定します。

2 [完了]

ファイル制限を設定する

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先の FOMA 端末では送信、転送できなくなります。

1 ファイル制限を設定したいファイルを表示 ▶ ▤ ▶「情報表示」

情報表示画面が表示されます。

2 「ファイル制限」欄をタッチ ▶［編集］▶「ファイル制限あり」

お知らせ

- サイトからダウンロードしたファイルなどでは、変更できません。

静止画編集

静止画を編集する

静止画を編集します。編集した静止画は、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

- 編集できるファイルは JPEG ファイルのみです。ただし、ファイルによっては編集できない場合があります。
- 静止画の編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなったりする場合があります。

次のページへ続く

1 静止画表示画面(P292)▶ ▶「画像編集」▶ 次の操作を行う

- 「画像編集」をタッチすると、横画面表示に切り替わります。

静止画編集画面

[(選択)]

□ ：画像の一部を切り出します。→ P301
 ：画像をフォト ID サイズに切り出します。
 ：画像を壁紙サイズに切り出します。

[(画像)]

回転 ：画像を回転させる角度を、「右 90 度、左 90 度、0 度、180 度」から選択します。
サイズ変更 ：画像サイズを変更します。→ P301
フェイス補正：表示される顔の表情を選択してフェイス補正効果を付与します。
カラー強調 ：タッチした色と色相が離れている色から彩度が下がり、タッチした色が目立つようになります。
▶「+」「−」で調整▶［OK］
鏡像 ：画像を反転させる方向を、「水平方向反転、垂直方向反転」から選択します。
フレーム ：画像にフレームを設定します。→ P300
カラー調整 ：タッチした色と色相が近い色から、選択した色に変換します。明暗度によって色相の距離が変化します。「Choice」をタッチして、画像をタッチすると、対象の色が変わります。
▶［明暗度］／［ ］（色）／［Choice］を設定▶［OK］

[(フィルタ)]

スポットライト：周りをぼかして、スポッライトを当てたような画像にします。
グレイ ：グレースケールの画像にします。
ソフトネス ：輪郭をぼかした感じの画像にします。
オイルペイント：油絵のような画像にします。
エンボス ：浮き彫りのような画像にします。
部分ネガ ：色調を反転した画像にします。反転する色調の強弱が設定できます。
ムーンライト ：月明かりに照らされているようなほの暗い画像にします。
ネガ ：色調を反転した画像にします。
白黒ネガ ：色調を反転し、グレースケールにした画像にします。
セピア ：古い写真風の画像にします。
シャープネス ：輪郭を強調した感じの画像にします。
ノイズ消去 ：ノイズを削除してきれいな画像にします。
ペイント ：水彩画のような画像にします。
カラースケッチ：色鉛筆画のような画像にします。
フォッグ ：霧がかかったような画像にします。
グロー ：輝きを付加した画像にします。
マジックペン ：マジックペン画のような画像にします。
ノイズ ：ノイズを付加して古めかしい画像にします。
アンティーク ：日焼けした写真のような画像にします。
スリガラス ：スリガラス透しのような画像にします。
カートーン ：漫画のようなライトタッチな画像にします。
ポスター ：ポスターイラストのような画像にします。
白黒スケッチ ：鉛筆画のような画像にします。
スタンプ ：スタンプを押したような効果を与えます。→ P300

[(補正)]

自動レベル：画像の色合い・コントラストを自動的に補正します。
明るさ：画像の明るさを調整します。
コントラスト：画像のコントラストを調整します。
RGB color：画像のＲ・Ｇ・Ｂの色相を調整します。
カラー強調：彩度が高い色を強調します。
レベル調整：明暗の強弱を調整します。
部分強調：他の照明を当てた雰囲気の効果を与えます。
自動補正：画像の明るさを自動的に補正します。
露出：画像の明るさを光の入り具合いに見たてて補正します。
ホワイトバランス
：画像の色合いを補正します。
- 自動、晴天、電球、曇り、蛍光灯から選択します。

[(EXIT)]

画像編集を終了します。

[保存]

編集した静止画を保存します。操作３へ進みます。

[取消]

実行した編集をキャンセルし、１つ前の状態に戻します。

[送信]

編集中の画像が添付されたｉモードメールを作成します。

[ツール]

：線を描きます。
：消しゴムで編集します。
：テキストを入力します。
：スタンプを挿入します。

2 [保存]

- ［取消］をタッチすると、編集前の内容に戻ります。

3 「上書き」／「新規ファイル」

上書き：編集元の画像に上書き保存します。
新規ファイル：編集した画像を新規に保存します。

お知らせ

<フレーム>
- 編集元の画像サイズと同じフレームサイズのみ設定できます。

フレームを重ねる

内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 静止画編集画面（P298）▶ （画像）

2 ［フレーム］▶ フレームをタッチ ▶［選択］

3 ［保存］

「静止画を編集する」の操作 3（P299）へ進みます。

お知らせ

- トリミングやサイズ変更した画像がフレームとも同じサイズのときはフレーム合成できます。

スタンプを貼り付ける

1 静止画編集画面(P298)▶[ツール]▶ （スタンプ）

2 フォルダをタッチ ▶ スタンプを選択 ▶［選択］▶ スタンプをドラッグして貼り付け位置に移動

スタンプが貼り付けられます。

3 ［保存］

「静止画を編集する」の操作 3（P299）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が 24 ドット未満、または 480 × 800 ドットより大きい場合は、スタンプを貼り付けできません。

文字を貼り付ける

画像に文字を貼り付けます。文字サイズやカラーの変更を行ったり、吹き出しを貼り付けたりすることもできます。

1 静止画編集画面(P298)▶[ツール]▶ （テキスト）

2 貼り付ける文字を入力

- 画像サイズや文字サイズによって、入力可能文字数は変わります。

3 テキストパネルで次の操作を行う

［大 中 小（文字サイズ）］※
文字の大きさを設定します。

［No Box （吹き出し）］※
吹き出しを設定します。

［文字色］
貼り付けた文字の色を設定します。

※ 画像サイズや文字サイズによって設定できない項目があります。

4 「OK」▶ 文字をドラッグして貼り付け位置に移動

5 ［保存］

「静止画を編集する」の操作 3（P299）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が 24 ドット未満、または 480 × 800 ドットより大きい場合は、テキストを貼り付けできません。

画像の一部を切り出す

1 静止画編集画面（P298）▶ ⬚（選択）

2 切り出しサイズの項目をタッチ ▶ 画像をドラッグ ▶ 画像をタッチ

- 画像確定後、✂ が表示されます。

3 ［保存］

「静止画を編集する」の操作 3（P299）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が 8 ドット未満の場合は、画像を切り出しできません。

画像サイズを変更する

1 静止画編集画面（P298）▶ 🖼（画像）▶「サイズ変更」

2 画像サイズを選択

3 ［保存］

「静止画を編集する」の操作 3（P299）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が 8 ドット未満の場合は、サイズ変更できません。
- 編集元の画像と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の縦横比を保ったままで拡大／縮小します。

スライドショー

スライドショーを作成する

保存されている静止画を使って 20 コマまでのスライドショーを作成できます。

- 30 件まで作成できます。

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」▶「スライドショー」

- 🗑：選択中のファイルを削除します。

スライドショー一覧画面

2 ［新規］▶ スライドショーの表示名を入力

- 全角／半角どちらも 30 文字まで入力できます。

次のページへ続く

3 [追加] ▶ フォルダをタッチ

- [切替]：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。

スライドショー
登録画面

4 画像をタッチ ▶ [選択]

スライドショー
選択画面

5 登録したい他の画像にチェックを付ける ▶ [完了]

- [全選択・全解除] をタッチして全選択／全解除できます。

6 [完了]

- [追加]：画像を新たに登録することができます。

■ **登録した画像を削除する場合**

削除したい画像をタッチ ▶ 🗑 ▶「はい」をタッチします。

スライドショー登録画面のサブメニュー

[選択]
選択中のファイルをスライドショーの画像に追加します。

[表示]
選択中のファイルを表示します。

[情報表示]
選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

[リスト表示・ピクチャ表示]
ファイルの表示方法を切り替えます。

[ソート]
条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体　：「データ BOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSD カードの保存領域の状態などを表示します。

スライドショー画像選択画面のサブメニュー

[全選択]
すべてのファイルにチェックを付けます。

[全解除]
すべてのファイルのチェックを外します。

[リスト表示・ピクチャ表示]
ファイルの表示方法を切り替えます。

スライドショーを表示する

1 スライドショー一覧画面(P301)▶スライドショーを2回タッチ

スライドショー表示画面

■ スライドショー表示中の操作

操　作	説　明
画像を左右にフリック	前のスライドショー／次のスライドショーを再生
画像をタッチ	メニューパネルなどを消して画像全体を表示する
🗑	表示中ファイルを削除する
↶	スライドショー一覧画面に戻る

スライドショー一覧画面のサブメニュー

1 スライドショー一覧画面（P301）▶スライドショーをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

[画像追加]
選択中のスライドショーに画像を追加します。

[1件削除]
選択中のスライドショーを削除します。

[タイトル編集]
選択中のスライドショーの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

[待受画面設定]
選択中のスライドショーを基本待受画面に設定します。

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。→P297

スライドショー表示画面のサブメニュー

1 **スライドショー表示画面(P303)▶ ▶次の操作を行う**

[1件削除]
表示中のスライドショーを削除します。

[タイトル編集]
表示中のスライドショーの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

[待受画面設定]
表示中のスライドショーを基本待受画面に設定します。

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、スライドショーの表示間隔などを設定します。
→P297

動画／iモーションプレーヤー

動画／iモーションを再生する

撮影した動画、サイトやiモードメールから取得したiモーションなどを再生します。

- 「自動表示回転」(P37)が のとき、FOMA端末の上部を左側に傾けると、横画面に切り替わります。

■表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	MP4（Mobile MP4）
符号化方式	MP4ファイル 映像：MPEG-4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
拡張子	mp4、3gp

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
※ HD（1280×720）で撮影した動画は、動画／iモーションプレーヤーでは再生できません。アルバム（P251）で再生してください。

1 ▶「データBOX」▶「iモーション／ムービー」

- ［作成］：フォルダを作成します。

iモーション／ムービー画面

2 フォルダを２回タッチ

- ［切替］：リスト表示とピクチャ表示を切り替えます。
- ［削除］：選択中のファイルを削除します。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P291

ｉモーション
ファイル一覧画面

3 ファイルを２回タッチ

- 初めて動画／ｉモーション（映像付き）を再生したときは、ｉモーションを常に全画面で再生するかどうかを確認する画面が表示されます。全画面（横）で拡大再生する場合は「はい」を選択してください。
- ［メール］：再生中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。
- ｉモーション再生画面（横画面）では、画面をタッチすると操作画面が表示されます。

ｉモーション再生
画面（縦画面）

ｉモーション再生
画面（横画面）

❶ **ファイルの表示名**
❷ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
❸ **再生経過時間**
❹ **全体の長さ**
❺ **音量**
❻ **操作のガイド表示**

■ ｉモーション再生画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏮／⏭	前のファイル／次のファイルを再生
⏮／⏭（1 秒以上）	タッチしている間巻戻し／早送り
◀（マナー）／▶（メモ）／🔈	音量調節
［ストップ］	停止

お知らせ

- ファイルによっては、再生中に早送りや巻戻しができない場合があります。
- ｉモーション再生中に早送り／巻戻しをすると、ｉモーションは一時停止します。

- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていても、表示できません。
- ｉモーションファイル一覧画面で、横画面表示にしている場合、縦画面表示（グリッド表示）と異なります。横画面表示では、画面をスライドして表示するファイルを選択します。

ｉモーションファイルを切り替える

1 ｉモーションファイル一覧画面(P305)▶ファイルをタッチ▶［切替］

- ファイルの表示方法を切り替えます。

ｉモーション／ムービー画面のサブメニュー

1 ｉモーション／ムービー画面(P304)▶フォルダをタッチ▶ ▤

- ｉモーション／ムービー画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」(P293) と同じです。

ｉモーションファイル一覧画面のサブメニュー

1 ｉモーションファイル一覧画面(P305)▶ファイルをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

［ファイル］

名称変更：選択中のファイルの表示名を変更します。

表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。設定がない場合は、「タイトルなし」となります。

情報表示：選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

［削除］

1件：選択中のファイルを削除します。

選択：ファイルを選択して削除します。
▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶「はい」▶端末暗証番号を入力

［移動］

1件：選択中のファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ

選択：ファイルを選択して移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶移動したいファイルにチェックを付ける▶［移動］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶［移動］▶端末暗証番号を入力
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

［コピー］

1件：選択中のファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］

選択：ファイルを選択してコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］▶コピーしたいファイルにチェックを付ける▶［コピー］
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［コピー］▶端末暗証番号を入力
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

[メール作成]
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

[音設定]
選択中のファイルを着信音などに設定します。

[画面設定]
選択中のファイルを基本待受画面や着信画面などに設定します。

[ソート]
条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体　：「データ BOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD：microSD カードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
利用できない項目です。

ｉモーション再生画面のサブメニュー

1 ｉモーション再生画面(P305)▶ ▶次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機器を使用してｉモーションを再生します。

[メール作成]
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

[音設定]
再生中のファイルを着信音などに設定します。

[画面設定]
選択中のファイルを基本待受画面や着信画面などに設定します。

[チャプター一覧]
チャプター一覧を表示します。

[編集] ※
再生中の動画／ｉモーションを編集します。→ P308

[情報表示]
再生中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

※ 再生が終了すると「キャプチャ」の選択はできません。

お知らせ

- サブメニュー操作中は、動画／ｉモーションの再生は一時停止します。

＜音設定／画面設定＞

- 次の動画／ｉモーションは、着モーションや着信画面に設定できません。
  - ドコモケータイ datalink などを使用して、パソコンや他の FOMA 端末に転送してから、もう一度 FOMA 端末に戻した場合
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で microSD カードから、FOMA 端末にコピーまたは移動した場合（FOMA 端末から microSD カードにコピーまたは移動してから、もう一度 FOMA 端末にコピーまたは移動した場合も含まれます）
- 次の本 FOMA 端末で撮影した動画は、着モーションや着信画面に設定できない場合があります。
  - 他の FOMA 端末に転送してから編集して、もう一度 FOMA 端末に戻した場合
  - 他の FOMA 端末に転送してから、もう一度 FOMA 端末に戻して編集した場合

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。

- お買い上げ時に登録されているファイルは編集できません。
- 100Mバイトを超えるまたは録画時間が5分を超えるファイルは編集できません。
- ファイルによっては編集できない場合があります。

動画の一部を静止画として切り出す（キャプチャ）

動画／ｉモーションを静止画として切り出します。
切り出した画像は以下のフォルダに保存されます。

- 「ｉモード」／「データ交換」の場合、「データBOX」内「マイピクチャ」の「データ交換」フォルダ
- 「カメラ（microSD）」「microSD」の場合、「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ（microSD）」フォルダ

1 **ｉモーション再生画面（P305）▶静止画として切り出す画像を表示**

- ｉモーション再生中の操作方法→P305

2 **▶「編集」▶「キャプチャ」**

3 **「はい」**

動画の一部を切り出す（トリミング）

動画／ｉモーションの一部を切り出します。
切り出した動画／ｉモーションは、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

1 **ｉモーション再生画面（P305）▶ ▶「編集」▶「トリミング」▶次の操作を行う**

［メールサイズ小］
始点から後の映像を、500Kバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。映像が500Kバイトを超える場合のみ選択できます。

［メールサイズ大］
始点から後の映像を、2Mバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。映像が2Mバイトを超える場合のみ選択できます。

［範囲指定］
選択した始点から終点までの映像を切り出して保存します。
▶タッチまたはスライドで開始地点を探す▶［開始］▶タッチまたはスライドで完了地点を探す▶［終了］

2 **「はい」**

動画を編集する

1 **ｉモーション再生画面（P305）▶ ▶「編集」▶「動画編集」▶次の操作を行う**

- 「動画編集」をタッチすると、横画面表示に切り替わります。

［トリミング］
再生経過バーの をドラッグして動画／ｉモーションの一部を切り出します。

［フェードアウト］
動画の前後にフェードイン／フェードアウト効果を自動で追加して保存します。

[ビデオ合成]
2 つの動画／ i モーションを合成します。→ P309

[画像合成]
動画／ i モーションと画像を合成します。→ P310

[音声ダビング]
オーディオミキシング比率を変更する。 をドラッグして「オリジナルサウンド・録音したサウンド」の比率を設定できます。

[ダビング]
動画／ i モーションに他のオーディオファイルを挿入できます。→ P310

[文字挿入]
動画／ i モーションに文字を挿入します。→ P310

[画像挿入]
動画／ i モーションに画像を挿入します。→ P311

[再生速度]
動画／ i モーションの倍速比率を設定できます。

2 [保存]

- [プレビュー] をタッチすると、編集する内容を確認できます。
- [戻す] をタッチすると、編集前の内容に戻ります。
- をタッチすると、編集をキャンセルかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をタッチすると動画編集画面に戻ります。

3 [更新実行] ／ [新規ファイル]

- [更新実行]：編集元の動画／ i モーションに上書き保存します。
- [新規ファイル]：編集元の動画／ i モーションを新規に保存します。
- [X] をタッチすると、編集をキャンセルかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をタッチすると動画編集画面に戻ります。

ビデオを合成する

1 動画編集画面 ▶ [ビデオ合成]

2 フォルダを 2 回タッチ

3 ファイルをタッチ ▶ [選択]

4 [効果] ▶ 次の操作を行う

[パンズーム]
画像を動かし（パン）ながら、ズームする効果で、次の映像に切り替わります。

[フェードアウト]
徐々に画面を暗くして、消えていくようにする効果で、次の映像に切り替わります。

[ワイプ]
蓋を外すように、次の映像に切り替わります。

[円]
輪を拡大しながら、次の映像に切り替わります。

[チェッカー]
格子状の窓を開くような効果で、次の映像に切り替わります。

[ブラインド]
ブラインドを回すような効果で、次の映像に切り替わります。

[スプリット]
上下から侵食するように、次の映像に切り替わります。

次のページへ続く

[ディゾルブ]
前の映像が暗くなるにつれ、次の映像が溶け込むように切り替わります。

[ひし形]
ひし形で外側から塗りつぶすように、次の映像に切り替わります。

5 [保存]

- [プレビュー] をタッチすると、編集する内容を確認できます。
- [戻す] をタッチすると、編集前の内容に戻ります。
- をタッチすると、編集をキャンセルかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をタッチすると動画編集画面に戻ります。

6 「はい」

- 「動画を編集する」の操作３（P309）へ進みます。

画像を合成する

1 動画編集画面 ▶ [画像合成]

2 合成するファイルを選択 ▶「選択」

- 「ビデオを合成する」の操作３（P309）へ進みます。

サウンドを挿入する

1 動画編集画面 ▶ [ダビング]

2 「PC から転送した曲」／「ミュージック」を選択

3 挿入するファイルを選択 ▶「設定」▶「はい」

- 「動画を編集する」の操作３（P309）へ進みます。

文字を貼り付ける

1 動画編集画面 ▶ [文字挿入]

2 テキストパネルで次の操作を行う

[No Box (吹き出し)]
吹き出しを設定します。

[ボックスカラー]
吹き出しのカラーを設定します。

[テキストカラー]
貼り付けた文字を設定します

3 [選択] ▶ 貼り付ける文字を入力

- 画像サイズや文字サイズによって、入力可能文字数は変わります。

4 文字をドラッグして貼り付け位置に移動

- 枠をスライドすると、文字を拡大／縮小できます。

5 [選択]

- 再生経過バーの をドラッグして文字を貼り付ける動画／ｉモーション画面を選択できます。
- [プレビュー] をタッチすると、編集する内容を確認します。

6 [保存]

- 「動画を編集する」の操作３（P309）へ進みます。

画像を挿入する

1 動画編集画面▶［画像挿入］

2 挿入するファイルを選択▶「選択」

3 画像をドラッグして貼り付け位置に移動

- 枠をスライドすると、画像を拡大／縮小できます。

4 ［選択］

- ─／╋ をタッチして画像の不透明度を設定します。
- ▭ をドラッグしても、画像の不透明度を設定できます。
- ［オリジナル］をタッチすると、画像の不透明度がリセットされます。

5 ［選択］

- 再生経過バーの ▯ をドラッグして画像を挿入する動画／ｉモーション画面を選択できます。
- ［プレビュー］をタッチすると、編集する内容を確認します。

6 ［保存］

- 「動画を編集する」の操作3（P309）へ進みます。

プレイリストを利用する

プレイリストで動画／ｉモーションの再生順を指定できます。
FOMA端末とmicroSDカードに保存した動画／ｉモーションからお好みの動画／ｉモーションをお好みの順番で再生します。

プレイリストを作成する

プレイリストは10件まで、1件のプレイリストには25件まで動画／ｉモーションを登録できます。

1 MENU▶「データBOX」▶「ｉモーション／ムービー」▶「プレイリスト」

プレイリスト一覧画面

2 ［新規］▶プレイリスト名を入力

- 全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

3 ［追加］▶フォルダを2回タッチ

4 動画／ｉモーションをタッチ ▶［選択］

5 プレイリストに登録したい動画／ｉモーションにチェックを付ける ▶［完了］

- ▤ ▶［全選択・全解除］で全選択／全解除できます（25件まで選択します）。

プレイリスト登録済み動画／ｉモーション一覧画面

プレイリストを再生する

1 プレイリスト一覧画面(P311)▶再生したいプレイリストを２回タッチ

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面(P311)▶プレイリストをタッチ ▶ ▤ ▶次の操作を行う

［プレイリストにｉモーションを追加］
選択中のプレイリストに動画／ｉモーションを追加します。

［削除］
１件 ：選択中のプレイリストを削除します。
選択 ：プレイリストを選択して削除します。
▶削除したいプレイリストにチェックを付ける ▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件 ：すべてのプレイリストを削除します。

［タイトル編集］
選択中のプレイリスト名を編集します。

プレイリスト登録済み動画／ｉモーション一覧画面のサブメニュー

1 **プレイリスト一覧画面(P311)▶プレイリストをタッチ▶ ▶「プレイリストにｉモーションを追加」▶ファイルをタッチ▶ ▶次の操作を行う**

[再生]
選択中の動画／ｉモーションから再生します。

[順番の変更]
選択中の動画／ｉモーションの順番を変更します。

▶移動したい動画／ｉモーションにチェックを付ける▶移動先をタッチ▶「はい」
- 選択した２つの動画／ｉモーションの順番が入れ替わります。

[削除]

１件：選択中の動画／ｉモーションを削除します。
選択：動画／ｉモーションを選択して削除します。
▶削除したい動画／ｉモーションにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：すべての動画／ｉモーションを削除します。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

お買い上げ時に登録されているメロディや、サイトなどから取得したメロディを再生します。

■再生可能なファイル形式について

ファイル形式※	SMF、MFi
拡張子	mid、mld

※ 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 **MENU▶「データ BOX」▶「メロディ」**

- ［作成］：フォルダを作成します。

メロディ画面

2 フォルダを２回タッチ

- ［削除］：選択中のファイルを削除します。
- 一覧画面に表示されるアイコン→P291

メロディファイル一覧画面

3 ファイルを２回タッチ

- ［メール］：再生中のファイルを添付したｉモードメール作成画面が表示されます。

❶ ファイルの表示名
❷ 再生経過バー
　再生経過をバーで表示します。
❸ 再生経過時間
❹ 全体の長さ
❺ 音量
❻ 操作のガイド表示

メロディ再生画面

■ メロディ再生画面の操作

操　作	説　明
⏸／▶	一時停止／再生
⏮／⏭	前のファイル／次のファイルを再生
◀（マナー）／▶（メモ）／🔈	音量調節
［ストップ］	停止

メロディ画面のサブメニュー

1 メロディ画面（P313）▶フォルダをタッチ▶ ▤

- メロディ画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」（P293）と同じです。ただし、「ピクチャ表示」は表示されません。

メロディファイル一覧画面のサブメニュー

1 メロディファイル一覧画面（P314）▶ファイルをタッチ▶ ▤ ▶次の操作を行う

［ファイル］

名称変更　：選択中のファイルの表示名を変更します。
表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。
情報表示　：選択中のメロディのファイル名やサイズ、保存日時などの情報を表示します。

［削除］

１件：選択中のファイルを削除します。
選択：ファイルを選択して削除します。
　▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
　• ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
　「はい」▶端末暗証番号を入力

[移動]

1 件 ：選択中のファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］

選択 ：ファイルを選択して移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［選択］▶移動したいファイルにチェックを付ける▶［移動］
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件 ：フォルダ内のすべてのファイルを移動します。
▶メモリを選択▶移動先のフォルダをタッチ▶［移動］▶端末暗証番号を入力
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

[コピー]

1 件 ：選択中のファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］

選択 ：ファイルを選択してコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［選択］▶コピーしたいファイルにチェックを付ける
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件 ：フォルダ内のすべてのファイルをコピーします。
▶メモリを選択▶コピー先のフォルダをタッチ▶［コピー］▶端末暗証番号を入力
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

- microSD カードを取り付けている場合のみ、microSD カードを選択できます。

[メール作成]

選択中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

[設定]

選択中のメロディを着信音などに設定します。

[ソート]

条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリ情報]

本体 ：「データ BOX」内の保存領域の状態などを表示します。
microSD ：microSD カードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ] ※

利用できない項目です。

※「データ交換」でのみ表示されます。

メロディ再生画面のサブメニュー

1 メロディ再生画面（P314）▶ ▤ ▶次の操作を行う

[メール作成]

再生中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作 2（P142）へ進みます。

[音設定]

再生中のメロディを着信音などに設定します。

[情報表示]

再生中のメロディのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。

お知らせ

- サブメニュー操作中は、メロディの再生は一時停止します。

microSD カード

FOMA 端末内の電話帳やメール、Bookmark などのデータを microSD カードに保存したり、microSD カード内のデータを FOMA 端末内に取り込んだりすることができます。また、FOMA 端末から microSD カード内のデータを閲覧することもできます。

- L-03C では市販の 2G バイトまでの microSD カード、16G バイトまでの microSDHC カードに対応しています（2010 年 12 月現在）。microSD カードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されている microSD カード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから 「ｉ Menu･検索」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  - パソコンから　http://www.lg.com/jp/
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードをご利用になるには、別途 microSD カードが必要となります。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

microSD カード使用時のご注意

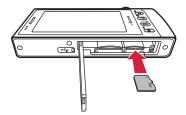
- パソコンなど他機器でフォーマットした microSD カードは、使用できない場合があります。L-03C でフォーマットしたものを使用してください。フォーマットを行うと、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。→ P324
- microSD カードは、事故や故障によってデータを消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSD カードへのデータの書き込みや消去を繰り返している場合、microSD カード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、microSD カードの読み込みや書き込みに時間がかかる場合があります。特に、静止画・動画の撮影では途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどにデータを保存（P326）したあと、フォーマット（P324）を行ってください。
- 転送するデータ量によっては通信に時間がかかる場合があります。また、データをコピーできない場合があります。
- データの読み込みや書き込み中に、FOMA 端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、microSD カードのフォーマット中に、データ通信用 USB ケーブル（試供品）を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- microSD カード内のデータを表示したり、保存容量を確認したりするときなど、microSD カード利用中は、絶対に microSD カードを抜かないでください。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 金属端子部分には手や金属などで触れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- microSD カードを取り外した後は、乳幼児の手の届く場所には放置しないでください。誤って飲み込んでしまい、けがなどの原因となります。
- microSD カードから表示・再生できるファイル、および FOMA 端末⇔ microSD カード間でコピー／移動できるファイルのサイズは、1 件あたり次のとおりです。
  画像※：10M バイト、動画／ｉモーション：10M バイト、メロディ：100K バイト、着うたフル®：5M バイト
  ※ Flash 画像は対応していません。
- サイトから取得した、FOMA 端末外への出力が禁止されているｉモーション、着うたフル®を microSD カードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- パソコンなど他の機器から microSD カードに保存したデータは、FOMA 端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA 端末から microSD カードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

「電源を切る」(P54)の操作を行った後、ディスプレイ面を上にして電池パックカバーを開けてから、microSDカードの取り付け、または取り外しを行ってください。→P49

取り付けかた

microSDカードを取り付けるときは、FOMA端末を手に持って行ってください。

1 microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込む

お知らせ

- microSDカードは向きに注意して正しく取り付けてください。正しくない向きで取り付けようとするとmicroSDカードやガイドが破損する恐れがあります。
- 正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用できません。

取り外しかた

microSDカードを取り外すときは、FOMA端末を手に持って行ってください。

1 microSDカードを矢印❶の方向に軽く押し込む

2 microSDカードを矢印❷の方向にまっすぐ抜き取る

microSD カードのフォルダ構成

FOMA 端末から microSD カードにファイルを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接 microSD カードに保存したときなど、そのファイルに対応したフォルダが microSD カードに自動的に作成されます。

- パソコンなどから microSD カードにファイルを書き込む場合も、次のようなフォルダ構成とファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。

xxx ：拡張子（3 桁の半角英数字）
△△△ ：100 ～ 999 の 3 桁の半角数字（フォルダ名に使用した数字とそのフォルダに保存するファイル名に使用する数字は同じにしてください）
aaa ：001 ～ 999 の 3 桁の半角数字
aaaa ：0001 ～ 0999 の 4 桁の半角数字

```
L-03C(mmcl)
├DCIM（撮影画像、DCF 準拠の JPEG、アニメーション以外の GIF）
│ └△△△ LGDCF
│   └IMG_aaaa.JPG ／ .GIF
├PRIVATE
│ └DOCOMO
│   ├TABLE（管理情報）※1
│   ├STILL（DCF 準拠以外の JPEG、GIF アニメーション）
│   │ ├STILaaaa.JPG ／ .GIF
│   │ └SUDaaa
│   │   └STILaaaa.JPG ／ .GIF
│   ├RINGER（メロディ）
│   │ ├RINGaaaa.MLD ／ .MID
│   │ └RUDaaa
│   │   └RINGaaaa.MLD ／ .MID
│   ├MMFILE（音声のみの動画／ i モーション、カメラで撮影した動画）
│   │ ├MMFaaaa.3GP
│   │ ├MUDaaa
│   │ │ └MMFaaaa.3GP
│   │ ├WM（WMA ／ MP3 ファイル）※2
│   │ └WM_SYSTEM（WMA ／ MP3 ファイル管理情報・ライセンス情報）※2
│   ├DECOIMG（デコメ絵文字®）
│   │ ├DIMGaaaa.JPG ／ .GIF
│   │ └DUDaaa
│   │   └DIMGaaaa.JPG ／ .GIF
│   └OTHER（その他）
│     └OUDaaa
│       └OTHERaaa.xxx
├SD_VIDEO（動画／ i モーション）
│ └PRLaaa
│   └MOLaaa.3GP
├SD_BIND（コンテンツ移行対応のデータ）※2
│ ├SVC00001（動画／ i モーション）
│ └SVC00002（着うたフル®）
└SD_PIM（個人情報のデータ）
```

※ 1 TABLE フォルダの下には「DCIM」「STILL」「RINGER」「MMFILE」「DECOIMG」「SD_VIDEO」「OTHER」それぞれについて付加情報を格納するフォルダがあります。

※2 暗号化されているため、パソコンなどで直接参照できないデータがあります。また、フォルダ下のファイルを削除・変更・追加すると、L-03Cで正しく動作しなくなる場合があります。

■ microSDカードに保存できる件数
- microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードの容量によって異なります。
- microSDカードに保存できる容量は、「メモリ情報」「メモリ状況」で確認できます。→P325、P361

ファイル	フォルダ	保存可能件数
静止画（DCF準拠のJPEG、アニメーション以外のGIF）	DCIM	900フォルダ／1フォルダ最大999件
静止画（DCF準拠以外のJPEG、GIFアニメーション）	STILL	999フォルダ／1フォルダ最大999件
メロディ	RINGER	999フォルダ／1フォルダ最大999件
音声のみの動画／iモーション	MMFILE	999フォルダ／1フォルダ最大999件
WMA／MP3ファイル	WM	最大1990件
デコメ絵文字®	DECOIMG	999フォルダ／1フォルダ最大999件
動画／iモーション	SD_VIDEO	999フォルダ／1フォルダ最大999件
個人情報のデータ	SD_PIM	1フォルダ／65535件
その他のファイル	OTHER	999フォルダ／1フォルダ最大999件

お知らせ
- 本FOMA端末で使用したmicroSDカードは、そのまま他のmicroSDカード対応のFOMA端末に差し込んでも、フォルダ構成が異なるためご利用できないことがあります。
- 韓国語非対応の端末では、microSDカード内の韓国語を含んだメールは正しく表示されません。
- お使いのパソコンによっては、フォルダ名／ファイル名が小文字で表示される場合があります。また、拡張子や一部のフォルダ（隠しフォルダ）などが表示されない場合があります。
- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。L-03Cで読み込めなくなる場合があります。

microSDカードを使う

FOMA端末に保存されている画像や動画／iモーションなど、データBOX内のファイルをmicroSDカードに保存したり、パソコンからmicroSDカードに保存したファイルをFOMA端末で表示したりすることができます。

microSDカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」／「ミュージック」／「ｉモーション／ムービー」／「メロディ」▶「microSD」を２回タッチ

■「ミュージック」の場合
MENU ▶「データ BOX」▶「ミュージック」▶「移行可能コンテンツ」／「PC から転送した曲」を２回タッチします。

- 「画像を表示する」→ P292
- 「音楽データの管理」→ P273
- 「動画／ｉモーションを再生する」→ P304
- 「メロディを再生する」→ P313

お知らせ

- 「データ BOX」の「ミュージック」を選択した場合は、「microSD」ではなく「移行可能コンテンツ」と表示されます。
- ファイルによっては、表示／再生ができない場合があります。
- microSD カード内のフォルダ／ファイル一覧画面のサブメニューは、FOMA 端末のフォルダ／ファイル一覧画面と同様です。ただし、着信音への設定、お預かりセンターへの保存はできません。

FOMA 端末⇔ microSD カード間でファイルをコピー／移動する

データ BOX 内の「microSD」フォルダとその他のフォルダ間でファイルをコピー／移動することで、microSD カード⇔ FOMA 端末間でファイルをコピー／移動します。

例：FOMA 端末内に保存されたデコメピクチャ画像を、microSD カードに移動する場合

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」

2 フォルダを２回タッチ

- 「microSD」以外のフォルダを選択します。

3 ファイルをタッチ ▶ ≡ ▶「移動」▶「1 件」

4「microSD」

5 移動先のフォルダをタッチ ▶［選択］

お知らせ

- コピー／移動ができるファイルは、お買い上げ時に登録されているデータ以外の JPEG 形式、GIF 形式の画像ファイル、3GP 形式の動画ファイル、メロディです。
  ただし、「データ BOX」内「マイピクチャ」の「デコメピクチャ」／「デコメ絵文字」のお買い上げ時に登録されている画像ファイルはコピー／移動ができます。
- 着うたフル®、サイトからダウンロードしたｉモーションは、microSD カードにコピーできません。
- ファイルの種類やサイズによっては、コピー／移動できない場合があります。
- 本 FOMA 端末に保存されている Flash は、microSD カードにコピー／移動できません。
- FOMA 端末内に保存された著作権のある移動可能なｉモーション・着うたフル®は、それぞれの「移行可能コンテンツ」フォルダ内に移動できます。

FOMA 端末⇔ microSD カード間で個人情報のデータをやりとりする

FOMA 端末と microSD カード間で個人情報のデータをコピーしたり、FOMA 端末のデータを microSD カードにバックアップしたりします。
個人情報のデータには、次のものがあります。

- 電話帳
- スケジュール
- メモ
- To Do リスト
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- Bookmark

個人情報のデータを FOMA 端末から microSD カードにコピーする

FOMA 端末に登録されている個人情報のデータを、microSD カードにコピーします。

データを 1 件ずつコピーする

例：電話帳データを 1 件コピーする場合

1 ▶ コピーしたい電話帳をタッチ ▶ ▶「コピー」▶「microSD へ 1 件コピー」▶「はい」

データの種類を選択して一括でコピーする（バックアップ）

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「個人情報」

2 [バックアップ] ▶ コピーしたいデータの種類をタッチ

3 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

■ **電話帳の場合**
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

お知らせ

- microSD カードに保存されている画像を電話帳に登録している場合、バックアップした電話帳には画像は含まれません。

個人情報のデータを microSD カードから FOMA 端末にコピー／上書きする

microSD カードに登録されている個人情報のデータを、FOMA 端末にコピー／上書きします。

データを 1 件ずつコピーする

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「個人情報」

2 データの種類をタッチ

microSD カードに保存されているデータが表示されます。

- ［microSD へ全件コピー］：データをすべて FOMA 端末へコピーします。
  端末暗証番号を入力 ▶「はい」
- ［本体へコピー］：データを FOMA 端末へコピーします。
  コピーするデータをチェック ▶［本体へコピー］▶「はい」
  - ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
  - バックアップデータの場合は、コピーするデータをチェック ▶［本体へコピー］▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」をタッチします。

個人情報データ一覧画面（例：電話帳）

■ 個人情報データ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／／ ／／／ ／	個別データ（1 件のデータ） 電話帳／スケジュール／メモ／ To Do リスト／受信メール／送信メール／ 未送信メール／ Bookmark
／／／ ／／／ ／	バックアップデータ（複数のデータ） 電話帳／スケジュール／メモ／ To Do リスト／受信メール／送信メール／ 未送信メール／ Bookmark

3 データをタッチ

- 2 回タッチ：データの詳細を表示します。

4 ▶「本体へコピー」▶「本体へ 1 件コピー」▶「はい」

お知らせ

- バックアップデータを 1 件ずつコピーする場合は、操作 3 でバックアップデータをタッチ ▶ をタッチ ▶「本体へコピー」▶「本体へ選択追加コピー」▶ コピーしたいデータにチェックを付ける ▶［本体へコピー］▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」
- バックアップデータ内の個別データは、FOMA 端末の最大保存件数分だけ表示可能です。

個人情報データ一覧画面のサブメニュー

1 個人情報データ一覧画面（P322）▶ データをタッチ ▶ ▶ 次の操作を行う

［名称変更］※
選択中のデータの名前を変更します。

[本体へコピー] ※1
選択中のデータをFOMA端末へコピーします。

本体へ1件コピー※2
：選択中のデータをFOMA端末へコピーします。

本体へ選択追加コピー
：本体へ選択追加コピー
▶コピーしたいデータにチェックを付ける▶［本体へコピー］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
- 選択したデータにバックアップデータが含まれている場合や全選択した場合は、［本体へコピー］の後、端末暗証番号の入力が必要です。

本体へ全件コピー※3
：選択中のデータをすべてFOMA端末へコピーします。
端末暗証番号を入力▶「はい」

[本体へ全件上書コピー] ※1
選択中のバックアップデータでFOMA端末のデータを上書きします。
→P322

[削除] ※1
選択中のデータを削除します。

[メモリ情報]
microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

※1 microSDカードにデータがない場合は表示されません。
※2 バックアップデータでは選択できません。
※3 バックアップデータのみ選択できます。

バックアップデータで上書きする

あらかじめバックアップしておいたデータで、FOMA端末のデータを上書きします。

- 「本体へ全件上書コピー」を選択すると、FOMA端末内の登録データは消去され、microSDカード内の選択したデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
「本体へ全件上書コピー」を選択する前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 **個人情報データ一覧画面(P322)▶バックアップデータをタッチ▶ ▶「本体へ全件上書コピー」**

2 **端末暗証番号を入力▶「はい」**

■ **電話帳の場合**
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

お知らせ
- スケジュールとTo Doが混在しているデータを同時に読み込む場合、先頭のデータと同じ種類のデータしか認識できません。

microSD カードの管理について

microSD カードをフォーマットする

microSD カードをフォーマット（初期化）して FOMA 端末で使用できるようにします。

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「microSD フォーマット」

すべてのデータが削除されることを知らせるメッセージが表示され、フォーマットを実行するかどうかを選択します。

2「はい」▶ 端末暗証番号を入力

お知らせ

- フォーマットは必ず本 FOMA 端末で行ってください。
- フォーマットを行うと、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

USB モード設定

USB モードを設定する

FOMA 端末に USB ケーブルを接続して利用するときのモードを設定します。

1 MENU ▶「USB モード設定」

2「通信モード」／「microSD モード」／「MTP モード」

USB モード設定画面

お知らせ

- 通信モード動作中は、USB モード設定の変更はできません。

microSD カードの情報を更新する

他の機器で microSD カード内のデータを変更、追加、削除したことによって FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSD カードの情報を更新します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「データ更新」

2 更新したいデータの種類にチェックを付ける ▶ [データ更新]

- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

お知らせ

- microSD カードに保存されているデータが多い場合は、情報の更新に時間がかかります。
- 他の機器で microSD カードにデータを保存した場合、FOMA 端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSD カードに保存したデータが FOMA 端末で正しく表示できなくなることがあります。
- 「データ更新」を実行すると、画像などのデータと PIM（個人情報）などを管理するファイルの情報が更新されます。「データ更新」実行後には、PIM（個人情報のデータ）が、「PIMxxxxx. 拡張子」というファイル形式に変換されます。

microSD カードの使用状況を確認する

1 MENU ▶「その他機能」▶「microSD」▶「メモリ情報」

お知らせ

- 使用済み領域には FOMA 端末で認識できないデータの容量も含まれます。
- 実際に使用できる microSD カードの容量は、microSD カードに記載されている容量より少なくなります。
- microSD カードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、空き容量が十分な microSD カードを取り付けてからデータを保存してください。

FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使う

microSDカードを本FOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- リーダー／ライターとして利用できる対応OSは、Windows Vista、Windows XP（各日本語版）のみです。それ以外のOSでの動作は保証しておりません。
- FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使うには、USBモードの設定が必要です。USBモードを設定するときは、データ通信用USBケーブル（試供品）を外した状態で設定してください。

1 MENU ▶「USBモード設定」▶「microSDモード」

2 FOMA端末のmicroUSB接続端子カバーを開け（❶）、データ通信用USBケーブルのmicroUSBコネクタのBの刻印面を上にしてまっすぐ差し込む（❷）

3 データ通信用USBケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続（❸）

お知らせ

- パソコンからデータ通信用USBケーブルを抜くときは、パソコンのタスクトレイから「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を必ず行ってください。操作をしないでデータ通信用USBケーブルを抜くと、データ消失などの原因となります。
- USBモード設定を切り替える場合は、一度データ通信用USBケーブルを外してから切り替えてください。データ通信用USBケーブルが接続されている状態では、USBモードは切り替わりません。
- データ通信用USBケーブルを抜くと、USBモード設定は自動的に「通信モード」に戻ります。

■ お願い

本FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われる場合があります。

ドキュメントを表示する

microSDカードに保存されているドキュメントファイルを表示します。

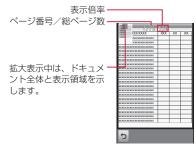
- ドキュメントファイルは、microSDカードの「OTHER」フォルダ内「OUDxxx（xxxは0～9の半角数字）」フォルダに保存してください。→P318
  「microSDフォーマット」を行った後などで該当フォルダが存在しない場合は、FOMA端末にmicroSDカードを挿入して「データBOX」内のいずれかのフォルダ（「Music&Videoチャネル」フォルダ以外）を表示すれば、該当フォルダが自動的に生成されます。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイルの種類※	Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、PDFデータ
拡張子	doc、xls、ppt、pdf

※ Word 2007以降、Excel 2007以降、PowerPoint 2007以降のファイルは表示できません。また、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

ドキュメントを表示する

1 MENU ▶「ドキュメントビューア」▶ドキュメントを2回タッチ

■ ドキュメント表示中の操作

操　作	説　明
ドキュメントをフリック	前ページ／次ページを表示
ピンチ	拡大／1つ前の倍率に戻す • 拡大／縮小表示中に ↺ をタッチすると、元の表示サイズに戻ります。
ドキュメントをスライド	拡大表示中に表示位置を移動

便利な機能

Muvee Studio

Muvee Studio を利用する

あらかじめ用意されているムービースタイル（表示切替効果）や音楽を利用して、お好みの静止画や動画から手軽にスライドショーを作成できます。

- 作成したスライドショーは「データ BOX」内「ｉモーション／ムービー」の「データ交換」フォルダに動画／ｉモーション（.3gp 形式）として保存されます。

1 MENU ▶「Muvee Studio」

登録した画像やビデオ、設定したタイトルやクレジットが表示されます。

Muvee Studio 画面

2「設定」▶「スタイル」▶ムービースタイルをタッチ ▶［設定］▶［設定］

3「追加」▶「画像」／「ビデオ」▶フォルダを 2 回タッチ

4 登録したいファイルにチェックを付ける ▶［完了］

- ［全選択］で全選択できます（ムービースタイルに設定されている最大登録数まで選択します）。

5［プレビュー］

6［保存］

追加したファイルを削除するには

削除するファイルをタッチして「削除」をタッチします。

お知らせ

- ムービースタイルごとに BGM や表示切替方法があらかじめ設定されています。BGM は変更することもできます。
- 100M バイトを超えるまたは録画時間が 10 分を超える動画／ｉモーションファイルは追加できません。

タイトル／クレジットを追加する

オープニング／エンディングに表示されるタイトル／クレジットを設定します。

1 Muvee Studio画面（P330）▶「タイトル」／「クレジット」

追加したファイルを操作する

1 Muvee Studio 画面（P330）▶ 追加した画像／ムービーをタッチ ▶ 次の操作を行う

[表示]
選択したファイルが表示されます。

[変更]
選択したファイルを変更します。

[削除]
選択したファイルを削除します。

Muvee Studio 画面の設定メニュー

1 Muvee Studio 画面（P330）▶「設定」▶ 次の操作を行う

[スタイル]
ムービースタイルを変更します。

[サウンド]
BGM を変更します。
- ▶ をタッチすると、選択中の BGM を再生して確認できます。再生を停止するには、■ をタッチします。

[ムービータイトル]
オープニングでタイトルを表示させるかどうかを選択します。

[ムービークレジット]
エンディングでクレジットを表示させるかどうかを選択します。

[再生順番]
ムービーの再生順として「通常」「ランダム」から選択します。

[記憶領域]
ムービーの保存先を「本体」「microSD」から選択します。

Muvee Studio 画面のサブメニュー

1 Muvee Studio画面（P330）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[挿入]
追加するファイルを選択します。

[初期化]
設定した内容を初期化します。

[アルバムへ移動]
「データ BOX」内「ｉモーション／ムービー」のフォルダが表示されます。

FOMA 通信環境確認

FOMA ハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認する

1 MENU ▶「FOMA 通信環境」▶「はい」

お知らせ
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。

Google を利用する

Google を利用するには、最初に注意事項を確認します。確認操作を行った場合、次から注意事項は表示されません。

1 MENU ▶「Google」

表示された注意事項を確認します。

2 「確認し続行」

Google 検索を利用する

Google を利用してインターネットで検索できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「検索」▶ 検索語を入力

- Google の検索方法は設定できます。→ P334

YouTube を利用する

YouTube に接続して動画を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「YouTube」

YouTube で動画を共有する

YouTube に動画をアップロードして、動画を共有できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「YouTube」

3 「ログイン」

4 ユーザー名／パスワードを入力 ▶「ログイン」▶「はい」

- ユーザー名／パスワード入力時に「次回から入力を省略」にチェックを付けた場合、次回から表示されません。

5 動画の送信先のアドレスをタッチ

- パソコンで設定すると選択できるようになります。

6 アップロードしたい動画を添付して送信

- 送信後、アップロード確認メールが届きます。
- メール内の URL に接続すると、アップロードした動画が表示されます。

Picasa を利用する

Picasa に接続して静止面を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「Picasa」

Picasaで写真を共有する

Picasaに写真をアップロードして、写真を共有できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「Picasa」

3 「Sign In」

4 メール／パスワードを入力▶「ログイン」▶「はい」

- メール／パスワード入力時に「次回から入力を省略」にチェックを付けた場合、次回から表示されません。

5 「写真をメールでドロップボックスにアップロード」

- パソコンで設定すると選択できるようになります。

6 アップロードしたい静止画を添付して送信

- ドロップボックス内に、添付した静止画がアップロードされます。

Google Mapを利用する

Google Mapに接続して地図を閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2 「マップ」

以降は、画面の指示に従って操作してください。

■キー操作一覧

操　作	説　明
[1]	ズームアウトします。
[2]	通常／航空写真を切り替えます。
[3]	ズームインします。
[*]	選択している場所をお気に入りに保存します。
[0]	現在地に移動します。
[↑]	上に移動します。
[→]	右に移動します。
[↓]	下に移動します。
[←]	左に移動します。
[OK]	目的地までの経路を検索したり、目的地をお気に入りに保存したりできます。

- [*]▶[1]～[9]で保存済みのお気に入りの場所に移動できます。

Gmailを利用する

Gmailを利用してメールを送信できます。

1 MENU ▶「Google」

2「Gmail」

画面の指示に従ってログインしてください。

Googleニュースを読む

Googleニュースを閲覧できます。

1 MENU ▶「Google」

2「ニュース」

乗換案内で路線を確認する

乗換案内を利用して目的地までの路線を確認できます。

1 MENU ▶「Google」

2「乗換案内」

以降は、画面の指示に従って操作してください。

Googleの検索方法を設定する

Googleの検索方法を変更したり、Googleを利用する際の注意事項を確認できます。

1 MENU ▶「Google」

2「設定」▶次の操作を行う

[検索方法]

Googleの検索方法を設定します。

iモード検索	：検索方法をiモード検索にします。
Googleモバイル検索	：検索方法をGoogleモバイル検索にします。

[Google™ご利用に際し]

Googleを利用する際の注意事項が表示されます。

ゲーム

おみくじ

1 MENU ▶「ゲーム」▶「おみくじ」

- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

2 画面をタッチ

- 操作方法は、「ヘルプ」をご覧ください。

M-toy ダーツ

1 MENU ▶「ゲーム」▶「M-toy ダーツ」

- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

2 画面をタッチ

- 操作方法は、「TUTORIAL」をご覧ください。

M-toy ホームランダービー

1 MENU ▶「ゲーム」▶「M-toy ホームランダービー」

- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

2 画面をタッチ

- 操作方法は、「TUTORIAL」をご覧ください。

リアルモーションフィッシング

1 MENU ▶「ゲーム」▶「リアルモーションフィッシング」

- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

2 画面をタッチ

- 操作方法は、「チュートリアル」をご覧ください。

間違い探し

1 MENU ▶「ゲーム」▶「間違い探し」

- ◀（マナー）／▶（メモ）で音量を調節できます。

2 画面をタッチ

- 操作方法は、「ゲームのルール」をご覧ください。

辞典

辞典を利用する

国語、英和、和英辞典が利用できます。

1 MENU ▶「辞典」▶「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」

- 「検索履歴」：検索履歴を表示します。
- 「辞典情報」：辞典を提供している会社情報を表示します。

2 調べたい単語を入力

- ［入力］：別の単語を入力できます。

検索結果一覧画面（例：国語辞典の場合）

3 単語をタッチ

検索結果詳細画面が表示されます。

- 英和辞典の場合、［発音］をタッチすると発音が聞けます。
- 単語帳に登録する場合、［登録］をタッチします。

検索結果一覧／詳細画面のサブメニュー

1 検索結果一覧画面（P336）／詳細画面▶ ▶次の操作を行う

［範囲選択］ ※

検索結果の一部を選択して、コピーや別の辞典で検索できます。

▶［選択］▶ドラッグして範囲を選択▶［選択］▶「コピー」／「別の辞典で検索」

［別の辞典で検索］

別の辞典に切り替えて検索します。

［検索履歴］

検索履歴を表示します。

［ヘルプ］

辞典についての説明を表示します。

※ 検索結果一覧画面では表示されません。

単語帳を利用する

検索した単語は、辞典ごとに200件まで単語帳に登録（P336）できます。単語帳を利用して暗記トレーニングもできます。

- 単語帳登録されていない場合、単語帳は選択できません。

単語帳を見る

1 MENU ▶「辞典」▶「単語帳」▶「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」

- マークを付けた単語のみを、暗記トレーニングの出題対象とすることができます。［マーク解除・マーク］をタッチしてマークを解除したり、付けたりできます。

単語帳一覧画面

2 単語を選択

単語帳詳細画面が表示されます。

- ［マーク解除・マーク］をタッチしてマークを解除したり、付けたりできます。

単語帳一覧画面のサブメニュー

1 単語帳一覧画面（P336）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［ソート］

登録順（昇順）：登録の古い順に並べます。
登録順（降順）：登録の新しい順に並べます。
単語順（昇順）：単語のアルファベット、あいうえお順に並べます。
単語順（降順）：単語のアルファベット、あいうえお順の後ろから並べます。

［削除］

1 件：選択中の単語を削除します。
選択：複数の単語を選択して削除します。
▶ 削除する単語にチェックを付ける ▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

全件：すべての単語を削除します。

［マーク］

全件マーク：すべての単語にマークを付けます。
全件マーク解除：すべての単語のマークを解除します。

［別の辞典で検索］

別の辞典に切り替えて検索します。

［検索履歴］

検索履歴を表示します。

［ヘルプ］

辞典についての説明を表示します。

お知らせ

- 単語帳詳細画面のサブメニューは、「削除」以外は「検索結果一覧／詳細画面のサブメニュー」（P336）と同じです。

暗記トレーニングをする

単語帳を利用して、自己採点型の暗記トレーニングができます。

1 MENU ▶「辞典」▶「単語帳」▶「暗記トレーニング」

次のページへ続く

2 「国語辞典」／「英和辞典」／「和英辞典」

- 「設定」：出題方法などを変更します。
- 「ヘルプ」：操作の説明を表示します。

3 ［答え］

- ［スキップ］：問題をスキップします。

4 答えを確認▶［OK］／［NG］

- ［OK］をタッチすると、単語帳一覧画面（P336）の単語のマークが解除されます。
- ［NG］をタッチすると、単語帳一覧画面の単語にマークが付きます。
- トレーニング終了まで操作３～４を繰り返します。

マルチアクセス

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMS の３回線を同時に使用できる機能です。

通信の種類	使用できる回線
音声電話	１回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	１回線
SMS	１回線

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせ→ P433
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に対して通信料金がかかります。
- テレビ電話を利用中は、SMS の受信以外はマルチアクセスを利用できません。

パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードなどのパケット通信中に、マルチタスク画面（P340）を呼び出して、音声電話をかけられます。

例：ｉモード中に音声電話をかける

1 ｉモード中の画面（P191）▶（カメラキー）▶「通話」

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力▶［通話］（または（電源キー））

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で（カメラキー）を押し、「ｉモード」をタッチします。

パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードなどのパケット通信中に、音声電話を受けられます。

例：ｉモード中に音声電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中画面が表示されます。

2 ［応答］（または（電源キー））

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で（カメラキー）を押し、「ｉモード」をタッチします。

音声電話中に他の通信を使用する

音声電話中にメールを送受信したり、ｉモードに接続したりできます。

メールを送信する

1 音声電話中画面▶(カメラ)▶「メール」

2 メールを作成して送信

お知らせ

- メールの作成・送信→P142、P183

メールを受信する

画面上部にメールの受信をお知らせするアイコン(P32)が表示されます。

音声電話中画面

ｉモードに接続する

1 音声電話中画面▶(カメラ)▶「ｉモード」▶「ｉ Menu・検索」

お知らせ

- 音声電話中画面に戻るには、(ホーム)▶「はい」をタッチします。

マルチタスク

マルチタスク

本FOMA端末では、複数の機能を同時に起動して操作できるマルチタスク機能を利用できます。

タスクマネージャ

新しい機能を呼び出す

機能使用中に別の機能を新しく呼び出す場合は、マルチタスク画面を表示させます（タスクマネージャ）。

1 各機能を利用中▶(カメラ)

- 起動できない機能は、機能名がグレーで表示されます。

マルチタスク画面

次のページへ続く

2 新規タスクから起動させる機能を選択

- 起動できる項目は、利用中の機能や操作状況により異なります。

[通話]
電話番号入力画面が表示されます。→P60

[メール]
メールメニュー画面が表示されます。→P141

[ｉモード]
ｉモードメニュー画面が表示されます。→P190

[ｉアプリ]
ソフト一覧画面が表示されます。→P279

[電話帳検索]
電話帳検索画面が表示されます。→P95

[MUSIC]
音楽データ一覧画面を表示します。→P267

[Music&Video チャネル]
Music&Video チャネル画面が表示されます。→P258

[スケジュール]
カレンダー画面が表示されます。→P345

[To Do リスト]
To Do リスト画面が表示されます。→P349

[テキストメモ]
テキストメモ一覧画面が表示されます。→P357

[電卓]
電卓画面が表示されます。→P356

[自局番号]
自局番号画面が表示されます。→P339

機能を切り替える／確認する

実行する機能の切り替えや確認をするには、マルチタスク画面を表示させます。

1 各機能を利用中▶[マルチタスクキー]

- マルチタスク画面から［待受画面］をタッチすると、待受画面が表示されます。

実行中の機能が表示されます。

マルチタスク画面

2 実行中のタスクから機能を選択

選択した機能の画面に切り替わります。

お知らせ

- 各機能利用中に待受画面を表示した場合は、[マルチタスクキー]を押してマルチタスク画面を表示できます。
- 各機能利用中に待受画面を表示した場合は、[MENU]をタッチするとマルチタスク画面が表示されます。ただし、BGM のみ利用中の場合はメインメニュー画面が表示されます。

機能を終了する

表示中の機能を終了させて、切り替える前の機能の画面を表示します。

1 各機能を利用中 ▶ [戻る] ／ [ホーム]

- 終了させる機能を表示してから操作してください。
- すべての機能を終了させるときは、この操作を繰り返します。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

FOMA 端末を目覚まし時計として利用できます。アラームは 10 件まで登録できます。

1 [MENU] ▶「アラーム」

- ［ I ・ O ］をタッチして、選択中のアラームの ON ／ OFF を設定できます。
- ウィジェットアラームは、使用者待受画面(P41)のアナログ時計ウィジェットのアラームと連動しています。

アラーム一覧画面

2 編集するアラームをタッチ ▶［編集］▶ 次の操作を行う

［アラーム設定］
アラームが起動する時刻を選択します。

［時刻設定］
「アラーム設定」で「時刻設定」を選択したときに、アラームが起動する時刻を入力します。

［繰り返し設定］
繰り返しの種類を選択します。

- 「曜日指定」を選択した場合は、次の操作でアラームが起動する曜日を指定します。
- 「休日以外」に設定した場合は、日曜日と「休日設定」(P346)で設定した休日にはアラームを通知しません。

▶ 指定する曜日にチェックを付ける ▶「OK」

［通知種別］
アラームの通知方法を選択します。

［アラーム音］
アラーム音を選択します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル® から選択します。→ P273
「着うたフル® を着信音に設定する」の操作3(P270)へ進みます。

i モーション／ムービー
：「データ BOX」の「i モーション／ムービー」内に保存されている動画／i モーションから選択します。→P304

メロディ：「データ BOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P313

［音量］
アラームの音量を [－] ／ [＋] で調節します。

次のページへ続く

[バイブレーションタイプ]
バイブレーションの種類を選択します。

▶ バイブレーションタイプをタッチ ▶［設定］

[スヌーズ]
スヌーズ通知する時間の間隔を選択します。スヌーズ通知を設定しない場合は「Off」を選択します。

[メモ]
全角で 7 文字、半角で 15 文字まで入力できます。入力内容は、起動後のアラーム画面にも表示されます。

3 ［保存］

アラーム一覧画面のサブメニュー

1 アラーム一覧画面（P341）▶ ▶ 次の操作を行う

[リセット]
アラームの設定を初期化します。

▶ 初期化するアラームにチェックを付ける ▶［リセット］

- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

[全件リセット]
すべてのアラームの設定を初期化します。

「アラーム」、および「スケジュール」「To Do」のアラームが通知時刻になると

機能ごとに次のように動作します。

アラーム

アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

- ［Off］:アラームを解除します。スヌーズを設定している場合は、スヌーズも解除されます。
- ［スヌーズ］：一旦アラーム音を止めます。スヌーズの設定時間が経過すると再びアラーム音が鳴ります。
- ：［Off］をタッチしたときと同様の動作となります。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約 1 分後に止まります。スヌーズを設定している場合は、約 5 分間隔で 5 回繰り返しアラームが鳴ります（スヌーズの時間設定には関係なく 5 分となります）。

スケジュール

スケジュールのアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

- アラームを止めるには、［Off］をタッチします。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約 1 分後に止まります。
- を押してもアラームを止めることができます。

To Do

To Do のアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

- アラームを止めるには、［Off］をタッチします。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約 1 分後に止まります。
- を押してもアラームを止めることができます。

複数のアラームを同じ時刻に設定した場合

- アラーム数を表示したマルチアラーム画面が表示されます。
- マルチアラーム画面で を押すとすべてのアラームが止まります。
- マルチアラーム画面で何も操作しなかった場合は、アラーム音は約 1 分後に止まります。
- マルチアラーム画面で［OK］をタッチすると個別のアラーム画面が表示されます。
- 個別のアラーム画面で を押すと以降のアラームが止まります。

アラーム、スケジュールと To Do のアラームの優先順

アラーム→スケジュールのアラーム→ To Do のアラームの優先順で通知されます。

スケジュールを管理する

スケジュールを登録する

会議や約束などの予定を登録できます。スケジュールは最大200件まで登録できます。

1 **MENU ▶「スケジュール」▶ スケジュールを登録する日付をタッチ ▶［新規作成］▶ 次の操作を行う**

［カテゴリー］
スケジュールの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

［件名］
全角で25文字、半角で50文字まで入力できます。カレンダー画面（月単位表示）の下部に2件まで表示されます。3件以上登録されている場合は、スクロールバーを動かしてスケジュールを確認できます。件名を入力しないとスケジュールを登録できません。アラーム通知時の画面（アラーム画面）に表示されます。

［場所］
全角で25文字、半角で50文字まで入力できます。

［終日］
特定の時刻は設定せずに、一日中のスケジュールとして登録する場合は にします。

［開始日］
スケジュールの開始日を入力します。

▶ 開始日を入力 ▶

- をタッチするとカレンダーから開始日を選択できます。

［開始時刻］※1
スケジュールの開始時刻を入力します。

▶ 開始時刻を入力 ▶

［終了日］
スケジュールの終了日を入力します。

▶ 終了日を入力 ▶

- をタッチするとカレンダーから終了日を選択できます。
- 終了日時を開始日時より前に設定すると、開始日時と同じ時刻になります。

［終了時刻］※1
スケジュールの終了時刻を入力します。

▶ 終了時刻を入力 ▶

［アラーム設定］
アラームが起動する時刻を選択します。

▶ アラームの起動時間を入力 ▶［設定］

- 「直接入力」を選択した場合は、アラームを起動する時間を入力します。

［通知種別］※2
アラームの通知方法を選択します。

［アラーム音］※2
アラーム音を選択します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P273
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

iモーション／ムービー
：「データBOX」の「iモーション／ムービー」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P304

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P313

[音量] ※2

アラームの音量を [-] ／ [+] で調節します。

[バイブレーションタイプ] ※2

バイブレーションの種類を選択します。

▶ **バイブレーションタイプをタッチ ▶ [設定]**

[繰り返し設定]

定期的に発生するスケジュールを繰り返して設定できます。
「曜日指定」を選択した場合は、次の操作で設定する曜日を指定します。

▶ **指定する曜日にチェックを付ける ▶「OK」**

[期限を設定] ※3

繰り返し設定の期限を設定するかどうかを設定します。

[満了日] ※4

繰り返し設定の満了日を入力します。

- カレンダーアイコンをタッチするとカレンダーから満了日を選択できます。

[詳細]

全角で300文字、半角で600文字まで入力できます。

※1「終日」を I にすると設定できません。
※2「アラーム設定」を「アラームなし」にすると設定できません。
※3「繰り返し設定」を「なし」にすると設定できません。
※4「期限を設定」を O にすると設定できません。

2 [保存]

お知らせ

<アラーム設定>

- アラームの通知がされているときに表示されるイメージ画像は、アラームを設定した月日を表示しておりません。

<繰り返し設定>

- スケジュールの開始／終了日時を日付をまたいで登録した場合、「毎日」「曜日指定」の繰り返しは設定できません。

<シークレット>

- 「シークレットモード」(P129)を「シークレット専用モード」に設定してスケジュールを登録した場合もシークレットデータになります。
- シークレットデータのスケジュールは、「シークレットモード」が「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、アラームが設定されているシークレットデータのスケジュールの設定時刻になった場合は、アラームは通知されますが登録内容は表示されず、アラーム画面には「シークレット」と表示されます。

スケジュールを確認する

スケジュールの登録内容は、カレンダー画面から確認します。

1 MENU ▶「スケジュール」

- ＜／＞：表示を月単位で切り替えます。
- 土曜日は青、日曜日や祝日、休日は赤い文字で表示されます。
- カレンダー画面は月単位表示と週単位表示と日単位表示に切り替えられます。
→ P345

❶ **カーソルがあたっている日付**
❷ **スケジュールが登録されている日付**
❸ **カーソルがあたっている日付に登録されているスケジュール**
2件まで表示されます。3件以上登録されている場合は、スクロールバーを動かしてスケジュールを確認できます。

カレンダー画面（月単位表示）

2 確認する日を2回タッチ

- ＜／＞：前／次の日に表示を切り替えます。

スケジュール一覧画面（日単位表示）

❶ **日付**
❷ **「カテゴリー」のアイコン**
❸ **開始時刻～終了時刻、件名**
❹ **アラーム設定表示**
アラームが設定されている場合に表示されます。
❺ **日本時間以外の地域で登録されたスケジュール**
「タイムゾーン設定」（P55）を日本と同じ「GMT＋9:00」以外の地域に設定中に登録されたスケジュールに表示されます。

3 確認するスケジュールを選択

スケジュール詳細画面が表示されます。

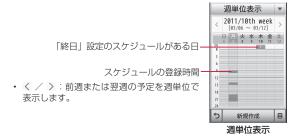
- ［編集］：表示中のスケジュールを編集します。
- ［削除］：表示中のスケジュールを削除します。

カレンダー画面の表示を切り替えるには

カレンダー画面は、1ヶ月単位で表示する月単位表示と1週間単位で表示する週単位表示、1日単位で表示する日単位表示の3種類があります。週単位表示では、スケジュールを時間単位で表示できます。
一時的に表示を切り替えるには、次の操作を行います。
▶カレンダー画面で ▼ ▶「月単位表示」／「週単位表示」／「日単位表示」
デフォルト表示を切り替えるには、次の操作を行います。
▶カレンダー画面で ☰ ▶「設定」▶「デフォルト表示」▶「月単位表示」／「週単位表示」／「日単位表示」

週単位表示

- ＜／＞：前週または翌週の予定を週単位で表示します。

次のページへ続く

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 43 号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の 2 月 1 日の官報で発表されるため異なる場合があります（2010 年 12 月現在）。

カレンダー画面のサブメニュー

1 月単位表示(P345)／週単位表示(P345)▶ ▶次の操作を行う

[休日設定・休日設定削除]

カーソルのあたっている日付を休日に設定／設定削除します。祝日と合わせて最大 100 件まで設定できます。
休日に設定する場合は、「件名」▶休日名を編集▶「法定休日」の［ ・ ］▶繰り返し設定欄で、次の項目をタッチ▶［保存］をタッチします。

設定日：カーソルのあたっている日付を休日に設定します。
毎週：カーソルのあたっている日付の曜日を毎週休日に設定します。
毎月：カーソルのあたっている日付を毎月休日に設定します。
毎年：カーソルのあたっている日付を毎年休日に設定します。
期間設定（2～31）
：カーソルのあたっている日付から 2 ～ 31 日の間の任意の期間を休日に設定します。設定する期間は「2 ～ 31」欄に入力します。

「毎週」「毎月」「毎年」を選択した場合は、次の操作で繰り返し期限を設定できます。

▶「期限を設定」を ▶「満了日」▶満了日を入力

休日設定を削除する場合は、「休日設定削除」▶「はい」をタッチします。
「毎週」「毎月」「毎年」「期間指定（2 ～ 31）」に設定されている休日は、繰り返し削除の確認画面でさらに「はい」をタッチします。

[指定日へ移動]

指定した日のカレンダー画面を表示します。ダイヤルアイコンで日付を入力し、［実行］をタッチします。

[日付電卓]

指定した日付から、指定した日数だけ離れた日付を表示します。

▶ ▶開始日をタッチ▶［OK］▶「Count」▶日数を入力▶［実行］

- ▶ ▶［今日］をタッチすると、今日の日付にカーソルが移動します。
- 日数を入力して をタッチすると、「目標日」に指定した日数だけ離れた日付を表示します。
- 日数を入力して［Before/After］をタッチすると、指定した日数より前／指定した日数より後を切り替えることができます。

[削除]

前日まで削除：当日より前の日付に設定されているスケジュールをすべて削除します。
全削除：すべてのスケジュールを削除します。

[microSD へ全件コピー]

スケジュール全件を microSD カードにコピーします。

[メモリ情報]

スケジュールと休日の登録状況が表示されます。

[休日リセット]

「休日設定」で設定した休日を削除します。

[設定]

カレンダー画面の表示方法について設定します。

デフォルト表示
：スケジュール起動時のカレンダー画面の表示形式を設定します。
週開始曜日
：週の開始の曜日を日曜日／月曜日から選択します。

スケジュール一覧／詳細画面のサブメニュー

1 スケジュール一覧画面(P345)／詳細画面▶ ▶次の操作を行う

[新規作成] ※1
新規スケジュールを登録します。→P343

[休日設定・休日設定削除] ※2
表示している日付を休日に設定／設定削除します。→P346

[メール作成] ※3
選択中のスケジュール内容をｉモードメールの添付ファイルで送信します。

[指定日へ移動]
指定した日のスケジュール一覧を表示します。ダイヤルアイコンで日付を入力し、［実行］をタッチます。

[日付電卓]
指定した日付から、指定した日数だけ離れた日付を表示します。

▶ ▶開始日をタッチ▶［OK］▶「Count」▶日数を入力▶［実行］

- ▶ ▶［今日］をタッチすると、今日の日付にカーソルが移動します。
- 日数を入力して をタッチすると、「目標日」に指定した日数だけ離れた日付を表示します。
- 日数を入力して［Before/After］をタッチすると、指定した日数より前／指定した日数より後を切り替えることができます。

[編集] ※2
選択中のスケジュールを編集します。→P343

[削除] ※2
選択中のスケジュールと休日を削除します。

1件：選択中のスケジュールを削除します。
選択：複数のスケジュールを選択して削除します。
▶削除したいスケジュールにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件：すべてのスケジュールを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[microSDへ1件コピー] ※3
選択中のスケジュールをmicroSDカードへコピーします。

[設定] ※2
カレンダー画面の表示方法について設定します。

デフォルト表示
：スケジュール起動時のカレンダー画面の表示形式を設定します。
週開始曜日
：週の開始の曜日を日曜日／月曜日から選択します。

※1 スケジュール一覧画面では表示されません。
※2 スケジュール詳細画面では表示されません。
※3「休日設定」の設定内容やお買い上げ時に登録されている休日を選択している場合は利用できません。

To Do リスト

To Do を管理する

To Do を登録する

実行しなければならない用件などTo Doとして50件まで登録できます。

1 ▶「その他機能」▶「To Do リスト」▶［新規作成］▶次の操作を行う

[カテゴリー]
To Doの種類（カテゴリー）を選択します。

[件名]
全角で200文字、半角で400文字まで入力できます。To Doリスト画面に表示されます。件名を入力しないとTo Doを登録できません。アラーム通知時の画面（アラーム画面）に表示されます。

[期限日]
To Doの期限日を入力します。

▶ 期限日を入力 ▶ [アイコン]

- [アイコン]をタッチするとカレンダーから期限日を選択できます。

[期限（時間）] ※1
To Doの期限時刻を入力します。

▶ 期限時刻を入力 ▶ [アイコン]

[状態]
To Doの状態を選択します。選択した状態によって、表示されるアイコンが変わります。

- 「完了」を選択した場合は、To Doリスト画面でTo Doの件名に線が引かれます。

[完了日] ※2
To Doの完了日を入力します。

▶ 完了日を入力 ▶ [アイコン]

- [アイコン]をタッチするとカレンダーから完了日を選択できます。

[完了（時間）] ※2
To Doの完了時刻を入力します。

▶ 完了時刻を入力 ▶ [アイコン]

[優先順位]
To Doの優先度を選択します。選択した優先度によって、表示されるアイコンが変わります。

[アラーム設定] ※3
アラームが起動する時刻を選択します。

[通知種別] ※4
アラームの通知方法を選択します。

[アラーム音] ※4
アラーム音を選択します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P273
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

iモーション／ムービー
：「データBOX」の「iモーション／ムービー」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P304

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P313

[音量] ※4
アラームの音量を[－]／[＋]で調節します。

[バイブレーションタイプ] ※4
バイブレーションの種類を選択します。

▶ バイブレーションタイプをタッチ ▶ [設定]

[概要]
全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。

※1「期限日」を設定すると表示されます。
※2「状態」を「完了」にすると表示されます。
※3「期限日」を「なし」にすると設定できません。
※4「アラーム設定」を「アラームなし」にすると設定できません。

2 [保存]

To Do を確認する

登録されている To Do を一覧表示して確認できます。

1 MENU ▶「その他機能」▶「To Do リスト」

- 登録されている To Do は、期日の早い順に表示されます。期日が同じ To Do の場合は、優先順位の高→低→なしの順に表示されます。期日を設定していない To Do は一番上に表示されます。
- 「状態」が「完了」に設定された To Do は、件名に線が引かれ、期日が同じ To Do 内の一番下に表示されます。

To Do リスト画面

❶ **期日**
❷ **優先順位**
　優先順位高／優先順位低／優先順位指定なし
❸ **件名**
❹ **アラームが設定されている To Do**
❺ **日本時間以外の地域で登録した To Do**
　「タイムゾーン設定」(P55) を「GMT + 9:00」以外の地域に設定中に登録された To Do に表示されます。

2 確認する To Do を 2 回タッチ

To Do 詳細画面が表示されます。

- ［編集］：表示中の To Do を編集します。
- ［削除］：表示中の To Do を削除します。

To Do リスト画面／詳細画面のサブメニュー

1 To Do リスト画面(P349)／詳細画面 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［新規作成］ ※1
新規 To Do を作成します。→ P347

［メール作成］
選択中の To Do を i モードメールの添付ファイルで送信します。

［指定日へ移動］ ※2
指定した日の To Do リストを表示します。ダイヤルアイコンで日付を入力し、［実行］をタッチします。

［編集］ ※2
選択中の To Do を編集します。→ P349

［状態変更］
選択中の To Do の「状態」を変更します。→ P348

［削除］ ※2
選択中の To Do を削除します。

1 件：選択中の To Do リストを削除します。
選択：複数の To Do リストを選択して削除します。
▶削除したい To Do リストにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

完了：完了した To Do リストをすべて削除します。
全件：To Do リストをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

次のページへ続く

[microSD へコピー] ※2
To Do を microSD カードへコピーします。

microSD へ 1 件コピー ：選択中の To Do を microSD カードへコピーします。
microSD へ全件コピー ：すべての To Do を microSD カードへコピーします。

[microSD へ 1 件コピー] ※1
選択中の To Do を microSD カードへコピーします。

[メモリ情報] ※2
To Do の登録状況が表示されます。

※ 1 To Do リスト画面では表示されません。
※ 2 詳細画面では表示されません。

自局番号

自分の名前や画像を登録する

FOMA 端末にお客様の個人情報を登録できます。

1 MENU ▶「自局番号」▶［詳細］▶ 端末暗証番号を入力

自局番号詳細画面

2 「編集」

自局番号編集画面が表示されます。

3 情報を登録 ▶［保存］

登録の操作については、「FOMA 端末電話帳に登録する」の操作2(P88)を参照してください。ただし、シークレットデータの設定はできません。
- あらかじめ登録されている自局番号の変更や削除はできません。

お知らせ
- ｉモードでメールアドレスを変更した場合、本機能に登録したメールアドレスは自動的に更新されません。
- 自局番号は FOMA カードに保存され、それ以外の項目は FOMA 端末に保存されます。

自局番号詳細画面のサブメニュー

1 自局番号詳細画面（P350）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

[メール／ URL 接続]
登録されているサイトへの接続などをします。

メール添付 ：自局番号の登録内容を添付したｉモードメールを作成します。
URL 接続 ：登録されている URL のサイトへ接続します。

[コピー]

項目コピー ：自局番号詳細画面の登録内容から項目を選択してコピーします。
microSD へ 1 件コピー
：自局番号詳細画面の情報を microSD カードへコピーします。

[カスタマイズ発信]
登録されている自局番号以外の電話番号を変更して電話をかけます。

[初期化]
個人データの登録情報をすべて削除します。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、「0 円」もしくは「＊＊円」が表示されます。
- 通話料金は FOMA カードに蓄積されるため、FOMA カードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004 年 12 月から積算開始）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。

通話時間表示

通話時間を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間を確認できます。

1 MENU ▶「電話帳」▶「通話時間表示」

[直前通話時間：音声電話]
最新の通話時間を表示します。

[直前通話時間：テレビ電話]
最新のテレビ電話通話時間を表示します。

[積算通話時間：音声電話]
リセットしてから現在までの音声電話通話時間の合計を表示します。

[リセット日時（音声通話）]
「積算通話時間：音声電話」をリセットした日時を表示します。

[積算通話時間：テレビ電話]
リセットしてから現在までのテレビ電話通話時間の合計を表示します。

[リセット日時（テレビ電話）]
「積算通話時間：テレビ電話」をリセットした日時を表示します。

次のページへ続く

「通話時間表示」を各項目ごとにリセットするには
リセットする項目をタッチ▶［リセット］▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択します。

「通話時間表示」の全項目をリセットするには
全項目を一度にリセットできます。
▶ ▶「オールリセット」▶端末暗証番号を入力▶「はい」

お知らせ
- 着信中や発信中の時間はカウントされません。

積算料金表示

通話料金を確認する

通話料金は、かけた場合のみカウントされます。

1 ▶「電話帳」▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

［前回通話料金］
直前の通話料金を表示します。

［前回テレビ電話料金］
直前のテレビ電話通話料金を表示します。

［積算通話料金］
前回リセットしてから現在までの通話料金の合計を表示します。

［リセット日時］
前回リセットした日時を表示します。

お知らせ
- WORLD CALL 利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信があった場合や、FOMA 端末の電源を切った場合に、前回通話料金／前回テレビ電話料金は「＊＊円」と表示されます。

積算通話料金をリセットする

1 ▶「電話帳」▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

2 ［リセット］▶PIN2 コードを入力▶「はい」

通話料金上限通知

通話料金の上限を設定して知らせる

積算通話料金の上限となる数値を設定して、上限を超えたときにお知らせします。

1 MENU ▶「電話帳」▶「通話料金表示」▶「通話料金上限通知」

2 端末暗証番号を入力 ▶ 次の操作を行う

[上限通知設定]
通話料金上限通知をするかどうかを設定します。

[通話料金上限] ※
通話料金の上限を設定します。

[上限通知方法] ※
通話料金が設定した上限に達した場合の通知方法を選択します。

OFF	：通知しません。
サウンド+アイコン	：上限通知アイコンと上限通知音で通知します。
アイコン	：上限通知アイコンのみで通知します。

※「上限通知設定」を I にすると設定できます。

上限を超えると
基本待受画面に（上限通知アイコン）が表示されます。「上限通知方法」が「サウンド+アイコン」に設定されている場合は、設定料金の上限を超えた通話の終了後に上限通知音が鳴ります。

表示された上限通知アイコン表示を消すには
待受画面で MENU ▶「電話帳」▶「通話料金表示」▶「上限通知アイコン消去」▶ 端末暗証番号を入力します。

世界時計

世界時計を使う

FOMA 端末に登録されている世界の主要都市の日時を確認できます。

1 MENU ▶「その他機能」▶「世界時計」

世界時計設定画面

2 ［新都市］▶ スライドして目的の地域に移動 ▶ 目的の地域をタッチ ▶ 目的の都市をタッチ

- ：都市名のリストを表示して選択できます。文字アイコンで都市名を入力して検索することもできます。

❶ **ズームバー**
+／− で表示地域を拡大／縮小表示できます。

❷ **選択中の都市名と日時**

世界時計選択画面

3「選択」

お知らせ
- FOMA端末の表示言語を韓国語に切り替えている場合は、[🔍]（都市検索）は利用できません。

世界時計設定画面のサブメニュー

1 世界時計設定画面（P353）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［現在の日付と時間を編集］
FOMA端末の日付／時刻を設定します。→P55

［アナログ時計OFF・アナログ時計ON］
世界時計設定画面にアナログ時計を表示するかどうかを設定します。

［削除］
設定した世界時計を選択して削除します。
▶削除したい世界時計にチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

［全削除］
設定した世界時計をすべて削除します。

ストップウォッチ

ストップウォッチを使う

FOMA端末をストップウォッチとして利用できます。

1 MENU ▶「その他機能」▶「ストップウォッチ」
- ［開始・停止・再開］：計測を開始／停止／再開します。
- ［リセット］：計測結果を消去します。
- ［Lap］：計測中に表示されます。タッチするたびにその時点の計測結果（ラップタイム）を99番まで表示します。

単位変換ツール

単位変換ツールを使う

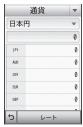
通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を利用する単位に変換できます。

通貨の単位を変換する

手持ちの円をドルに変換するときなどに便利な機能です。

為替レートを設定する

変換操作をする前に、為替レートを設定します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「単位変換ツール」

通貨変換画面

2 [レート] ▶ 次の操作を行う

[(通貨名設定欄)]
タッチして通貨名を変更できます。全角で４文字、半角で８文字まで入力できます。

[(為替レート設定欄)]
為替レートを設定します。８桁（小数点含む）まで入力できます。小数点以下は６桁まで入力できます。例えば米ドルと円で変換する場合（例：１ドル⇔120円）は、「JPY」に120を設定し、「USD」に１を設定します。

3 [保存]

通貨を変換する

他の通貨へ変換したときの値を表示します。

1 通貨変換画面（P355）で通貨単位欄の通貨を選択

2 数値入力欄に金額を入力

変換後の金額が表示されます。

- 入力可能な最大桁数は次のとおりです。
  - 整数：10桁
  - 小数：８桁（小数点を除く）
- 変換後の数値が次の桁数を超える場合は、「out of range」と表示されます。
  - 整数：12桁
- 変換後の数値が次の桁数を超える場合は、表示が制限されます。
  - １より小さい小数：８桁（小数点以下６桁）
  - １より小さい小数：12桁（小数点を除く）
- 金額入力後に通貨単位欄の通貨を変更した場合は、上段の数値入力欄の金額を基準として、下段の数値入力欄に変更後の金額が表示されます。

面積の単位を変換する

設定した面積の単位を変換します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「単位変換ツール」▶「通貨」▶「面積」

2 面積単位欄の単位を選択

3 数値入力欄に数値を入力

変換後の数値が表示されます。

- 数値入力の詳細は、「通貨を変換する」と同様です。→P355

温度の単位を変換する

温度の単位の摂氏（℃）と華氏（°F）を変換します。

1 MENU ▶「その他機能」▶「単位変換ツール」▶「通貨」▶「温度」

2 温度単位欄の単位を選択

変換後の温度が表示されます。

- 10 桁（ー（マイナス）、小数点含む）まで入力できます。

長さ、重量、容積、速度の単位を変換する

1 MENU ▶「その他機能」▶「単位変換ツール」▶「通貨」▶「長さ」／「重量」／「容積」／「速度」

以降の操作は「面積の単位を変換する」（P355）と同様に操作してください。

電卓

電卓として使う

電卓機能を利用して、四則演算や関数を使った計算ができます。

1 MENU ▶「電卓」

❶ **計算表示部**

❷ **数式入力部**

タッチして操作します。

❸ **表示切替アイコン**

数値入力と関数入力を切り替えます。

電卓画面

2 計算する

テキストメモを利用する

テキストメモを作成する

テキストメモを作成して保存します。テキストメモは50件まで登録できます。

1 MENU ▶「その他機能」▶「テキストメモ」▶［新規作成］▶ 次の操作を行う

［? カテゴリー］
テキストメモの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。
・「予定」アイコンは、カテゴリーを選択していない状態を表しています。

［内容］
テキストメモの内容を入力します。全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。内容を入力しないと登録できません。

2 ［保存］

テキストメモを確認する

登録してあるテキストメモを一覧表示して確認できます。

1 MENU ▶「その他機能」▶「テキストメモ」

テキストメモ一覧画面

2 確認するテキストメモを2回タッチ

テキストメモ詳細画面が表示されます。
・［編集］：表示中のテキストメモを編集します。
・［削除］：表示中のテキストメモを削除します。

次のページへ続く

テキストメモ一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 テキストメモ一覧画面(P357)／詳細画面▶ ▶次の操作を行う

[新規作成] ※1
新規テキストメモを登録します。→P357

[送信] ※1
メール：選択中のテキストメモ内容をｉモードメールで送信します。

[メール作成] ※2
選択中のテキストメモ内容をｉモードメールで送信します。

[microSDへコピー]
選択中のテキストメモの内容をmicroSDカードへコピーします。
microSDへ1件コピー※2
：選択中のテキストメモの内容をmicroSDカードへコピーします。
microSDへ全件コピー※2
：すべてのテキストメモの内容をmicroSDカードへコピーします。

[編集] ※2
選択中のテキストメモを編集します。→P357

[削除] ※2
選択中のテキストメモを削除します。
1件：選択中のテキストメモを削除します。
選択：テキストメモを選択して削除します。
▶削除したいテキストメモにチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
・［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。
全件：テキストメモをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「はい」

[背景画面設定]
テキストメモを表示したときの背景を選択します。
▶ ／ で背景を選択▶［設定］

※1 テキストメモ一覧画面では表示されません。
※2 詳細画面では表示されません。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

FOMA端末に付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01を接続して、電話の発着信操作ができます。

スイッチ動作を設定する

付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01などを接続して電話をかけるときの相手をFOMA端末電話帳のメモリ番号で設定します。

・FOMA端末電話帳の「電話番号1」に登録された電話番号が設定されます。

1 ▶「発着信／通話機能」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶次の操作を行う

[イヤホンスイッチ設定]
付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01のスイッチを押して電話をかけるようにするには にします。

[発信メモリ番号] ※
電話帳の検索画面が表示されたら、相手を選択します。

※「イヤホンスイッチ設定」を にすると設定できます。

スイッチを使って電話をかける

付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを押して、イヤホンスイッチ発信設定(P358)で設定した電話帳のメモリ番号に記録された電話番号に音声電話をかけられます。

1 付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを 1 回押す

2 通話が終了したら、付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチ（1 秒以上）を押して電話を切る

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってくる ▶ 付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを押す

電話に出ます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、相手に代替画像が送信されます。

2 通話が終了したら、付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチ（1 秒以上）を押して電話を切る

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただいて開始に設定している場合は、音声電話中に別の音声電話がかかってきたとき、付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを押して電話に出られます。

1 電話がかかってくる ▶ 付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを押す

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。マルチ接続中画面が表示されます。

■ **電話に出ないで着信を拒否する場合**

付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを 2 秒以上押します。

2 通話が終了したら、(⌂) を押して電話を切る

- マルチ接続中画面が表示されているときは、付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを押して電話を切ることはできません。

■ **マルチ接続中に保留中の音声電話に切り替える場合**

付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 のスイッチを 2 秒以上押します。

オート着信設定

スイッチ付イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

FOMA 端末に付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 を接続中に電話がかかってきたとき、設定した呼出時間が経過すると自動で電話を受けるように設定できます。

1 MENU ▶「発着信／通話機能」▶「着信機能」▶「オート着信設定」▶ 次の操作を行う

[オート着信設定]
付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 で自動的に電話を受けるには I にします。

[自動応答時間] ※
自動着信するまでの時間を入力します。

※「オート着信設定」を I にすると設定できます。

お知らせ
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間または伝言メモの応答時間より「応答時間」が短く設定されている場合は、本機能が優先して動作します。

時刻お知らせ

毎正時をお知らせする

毎正時（00 分）に合わせてお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「日付／時刻」▶「時刻お知らせ」▶ 次の操作を行う

[時刻お知らせ]
毎正時にお知らせをするには I にします。

[セットサウンド]
お知らせ音を設定します。
- ▶ をタッチすると、お知らせ音を選択するたびに音を鳴らして確認できます。音が鳴らないようにするには、■ をタッチします。

[時刻設定]
お知らせ音を鳴らす時間帯を設定します。

2 [保存]

お知らせ
- 毎正時のお知らせ音量は「アラーム／スケジュール音」に従います。→ P105

メモリ状況

メモリの使用状況を確認する

FOMA端末のメモリの使用容量と空き容量を確認できます。microSDカードを取り付けている場合は、microSDカードのメモリの使用状況も確認できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「メモリ状況」

2 確認したいメモリをタッチ

データBOX：「データBOX」に保存されているデータの容量を表示します。

個人情報：電話帳、スケジュール、休日、テキストメモ、To Doに登録されているデータの件数を表示します。

FOMAカード（UIM）メモリ：FOMAカードに登録されているデータの容量と件数を表示します。

microSD：microSDカードに登録されているデータの容量を表示します。

Bluetooth機能

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット02（別売）をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetooth機能でできること

FOMA端末では、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの5つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービス（Ver.1.0）も利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。

対応バージョン	
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1	
対応プロファイル※2（対応サービス）	
HFP：	Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）
A2DP：	Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP：	Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
DUN：	Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）
OPP※3：	Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）
SPP※4：	Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※3 オブジェクトプッシュでは、電話帳データのみ送受信が利用できます。
※4 シリアルポートでは、LG On-Screen Phone（OSP）のみが利用できます。

■ ヘッドセットで通話する

ワイヤレスヘッドホンセット 02(別売)や Bluetooth ヘッドセット（市販品）と FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

- ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■ ハンズフリーで通話する

カーナビなどの Bluetooth 通信対応機器（市販品）と FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

- ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■ オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット P01 ／ 02（別売）や Bluetooth 通信対応オーディオ機器（市販品）と FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

- ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ ワイヤレスで通信する

Bluetooth 通信対応パソコンと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続すると、FOMA 端末をモデム代わりにしてパケット通信を行えます。

- ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。
- 詳しくは PDF 版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■ Bluetooth 通信で電話帳を送信する

Bluetooth 機器と FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

- ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ パソコンから FOMA 端末を操作する

Bluetooth 通信対応のパソコンと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、LG On-Screen Phone でパソコン上で操作を行えます。

- ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■ Bluetooth 機器から出力される音

	接続しているサービス	
	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	×
音声電話・テレビ電話着信音	○※	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声	○	×
伝言メモ録音・録画中の相手の音声	○	×
i モーション再生音	×	○
ムービー再生音	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	○
Music&Video チャネル再生音	×	○
アラーム通知音	×	×
メール着信音	×	×

○：Bluetooth 機器から出力されます。
×：Bluetooth 機器からは出力されず FOMA 端末から鳴ります。

※「着信音送出設定」を ◎ に設定している場合、FOMA 端末から着信音が鳴ります。

- お使いの Bluetooth 機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ

- Bluetooth 機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth 機器取り扱い上のご注意

■ 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他の Bluetooth 機器とは、見通し距離約 10m 以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA 端末と他の Bluetooth 機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
- 他の機器（電機製品／ AV 機器／ OA 機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHF や衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手の Bluetooth 機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth 機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth 機器と FOMA 端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線 LAN との電波干渉について

Bluetooth 機器と無線 LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- FOMA 端末やワイヤレス接続する Bluetooth 機器は、無線 LAN と 10m 以上離してください。
- 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切ってください。

■ Bluetooth 機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では FOMA 端末の電源および周囲の Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知器から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth メニューを表示する

1 MENU ▶「Bluetooth」

Bluetooth
メニュー画面

次のページへ続く

2 次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機能の［I・O］を切り替えます。

[登録機器リスト]
登録されている機器の一覧を表示します。

[新規機器登録]
登録できる機器を検索し、登録します。

[Bluetooth 受信]
Bluetooth 機能で送信されたデータを受信します。

[ダイヤルアップ登録待受]
Bluetooth 通信対応のパソコンやカーナビなどと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、通話や通信を行います。

[OSP 登録待受]
Bluetooth 通信対応のパソコンと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、パソコン上で操作します。

[接続待機]
登録している Bluetooth 機器の接続状態をサービスごとに接続待機に設定します。

[Bluetooth 設定]
セキュリティなどの Bluetooth 機能の設定を行います。

機器登録

Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を FOMA 端末に登録します。20 件まで登録できます。登録したい Bluetooth 機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「Bluetooth」の［I・O］を I にする ▶「新規機器登録」

FOMA 端末の周辺にある Bluetooth 機器を探します。
Bluetooth 機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大 25 件まで表示されます。
- 登録機器リスト画面で［検索］をタッチしても、Bluetooth 機器を検索します。
- 検索中に中止する場合は［停止］をタッチします。

2 登録したい Bluetooth 機器を選択 ▶「はい」

3 Bluetooth パスキーを入力 ▶「OK」

- 半角英数字で 16 文字まで入力できます。
- Bluetooth パスキーについては Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 機器によっては、Bluetooth パスキーが不要なものがあります。

お知らせ
- 既に 20 件の Bluetooth 機器が登録されている場合は、保護設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古い Bluetooth 機器に上書きされます。よく利用する Bluetooth 機器や上書きされたくない Bluetooth 機器には保護設定を行うことをおすすめします。
- 電話帳を送信する場合は、相手の Bluetooth 機器を選択した際に、機器登録を行わなくても送信できます。
- セルフモード設定中は Bluetooth 機能は起動できません。

接続

Bluetooth 機器に接続する

登録した Bluetooth 機器と FOMA 端末を接続します。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「Bluetooth」の［ I ・ ○ ］を I にする ▶「登録機器リスト」

Bluetooth
登録機器リスト画面

■ 登録機器リスト画面に表示されるアイコン一覧

アイコン	アイコン（保護設定済）	説　明
		パソコン
		電話
		ネットワーク機器
／／	／／	オーディオ機器
		周辺機器
		印刷機器
		その他

2 接続したい Bluetooth 機器を選択 ▶「接続」▶ 接続したいサービスを選択

ハンズフリー　：ヘッドセットとして接続します。

オーディオ　　：オーディオスピーカーとして接続します。

ダイヤルアップ：パソコンに接続します。

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中に Bluetooth 機器の電源が切れていたり、Bluetooth 機器からの応答がない場合は、切断処理に約 5 秒かかります。
- ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中に Bluetooth 機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中に FOMA 端末の電源を OFF にした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器を設定する

登録した Bluetooth 機器を切断したり、保護設定したりできます。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「登録機器リスト」▶ 設定する機器を選択 ▶ 次の操作を行う

［接続］
登録した Bluetooth 機器を接続／切断します。→ P365

［保護設定］
Bluetooth 機器の保護／保護解除を切り替えます。

［対応機能再検索］
登録した Bluetooth 機器を再検索します。

次のページへ続く

［登録機器情報］
Bluetooth 機器の機器名称、Bluetooth アドレス、対応プロファイルを表示します。
・［機器名称変更］をタッチして機器名称を変更できます。

［登録機器削除］
登録している Bluetooth 機器を削除します。

お知らせ

< 登録機器削除 >
・Bluetooth 機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。
・保護されている Bluetooth 機器は削除できません。

Bluetooth 受信
Bluetooth でデータを受信する

Bluetooth 機能で送信されたデータを受信します。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「Bluetooth 受信」
・受信中に中止する場合は［中止］をタッチします。

ダイヤルアップ登録待受
ダイヤルアップ接続する

Bluetooth 通信対応のパソコンやカーナビなどと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、通話や通信を行います。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「ダイヤルアップ登録待受」
・接続中に中止する場合は［中止］をタッチします。

OSP 登録待受
パソコンから FOMA 端末を操作する

Bluetooth 通信対応のパソコンと FOMA 端末を Bluetooth 通信で接続して、パソコン上で操作します。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「OSP 登録待受」▶「はい」
・接続中に中止する場合は［中止］をタッチします。

LG On-Screen Phone（OSP）とは
LG On-Screen Phone は FOMA 端末の画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使って FOMA 端末を簡単に操作できる機能※です。
パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の受信などパソコンに通知したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンと FOMA 端末でファイルのやりとりしたりできます。
※ FOMA 端末で操作できる機能のうち、LG On-Screen Phone では操作できない機能もあります。

OSP について
・操作方法やパソコンソフトのダウンロード、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
  - パソコンから
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

接続待機

接続待機状態に変更する

登録している Bluetooth 機器の接続状態をサービスごとに接続待機に設定します。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「接続待機」▶接続待機にする項目にチェック ▶［保存］

通話

Bluetooth 機器で通話する

ハンズフリーサービスで、FOMA 端末を Bluetooth 機器と接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 ハンズフリーサービスで Bluetooth 機器を接続する

- Bluetooth 機器の接続方法→ P365

2 Bluetooth 機器で電話をかけるまたは受ける

Bluetooth 機器で通話中は が表示されます。

- Bluetooth 機器の操作については、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA 端末と Bluetooth 機器の通話を切り替えるには

通話中に ▶「Bluetooth」／「携帯電話で通話」を選択します。

- Bluetooth 機器側からの操作については、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 機器に切り替えても、USB ハンズフリー対応機器や付属のイヤホンジャック変換アダプタ L01 接続中は、Bluetooth 機器で通話できません。

お知らせ

- オールロック、おまかせロック中は Bluetooth 機器での着信への応答ができません。
- Bluetooth 機器をハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA 端末でマナーモードや「音量設定」の「音声／テレビ電話着信音」をミュートに設定中でも Bluetooth 機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth 機器で通話中は FOMA 端末の音量を調節しても Bluetooth 機器の音量は変わりません。
- Bluetooth 機器で通話中に Bluetooth 通信が切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。

ｉモーションの音声や音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ｉモーションの音声やミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 ファイルを再生する▶ ▤ ▶「Bluetooth」

- Bluetooth機器の接続方法→P365
- オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、「ミュージック自動起動設定」を ◎ に設定している場合は、自動で起動されません。また、待受画面以外を表示中のときや、他の機能が起動中のときは、自動で起動されないことがあります。

2 オーディオサービスでBluetooth機器を接続する

Bluetooth機器から音が出力されます。

- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、ｉモーションの場合は自動で接続できません。接続履歴にはBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオの音声を再生できます。
- 音声や音楽をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- 付属のイヤホンジャック変換アダプタL01接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  - Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - 電池切れアラームが鳴ったとき
  - 「アラーム」「スケジュール」「To Do」のアラームが鳴ったとき

  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。
- Bluetooth機器と接続してミュージックプレーヤーを起動中に、FOMA端末を閉じた状態でBluetooth機器との接続が切れた場合は、ミュージックプレーヤーが終了します。

Bluetooth の設定を行う

Bluetooth 機器のサーチ時間などの設定を行います。

1 Bluetooth メニュー画面（P363）▶「Bluetooth 設定」▶ 次の操作を行う

［自局情報］
機器名称を表示します。
- ［機器名称変更］をタッチして機器名称を変更できます。

［サーチ時間（3-20）］
Bluetooth 機器の検索時間を設定します。

［ミュージック自動起動設定］
Bluetooth 機器でのミュージック再生の［ ・ ］を切り替えます。

［着信音送出設定］
Bluetooth 機器での着信音の再生の［ ・ ］を切り替えます。

［切断時通話設定］
ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中に、Bluetooth 通信が切断された場合の設定をします。

通話終了　：Bluetooth 通信が切断されると通話も終了します。

本体で通話継続：Bluetooth 通信が切断されると FOMA 端末で通話を継続します。

［セキュリティ設定］
Bluetooth 機器で電話帳データを送信するときの認証の［ ・ ］を切り替えます。

［暗号化設定］※
Bluetooth 機器で電話帳データを送信するときにデータを暗号化するかどうかの［ ・ ］を切り替えます。

※「セキュリティ設定」を にすると設定できます

お知らせ

< 自局情報 >
- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手の Bluetooth 機器によっては正しく表示されない場合があります。

< セキュリティ設定 >
- 電話帳データを送信する Bluetooth 機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定にかかわらず「セキュリティ設定」および「暗号化設定」を にして送信します。
- 接続中や接続待機中の Bluetooth 機器がある場合は設定できません。

文字入力

区点コード一覧の詳細については付属の CD-ROM 内または、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」（PDF 版）をご覧ください。
PDF 版「区点コード一覧」をご覧になるためには、Adobe® Reader® が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM 内の Adobe® Reader® をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字を入力する

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面では、そのときの入力モードや操作ガイド情報が表示されています。

文字入力画面

❶ **入力可能文字数**
入力可能な残りの文字数またはバイト数を表示します。

❷ **入力モード**
入力モードを選択します。

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

- 入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1 **文字入力画面（P372）▶［文字］**

2 **入力モードを選択**

入力モードが確定します。

- ［絵／記］をタッチすると、絵文字、全角記号、半角記号、顔文字を選択することができます。

漢	：かな漢字入力モード
カ	：カタカナ入力モード
ｶﾅ	：半角カタカナ入力モード
a	：全角英数字入力モード（小文字）
A	：全角英数字入力モード（大文字）
ab	：半角英数字入力モード（小文字）
AB	：半角英数字入力モード（大文字）
1	：全角数字入力モード
12	：半角数字入力モード
韓※	：韓国語入力モード

※ SMS本文の入力を「日・韓（70文字）」に設定しているときに表示されます。

文字の入力方法

かな漢字入力モードでは、入力中の文字から変換候補を予測する予測入力機能や、次に入力される文節を予測する次文節予測機能の２つの予測機能を使用して文字入力できます。

- 予測機能は「入力設定」（P378）の「予測 ON ／ OFF」で設定できます。
- 文字アイコンで入力できる文字については、「ダイヤルアイコンの文字割当て一覧」（P432）を参照してください。
- 入力できる漢字は、JIS 第一水準漢字と第二水準漢字の 6355 文字です。

例：かな漢字入力モードで「ドコモ」と入力する場合

1 文字入力画面（P372）で「どこも」と入力

「ど」：［た］を５回▶ A/a を１回
「こ」：［か］を５回
「も」：［ま］を５回

予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

- 予測機能を「OFF」に設定している場合は、予測候補は表示されません。
- かな漢字入力モード、カタカナ入力モード、英字入力モードの場合は、文字入力後、一定時間が経過するとカーソルが自動的に右に移動します（自動カーソル移動機能）。自動カーソル移動機能は、確定時間を変更したり、無効にしたりできます。→ P378
  → をタッチした場合もカーソルが右に移動します。
- ［確定］：入力した文字を変換せずに、そのままで確定します。
- ［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合にタッチします。
- ［カナ英数］：かな漢字入力モードで、カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- ← ／ →：予測候補の文字数を指定します（文字入力エリアには「＊」が表示され、予測候補表示エリアには該当する文字数以上の予測候補を表示します）。

■ 文字入力以外の操作

操　作	説　明
A/a ／ A/a	大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付加します。 切り替え／付加できない記号、および数字入力モードでは使用できません。
↵	変換／入力が確定した文字を改行します。
(🗑)	文字の入力確定前に押すと、文字アイコンに割り当てられている文字が逆順に表示されます。 文字のコピーや切り取り後に押すと、データをカーソルの後へ貼り付けます。
(🗑)（1 秒以上）	変換／入力が確定した文字を 1 つ前の状態に戻します。
CLR	カーソルの右側の文字を消去します。カーソルが文末にある場合は、カーソルの左側の文字を消去します。
CLR（1 秒以上）	カーソル以降の変換／入力が確定した文字をすべて消去します。カーソルが文末にある場合は、文字をすべて消去します。
画面タッチ（1 秒以上）	デコレーションの設定やコピーや切り取りなどをする文字の範囲を選択します。

次のページへ続く

2 予測候補表示エリアをタッチ

3 「ドコモ」を２回タッチ

入力した文字の変換が確定します。次文節予測の候補がある場合は、予測候補表示エリアに表示されます。入力したい文字が表示された場合は、予測候補表示エリアで選択して入力できます。

- 変換を中止して文字入力に戻る場合は CLR をタッチします。

予測機能を使わずに文字を変換するには

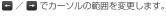
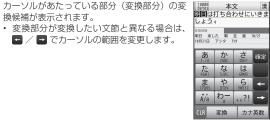
変換したい文字が予測候補に表示されない場合や、予測入力を「OFF」に設定している場合は次の操作を行います。

① **文字入力画面（P372）で文字を入力**

② **［変換］をタッチ**

カーソルがあたっている部分（変換部分）の変換候補が表示されます。

- 変換部分が変換したい文節と異なる場合は、

← ／ → でカーソルの範囲を変更します。

③ **［変換］をタッチ**

変換候補エリアに移動します。

- 変換候補エリアをタッチしても、変換候補エリアに移動できます。

④ **変換する文字を２回タッチ**

入力した文字の変換が確定します。文節単位で変換されている場合は、次の文節に変換部分が移動します。

文字入力画面のサブメニュー

- 文字入力画面を表示したときの機能や、文字の入力状態などにより、表示される項目が異なります。
- ｉモードメールのメール本文入力画面で表示される項目については、「メール本文入力画面のサブメニュー」（P144）を参照してください。

1 文字入力画面（P372）▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［デコレーション］※1

デコメール®の装飾（デコレーション）を選択するパレットを表示します。→P146

［デコメピクチャ］※1

「デコメピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。

- ⮌ をタッチすると、他のフォルダからも画像を選択できます。
- ［切替］をタッチすると、リスト表示とピクチャ表示が切り替わります。

［定型文］

定型文入力：登録されている定型文を選択して入力します。

定型文編集：定型文を作成して登録したり、登録した定型文を編集したりします。→P378

［文字編集］

範囲を指定して文字をコピー／切り取りして貼り付けます。→P380

［ユーザ辞書編集］

単語を登録します。→P382

[引用]

電話帳　：電話帳の登録内容を引用します。
自局番号：お客様の電話番号を引用します。引用には端末暗証番号の入力が必要になります。

[入力設定]

自動カーソル移動：入力した文字を自動的に確定してカーソルを移動させるかどうかを設定します。→P378
操作ガイド：操作ガイドを表示させるかどうかを設定します。
予測 ON／OFF：予測入力機能を設定します。→P378

[特殊入力]

スペース：カーソルの前にスペースを入力します。
改行：カーソルの前に改行を入力します。
区点コード：区点コードで文字を入力します。→P381

[冒頭文／署名] ※1

冒頭文：設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名：設定されている署名を貼り付けます。

[ジャンプ] ※1

文頭：表示中のメール本文の文頭へ移動します。
文末：表示中のメール本文の文末へ移動します。

[画像情報表示] ※1

カーソルの後ろにある画像の情報を表示します。

[プレビュー]

本文のプレビューを表示します。

[入力中止] ※2

文字入力の操作を中止します。

※1　iモードメールでのみ、表示されます。
※2　SMSとテキストメモでのみ、表示されます。

定型文を入力する

FOMA端末に登録されている定型文を利用して入力できます。

- お買い上げ時は、「ユーザ作成」「パスワード」に定型文は登録されていません。

1 **文字入力画面(P372)▶ ▤ ▶「定型文」▶「定型文入力」**

2 **種別をタッチ ▶ 定型文をタッチ ▶ ［選択］**

定型文が入力されます。

お知らせ

- 定型文は修正／登録できます。→P378
- 「パスワード」の登録／変更時は、端末暗証番号の入力が必要です。

絵文字／記号／顔文字を入力する

文字入力時に FOMA 端末に登録されている絵文字／記号／顔文字を利用して入力できます。

1 文字入力画面（P372）▶［絵／記］

絵文字一覧画面

2 入力モードを選択

絵文字／絵文字 D　：絵文字入力モード
半角記号／全角記号：記号入力モード
顔文字　：顔文字入力モード

3 種類を切り替え

絵文字入力モード：［絵文字］、［絵文字 D］で絵文字／絵文字 D（デコメ絵文字®）を切り替えます。
- 絵文字 D は i モードメールの本文入力時のみ利用できます。

記号入力モード：［半角記号］、［全角記号］で半角記号／全角記号を切り替えます。

顔文字入力モード：［←］、［→］をタッチして、カテゴリーを選択します。

- ［▲ページ］：絵文字一覧画面／記号一覧画面を画面の番号の逆順に切り替えて表示します。
- ［▼ページ］：絵文字一覧画面／記号一覧画面を画面の番号順に切り替えて表示します。

4 入力したい絵文字／記号／顔文字を選択

選択した文字が入力されます。
- 入力候補エリアで続けてタッチすると、選択した文字を連続入力できます。

顔文字を編集するには

① **待受画面で［MENU］▶「その他設定」▶「文字入力」▶「顔文字編集」**
顔文字編集一覧画面が表示されます。
② **顔文字のカテゴリーを選択**
顔文字一覧画面が表示されます。
③ **編集したい顔文字を 2 回タッチ**
選択した顔文字が入力された文字入力画面が表示されます。
④ **顔文字を変更 ▶［確定］**
変更した顔文字が上書きされて保存されます。

顔文字を削除するには

① **顔文字一覧画面**
② **削除したい顔文字をタッチ**
③ **［目］▶「1 件削除」▶「はい」**

顔文字を 1 件リセットするには

① **顔文字一覧画面**
② **リセットしたい顔文字をタッチ**
③ **［目］▶「1 件リセット」▶「はい」**

カテゴリー内の顔文字リセットするには

① **顔文字編集一覧画面**
② **リセットしたいカテゴリーをタッチ**
③ **［目］▶「カテゴリーリセット」▶「はい」**

すべての顔文字をリセットするには

① **顔文字編集一覧画面**
② **［全件リセット］▶「はい」**

お知らせ

- 入力している画面によっては、入力できない場合や入力モード／種類を切り替えられない場合があります。

韓国語を入力する

本 FOMA 端末では、SMS でのみ韓国語入力ができます。

- 韓国語を入力するには、SMS 本文の入力モードを「日･韓（70 文字）」に設定してください。→ P186

1 SMS の本文入力画面 ▶［文字］▶「韓」

2 文字を入力

- 子音と母音を組み合わせて入力します。

■ 韓国語入力のキー操作

子音	操　作	子音	操　作
ㄱ	ㄱ	ㅍ	ㅁ ▶ 획추가 ▶ 획추가
ㅋ	ㄱ ▶ 획추가	ㅃ	ㅁ ▶ 획추가 ▶ 쌍자음
ㄲ	ㄱ ▶ 쌍자음	ㅅ	ㅅ
ㄴ	ㄴ	ㅈ	ㅅ ▶ 획추가
ㄷ	ㄴ ▶ 획추가	ㅊ	ㅅ ▶ 획추가 ▶ 획추가
ㅌ	ㄴ ▶ 획추가 ▶ 획추가	ㅆ	ㅅ ▶ 쌍자음
ㄸ	ㄴ ▶ 획추가 ▶ 쌍자음	ㅉ	ㅅ ▶ 획추가 ▶ 쌍자음
ㄹ	ㄹ	ㅇ	ㅇ
ㅁ	ㅁ	ㅎ	ㅇ ▶ 획추가
ㅂ	ㅁ ▶ 획추가		

母音	操　作	母音	操　作
ㅏ	ㅏㅓ	ㅐ	ㅏㅓ ▶ ㅣ
ㅑ	ㅏㅓ ▶ 획추가	ㅒ	ㅏㅓ ▶ 획추가 ▶ ㅣ
ㅓ	ㅏㅓ ▶ ㅏㅓ	ㅔ	ㅏㅓ ▶ ㅏㅓ ▶ ㅣ
ㅕ	ㅏㅓ ▶ ㅏㅓ ▶ 획추가	ㅖ	ㅏㅓ ▶ ㅏㅓ ▶ 획추가 ▶ ㅣ
ㅗ	ㅗㅜ	ㅙ	ㅗㅜ ▶ ㅏㅓ ▶ ㅣ
ㅛ	ㅗㅜ ▶ 획추가	ㅚ	ㅗㅜ ▶ ㅣ
ㅜ	ㅗㅜ ▶ ㅗㅜ	ㅞ	ㅗㅜ ▶ ㅗㅜ ▶ ㅏㅓ ▶ ㅣ
ㅠ	ㅗㅜ ▶ ㅗㅜ ▶ 획추가	ㅟ	ㅗㅜ ▶ ㅗㅜ ▶ ㅣ
ㅡ	ㅡ	ㅢ	ㅡ ▶ ㅣ
ㅣ	ㅣ		

入力設定

文字の入力設定をする

文字入力に関する設定を行います。

予測入力機能を設定する

かな漢字入力モードで入力中の文字から前文一致する変換候補を表示する予測入力機能や、次に入力される文節を予測して表示する次文節予測機能を有効にするかどうかを設定します。

1 文字入力画面（P372）▶ ▤ ▶「入力設定」▶「予測ON／OFF」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 予測入力機能の設定は、次の操作でも可能です。
  待受画面で MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「予測入力」▶「ON」／「OFF」

文字を自動で確定するように設定する

文字を入力したとき、設定した時間で文字が自動的に確定されてカーソルが進むように設定できます。

1 文字入力画面（P372）▶ ▤ ▶「入力設定」▶「自動カーソル移動」▶「OFF」／「遅い」／「普通」／「速い」

- 「OFF」に設定すると、自動で文字を確定しません。

定型文編集

定型文を修正／登録する

頻繁に使用するあいさつやフレーズなどを定型文に登録すると、文字の入力時に呼び出してすばやく入力できます。

定型文を登録する

新しく登録する定型文は「ユーザ作成」に、インターネットで使うパスワードなどは「パスワード」にそれぞれ10件まで登録できます。

- 「パスワード」の登録／変更時は、端末暗証番号の入力が必要です。

1 文字入力画面（P372）▶ ▤ ▶「定型文」▶「定型文編集」

- 定型文種別が一覧表示されます。
- ［全件リセット］：定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

定型文編集
一覧画面

2 「ユーザ作成」／「パスワード」▶未登録項目をタッチ▶［編集］

- 全角で 64 文字、半角で 128 文字まで入力できます。
- 編集するときは、編集する項目をタッチします。
- 「パスワード」を登録（編集）するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

定型文編集画面

3 登録する文字を入力▶［確定］

定型文が登録され、全文表示画面で確認できます。

お買い上げ時の定型文を変更する

お買い上げ時に登録されている定型文を変更できます。

1 文字入力画面(P372)▶ ▤ ▶「定型文」▶「定型文編集」▶定型文種別を選択

- ［カテゴリーリセット］：カテゴリー内の定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

「あいさつ」の定型文一覧画面

2 定型文をタッチ▶［編集］

選択した定型文が入力された定型文編集画面が表示されます。

3 定型文を変更▶［確定］

定型文が変更され、全文表示画面で確認できます。

お知らせ

- 自分で登録した「ユーザ作成」「パスワード」の定型文も変更できます。
- 定型文の登録／変更は、次の操作でもできます。
  待受画面で MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「定型文編集」

次のページへ続く

全文表示画面のサブメニュー

1 全文表示画面 ▶ ▤ ▶ 次の操作を行う

［1 件削除］
選択中の定型文を削除します。

［1 件リセット］※1
選択中の定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

※1 定型文の種別が「ユーザ作成」「パスワード」の場合は選択できません。

文字のコピー／切り取りと貼り付け

文字をコピー／切り取りして、他の位置や画面に貼り付けられます。コピー／切り取りした文字は、電源を切るか新たに文字をコピー／切り取りするまで何度でも貼り付けができます。

1 文字入力画面（P372）▶ ▤ ▶「文字編集」▶「コピー」／「切り取り」

2 開始位置をタッチ ▶［選択］

- ［全選択］：全文を選択します。
- ［文頭］　：カーソルが文頭へ移動します。
- ［文末］　：カーソルが文末へ移動します。

3 終了位置をタッチ ▶［選択］

4 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 貼り付け先をタッチ

5 ▤ ▶「文字編集」▶「貼り付け」

- 切り取った文字や貼り付けた文字を元に戻すには、▤ ▶「文字編集」▶「元に戻す」をタッチします。

お知らせ

- 文字のコピー／切り取りと貼り付けは次の操作でもできます。
  文字入力画面で文字入力エリアをタッチ▶［範囲選択］▶開始位置をタッチ▶［選択］▶終了位置をタッチ▶［選択］▶「コピー」／「切り取り」▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶貼り付け先をタッチ▶(🗑)
- コピーまたは切り取りした文章が、貼り付け先で入力可能な文字数を超えている場合は、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。
- コピーまたは切り取った文字が、貼り付け先で入力可能な文字の場合のみ貼り付けられます。例えばメールアドレスの入力欄（半角英数字）に、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行できない入力画面に改行を含んだ文字を貼り付けた場合は、改行部分は空白（半角スペース）に置き換えられます。
- デコメール® 本文をコピー／切り取りして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます（一部のデコレーション情報を除く）。

区点コード入力

区点コードで入力する

4 桁の区点コードを入力して文字、数字、記号などを呼び出せます。

- 区点コード一覧表については、付属の CD-ROM 内の PDF 版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面(P372)▶ ▤ ▶「特殊入力」▶「区点コード」

区点コード入力画面

2 入力したい文字などの区点コード（数字 4 桁）を入力▶文字表示エリアの文字をタッチ

対応する文字が入力されます。

- 続けて文字表示エリアの文字をタッチすると、選択した文字などを連続して入力できます。

ユーザ辞書

よく使う単語を登録する

文字を入力しても変換候補に出てこない単語や、特殊な読み方をする単語などを、読みがな（読み）とともに最大 100 件まで登録できます。文字入力時に登録した読みを入力すると変換候補に表示されます。

1 文字入力画面（P372）▶ ▶「ユーザ辞書編集」

- 編集するときは、編集する単語をタッチします。

登録単語一覧画面

2 ［作成］▶ 次の操作を行う

［読み］

登録する単語を呼び出すための読みがなを入力します。全角ひらがなのみ 20 文字まで入力できます。

- 空白（スペース）、改行は登録できません。

［単語］

登録する単語を入力します。全角／半角どちらも 20 文字まで入力できます。文字入力画面で「読み」に設定した文字を入力すると、変換候補として表示されます。

- 改行は登録できません。

3 ［登録］

単語が辞書に登録されます。

お知らせ

- 単語の登録は、次の操作でもできます。
  待受画面で ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「辞書編集」
- 既に入力されている文字を辞書に登録できます。
  文字入力画面で画面をタッチ ▶［範囲選択］▶ 開始位置をタッチ ▶［選択］▶ 終了位置をタッチ ▶［選択］▶「ユーザ辞書登録」（ｉモードメール本文入力画面では「辞書登録」）▶ 以降の操作は「よく使う単語を登録する」の操作 2（P382）を参照してください。
- 韓国語は辞書に登録できません。

単語を削除する

ユーザ辞書に登録した単語を 1 件または全件削除できます。

例：1 件削除する場合

1 登録単語一覧画面（P382）で削除したい単語をタッチ

2 ▶「1 件削除」▶「はい」

選択した単語が削除されます。

■ 全件削除する場合

登録単語一覧画面で ▶「全削除」▶「はい」をタッチします。

■ 選択削除する場合

登録単語一覧画面で ▶「選択削除」▶ 削除したい単語にチェックを付ける ▶［削除］▶「はい」

- ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

デコメ絵文字®辞書

デコメ絵文字®のキーワードを登録する

デコメ絵文字®ごとにキーワードを登録しておくと、目的のデコメ絵文字®をすばやく入力できるようになります。
1つのデコメ絵文字®に対して、最大5個のキーワードを登録できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「デコメ絵文字辞書」▶デコメ絵文字®をタッチ▶［選択］

- ［切替］：デコメ絵文字の表示方法をリスト表示とサムネイル表示で切り替えます。

2 キーワード登録欄を選択▶キーワードを入力▶［確定］

- ［全削除］：登録されているキーワードをすべて削除します。
- ［削除］：選択中のキーワードを削除します。

お知らせ

- メール本文作成時に、該当するキーワードが入力されると、アイコンが表示されます。アイコンをタッチすると、キーワードに前方一致するデコメ絵文字®が一覧表示されるので、その中から目的のデコメ絵文字®を選択して入力することができます。
- ダウンロードやメール添付などで取得したデコメ絵文字®は「あたらしいでこめえもじ」として登録され、キーワードの編集・追加が可能です。

学習情報リセット

学習辞書を初期状態に戻す

FOMA端末に記録されている文字入力に関する学習データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「学習情報リセット」▶「はい」

学習データとは

変換候補から選択して入力した内容や、入力した文字を変換せずに［確定］をタッチして確定した内容などの履歴を記録したデータです。次回に同じ内容の先頭文字を入力すると、変換候補の最初に表示されるようになります。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を有効にして、文字の変換時に使用するように設定できます。有効に設定できる辞書は５件までです。

- FOMA 端末に保存できる辞書は最大 10 件です。

1 MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「ダウンロード辞書」

- ［全削除］：登録されている辞書をすべて削除します。
- ［削除］：辞書を選択して削除します。
  ▶削除したい辞書にチェックを付ける▶［削除］▶「はい」
  - ［全選択・全解除］をタッチして全選択／全解除できます。

ダウンロード辞書画面

2 有効にする辞書をタッチ▶［ON］

辞書が有効になります。

■ **辞書を無効にする場合**
有効な辞書をタッチして、［OFF］をタッチします。

学習辞書

学習辞書を作成する

文字入力時に予測候補に表示される学習辞書を送信メールの内容から自動作成します。あらかじめ以前お使いの機種などから送信メールをコピーして実行してください。

1 MENU ▶「その他設定」▶「文字入力」▶「学習辞書作成」

ガイダンス画面が表示されます。

2 ［OK］

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

・FOMA 端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料

サービス名	お申し込み	月額使用料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
公共モード（電源 OFF）※	不要	無料
メロディコール※	必要	有料

※ 発信者番号通知サービス→ P56　公共モード→ P79、P80
メロディコール→ P107

・サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。

・お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

・本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージの録音は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 伝言メッセージが録音されると、基本待受画面に （数字は件数）を表示してお知らせします。基本待受画面で をタッチ▶「はい」をタッチすると、留守番電話サービスセンターに接続して録音された伝言メッセージを再生することができます。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 伝言メモ(P81)を同時に設定しているとき､留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、 （数字は件数）が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：留守番電話サービスを開始に設定する
ステップ2：電話がかかってくる
ステップ3：電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音／録画する※
ステップ4：伝言メッセージを再生する

※ 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[DTMF送信]▶｢#｣をタッチすると､すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替わります。

お知らせ

- ステップ2でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、留守番電話サービスセンターに接続されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ3で伝言メッセージが録音されると、基本待受画面に （数字は件数）が表示され、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、着信した電話を手動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P76
- SMS拒否機能（SMS一括拒否／非通知SMS拒否）を設定している場合でも、着信通知は受信されます。

留守番電話サービスを利用する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「留守番電話」▶ 次の操作を行う

[留守番電話サービス開始]
留守番電話サービスを開始します。
▶「はい」▶「はい」▶ ダイヤルアイコンで呼出時間を入力 ▶［確定］

[留守番呼出時間設定]
電話を着信してから留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。
▶「はい」▶ ダイヤルアイコンで呼出時間を入力 ▶［確定］

[留守番サービス停止]
留守番電話サービスを停止します。

[留守番設定確認]
現在の留守番電話サービスの設定状況を確認します。
目 をタッチすると、留守番電話サービスの開始や停止、留守番呼出時間などを設定できます。

[留守番メッセージ再生]
留守番電話サービスセンターに接続し、録音された伝言メッセージを再生します。
▶「再生（音声電話）」／「再生（テレビ電話）」▶「はい」

[留守番サービス設定]
留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って設定を変更します。
▶「設定（音声電話）」／「設定（テレビ電話）」▶「はい」

[メッセージ問合せ]
新しい伝言メッセージが録音されているかどうかを問い合わせます。

[着信通知]
FOMA 端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことを SMS でお知らせするサービスです。

着信通知開始　：着信通知サービスを開始します。
着信通知停止　：着信通知サービスを停止します。
着信通知開始設定確認　：着信通知サービスの設定状況を確認します。

[表示消去]
アイコン表示エリアに表示されている ✉1 を消去します。

[件数増加時鳴動設定]
新しい伝言メッセージが録音されたときに着信音を鳴らすかどうかを設定します。

[留守番テレビ電話設定]
テレビ電話の伝言メッセージに対応するかどうかを設定します。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」(P395)を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 次の場合キャッチホンは動作しません。
  - 発信中、相手を呼出中のとき
  - テレビ電話中に音声電話がかかってきたとき
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき

キャッチホンを利用する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「キャッチホン」▶ 次の操作を行う

[キャッチホンサービス開始]
キャッチホンを開始します。

[キャッチホンサービス停止]
キャッチホンを停止します。

[キャッチホンサービス設定確認]
キャッチホンが設定されているか、停止されているかを確認します。

通話を保留にしてかかってきた電話に出る

音声電話中に別の音声電話がかかってくると、受話口から「プププ…プププ…」という通話中着信音が流れ、着信中画面が表示されます。

1 電話がかかってくる ▶ (m) ／［応答］

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。画面には「マルチ接続中」と表示されます（マルチ接続中画面）。
- (m) ／［通話切替］：現在の通話と保留中の通話を切り替えます。
- ［スピーカー ON・スピーカー OFF］：ハンズフリー通話の ON ／ OFF を切り替えます。
- (⌂)：現在の通話を終了します。
- (🔒) ▶［終話］：保留中の通話を終了します。
- ［メモ］：テキストメモを作成して保存できます。
- ［DTMF 送信］：プッシュ信号が送信できます。

お知らせ
- 「通話中着信設定」を開始に設定している状態で、音声電話の通話中に「プププ…プププ…」という通話中着信音が聞こえても、キャッチホンを停止している場合は電話に出られません。

通話中に電話がかかってきた時の操作を行う

1 電話がかかってくる ▶ 次の操作を行う

[拒否]
着信を拒否して電話を切ります。

[留守番電話] ※1
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

[転送でんわ] ※2
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

[ミュート・ミュート解除]
現在の通話の消音／消音解除を設定します。

※1 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※2 転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

通話を保留にして電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たに音声電話をかけます。

1 音声電話中画面（P61）▶ ▶「新規発信」▶ 電話番号を入力 ▶ ［通話］（または ）

新しく通話が始まり、以前の通話は自動的に保留され、マルチ接続中画面が表示されます。
- ／［通話切替］：現在の通話と保留中の通話を切り替えます。
- ［スピーカー ON・スピーカー OFF］：ハンズフリー通話の ON ／ OFF を切り替えます。
- ：現在の通話を終了します。
- ▶［終話］：保留中の通話を終了します。
- ［メモ］：テキストメモを作成して保存できます。
- ［DTMF 送信］：プッシュ信号が送信できます。

マルチ接続中に、通話中／保留中の電話を終了して電話に出る

通話中または保留中の電話を終了して、かかってきた電話に応答できます。

1 電話がかかってくる ▶［応答］（または ）

2 「通話中通話終了」／「保留中通話終了」▶［応答］（または ）

- 「キャンセル」：かかってきた電話を切ります。

マルチ接続中画面のサブメニュー

1 マルチ接続中画面 ▶ ▶ 次の操作を行う

[Bluetooth]
Bluetooth 機器で通話をします。

[電話帳検索]
電話帳を検索します。→ P95

[メール]
メールのメニュー画面を表示します。

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→ P142

[通話最新履歴]
通話最新履歴画面を表示します。

[スケジュール]
スケジュール画面を表示します。

[通話終了]
相手を選択して通話を終了します。

通話中通話終了	：現在の通話を終了して、保留中の通話に切り替えます。
保留中通話終了	：保留中の通話を終了します。
全通話終了	：すべての通話を終了します。

転送でんわ

転送でんわサービス

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- テレビ電話がかかってきたときは、転送先が 3G-324M に準拠したテレビ電話対応端末のみ転送します。
- 転送先へ転送したときの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者にかかります。
- 伝言メモ（P81）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、 1 （数字は件数）が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ 1：転送先の電話番号を登録する
ステップ 2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ 3：電話がかかってくる
ステップ 4：電話に出られないときは、転送先へ電話を転送する

お知らせ

- ステップ３でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、転送先に転送されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ４で電話が転送されると、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が０秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 転送でんわサービスを停止に設定中でも、着信した電話を手動で転送先に転送できます。→P76

転送でんわサービスを利用する

1 MENU ▶「NW サービス」▶「転送でんわ」▶ 次の操作を行う

［転送サービス開始］
転送でんわサービスを開始します。

▶「はい」▶ 次の項目を設定

転送先変更	：転送先の電話番号を登録します。［検索］をタッチすると、電話帳から検索できます。 転送先電話番号入力欄をタッチ ▶ 転送先電話番号を入力 ▶［完了］
呼出時間設定	：電話を着信してから電話を転送するまでの時間を設定します。

- ［転送サービス開始］をタッチすると転送でんわサービスを開始します。

［転送サービス停止］
転送でんわサービスを停止します。

［転送先変更］
転送先の電話番号を変更します。［検索］をタッチすると、電話帳から検索できます。

▶ 転送先電話番号入力欄をタッチ ▶ 転送先電話番号を入力 ▶［完了］

- 確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると、転送先の電話番号の変更と同時に転送でんわサービスを開始に設定します。

［転送先通話中時設定］※
転送先が通話中だった場合に留守番電話サービスセンターに接続するように設定します。

［転送サービス設定確認］
現在の転送でんわサービスの設定状況を確認します。

※ 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。

転送ガイダンスの有無を設定する

- メニューからは操作できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 （発信キー）▶「1429」を入力 ▶［通話］（または（発信キー））

以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶ 次の操作を行う

[迷惑電話着信拒否登録]
最後に応答した相手の電話番号を登録し、着信を拒否するように設定します。

[電話番号指定拒否登録]
電話番号を指定して登録し、着信を拒否するように設定します。

電話帳	：電話帳から検索して登録します。
最近の通話履歴	：通話最新履歴から選択して登録します。
直接入力	：電話番号を入力して登録します。

[迷惑電話全登録削除]
拒否登録した電話番号をすべて削除します。

[迷惑電話 1 登録削除]
最後に登録した電話番号を 1 件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より 1 件ずつ削除することができます。

[拒否登録件数確認]
拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、不在着信通知画面も表示されません。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶ 次の操作を行う

[番号通知お願い開始]
番号通知お願いサービスを開始します。

[番号通知お願い停止]
番号通知お願いサービスを停止します。

[番号通知お願い確認]
現在の番号通知お願いサービスの設定状況を確認します。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービス

お使いになっている FOMA 端末の電話番号で mova 端末をご利用いただけるサービスです。FOMA と mova のサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA 端末と mova 端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「デュアルネットワーク」▶ 次の操作を行う

[デュアルネットワーク切替]
mova から FOMA に切り替えて FOMA 端末を利用できるようにします。
▶「はい」▶ ネットワーク暗証番号を入力

[デュアルネットワーク状態確認]
現在の設定状態を確認します。

英語ガイダンス

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■ 発信時（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
英語	英語で音声ガイダンスが流れます。

■ 着信時（お客様に電話をかけてきた相手へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
日本語＋英語	日本語で音声ガイダンスが流れた後に英語で音声ガイダンスが流れます。
英語＋日本語	英語で音声ガイダンスが流れた後に日本語で音声ガイダンスが流れます。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「英語ガイダンス」▶ 次の操作を行う

[ガイダンス設定]
ガイダンスを設定します。

発信時＋着信時：発信時と着信時の言語を設定します。「はい」をタッチした後に言語を選択します。
発信時：発信時の言語のみを設定します。「はい」をタッチした後に言語を選択します。
着信時：着信時の言語のみを設定します。「はい」をタッチした後に言語を選択します。

次のページへ続く

[ガイダンス設定確認]
現在のガイダンス設定の設定状況を確認します。

お知らせ
- 発信者側・受信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

サービスダイヤル

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「ドコモへのお問い合わせ」▶ 次の操作を行う

[ドコモ故障問合せ]
故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

[ドコモ総合案内・受付]
総合案内・受付へ電話をかけます。

[海外紛失・盗難等]
海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけることができます。

[海外故障]
海外から故障問い合わせ先に電話をかけることができます。

通話中着信設定

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で設定した着信動作の使用を開始、停止します。現在の設定内容を確認することもできます。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「通話中着信設定」▶ 次の操作を行う

[通話中着信設定開始]
「通話中の着信動作選択」で設定した応答方法を開始します。

[通話中着信設定停止]
「通話中の着信動作選択」で設定した応答方法を停止します。

[通話中着信設定確認]
現在の通話中着信設定の設定状況を確認します。

通話中の着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選ぶ

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話にどのように応対するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を開始に設定してください。なお､キャッチホンを開始に設定している場合は､「通話中着信設定」を開始にする必要はございません。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「通話中の着信動作選択」▶ 着信動作を 2 回タッチ

通常着信：着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが設定されている場合は、その設定に従います。

留守番電話：留守番電話サービスで応答します。キャッチホンを設定していても留守番電話サービスへ接続されます。

転送でんわ：あらかじめ登録している転送先へ転送します。キャッチホンや留守番電話サービスを設定していても転送されます。

着信拒否：着信を拒否します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を開始に設定してください。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「遠隔操作設定」▶ 次の操作を行う

［遠隔操作開始］
遠隔操作を開始します。

［遠隔操作停止］
遠隔操作を停止します。

［遠隔操作設定確認］
遠隔操作の設定状態を確認します。

マルチナンバー

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名前、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

電話番号設定

付加番号を登録する

付加番号の名前や番号を登録できます。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「マルチナンバー」▶「電話番号設定」▶ 次の操作を行う

[基本契約番号：名前]
基本契約番号の名前を登録します。

[電話番号]
ご契約の電話番号（基本契約番号）を表示します。

[付加番号1：名前]
付加番号1の名前を登録します。

[電話番号]
付加番号1の電話番号を登録します。

[付加番号2：名前]
付加番号2の名前を登録します。

[電話番号]
付加番号2の電話番号を登録します。

2 [完了]

通常発信番号を設定する

登録した付加番号を、電話をかけるときに通常使用する電話番号として設定できます。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定」▶「基本契約番号」／「付加番号1」／「付加番号2」▶「はい」

通常発信番号の設定を確認する

1 MENU ▶「NWサービス」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定確認」▶「はい」

1回の通話ごとに発信番号を設定する

1 (消去キー)▶ 電話番号を入力

2 (メニューキー) ▶「マルチナンバー」▶ 発信番号の名前を選択

3 [通話]（または (消去キー)）

着信音や画像を設定する

付加番号に着信した場合の着信音と画像を設定できます。

1 **MENU ▶「NWサービス」▶「マルチナンバー」▶「着信音＆着信画面設定」▶ 設定する付加番号を選択 ▶ 次の操作を行う**

［個別設定］
着信音や画像を設定するかどうかを選択します。

［着信音］ ※
着信音を設定します。

ミュージック	：「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→ P273 「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。
ｉモーション	：「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→ P304
メロディ	：「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→ P313
OFF	：着信音を設定しません。

［着信画面］ ※
着信時に表示する画像を設定します。

画像	：「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→ P292
ｉモーション	：「ｉモーション／ムービー」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→ P304

※「個別設定」を［On］にすると設定できます。

2 **［完了］**

お知らせ

- 「着信音選択」（P104）「着信画面設定」（P112）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに、「着信音」「着信画面」のいずれかを変更すると、設定を変更しなかった「着信音」または「着信画面」はお買い上げ時の音声や画像が再生されます。

追加サービス（USSD登録）

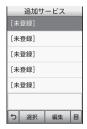
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。

サービスを追加する

サービス名称と、ドコモから通知された「サービスコード（USSD）」を登録します。

- サービスコード(USSD)とは、サービスセンターに通知するためのコード番号です。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「追加サービス」

追加サービス一覧画面

2 「未登録」をタッチ ▶［編集］

3 設定する項目をタッチ ▶ 追加サービスを登録

サービスコード番号：サービスコード（USSD）を登録します。
サービス名：サービス名を登録します。

4 ［保存］

追加サービス一覧画面で編集する

1 追加サービス一覧画面(P398)▶編集する追加サービスをタッチ

2 ［編集］

追加サービス一覧画面のサブメニュー

1 追加サービス一覧画面(P398)▶ ▤ ▶次の操作を行う

［1件削除］ ※1
選択中のサービスを削除します。

［全削除］ ※2
追加したすべてのサービスを削除します。

※1　登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※2　1件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

追加したサービスを実行する

1 追加サービス一覧画面(P398)▶サービスをタッチ▶［選択］

サービスセンターに接続します。

応答メッセージ

応答メッセージを登録する

追加したサービスがサービスコード（USSD）でサービスセンターに接続したとき、センターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを 10 件まで登録できます。

1 MENU ▶「NW サービス」▶「応答メッセージ」

応答メッセージ一覧画面

2「未登録」をタッチ ▶［編集］

3 設定する項目をタッチ ▶ 応答メッセージを登録

サービスコード番号：サービスコード（USSD）を登録します。
応答メッセージ名　：応答メッセージ名を登録します。

4［保存］

応答メッセージ一覧画面で編集する

1 応答メッセージ一覧画面(P399)▶編集する応答メッセージをタッチ

2［編集］

応答メッセージ一覧画面のサブメニュー

1 応答メッセージ一覧画面(P399)▶ ▤ ▶次の操作を行う

［1 件削除］※1
選択中の応答メッセージを削除します。

［全削除］※2
すべての応答メッセージを削除します。

※ 1　登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※ 2　1 件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本FOMA端末は3Gネットワークおよび GSM／GPRS ネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- FOMA端末にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」→P404
- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声通話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS（ショートメッセージサービス）※2	○	○	○
ｉモードサイト※3	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※3※4	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

※1 マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 ｉモード海外利用設定が必要となります。→P403

※4 海外でのｉチャネル利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。
待受画面で MENU ▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」▶「ｉチャネル各種設定」▶ 共通設定内の「海外でのｉチャネル利用設定」

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

ご利用時の準備

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ **ご契約について**
- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ **充電について**
- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意について→P22
- ACアダプタ（別売）の充電方法について→P50～P51

■ **料金について**
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

事前設定

■ **ｉモードについて**

ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。

＜日本で設定＞

「ｉ Menu・検索」▶「お客様サポート」▶「お申込・お手続き」▶「海外利用のお申込・お手続き」▶「海外利用設定」▶「ｉモード海外利用設定」▶「利用する」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

＜海外で設定＞

「ｉ Menu・検索」▶「海外利用設定」▶「ｉモード海外利用設定」▶「利用する」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

■ **ｉモードメールについて**

ｉモードメールについては受信方法が選べます。→P155

■ **ネットワークサービスの設定について**

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。→P395
- 渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。→P412
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ **接続について**

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

■ **ディスプレイの表示について**
- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
  - 3Gネットワーク
  - GSMネットワーク
  - GPRSネットワーク
- 「オペレータ名表示設定」を に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。→P409

■ **日付／時刻設定について**

「自動時刻時差補正」を に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付／時刻設定→P55

次のページへ続く

■ お問い合わせについて

- FOMA端末やFOMAカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「3G／GSM切替」を「自動」に設定してください。→P407
- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。→P407

海外での利用について確認する

本FOMA端末で、海外でのご利用について確認できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「海外ご利用ガイド」

■ 海外ご利用ガイド表示中の操作

操　作	説　明
海外ご利用ガイドをフリック	前ページ／次ページを表示
海外ご利用ガイドをピンチ	拡大／1つ前の倍率に戻す • 拡大／縮小表示中に ⮌ をタッチすると、元の表示サイズに戻ります。
海外ご利用ガイドをスライド	拡大表示中に表示位置を移動

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

滞在国から日本に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「+81」を入力して電話をかけます。

- 「+」は［0］を1秒以上タッチして入力できます。

1 (電話) ▶［0］（1秒以上）▶［8］［1］▶ 先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力

2 ［通話］（または (電話)）

■ テレビ電話をかける場合

［テレビ電話］をタッチします。

滞在国から日本へ簡単に電話をかける

リダイヤル／着信履歴や電話帳を利用して簡単に日本へ電話をかけられます。

- 電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号設定」（P74）を「ON」および「日本（81）」に設定しておく必要があります（お買い上げ時の設定）。

例：電話帳を利用する場合

1 📖 ▶ 電話する相手をタッチ

2 ［通話］（または ）

- 発信確認画面には、「＋国番号」の付加された電話番号が表示されます。

■ テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

3 「発信」

元の番号で発信：「0」を「＋国番号」に変換しないで電話をかけます。
発信中止：電話をかけるのを中止します。

お知らせ
- 国際ローミング中でのみ利用できます。

滞在国から他国（日本以外）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋」と国番号を入力して電話をかけます。

- 「＋」は 0 を 1 秒以上タッチして入力できます。
- 電話をかける相手が海外での WORLD WING 利用者の場合→ P406

1 ▶［0］（1 秒以上）▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 ［通話］（または ）

■ テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

登録されている国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号一覧」（P74）に登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

1 ▶「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 ▤ ▶「国際ダイヤルアシスト」

国番号選択画面が表示されます。

3 国番号をタッチ

入力した電話番号の先頭に「＋国番号」が追加されます。

- 入力した電話番号の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて「＋国番号」が追加されます。

4 ［通話］（または ）

■ テレビ電話をかける場合
［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ
- お買い上げ時の国番号選択画面には、22 ヶ国の国番号が登録されています。国番号は追加できます。→ P74

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

1 ▶「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 [通話]（または ）

■ テレビ電話をかける場合

［テレビ電話］をタッチします。

お知らせ

- 「自動国番号変換設定」を「ON」に設定している場合、地域番号（市外局番）の先頭が「0」から始まる電話番号に電話帳またはリダイヤルから電話をかけると発信確認画面が表示されます。その場合は変換なしの「元の番号で発信」を選択して電話をかけてください。

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

海外で WORLD WING 利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 ▶［0］（1 秒以上）▶［8］［1］▶先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力

2 [通話]（または ）

■ テレビ電話をかける場合

［テレビ電話］をタッチします。

滞在国で電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- ：応答を保留します。→P78

2 [応答]（または ）

電話に出ます。

3 通話が終了したら

日本からお客様の FOMA 端末に電話をかけてもらうには

日本国内と同様に、お客様の電話番号に電話をかけてもらいます。

日本以外の国からお客様の FOMA 端末に電話をかけてもらうには

お客様の滞在先に関わらず、日本経由で電話がかかってきます。海外から日本に国際電話をかけるのと同様で、次のように番号を入力してかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号※1 - 81※2 - 先頭の「0」を除いたお客様の電話番号※3」を入力して電話をかける

※ 1　発信相手が携帯電話のときは、国際電話アクセス番号の代わりに「+」を入力して発信できる場合もあります。

※ 2　日本の国番号を入力します。

※ 3　「090」で始まる場合は「90-XXXX-XXXX」、「080」で始まる場合は「80-XXXX-XXXX」を入力します。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定、3G ／ GSM 切替

通信事業者の検索方法を設定する

海外で利用するときに、接続先のネットワークが切り替わった場合のネットワークの検索方法を選択します。

- お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。日本国内、または 3G ネットワークに接続中の場合は、電池消費を減らすために、「3G ／ GSM 切替」を「3G」に設定することを推奨します。

1 **MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶ 次の操作を行う**

[ネットワークサーチ設定]

オート：ネットワークを自動的に検索して設定します。

マニュアル：ネットワークの検索画面が表示され、検索後に一覧表示されるネットワークから選択して設定します。
▶「はい」▶ ネットワークを選択
ネットワーク名の後に「○」印のあるものが利用できます。

- **[ネットワーク再検索]**：前回と同じ方法（オート／マニュアル）で再検索します。

[3G ／ GSM 切替]

検索するネットワークを指定します。

自動：3G ネットワークと GSM ／ GPRS ネットワークの両方を検索し、両方を検出したときは 3G ネットワークが優先されます。

3G：3G ネットワークのみ検索します。

GSM ／ GPRS：GSM ／ GPRS ネットワークのみ検索します。

- ご利用になる国の通信方式をご確認の上、設定してください。

[優先ネットワーク設定]

優先して検索・設定するネットワークを設定します。→ P408

[オペレータ名表示設定]

接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。→ P409

[接続先選択]

i モード以外の接続先を設定します。→ P215

お知らせ

- 帰国後にネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままの場合は、「3G ／ GSM 切替」を「自動」または「3G」に、「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。

< ネットワークサーチ設定 >

- ネットワークの検索には時間がかかる場合があります。
- 「オート」に設定した場合は、利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

FOMA 端末がネットワークを検索するとき、優先して検索・設定するネットワークを 20 件まで登録できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」

- 登録されている場合は、優先度の高い順にネットワーク名が表示されます。

優先ネットワーク一覧画面

2 ［追加］▶ 次の操作を行う

［マニュアル登録］

「国番号（MCC）」と「ネットワーク番号（MNC）」を入力して、ネットワークを登録します。

▶ 国番号とネットワーク番号を入力※ ▶［完了］▶「はい」

※ 必要に応じて、「Access technology」で「3G」／「GSM」／「3G and GSM」を選択します。

［リストから登録］

FOMA 端末にあらかじめ登録されているネットワーク一覧から選択して登録します。

▶「ネットワーク選択」▶ ネットワークを選択※ ▶［完了］▶「はい」

- ［国名］：国名を選択すると、その国で利用できるネットワークをリスト上で選択します（国名はスライドで選択します）。

※ 必要に応じて、「Access technology」で「3G」／「GSM」／「3G and GSM」を選択します。

［在圏ネットワーク登録］

現在接続中のネットワークを登録します。

お知らせ

- 電波状況によっては、登録したネットワーク以外に接続される場合があります。
- 本機能の設定は、FOMA カードに記録されます。

優先ネットワーク一覧画面からネットワークを削除する

1 優先ネットワーク一覧画面（P408）▶ ネットワークを 2 回タッチ ▶「削除」▶「はい」

優先ネットワーク一覧画面からネットワークを変更する

1 優先ネットワーク一覧画面（P408）▶ ネットワークを 2 回タッチ ▶「変更」▶「優先的に接続する通信事業者を設定する」の操作 2（P408）

優先ネットワーク一覧画面のサブメニュー

1 優先ネットワーク一覧画面(P408)▶ ▶次の操作を行う

[優先順位変更]
ネットワークをドラッグして、並び替えることができます。

[全削除]
すべてのネットワークを削除します。

オペレータ名表示設定

ローミング中の通信事業者名の表示

接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶ オペレータ名表示設定の［ I ・ O ］をタッチ ▶「はい」

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

海外へ出発する前に、国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせする音声ガイダンスを流すように設定できます。

- 日本国内で設定してください。
- 「圏外」が表示されている場合、ローミングガイダンス設定の操作はできません。
- 滞在国でローミングガイダンスの操作をする→ P412

1 MENU ▶「NW サービス」▶「ローミングガイダンス設定」▶ 次の操作を行う

[ローミングガイダンス開始]
ローミングガイダンスを開始に設定します。

[ローミングガイダンス停止]
ローミングガイダンスを停止に設定します。

[ローミングガイダンス設定確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ
- 停止に設定中の場合は、海外事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 開始に設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語の音声ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないように設定する

国際ローミング中に電話の着信やメールの受信など、すべての着信を規制するように設定できます。テレビ電話の着信のみ規制するように設定することもできます。

- ｉモードサイト表示とメール送信は可能です。
- 「全着信規制」に設定しても、発信、ｉモード接続、ｉチャネルの自動更新、留守番電話、転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶ 次の操作を行う

[ローミング時着信規制開始]
着信規制を開始します。

▶「はい」▶ 次の項目から選択 ▶ ネットワーク暗証番号を入力

全着信規制：音声、SMS、iモードメール自動受信を含むすべての着信を受け付けません。

テレビ電話着信規制：テレビ電話の着信のみを規制します。

[ローミング時着信規制停止]
着信規制を停止します。

▶「はい」▶ ネットワーク暗証番号を入力

[ローミング時着信規制確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

ローミング着信通知設定

ローミング中に着信通知機能を利用する

国際ローミング中に、電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。

- SMSの受信料は無料です。

1 MENU ▶「NWサービス」▶「ローミング着信通知設定」▶ 次の操作を行う

[ローミング着信通知開始]
ローミング着信通知を開始します。

[ローミング着信通知停止]
ローミング着信通知を停止します。

[ローミング着信通知設定確認]
現在の設定状態を確認します。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービス、転送でんわサービス、ローミングガイダンス設定などのネットワークサービスを利用できます。

- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）をご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定を遠隔操作開始に設定してください。→P395
- 海外からの操作には、ご利用いただいた国の日本向け通話料がかかります。
- 「圏外」が表示されている場合は、操作できません。
- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

留守番電話（海外）

滞在国で留守番電話サービスの操作をする

海外から留守番電話サービスの開始／停止を設定できます。録音された伝言メッセージを再生したり、音声ガイダンスで設定を変更することもできます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「留守番電話（海外）」▶ 次の操作を行う

[留守番サービス開始]
留守番電話サービスを開始に設定します。

[留守番サービス停止]
留守番電話サービスを停止に設定します。

[留守番メッセージ再生]
伝言メッセージを再生します。

[留守番サービス設定]
音声ガイダンスに従って設定を変更します。

[留守番呼出時間設定]
電話を着信してから、留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

お知らせ

- 渡航先で電源を「ON」のまま移動した結果、「圏外」となった場合は、留守番電話サービスが起動されない場合があります。そのため、「圏外」となった際に確実に留守番電話サービスを利用されたい場合は、「圏外」になりうるエリアに移動される前に電波の届く所で電源を「OFF」にすることをおすすめします。

転送でんわ（海外）

滞在国で転送でんわサービスの操作をする

海外から転送でんわサービスの開始／停止を設定できます。

1 MENU ▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「転送でんわ（海外）」▶ 次の操作を行う

[転送サービス開始]
転送でんわサービスを開始に設定します。

[転送サービス停止]
転送でんわサービスを停止に設定します。

[転送サービス設定]
現在の設定状態を確認します。

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

お知らせ

- 渡航先で電源を「ON」のまま移動した結果、「圏外」となった場合は、転送でんわサービスが起動されない場合があります。そのため、「圏外」となった際に確実に転送でんわサービスを利用されたい場合は、「圏外」になりうるエリアに移動される前に電波の届く所で電源を「OFF」にすることをおすすめします。

ローミングガイダンス設定（海外）

滞在国でローミングガイダンスの操作をする

海外からローミングガイダンスの開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

遠隔操作設定（海外）

滞在国で遠隔操作を設定する

海外から遠隔操作設定の開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「遠隔操作設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

番号通知お願いサービス設定（海外）

滞在国で番号通知お願いサービスの操作をする

海外から番号通知お願いサービスの開始／停止を設定できます。

- 渡航先では、お客様が「番号通知お願いサービス」をご利用の場合でも「通知不可能」と表示され着信する場合があります。

1 MENU▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「番号通知お願いサービス設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

ローミング着信通知設定（海外）

滞在国で着信通知機能を設定する

海外から着信通知機能の開始／停止を設定できます。

1 MENU▶「その他設定」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング着信通知設定（海外）」

2 「はい」

3 音声ガイダンスの指示に従って操作

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属の CD-ROM 内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」(PDF 版) をご覧ください。
PDF 版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader® が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM 内の Adobe® Reader® をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

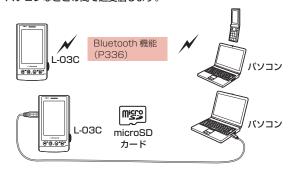
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送(OBEXTM通信)によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」には対応していません。

データ転送(OBEXTM通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- データ通信用USBケーブル(試供品)
- microSDカード(P316)
- ドコモケータイdatalink(P418)

お知らせ

- ドコモケータイdatalinkで画像データを送信する場合、microSDカードに保存したデータのみ送信できます。
- FOMA端末で全件データ受信時、通信が中断され全件転送できない場合は、FOMA端末内のデータを全件削除してから再度操作してください。
- FOMA充電microUSB変換アダプタL01は充電専用です。データ通信を行う場合はデータ通信用USBケーブル(試供品)をご使用ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※[1]通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信時最大7.2Mbps／送信時最大2.0Mbps（ベストエフォート方式）※[2]の高速通信を行うことができます。

※1 多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2 ・最大7.2Mbps・最大2.0Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

L-03Cは、海外でも3GまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- 「mopera」のサービス内容および接続設定方法については「mopera」のホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※[1]が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- データ通信用USBケーブル（試供品）が利用できるパソコンであること※[2]
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

※1 日本国内の場合です。
※2 USB接続で通信を行う場合のみ必要です。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

- 動作環境の最新情報については、ドコモホームページをご確認ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC/AT 互換機で CD-ROM ドライブが使用できる機器 • USB ポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0 準拠） • ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット※5、High Color（65,536 色）以上を推奨
OS※1	• Windows 7（32 ビット／ 64 ビット）※6 • Windows Vista（32 ビット／ 64 ビット） • Windows XP
必要メモリ※2	• Windows 7（32 ビット）：1G バイト以上 • Windows 7（64 ビット）：2G バイト以上 • Windows Vista：512M バイト以上 • Windows XP：128M バイト以上
ハードディスク容量※2※3	• 5M バイト以上の空き容量
Web ブラウザ※4	• Internet Explorer 6.0 以上
メール ソフト※4	• Windows メール、および Outlook Express 6.0

※1　OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2　必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

※3　ドコモ コネクションマネージャは、10M バイト以上の空き容量が必要です。

※4　ドコモ コネクションマネージャの場合のみ必要な動作環境です。

※5　ドコモ コネクションマネージャは、1024 × 600 ドット以上が必要で、1024 × 768 ドット以上を推奨します。

※6　Windows 7(32 ビット／ 64 ビット) では、MTP モードは動作しません。

付属の CD-ROM をパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorer のセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。

必要な機器

データ通信を利用するには、FOMA 端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- データ通信用 USB ケーブル（試供品）※
- L-03C 用 CD-ROM（付属品）

※ USB 接続で通信を行う場合のみ必要です。

お知らせ

- USB ケーブルは、付属のデータ通信用 USB ケーブル（試供品）を使用してください。パソコン用の USB ケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUB を使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

データ通信用USBケーブル（試供品）をご利用になる場合には、L-03C通信設定ファイルをインストールしてください。

L-03C通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。詳細については「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する

FOMA端末とパソコンをデータ通信用USBケーブルで接続する

L-03C通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする

ドコモ コネクションマネージャをインストールして設定する

ドコモ コネクションマネージャを使わずに設定する

接続する

L-03C 通信設定ファイルとドコモ コネクションマネージャについて

L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）

FOMA 端末とパソコンをデータ通信用 USB ケーブル（試供品）で接続して、パケット通信やファイル転送をするために必要なソフトウェア（ドライバ）です。

ドコモ コネクションマネージャ

パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップなどの設定を簡単に行うためのソフトウェアです。

お知らせ

- 「L-03C 用 CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフトの「L-03C 通信設定ファイル（ドライバ）」や「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのホームページからもダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/download/

AT コマンドについて

AT コマンドとは、パソコンから FOMA 端末の機能設定や状態確認などを行うためのコマンド（命令）です。詳細については、付属の CD-ROM 内の「パソコン接続マニュアル」(PDF 版)をご覧ください。

CD-ROM を利用する

付属の CD-ROM には、FOMA 端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属の CD-ROM をご覧ください。

ドコモケータイ datalink のご紹介

「ドコモケータイ datalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページで提供しております。詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- ドコモケータイ datalink をご利用になるには、あらかじめ L-03C 通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応 OS など動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイ datalink をご利用になるには、別途データ通信用 USB ケーブル（試供品）が必要になります。

付録／困ったときには

メニュー一覧

「お買い上げ時」欄が　の設定は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。→P136

コミュニケーション

■ 電話帳

機能名		お買い上げ時	参照先
電話帳登録		未登録	P88
電話帳検索		全件検索	P95
電話帳登録件数		－	P100
電話帳設定	通常検索モード設定	全件検索	P100
	ドメインリスト作成	@docomo.ne.jp	P100
	着信許可／拒否リスト	着信許可リスト：未登録 着信拒否リスト：未登録	P100
	画像表示設定	表示する	P101
グループ設定		なし	P93
通話時間表示		－	P351
通話料金表示	積算料金表示	－	P331
	通話料金上限通知	上限通知設定：	P353
	上限通知アイコン消去	－	P353

■ iモード

機能名		お買い上げ時	参照先
i Menu・検索		－	P191
Bookmark		未登録	P202
画面メモ		未登録	P205
ラスト URL		履歴なし	P195
URL 入力	URL 直接入力	－	P201
	URL 入力履歴	履歴なし	P201
iモード設定	iモードブラウザ設定	画像表示設定：表示する サウンド設定：ON(3) 動画自動再生設定：有効 Script 動作設定：有効 端末情報利用設定：有効 文字サイズ設定：中 Cookie 設定：有効（送信時のみ） Cookie 削除：－ Referer 設定：有効 ウィンドウ自動起動設定：自動起動する ポインタ表示設定：表示しない	P212
	フルブラウザ設定	画像表示設定：表示する サウンド設定：ON(3) 動画自動再生設定：有効 Script 動作設定：有効 端末情報利用設定：有効 文字サイズ設定：中 Cookie 設定：有効（送信時のみ） Cookie 削除：－ Referer 設定：有効	P230

機能名		お買い上げ時	参照先
ｉモード設定	フルブラウザ設定	ウィンドウ自動起動設定：自動起動する ポインタ表示設定：表示する フルブラウザホーム設定：http://www.google.co.jp 表示モード設定：PC レイアウトモード フルブラウザ確認表示：毎回表示 自動通信サイズ設定：毎回確認 フルブラウザ利用設定：－ 画面倍率設定：100% ショートカット：－ インターネット検索設定：Google ウェブ検索	P230
	共通設定	証明書設定：すべて有効 接続先設定：ｉモード ｉモードボタン設定： ｉ Menu・検索接続 接続待ち時間設定：60 秒間 スクロール設定：1 行 PagePilot 表示設定：移動中に表示する ポインタ移動距離設定：普通 ポインタ加速度設定：普通 Bookmark 表示設定：サムネイル	P213
	ｉモード設定確認	－	P214
	ｉモード設定リセット	－	P214
インターネット検索		－	P194

■ ｉチャネル

機能名	お買い上げ時	参照先
ｉチャネル一覧	ベーシックチャネル	P221
ｉチャネル設定	テロップ表示：ON テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップ文字色：ブラック	P221
ｉチャネル初期化	－	P221

■ メール

機能名		お買い上げ時	参照先
受信メール	受信 BOX	「♪ Welcome Mail ♪」「Welcome E★エブリスタ」のメール	P160
	メッセージ R	メッセージなし	P181
	メッセージ F	メッセージなし	P181
送信メール	送信 BOX	未登録	P161
未送信メール		未登録	P162
新規メール作成		－	P142
新規デコメアニメ作成		－	P148
新規 SMS 作成		－	P183
テンプレート		－	P150
ｉモード問い合わせ		－	P156
SMS 問い合わせ		－	P185
メール選択受信		－	P155

機能名		お買い上げ時	参照先
メール設定	メール選択受信設定	OFF	P175
	添付ファイル	すべてチェックあり	P175
	ｉモード問い合わせ設定	すべてチェックあり	P175
	文字サイズ	中	P175
	フォルダセキュリティ	すべて	P175
	メロディ自動再生	ON	P175
	受信表示	通知優先	P176
	メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	P180
	メールグループ	未登録	P177
	自動振り分け設定	未登録	P178
	SMS設定	SMS送達通知：OFF SMS有効期間：3日※ SMS本文入力：日・韓（70文字） SMSセンター：ドコモ	P186
	端末情報利用設定	有効	P176
	編集	冒頭文編集：なし 署名編集：なし 引用符編集：＞ 自動貼付：「署名」にチェックあり	P179
	メール設定確認	－	P176
	メール設定リセット	－	P176

※ 設定リセット後、FOMA端末を再起動すると、FOMAカードに保存されている設定になります。

■ フルブラウザホーム

機能名	お買い上げ時	参照先
フルブラウザホーム	－	P224

■ 通話／メール履歴

機能名	お買い上げ時	参照先
着信履歴	未登録	P79
リダイヤル	未登録	P65
通話最新履歴	未登録	P68
メール受信履歴	未登録	P173
メール送信履歴	未登録	P173
メール最新履歴	未登録	P173

■ ダイヤル

機能名	お買い上げ時	参照先
ダイヤル	－	P60

■ 自局番号

機能名	お買い上げ時	参照先
自局番号	－	P350

マルチメディア

■ データ BOX

機能名		お買い上げ時	参照先
マイピクチャ	ｉモード	なし	P292
	カメラ（microSD）	なし	P292
	デコメピクチャ	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P292
	デコメ絵文字	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P292
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P292
	フレーム	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P292
	データ交換	なし	P292
	スライドショー	なし	P301
	microSD	−	P292
	ｉモードで探す	−	P292
ミュージック	プレイリスト	−	P271
	ｉモード	なし	P273
	移行可能コンテンツ	−	P273
	続きから再生	−	P267
	PC から転送した曲	−	P267
	ｉモードで探す	−	P273
Music&Videoチャネル	配信番組	なし	P263
ｉモーション／ムービー	ｉモード	なし	P304
	カメラ（microSD）	なし	P304
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P304
	プレイリスト	なし	P311
	データ交換	なし	P304
	microSD	−	P304
	ｉモードで探す	−	P304
メロディ	ｉモード	なし	P313
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P313
	データ交換	なし	P313
	microSD	−	P313
	ｉモードで探す	−	P313
その他		−	P290

■ ｉアプリ

機能名		お買い上げ時	参照先
ソフト一覧		お買い上げ時に登録されているファイルのみ	P279
ｉアプリ情報	セキュリティエラー履歴	履歴なし	P287
	自動起動情報	情報なし	P287
	トレース情報	情報なし	P287
	待受画面エラー情報	情報なし	P287

次のページへ続く

機能名		お買い上げ時	参照先
i アプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない	P279
	自動起動設定	許可する	P285
	待受画面表示終了	–	P286

■ ミュージックプレーヤー

機能名	お買い上げ時	参照先
全曲	登録なし	P267
プレイリスト	登録なし	P271
アーティスト	登録なし	P267
ジャンル	登録なし	P267
アルバム	登録なし	P267

■ Music&Video チャネル

機能名	お買い上げ時	参照先
番組 1	登録なし	P258
番組 2	登録なし	P258
番組設定	–	P258
番組リスト	–	P258
サービスのご案内	–	P258

■ Google

機能名	お買い上げ時	参照先
Google	–	P332

■ ドキュメントビューア

機能名	お買い上げ時	参照先
ドキュメントビューア	–	P327

■ Muvee Studio

機能名	お買い上げ時	参照先
Muvee Studio	–	P330

■ ゲーム

機能名	お買い上げ時	参照先
おみくじ	–	P335
M-toy ダーツ	–	
M-toy ホームランダービー	–	
リアルモーションフィッシング	–	
間違い探し	–	

ユーティリティ

■ スケジュール

機能名	お買い上げ時	参照先
スケジュール	未登録	P343

■ 電卓

機能名	お買い上げ時	参照先
電卓	–	P356

■ アラーム

機能名	お買い上げ時	参照先
アラーム	未登録	P341

■ 使いかたガイド

機能名	お買い上げ時	参照先
メニュー検索	–	P45
機能ガイド	–	P45
イントロアニメーション	–	P45
困ったとき	–	P45

■ Bluetooth

機能名	お買い上げ時	参照先
Bluetooth	○	P365
登録機器リスト	未登録	P365
新規機器登録	–	P364
Bluetooth 受信	–	P366
ダイヤルアップ登録待受	未登録	P366
OSP 登録待受	未登録	P366
接続待機	すべてチェックあり	P367
Bluetooth 設定	自局情報：– サーチ時間（3 – 20）：10 Sec. ミュージック自動起動設定：I 着信音送出設定：I 切断時通話設定：通話終了 セキュリティ設定：○ 暗号化設定：○	P369

■ 辞典

機能名	お買い上げ時	参照先
辞典	–	P336

■ FOMA 通信環境

機能名	お買い上げ時	参照先
FOMA 通信環境	–	P331

■ その他機能

機能名		お買い上げ時	参照先
microSD	個人情報	–	P321
	データ更新	–	P290
	メモリ情報	–	P325
	microSD フォーマット	–	P324
ケータイデータお預かりサービス	お預かりセンターに接続	–	P135
	通信履歴表示	–	P135
	電話帳内画像送信設定	○	P135
テキストメモ		未登録	P357
伝言メモ	伝言メモ設定	設定：○	P81
	伝言メモ一覧	未登録	P83
To Do リスト		未登録	P347
世界時計		日本	P353
ストップウォッチ		–	P354

機能名	お買い上げ時	参照先
単位変換ツール	通貨：日本円	P354
	面積：エーカー	P355
	長さ：ミリメートル	P356
	重量：ミリグラム	P356
	温度：摂氏（℃）	P356
	容積：ミリリットル	P356
	速度：メートル毎秒	P356

設定

■音／バイブ／マナー

機能名	お買い上げ時	参照先
着信音選択	音声電話着信音：Ring 01 テレビ電話着信音：Ring 02 メール着信音：Message 09 メッセージR 着信音：Message 10 メッセージF 着信音：Message 10 SMS 着信音：Message 09	P104
タッチ設定	タッチ種類：バイブレータ タッチ音：サウンド1 タッチ振動：バイブ1 タッチ音レベル：ミュート タッチ振動レベル：レベル4	P107
効果音選択	ダイヤル音：デジタル音 電源 ON：Power on 01 電源 OFF：Power off 01 バッテリー警告音：[icon] 充電確認音：[icon]	P108
音量設定	音声／テレビ電話着信音：レベル4 メール／メッセージ着信音：レベル4 アラーム／スケジュール音：レベル4 ダイヤル音：レベル2 電源 ON ／ OFF：レベル4 ポップアップ表示音：レベル4 受話音量：レベル4 ｉアプリ音量：レベル4	P105
バイブレータ設定	音声／テレビ電話：OFF メール／メッセージ着信：OFF アラーム／スケジュール：OFF ポップアップ表示：[icon] 電源 ON ／ OFF：OFF	P106
マナーモード設定	マナーモード	P110
メール鳴動設定	鳴動設定：1回のみ	P109
呼出動作開始時間設定	[icon]	P133
イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	P109

■表示

機能名		お買い上げ時	参照先
待受画面設定	基本待受画面設定	壁紙：Sunset 画面表示：OFF	P111
	使用者待受画面設定	mono	P111
メニュータイプ		ラインスクロール	P115
ロック画面設定		lens	P112

機能名	お買い上げ時	参照先
着信画面設定	音声着信：voicecall_incoming_ani テレビ電話着信：voicecall_incoming_ani メール送信：デフォルト メール受信：デフォルト メール受信完了：デフォルト ｉモード問い合わせ：デフォルト SMS 受信完了：デフォルト	P112
ウェイクアップ設定	pwron	P114
クイックダイヤル		P113
自動表示回転		P37
イルミネーション設定	イルミネーション設定： 音声着信：Red テレビ電話着信：Red メール受信：Aqua 伝言メモ：Blue 留守番電話：Blue メール送信：Aurora 音楽再生時：Pink & Aurora 1 アラーム：Red & Gold & Pink スケジュール／To Do リスト：Red & Gold & Pink 不在着信： 未読メール／メッセージ： ロック解除：	P115
照明設定	照明時間：20 秒 照明明るさ：80% 充電器接続時：端末設定に従う	P114

■ ロック／ セキュリティ

機能名	お買い上げ時	参照先
ロック	オールロック：設定なし 発着信／メールロック設定： プライバシーモード設定：	P123 P125 P126
シークレットモード	OFF	P129
履歴表示設定	（すべて）	P128
端末暗証番号変更	端末暗証番号（4 桁）：0000	P122
PIN コード	－	P122
スキャン機能	パターンデータ更新：－ 自動更新設定：－ スキャン機能設定： - スキャン機能： - メッセージスキャン： バージョン表示：－	P453 P453 P454 P455

■ メニュータイプ

機能名	お買い上げ時	参照先
メニュータイプ	ラインスクロール	P115

次のページへ続く

■NW サービス

機能名	お買い上げ時	参照先
留守番電話	留守番電話サービス開始：－	P387
	留守番呼出時間設定：－	P387
	留守番サービス停止：－	P387
	留守番設定確認：－	P387
	留守番メッセージ再生：－	P387
	留守番サービス設定：－	P387
	メッセージ問合せ：－	P387
	着信通知：－	P387
	表示消去：－	P387
	件数増加時鳴動設定：いいえ	P387
	留守番テレビ電話設定：－	P387
キャッチホン	キャッチホンサービス開始：－	P388
	キャッチホンサービス停止：－	P388
	キャッチホンサービス設定確認：－	P388
転送でんわ	転送サービス開始：－	P391
	転送サービス停止：－	P391
	転送先変更：－	P391
	転送先通話中時設定：－	P391
	転送サービス設定確認：－	P391

機能名	お買い上げ時	参照先
迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録：－	P392
	電話番号指定拒否登録：－	P392
	迷惑電話全登録削除：－	P392
	迷惑電話 1 登録削除：－	P392
	拒否登録件数確認：－	P392
発信者番号通知	発信者番号通知設定：－	P56
	発信者番号通知設定確認：－	P56
番号通知お願いサービス	番号通知お願い開始：－	P392
	番号通知お願い停止：－	P392
	番号通知お願い確認：－	P392
通話中着信設定	通話中着信設定開始：－	P394
	通話中着信設定停止：－	P394
	通話中着信設定確認：－	P394
通話中の着信動作選択	通常着信	P395
遠隔操作設定	－	P395
デュアルネットワーク	－	P393
英語ガイダンス	ガイダンス設定：発信時＋着信時 ガイダンス設定確認：－	P393
ドコモへのお問い合わせ	ドコモ故障問合せ：－	取扱説明書裏面
	ドコモ総合案内・受付：－	取扱説明書裏面

機能名	お買い上げ時	参照先
マルチナンバー	通常発信番号設定：基本契約番号 通常発信番号設定確認：－ 電話番号設定：登録なし 着信音＆着信画面設定：－	P396
着もじ	メッセージ作成：未登録	P69
	メッセージ表示設定：番号通知ありのみ	P69
追加サービス	未登録	P397
ローミングガイダンス設定	ローミングガイダンス開始：－ ローミングガイダンス停止：－ ローミングガイダンス設定確認：－	P409
ローミング着信通知設定	－	P410
応答メッセージ	未登録	P399

■ 発着信／通話機能

機能名		お買い上げ時	参照先
着信機能	オート着信設定	○	P360
	着信許可／拒否	着信許可／拒否設定：許可 メモリ登録外着信拒否：○ 着信拒否リスト編集：登録なし	P357 P132 P134
	非通知着信	（すべて）設定解除	P132
	応答保留音	保留音１	P79
	電話帳画像表示	I	P113
	メロディコール設定	－	P107
テレビ電話	テレビ電話設定	テレビ電話画面設定：両方（相手画像） 画面サイズ設定：拡大 受信画質設定：標準 照明設定：常時点灯 音声自動再発信：○ ハンズフリー設定：I パケット通信中着信設定：テレビ電話優先	P84 P84 P84 P84 P85 P85 P85
	代替画像	デフォルト	P83
	応答保留画像	デフォルト	P84
	通話中保留画像	デフォルト	P84
通話機能	再接続アラーム	アラームなし	P76
	通話品質アラーム	アラームなし	P108
	通話中保留音	保留音１	P79
	ノイズキャンセラ	I	P76
セルフモード		○	P126
プレフィックス設定		プレフィックス１：009130010 プレフィックス２：- プレフィックス３：-	P75
サブアドレス設定		I	P75
イヤホンスイッチ発信設定	イヤホンスイッチ設定	○	P358
	発信メモリ番号	－	P358

次のページへ続く

■ USB モード設定

機能名	お買い上げ時	参照先
USB モード設定	通常モード	P326

■ その他設定

機能名		お買い上げ時	参照先
国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定	自動	P73
	国際プレフィックス	名称：World Call 番号：009130010	P73
	国番号設定	自動国番号変換設定： 国設定：日本 +81	P74
	国番号一覧	アメリカ 1、イギリス 44、イタリア 39、インド 91、インドネシア 62、オランダ 31、オーストラリア 61、カナダ 1、シンガポール 65、スペイン 34、タイ 66、ドイツ 49、フィリピン 63、フランス 33、ブラジル 55、ベトナム 84、マレーシア 60、中国 86、台湾 886、日本 81、韓国 82、香港 852	P74

機能名		お買い上げ時	参照先
国際ローミング設定	ネットワーク	ネットワークサーチ設定：オート	P407
		3G ／ GSM 切替：自動	P407
		優先ネットワーク設定：－	P407
		オペレータ名表示設定：	P409
		接続先選択：ｉモード	P215
	留守番電話（海外）	－	P410
	転送でんわ（海外）	－	P411
	遠隔操作設定（海外）	－	P412
	番号通知お願いサービス設定（海外）	－	P412
	ローミングガイダンス設定（海外）	－	P412
	ローミング時着信規制	－	P409
	ローミング着信通知設定（海外）	－	P412
	海外ご利用ガイド	－	P404
日付／時刻	日付／時刻設定	自動時刻時差補正：	P55
	日付／時刻表示設定	日付表示形式：YYYY/MM/DD 時刻表示形式：24 時間表示	P117
	時刻お知らせ	時刻お知らせ：	P360

機能名		お買い上げ時	参照先
Select language		日本語※	P117
文字入力	定型文編集	お買い上げ時に登録されているデータのみ	P378
	顔文字編集	お買い上げ時に登録されているデータのみ	P376
	辞書編集	登録なし	P382
	デコメ絵文字辞書	お買い上げ時に登録されているデータのみ	P383
	ダウンロード辞書	登録なし	P384
	学習辞書作成	ー	P384
	学習情報リセット	ー	P383
	予測入力	ON	P378
メモリ状況		ー	P361
eco モード		OFF	P114
電池残量		ー	P52
リセット／削除		ー	P136
ソフトウェア更新	更新実行	ー	P450
	自動更新設定	自動更新設定：自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03:00	P449

※ 設定リセット後、FOMA 端末を再起動すると、FOMA カードに保存されている設定になります。

ダイヤルアイコンの文字割当て一覧

アイコン＼入力モード	かな漢字	カタカナ	英　字	数　字
[1]	あいうえお あいうえお ※1	アイウエオ アイウエオ ※1 1	. / @ - : ~※2 _ 1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ2	abcABC ※1 2	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ3	defDEF ※1 3	3
[4]	たちつてと つ ※1	タチツテト ツ ※1 4	ghiGHI ※1 4	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ5	jklJKL ※1 5	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ6	mnoMNO ※1 6	6
[7]	まみむめも	マミムメモ7	pqrsPQRS ※1 7	7
[8]	やゆよ やゆよ ※1	ヤユヨ ヤユヨ ※1 8	tuvTUV ※1 8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ9	wxyzWXYZ ※1 9	9
[0]	わをん わ ※1 ー	ワヲン ワ ※1※3 ー0	0	0
[*]	゛゜ ※4 （改行）	゛゜ ※4 （改行）	（改行）	＊ +P ※5
[#]	、。？！・□（半角スペース）	、。？！・□（半角スペース）	, . ? ! ' - & ( ) ¥ □（半角スペース）	# ※5

※１ [*] をタッチすると、大文字／小文字が切り替わります。
※２ 全角文字入力の場合は、「～」が入力されます。
※３ 全角文字入力の場合に入力できます。
※４ 文字が確定待ちの状態で付加／入力できます。
※５ これらの文字が有効な入力欄のみ、入力できます。

マルチアクセスの組み合わせ

新しく行う通信＼通信中の機能	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS		パソコンなどと接続したパケット通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	○※4	○※4	○	○	○	○	×
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×
iモード	○	○	△※5	△※6	×	○	○	○	○	×	×
iモードメール	○	○	△※5	△※6	○	×	×	○	○	×	×
パソコンなどと接続したパケット通信	○	○	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×

○：起動できます。
△：条件によっては起動できます。
×：起動できません。

※1 キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2 キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして応答できます。また、留守番電話、転送でんわを契約されていれば、起動できます。
※3 不在着信として、着信履歴に記録されます。
※4 iアプリによる発信はできません。
※5 Phone to 機能を利用した発信のみできます。その場合、iモードの接続は切断されます。
※6「パケット通信中着信設定」が「テレビ電話優先」に設定されていれば、テレビ電話の着信が可能です。その場合、iモードの接続は切断されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック L09
- FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01
- イヤホンジャック変換アダプタ L01
- FOMA AC アダプタ 01※1※2／02※1※2
- FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01※1※2
- FOMA DC アダプタ 01※1／02※1
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- キャリングケース 02

※1 L-03C に接続するには、付属の FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 が必要です。
※2 AC アダプタの充電方法について→ P50 ～ P51

動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式のファイル）をパソコンで再生するには、アップルコンピュータ（株）の QuickTime Player（無料）Ver.6.4 以上（または ver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime Player は次のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（ソフトウェア更新→P447）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	症　状	チェック
電源	FOMA 端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→ P48 • 電池切れになっていませんか。→ P50、P52
充電	充電ができない（充電ランプが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→ P36 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと FOMA 端末が正しくセットされていますか。→ P51 • AC アダプタ（別売）をご使用の場合、AC アダプタのコネクタと FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ L01 が FOMA 端末にしっかりと接続されていますか。→ P51 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA 端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA 端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行った場合などには、FOMA 端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
	電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1 回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
	電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
	キーを押しても動作しない	• オールロックを設定していませんか。→ P123
	キーを押したときの画面の反応が遅い	• FOMA 端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA 端末と microSD カードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
	FOMA カードが認識しない	• FOMA カードを正しい向きで挿入していますか。→ P45

次のページへ続く

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	時計がずれる	• 長い時間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動時刻時差補正が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
通話	ダイヤルアイコンをタッチしても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。→P125 • オールロックを設定していませんか。→P123 • セルフモードを設定していませんか。→P126
	着信音が鳴らない	• 「音量設定」の「音声／テレビ電話着信音」の音量を「ミュート」にしていませんか。→P105 • 公共モード（P79）、マナーモード(P109)、セルフモード(P126)を起動していませんか。 • 電話帳指定着信許可／拒否(P130)、ダイヤル着信制限(P125)、リスト指定着信拒否(P129)、全着信拒否(P132)、非通知着信（P132）、呼出動作開始時間設定（P133）、メモリ登録外着信拒否(P134)を設定していませんか。 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間設定を「0秒」にしていませんか。 →P387、P391 • 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→P81 • オート着信設定の自動応答時間を「0秒」にしていませんか。→P360

カテゴリ	症　状	チェック
通話	通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は [アンテナ表示] を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • リスト指定着信拒否(P129)、電話帳指定着信許可／拒否(P99)など着信制限を設定していませんか。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
画面	ディスプレイが暗い	• 「照明設定」の「照明時間」を短く設定していませんか。→P114 • 「照明設定」の「照明明るさ」を変更していませんか。→P114 • 「省電力モード」を「ON」に設定していませんか。→P114 • 電池残量が少なくなっていませんか。充電してください。→P50
音声	通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 「音量設定」の「受話音量」を変更していませんか。→P106
データ表示	各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	• 画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。→P46

カテゴリ	症　状	チェック
メール	メールを自動で受信しない	• メール設定の「メール選択受信設定」を「ON」に設定していませんか。「OFF」に設定してください。→P175
iモード	iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネルに接続できない	• 「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。→P215 • iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。
	iモードマークが点滅したまま消えない	• iモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でiモード接続が途切れたときは、iモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、⌂を押せばすぐに終了できます。
カメラ	カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• 近くの被写体を撮影するときは、マクロ撮影に切り替えてください。→P248 • カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 被写体を指定して撮影するときは、タッチオートフォーカスを利用してください。 • 人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔認識」に設定してください。→P248 • 手ブレ補正「ON」で撮影してください。→P249
カメラ	レンズが出たままで収納されない	• カメラモードで起動中に、電池パックを取り外すと、レンズが収納されません。電池パックを取り付けて、電源を入れるとレンズが収納されます。電源を入れてもレンズが収納されない場合は、充電を開始し、いったんカメラモードに切り替えてからケータイモードへ切り替えるとレンズが収納されます。
海外利用	圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。 • ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P407 • 日本国内から海外へ移動した後に3G／GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。
	海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない	• 「ローミング時着信規制」を開始していませんか。→P409 • 「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。 • GSM／GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。

カテゴリ	症　状	チェック
海外利用	海外で利用中に突然、発信や着信ができない	・ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。 ・ネットワークサーチ設定を確認してください。「オート」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。設定を「マニュアル」に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク（3G または GSM ／ GPRS）に変更してください。
	相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA 端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。
データ管理	データ転送が行われない	・USB HUB を使用していませんか。USB HUB を使用すると、正常に動作しない場合があります。
	microSD カードに保存したデータが表示されない	・microSD カードの「データ更新」を行ってください。→ P290
データ管理	画像表示しようとすると「×」が表示される またはプレビューで「×」が表示される	・画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。
メール	添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	・「添付ファイル」の設定を確認してください。→ P175 ・「メールサイズ制限」の設定を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
Bluetooth 機能	Bluetooth 通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	・Bluetooth 通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA 端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行なう場合には、Bluetooth 通信対応機器（市販品）、FOMA 端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→ P364
	カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で FOMA 端末から発信できない	・相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA 端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説　明
以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。
一部保存できなかったデータがあります	保存先の保存領域が不足しているため、保存できなかったデータがあります。不要なファイルを削除してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやホームページからの応答がないため、接続できませんでした。再度操作してください。
同じ時間が登録されています	他のｉアプリが同じ時間に自動起動するよう設定されています。同時に2つ以上のｉアプリを自動起動できません。
海外ではメッセージＦを受信できません。ｉモード問合せ設定よりメッセージＦの設定を解除してください（566）	海外ではメッセージＦを受信できません。「ｉモード問い合わせ設定」で「メッセージＦ」のチェックを外してください。
楽曲を追加できません	1件のプレイリストには50曲までしか登録できません。不要な音楽データをプレイリストから削除してください。
画像を保存できません	保存不可能なFlashファイルのため、または取得不完全な画像のため、保存できません。
このカードは認識できません	FOMAカードが認識できない、または正しくないカードが挿入されています。FOMAカードを取り付け直すか、正しいFOMAカードに取り付け直してから操作してください。

エラーメッセージ	説　明
このサイトとのSSL通信は無効です	SSL/TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
	改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したため接続できませんでした。
このデータはダウンロードできません	不正なファイル、またはエラーが発生したため、ダウンロードできません。
	マイメニューに登録していないため、番組をダウンロードできません。Music&Videoチャネル番組提供サイトをマイメニューに登録してください。
このデータは取得できません	データが不正またはエラーが発生したため、取得できません。
このデータは保存できません	ｉモーションや音楽データに設定されている再生期限を過ぎたため、または残りの再生回数が0回になったため保存できません。
再生可能日前です 再生できません	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
再生期間制限 XXXX年XX月XX日XX時XX分～XXXX年XX月XX日XX時XX分	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間外のため再生できません。再生期間中に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。
再生期限制限 XXXX年XX月XX日XX時XX分まで	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期限外のため再生できません。再生期限内に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
再生制限データに誤りがあるため、取得できません	データが不正なため、または再生期間外のため、取得できません。
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。
	ダウンロード／取得可能な最大データサイズを超えたので、ダウンロード／取得を中断しました。
最大フレーム数を超えたので中断しました	フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。
サポートされない形式です	非対応データのため、再生できません。
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URL を確認してから再度操作してください。
指定されたソフトが起動できませんでした	i アプリにエラーが発生したために起動できませんでした。i アプリ To で起動するときに、ソフト設定や起動条件などに問題があると起動できません。
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	何らかの原因でサイトに接続できませんでした。再度操作してください。
自動起動が既に 3 件が設定されています	自動起動を設定できる i アプリは 3 件までです。
受信できませんでした	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。
受信メールがいっぱいです	受信メールの保存領域が不足しているため、i モードメールを受信できません。不要な受信メールを削除してください。
既に作成中のメールがあります。 廃棄して新規作成しますか？ はい／いいえ	メール／ SMS を作成中に、マルチタスク機能を利用して新しくメール／ SMS を作成しようとした場合、表示されます。 「はい」を選択すると、既に作成中のメールが廃棄され、新しくメール／ SMS の作成を行います。
既に存在する接続先名称です	既に登録済みの接続先名称のため、登録できません。
既に設定されています	既に登録済みのネットワークのため、登録できません。
既に登録されているURL です	既に FOMA 端末に登録済みの URL のため、保存できません。
正常に接続できませんでした（400）	接続先にエラーがあるため、正常に接続できませんでした。
セキュリティエラーのため、終了しました	i アプリが許可されていない動作をしようとしたため、終了しました。
接続が中断されました	電波状態のよい所で再度操作してください。同じエラーになる場合は、しばらくしてから再度操作してください。
接続できません	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、接続できません。設定を確認してから再度操作してください。
接続できませんでした（562）	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。
設定時間内に接続できませんでした	i モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

エラーメッセージ	説　明
設定時間内に接続できませんでした。 再開しますか？	設定時間内にｉモードメールにリンクされている添付ファイルをダウンロードできませんでした。再度ダウンロードしますか。
設定できません メモリ登録外着信拒否設定中です	「メモリ登録外着信拒否」が「ON」に設定されている場合は、「呼出動作開始時間設定」は設定できません。
セルフモード設定中です	セルフモード設定中のため、操作できません。セルフモードを「OFF」にしてください。
送信できませんでした（XXX）	メールが正しく送信できませんでした。 ※ X には、エラーの種類を示す数字が表示されます。
ソフトの空き容量が不足しています。 既存のソフトを削除しますか？	不要なソフトを削除してください（画面に従って操作すると、各ソフトの容量の目安が表示されます）。
ソフトに誤りがあります	ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードやバージョンアップができません。
対応していないカードフォーマットです フォーマットしてください	microSD カードのフォーマットが非対応のものです。L-03C で microSD カードのフォーマットを行ってください。
タイムアウト	一定時間検索しましたが、ネットワークが検索できませんでした。
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい	ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。
着信制限中です	ダイヤル着信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「ダイヤル着信制限」のチェックを外してください。

エラーメッセージ	説　明
チャネル情報取得失敗	ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部またはすべて取得できなかったため、取得に失敗しました。電波状態の良い所に移動し、待受画面で MENU ▶「i チャネル」▶「i チャネル一覧」をタッチすると情報を受信します。
中断しました	一定時間経過しても通信相手が見つからないため、中断しました。通信相手の距離や角度や操作手順を確認してください。
著作権を持っているファイルが削除されます	著作権のある添付ファイルは転送できないため、削除して転送します。
通信できませんでした	操作が中断されるなどして、通信できませんでした。
低電圧	低電圧です。充電してください。
データ取得を中止しました	圏外などのためダウンロードを中止しました。電波状態の良い場所に移動してください。
データが不正です	プレイリスト名に 1 文字も入力されていません。プレイリスト名を入力してください。
添付ファイルが削除されます	ｉモードメールの添付ファイルを受信したときとは異なる FOMA カードを挿入しているため、添付ファイルを削除して転送します。
入力データをご確認ください（205）	入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。
認証を中止しました（401）	認証に失敗したため、接続を中止しました。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
残りのデータを取得できません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。
残りのデータをダウンロードできません データを削除しました	
発信制限中です	ダイヤル発信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「ダイヤル発信制限」のチェックを外してください。
番号が無効です	電話番号がないメール履歴のため、電話をかけることができません。
ファイルがサポートされていません	非対応データまたは破損したデータのため、再生できません。
ファイルを添付することができません	添付可能なサイズを超えています。
フォルダ名が不正です	フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1 文字も入力されていません。有効なフォルダ名を入力してください。
不正な名称が含まれています	フォルダ名入力時に無効な文字が入力されているか、1 文字も入力されていません。有効なフォルダ名を入力してください。
プライバシーモード設定中です	プライバシーモード設定で制限されている機能のため、操作できません。「プライバシーモード設定」で該当する機能のチェックを外してください。
プレイリストに楽曲を追加できません	プレイリスト／各プレイリスト内の楽曲が保存件数いっぱいまで登録されているため、楽曲を登録できません。不要なプレイリスト／楽曲を削除してください。

エラーメッセージ	説　明
プレイリストを作成できません	プレイリストは 10 件までしか登録できません。不要なプレイリストを削除してください。
保存期限が過ぎたためファイルを受信できません（492）	未取得の添付ファイルが i モードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。
保存領域がありません	保存先の保存領域が不足しているため、操作できません。不要なファイルを削除してください。
ホームは無効です	「ホーム」が「無効」に設定されています。「有効」に設定してください。
未再生なので保存できません	未再生の Flash アニメーションのため、保存できません。
ミュージックプレーヤー起動中です	ミュージックプレーヤーが起動しているため、操作できません。⌂ を押して、ミュージックプレーヤーを終了させてください。
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため、操作できません。
無効なファイル名が含まれています	ファイル名編集時に無効な文字が入力されているか、1 文字も入力されていません。有効なファイル名を入力してください。
メモリ不足です	メモリが不足したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。
メール受信が不可能です	「i モード問い合わせ設定」の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。

エラーメッセージ	説　明
メール受信表示は制限中です	メール受信表示は制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「メール受信表示制限」のチェックを外してください。
メール送信制限中です	メール送信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「メール送信制限」のチェックを外してください。
容量が不足しています いくつかのファイルを削除してください	FOMA端末内の不要なファイルを削除してください（画面に従って操作すると、各ファイルの容量の目安が表示されます）。
呼出動作開始時間 電話帳ロックが、 設定中です	「呼出動作開始時間設定」を「ON」に設定している場合、または「プライバシーモード設定」を I に設定して「電話帳」にチェックを付けている場合は、「メモリ登録外着信拒否」は設定できません。
50曲以上保存できません	プレイリストには50曲までしか登録できません。不要な音楽データをプレイリストから削除してください。
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できませんでした	FOMAカードセキュリティ機能により操作できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした	FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを自動起動できませんでした。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。

エラーメッセージ	説　明
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため正しく表示できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、画像など一部の制限対象データが表示されません。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
	画面メモを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）読み込み中	FOMAカードを読み込み中です。しばらくしてから操作してください。
FOMAカード（UIM）を挿入してください	FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。→P45
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと異なるため、指定されたソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード情報が一致しないため起動できません	FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できませんでした。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。

エラーメッセージ	説　明
ｉアプリの通信回数が多くなっています 通信を継続しますか？ はい／いいえ／終了	ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合、表示されます。 「はい」を選択：ｉアプリを継続して利用します。 「いいえ」を選択：ｉアプリが通信を行わない場合、継続して利用できます。 「終了」を選択：ｉアプリを終了します。
ｉアプリ To 設定されていません	「サイトからｉアプリ To」設定にチェックが付いていないため、ｉアプリを起動できません。チェックを付けてから、再度操作してください。
ｉモードセンターが混みあっています しばらくお待ち下さい（555）	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。
PIN1（PIN2）コードエラー	入力した PIN1 ／ PIN2 コードが間違っています。正しい PIN1 ／ PIN2 コードを入力してください。
PIN1（PIN2）がロックされました	PIN1 ／ PIN2 コードを 3 回連続して間違えると PIN ロックがかかります。PIN ロック解除コードを入力してください。
PIN1 コードがロックされています	PIN1 コードを 3 回連続して間違えると PIN ロックがかかります。PIN ロック解除コードを入力してください。
PIN1（PIN2）コードが認識できませんでした	PIN1 ／ PIN2 コードを 3 回連続して間違えると PIN ロックがかかります。PIN ロック解除コードを入力してください。
PIN ロック解除コードエラー	入力した PIN ロック解除コードが間違っています。正しい PIN ロック解除コードを入力してください。

エラーメッセージ	説　明
PIN ロック解除コードが認識できませんでした	PIN ロック解除コードを 10 回連続して間違えると PIN ロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PIN ロック解除コードがロックされました	PIN ロック解除コードを 10 回連続して間違えると PIN ロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PLMN が見つかりませんでした	選択可能なネットワークがありませんでした。
SMS センター設定を確認してください	SMS の送信に失敗しました。「SMS センター」設定を確認してください。
SSL 通信が切断されました 再開しますか？	改ざんされた SSL/TLS 証明書を受信した、または SSL/TLS エラーが発生したため接続できませんでした。
SSL 通信が無効です	SSL/TLS 通信の認証処理で問題が検出されました。接続中止されます。
	サーバの認証エラーのため接続できません。
SSL 通信が無効に設定されています	FOMA 端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。
αエラーが発生しました	ｉアプリ起動中にエラーが発生しました。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  - ※本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P418）とデータ通信用USBケーブル（試供品）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります**

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

- ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

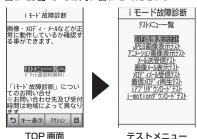
お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイト

ご利用の FOMA 端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP 画面　　テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ｉモードサイト：ｉ Menu ▶ お知らせ ▶ サポート情報 ▶ お問い合わせ ▶ 故障・電波状況お問い合わせ先 ▶ ｉモード故障診断

お知らせ

- 海外からのアクセスの場合は有料となります。
- FOMA 端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様の FOMA 端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA 端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能※です。
FOMA 端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA 端末の機能･操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉ Menu の「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の 3 種類があります。

- 自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
- 予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

※ カメラ機能の更新は、ソフトウェア更新では行われません。カメラ機能の更新については､「カメラ機能を更新する」(P452)を参照してください。

次のページへ続く

- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック設定中
  - 他の機能を実行しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - FOMA カードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - おまかせロック設定中
  - 「圏外」が表示されているとき
  - セルフモード設定中
  - 電源が入っていないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- 「PIN1 コードリクエスト」を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行した場合、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面は表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へ SSL/TLS 通信を行います。SSL/TLS 証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→ P217）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の FOMA 端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

自動更新設定

ソフトウェア更新を自動で行う

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新」、曜日が「指定なし」、時刻が「03 時 00 分」に設定されています。

1 MENU ▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「自動更新設定」▶ 次の操作を行う

[自動更新設定]

自動で更新：自動更新します。

更新の通知のみ：自動更新せず、更新のお知らせのみ通知します。

設定しない：自動更新しません。

[曜日] ※

書換えを行う曜日を指定します。

[時刻] ※

書換え時刻を指定します。

※「自動更新設定」を「自動で更新」にすると設定できます。

2 [完了]

更新が必要になると

書換え可能な状態になると、基本待受画面に（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えをするかを選択できます。

- （書換え予告アイコン）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、（書換え予告アイコン）は消去されます。

1 基本待受画面 ▶（書換え予告アイコン）をタッチ

2 「OK」

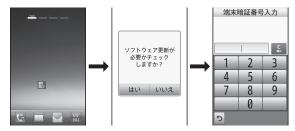
一度基本待受画面に戻り、設定時刻に書換えを開始します。

- 「時刻変更」：書換え時刻を変更します。
- 「今すぐ書換え」：すぐに書換えを開始します。以降の操作については、「すぐにソフトウェアを更新する」(P450)を参照してください。

ソフトウェア更新を起動する

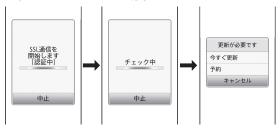
ソフトウェア更新を起動するには、基本待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

1 （更新お知らせアイコン）を選択する場合

基本待受画面▶（更新お知らせアイコン）をタッチ▶「はい」▶端末暗証番号を入力

メニュー画面から行う場合

▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かチェックされます。

- 更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新が不要の際は「更新の必要はありません」と表示されますので、そのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する

1 **ソフトウェア更新確認画面で「今すぐ更新」▶ダウンロード開始画面で［OK］**

ダウンロードが開始され、完了するとソフトウェア書換えの確認画面が表示されます。

2 ［OK］

ソフトの書換えが開始され、完了すると自動的に再起動してソフトウェア更新完了画面が表示されます。

- 書換え中はすべての操作が無効になります。

3 「OK」

日時を予約してソフトウェアを更新する

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 ソフトウェア更新確認画面で「予約」

希望日時選択画面が表示されます。

希望日時選択
03月01日(火)13:15
03月02日(水)13:15
03月02日(水)14:53
03月02日(水)15:49
03月02日(水)16:55
03月02日(水)17:28

2 日時を選択▶「はい」

- 設定された日時になると、自動的にソフトウェアの更新が行われます。

- 希望日時選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と更新可能な時間帯を個別に設定することができます。

次のページへ続く

お知らせ

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了した後に「メモリ削除」(P136)を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 **MENU ▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「更新実行」**

予約時刻が表示されます。

- 「変更」：予約日時を変更します。
- 「取消」：予約を取り消します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で［中止］をタッチしたり「キャンセル」をタッチした場合は、操作終了の画面が表示されます。
「はい」をタッチするとソフトウェア更新を終了して基本待受画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると前の画面に戻ります。

カメラ機能を更新する

FOMA 端末のカメラ機能を更新する必要がある場合に、パソコンでダウンロードしたソフトウェアの一部を、microSD カードを使ってカメラ機能を更新する機能です。
FOMA 端末のカメラを操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA 端末のカメラ機能の操作性を向上させることができます。
カメラ機能の更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉ Menu の「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
カメラ機能のソフトウェアのダウンロードおよびインストールの手順については、次のホームページをご覧ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

お知らせ

- カメラ機能の更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障·破損·水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

スキャン機能

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P453
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことが出来ませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1 MENU▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶「はい」▶「はい」

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

2 [OK]

パターンデータを自動的に更新するには

パターンデータを最新の状態に保つように自動的に更新することができます。MENU▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「自動更新設定」▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶［OK］をタッチします。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 日付／時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池残量が少ないとき
  - 圏外にいるとき
  - 他の機能が動作中
  - オールロック設定中
  - 通話中
  - セルフモード設定中
  - プライバシーモード設定中
  - パソコンなどの外部機器と接続中
- 自動更新が完了すると、基本待受画面に（パターンデータ更新完了）が表示されます。
  更新できなかった場合は（パターンデータ更新失敗）が表示されます。

スキャン機能を設定する

スキャン機能を に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

1 ▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「スキャン機能設定」

2 「スキャン機能」／「メッセージスキャン」▶［・］

スキャン機能：に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P455

メッセージスキャン：に設定すると、SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨をお知らせする画面が表示されます。

3 「はい」

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性があるデータを検出した場合は、警告レベルを示す画面が表示されます。

警告レベル０	警告レベル１	警告レベル２
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できない 場合があるため 終了します OK 詳細
「OK」：動作を継続します。	「はい」：動作を中止して、終了します。 「いいえ」：動作を継続します。	「OK」：動作を中止して、終了します。
警告レベル３	警告レベル４	
スキャン機能 正常に動作できない 場合があります データを削除しますか? はい いいえ 詳細	スキャン機能 正常に動作できないため データを削除します OK 詳細	
「はい」：データを削除して、終了します。 「いいえ」：動作を中止して、終了します。	「OK」：データを削除して、終了します。	

お知らせ

- スキャン結果によっては、画面表示が異なる場合があります。

■スキャンされた問題要素の表示について

警告レベルを示す画面で「詳細」を選択すると、右のような問題要素の一覧画面が表示されます。

- 画面はイメージです。実際の画面では、「XXXXXXXX」の部分に検出されたデータ名が表示されます。
- 検出されたデータの種類によっては、「詳細」が表示されない場合があります。
- 問題要素が６件以上検出された場合は、６件目以降の問題要素の表示は省略され、合計件数のみ表示されます。

パターンデータのバージョンを確認する

1 **MENU ▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「バージョン表示」**

主な仕様

■ 本体

項目			仕様
品　名			L-03C
サイズ（H × W × D）			約 112mm × 約 60mm × 約 17.3mm（最厚部：約 22mm）
質　量			約 165g（電池パック装着時）
連続待受時間	FOMA ／ 3G	3G ／ GSM 切替：3G	移動時：約 330 時間
		3G ／ GSM 切替：自動	静止時：約 420 時間 移動時：約 250 時間
	GSM	3G ／ GSM 切替：自動	静止時：約 310 時間
連続通話時間	FOMA ／ 3G		音声電話時：約 300 分 テレビ電話時：約 130 分
	GSM		音声電話時：約 250 分
充電時間			AC アダプタ：約 220 分 DC アダプタ：約 220 分
ディスプレイ	方式		TFT　16,777,216 色
	サイズ		約 3.0inch
	画素数		384,000 画素（480 ドット × 800 ドット）
撮像素子	種類		CCD
	サイズ		1/2.3inch
	有効画素数		約 1210 万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）		約 1200 万画素
	ズーム（光学）		最大約 3.0 倍／ 7 段階（静止画撮影時） 最大約 3.0 倍／ 7 段階（動画撮影時）
カメラ部	ズーム（デジタル）		最大約 4.0 倍／ 30 段階（静止画撮影時） 最大約 4.0 倍／ 30 段階（動画撮影時）
	撮影距離（レンズの先端から）	自動	広角時：約 0.5m- ∞ 望遠時：約 0.6m- ∞
		マクロ	広角時：約 0.1m-0.8m 望遠時：約 0.4m-0.8m
記録部	静止画保存枚数		約 61,000 枚※1
	静止画連続撮影		12M（4000x3000）／ 8M（3264x2448）／ 5M（2560x1920）：3 枚 Wide 4M（2560x1440）／ Full HD（1920x1080）／ 2M（1600x1200）／ 1M（1280x960）／ HD（1280x720）／ 待受画面（800x480）／ VGA（640x480）／ QVGA（320x240）／ QCIF（176x144）：10 枚
	静止画ファイル形式		JPEG
	動画録画時間		約 80 分※2
	動画ファイル形式		MP4
音楽再生	連続再生時間		着うたフル®（バックグラウンド再生対応）：約 800 分※3 i モーション※4：約 200 分※3 WMA ファイル（バックグラウンド再生対応）：約 800 分 MP3 ファイル（バックグラウンド再生対応）：約 800 分 Music & Video チャネル： Music：約 800 分（バックグラウンド再生対応） Video：約 200 分

保存容量	着うた®／着うたフル®	約137MB※5（お買い上げ時）

※1 microSDカード（2GB） サイズ選択：QVGA（320×240）
画質設定：標準
※2 以下の条件で保存できる1回あたりの最大録画時間です。
microSDカード（2GB） サイズ選択：QCIF（176×144）
画質設定：標準 撮影種別：音声＋映像
※3 ファイル形式：AAC形式
※4 音声のみのiモーション
※5 Music&Videoチャネルと共有

■ 電池パック

品　名	電池パックL09
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1200mAh

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくてもiモードメールを作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面を起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画やメロディの再生などを行うと、通話（通信）･待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

静止画の保存枚数の目安

保存できる件数は、解像度、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

保存先	microSDカード（2GB）		
解像度＼画質	スーパーファイン	ファイン	標準
12M（4000×3000）	約330枚	約490枚	約720枚
8M（3264×2448）	約490枚	約約730枚	約1080枚
5M（2560×1920）	約790枚	約1170枚	約1690枚
Wide 4M（2560×1440）	約1050枚	約1520	約2250枚
Full HD（1920×1080）	約1790枚	約2650枚	約3810枚
2M（1600×1200）	約1960枚	約2770枚	約4065枚
1M（1280×960）	約2900枚	約4060枚	約5540枚
HD（1280×720）	約4060枚	約6100枚	約8710枚
待受画面（800×480）	約8710枚	約12200枚	約20330枚
VGA（640×480）	約12200	約15250枚	約20330枚
QVGA（320×240）	約30500枚	約30500枚	約61000枚
QCIF（176×144）	約61000枚	約61000枚	約61000枚

※ 手ブレ補正を「ON」で撮影した場合、静止画のサイズが大きくなるため、保存できる件数が減ります。

動画の録画時間の目安

動画の撮影時間は、動画容量、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

■ 1 回あたりの連続録画時間

保存先		microSD カード（2GB）			
撮影種別	画質＼解像度	HD （1280 × 720）	VGA （640 × 480）	QVGA （320 × 240）	QCIF （176 × 144）
音声＋映像	スーパーファイン	約 21 分 30 秒	約 42 分 30 秒	約 80 分	約 80 分
	ファイン	約 28 分 40 秒	約 62 分 50 秒	約 80 分	約 80 分
	標準	約 29 分	約 80 分	約 80 分	約 80 分
映像のみ	スーパーファイン	約 21 分 50 秒	約 43 分 50 秒	約 80 分	約 80 分
	ファイン	約 29 分	約 65 分 50 秒	約 80 分	約 80 分
	標準	約 29 分	約 80 分	約 80 分	約 80 分

■ 合計録画時間

保存先		microSD カード（2GB）			
撮影種別	画質＼解像度	HD （1280 × 720）	VGA （640 × 480）	QVGA （320 × 240）	QCIF （176 × 144）
音声＋映像	スーパーファイン	約 21 分 30 秒	約 42 分 30 秒	約 170 分	約 220 分
	ファイン	約 28 分 40 秒	約 62 分 50 秒	約 220 分	約 310 分
	標準	約 40 分	約 115 分	約 310 分	約 420 分
映像のみ	スーパーファイン	約 21 分 50 秒	約 43 分 50 秒	約 200 分	約 270 分
	ファイン	約 29 分	約 65 分 50 秒	約 270 分	約 400 分
	標準	約 40 分	約 125 分	約 400 分	約 620 分

FOMA端末に保存／保護できる件数

各データの最大保存件数／最大保護件数は、FOMA端末に保存されているデータ量や、メモリ使用量により異なります。

種　別		最大保存件数	最大保護件数
電話帳		1000件※1	－
スケジュール	スケジュール	200件	－
	休日	80件	－
	祝日	20件※2	－
To Do		50件	－
テキストメモ		50件	－
メール※3	受信メール※4	1000件	1000件
	送信メール	500件	500件
	未送信メール		－
メッセージ	メッセージR	100件	100件
	メッセージF	100件	100件
テンプレート		100件※5	－
Bookmark※6		200件	－
画面メモ		50件	50件
iアプリ		100件※5	－
データBOX	画像※7	2000件※5	－
	動画／iモーション	2000件※5	－
	メロディ	2000件※5	－

※1 50件までFOMAカードに保存できます。
※2 お買い上げ時に設定されている祝日を含みます。
※3 iモードメールとSMSの合計件数となります。
※4「受信BOX」フォルダに保存されている「♪Welcome Mail♪」「Welcome E★エブリスタ」の件数を含みます。
※5 お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※6 Bookmarkは、iモードのBookmarkとフルブラウザのBookmarkの合計の件数となります。
※7 スライドショーは最大30件(画像の最大保存件数2000件に含む)保存できます。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 L-03C の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の側頭部におけるSAR の最大値は 0.494W/kg です。個々の製品によって SARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。ＮＴＴドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から 1.5 センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
：http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
：http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
：http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Mobile ホームページ
：http://www.lg.com/jp/

※ 1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の２）で規定されています。
※ 2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、2010 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です（2010 年 12 月現在）。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.19W/kg, and when worn on the body, is 0.38W/kg.
(Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL03C.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-03C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.756W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉエリア」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「sigmarion」「デュアルネットワーク」「ビジュアルネット」「ｉチャネル」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「マルチナンバー」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「DoPa」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「docomo PRO series」「spモード」および「ｉ-mode」ロゴ、「ｉ-αppli」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- OBEX™は、Infrared Data Association®の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- Adobe および Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google, モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

ADOBE FLASH ENABLED

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

索引

索引

索引の引きかた

● 本索引は、「五十音目次」としての機能もございます。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

例：デコメール® を作成したいとき

デコメール®……145
　作成……145
　パレットの操作……146
　パレット表示……145

メール作成……142
　宛先追加（同報通信）……143
　送信……142
　デコメール® 作成……145
　テンプレート選択……150
　ファイルを添付……152

● メールアドレス設定、メール受信／拒否設定、メールサイズ制限、メール機能停止／再開など、ｉモードセンター内の設定については、『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。
● データ通信については付属の CD-ROM に収録されている「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で FOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **公共モード（ドライブモード／電源 OFF）→ P79、P80**

電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ **伝言メモ→ P81**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

■ **バイブレータ→ P106**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ **マナーモード／オリジナルマナーモード→ P109、P110**

タッチ音や着信音など FOMA 端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
マナーモードにバイブレータ・着信音の設定が変更できます（オリジナルマナーモード）。※ただしカメラのシャッター音は消せません。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00〜午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/　ｉモードサイト　ｉMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-03Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-03Cからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています　Printed in Korea

'10.12 (1.5版)
MFL67021801